

令和7年度

総合計画のための市民意識調査結果報告書

川口市



# 目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の設計	3
(3) 回収結果	3
(4) 報告書の表記について	3
(5) 標本誤差について	4
2 調査回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 出生地	6
(4) 職業	6
(5) 通勤・通学先	7
(6) 家族構成	7
(7) 住居形態	8
(8) 居住年数	8
(9) 居住地域	9
第2章 調査結果	11
1 川口市の居留意向	13
(1) 居留意向	13
(2) 居留意向（性別、性・年齢別）	14
(3) 居留意向（出生地別）	15
(4) 居留意向（職業別）	15
(5) 居留意向（通勤・通学先別）	16
(6) 居留意向（家族構成別）	16
(7) 居留意向（住居形態別）	17
(8) 居留意向（居住年数別）	17
(9) 居留意向（居住地域別）	18
2 川口市に転入したきっかけ	19
(1) 川口市に転入したきっかけ	19
(2) 川口市に転入したきっかけ（性・年齢別）	21
(3) 川口市に転入したきっかけ（出生地別）	22
(4) 川口市に転入したきっかけ（居住地域別）	23
3 川口市を選んだ理由	24
(1) 川口市を選んだ理由	24
(2) 川口市を選んだ理由（性・年齢別）	26
(3) 川口市を選んだ理由（出生地別）	28
(4) 川口市を選んだ理由（居住地域別）	29

4	川口市の良いところ・好きなどころ	30
(1)	川口市の良いところ・好きなどころ	30
(2)	川口市の良いところ・好きなどころ(性・年齢別)	32
(3)	川口市の良いところ・好きなどころ(出生地別)	34
(4)	川口市の良いところ・好きなどころ(通勤・通学先別)	35
(5)	川口市の良いところ・好きなどころ(住居形態別)	36
(6)	川口市の良いところ・好きなどころ(居住地域別)	37
(7)	川口市の良いところ・好きなどころ(居留意向別)	38
5	川口市の良くないところ・嫌いなどころ	39
(1)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ	39
(2)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(性・年齢別)	41
(3)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(出生地別)	43
(4)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(通勤・通学先別)	44
(5)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(住居形態別)	45
(6)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(居住地域別)	46
(7)	川口市の良くないところ・嫌いなどころ(居留意向別)	47
6	川口市に住むことを勧めたいか	48
(1)	川口市に住むことを勧めたいか	48
(2)	川口市に住むことを勧めたいか(性別、性・年齢別)	49
(3)	川口市に住むことを勧めたいか(出生地別)	50
(4)	川口市に住むことを勧めたいか(通勤・通学先別)	50
(5)	川口市に住むことを勧めたいか(居住年数別)	51
(6)	川口市に住むことを勧めたいか(居住地域別)	51
7	川口市に愛着や誇りを持っているか	52
(1)	川口市に愛着や誇りを持っているか	52
(2)	川口市に愛着や誇りを持っているか(性別、性・年齢別)	53
(3)	川口市に愛着や誇りを持っているか(出生地別)	54
(4)	川口市に愛着や誇りを持っているか(通勤・通学先別)	54
(5)	川口市に愛着や誇りを持っているか(居住年数別)	55
(6)	川口市に愛着や誇りを持っているか(居住地域別)	55
8	川口市の好きな場所、もの、行事	56
(1)	川口市の好きな場所、もの、行事	56
(2)	川口市の好きな場所、もの、行事(性・年齢別)	57
(3)	川口市の好きな場所、もの、行事(通勤・通学先別)	59
(4)	川口市の好きな場所、もの、行事(居住地域別)	60
(5)	川口市の好きな場所、もの、行事(居留意向別)	61
9	川口市の状況や取り組みについての実感	62
(1)	川口市の状況や取り組みについての実感	62
(2)	川口市の状況や取り組みについての実感(性・年齢別)	66
(3)	川口市の状況や取り組みについての実感(居住地域別)	70

10	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	72
	（1）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	72
	（2）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）	74
	（3）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）	75
	（4）今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（居住地域別）	77
11	川口市の都市整備に対する満足度	78
	（1）川口市の都市整備に対する満足度	78
	（2）川口市の都市整備に対する満足度（性・年齢別）	79
	（3）川口市の都市整備に対する満足度（居住地域別）	80
12	犯罪被害遭遇の有無	81
	（1）犯罪被害遭遇の有無	81
	（2）犯罪被害遭遇の有無（性別、性・年齢別）	82
	（3）犯罪被害遭遇の有無（居住地域別）	83
13	犯罪被害の内容	84
	（1）犯罪被害の内容	84
	（2）犯罪被害の内容（性・年齢別）	85
	（3）犯罪被害の内容（居住地域別）	86
14	治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと	87
	（1）治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと	87
	（2）治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（性・年齢別）	88
	（3）治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（居住地域別）	90
15	犯罪情報・防犯情報を確認する方法	91
	（1）犯罪情報・防犯情報を確認する方法	91
	（2）犯罪情報・防犯情報を確認する方法（性・年齢別）	92
	（3）犯罪情報・防犯情報を確認する方法（居住地域別）	94
16	犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由	95
	（1）犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由	95
	（2）犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（性・年齢別）	96
	（3）犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（居住地域別）	97
	（4）犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（確認方法別）	98
17	窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無	99
	（1）窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無	99
	（2）窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（性別、性・年齢別）	100
	（3）窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（居住地域別）	101
18	キャッシュレス決済の満足度	102
	（1）キャッシュレス決済の満足度	102
	（2）キャッシュレス決済の満足度（性別、性・年齢別）	103
	（3）キャッシュレス決済の満足度（居住地域別）	104

19	利用する機会が多い公共施設	105
	(1) 利用する機会が多い公共施設	105
	(2) 利用する機会が多い公共施設 (性・年齢別)	106
	(3) 利用する機会が多い公共施設 (家族構成別)	108
	(4) 利用する機会が多い公共施設 (居住地域別)	109
20	今後の公共施設のあり方に対する考え	110
	(1) 今後の公共施設のあり方に対する考え	110
	(2) 今後の公共施設のあり方に対する考え (性・年齢別)	111
	(3) 今後の公共施設のあり方に対する考え (居住地域別)	113
21	市の行政情報を確認する方法	114
	(1) 市の行政情報を確認する方法	114
	(2) 市の行政情報を確認する方法 (性・年齢別)	115
	(3) 市の行政情報を確認する方法 (居住地域別)	116
22	市に関する欲しい情報	117
	(1) 市に関する欲しい情報	117
	(2) 市に関する欲しい情報 (性・年齢別)	118
	(3) 市に関する欲しい情報 (居住地域別)	120
23	スポーツ等の頻度	121
	(1) スポーツ等の頻度	121
	(2) スポーツ等の頻度 (性別、性・年齢別)	122
	(3) スポーツ等の頻度 (居住地域別)	123
24	協働によるまちづくりの認知度	124
	(1) 協働によるまちづくりの認知度	124
	(2) 協働によるまちづくりの認知度 (性別、性・年齢別)	125
	(3) 協働によるまちづくりの認知度 (居住地域別)	126
25	協働によるまちづくりの参加状況	127
	(1) 協働によるまちづくりの参加状況	127
	(2) 協働によるまちづくりの参加状況 (性別、性・年齢別)	128
	(3) 協働によるまちづくりの参加状況 (居住地域別)	129
26	がん検診の受診	130
	(1) がん検診の受診	130
	(2) がん検診の受診 (性別、性・年齢別)	131
	(3) がん検診の受診 (職業別)	132
	(4) がん検診の受診 (居住地域別)	133
27	受診したがん検診の種類	134
	(1) 受診したがん検診の種類	134
	(2) 受診したがん検診の種類 (性・年齢別)	135
	(3) 受診したがん検診の種類 (居住地域別)	136
28	がん検診を受診した理由	137
	(1) がん検診を受診した理由	137
	(2) がん検診を受診した理由 (性別、性・年齢別)	138
	(3) がん検診を受診した理由 (居住地域別)	139

29	がん検診を受診しない理由	140
	(1) がん検診を受診しない理由	140
	(2) がん検診を受診しない理由 (性別、性・年齢別)	141
	(3) がん検診を受診しない理由 (居住地域別)	142
30	こどもの権利条約の認知度	143
	(1) こどもの権利条約の認知度	143
	(2) こどもの権利条約の認知度 (性別、性・年齢別)	144
	(3) こどもの権利条約の認知度 (居住地域別)	145
31	他人とのつながりの認識状況	146
	(1) 他人とのつながりの認識状況	146
	(2) 他人とのつながりの認識状況 (性・年齢別)	147
	(3) 他人とのつながりの認識状況 (居住地域別)	148
32	近所の困っている方に「あなたができること」	149
	(1) 近所の困っている方に「あなたができること」	149
	(2) 近所の困っている方に「あなたができること」(性・年齢別)	150
	(3) 近所の困っている方に「あなたができること」(居住地域別)	152
33	「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」	153
	(1) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」	153
	(2) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(性・年齢別)	154
	(3) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(居住地域別)	156
34	生物多様性の重要性の認知度	157
	(1) 生物多様性の重要性の認知度	157
	(2) 生物多様性の重要性の認知度 (性別、性・年齢別)	158
	(3) 生物多様性の重要性の認知度 (居住地域別)	159
35	生物多様性の保全のために必要な施策	160
	(1) 生物多様性の保全のために必要な施策	160
	(2) 生物多様性の保全のために必要な施策 (性・年齢別)	161
	(3) 生物多様性の保全のために必要な施策 (居住地域別)	162
36	火災時の備えとして住宅に設置しているもの	163
	(1) 火災時の備えとして住宅に設置しているもの	163
	(2) 火災時の備えとして住宅に設置しているもの (性・年齢別)	164
	(3) 火災時の備えとして住宅に設置しているもの (居住地域別)	165
37	「ごみ有料化」の賛否	166
	(1) 「ごみ有料化」の賛否	166
	(2) 「ごみ有料化」の賛否 (性別、性・年齢別)	167
	(3) 「ごみ有料化」の賛否 (居住地域別)	168
38	「ごみ有料化」の際の負担の許容額	169
	(1) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額	169
	(2) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額 (性別、性・年齢別)	170
	(3) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額 (居住地域別)	171

39	ごみ処理費用を抑えるために必要な行動	172
(1)	ごみ処理費用を抑えるために必要な行動	172
(2)	ごみ処理費用を抑えるために必要な行動(性・年齢別)	173
(3)	ごみ処理費用を抑えるために必要な行動(居住地域別)	174
第3章	調査結果の分析	175
1	川口市の特徴	177
2	川口市の課題	180
参考資料	(調査票・単純集計結果)	181

---

# 第1章 調査の概要

---



# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本意識調査は、「川口市総合計画」に基づいて様々な施策を実施している、市のまちづくりに対する市民の評価や意見を伺い、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするため実施しました。

## (2) 調査の設計

- ① 調査地域 川口市全域
- ② 調査対象 川口市に住民登録している満 18 歳以上の市民
- ③ 対象人数 5,000 人
- ④ 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ⑤ 調査時期 令和7年8月12日(火)～9月1日(月)
- ⑥ 調査方法 郵送配付－郵送回収またはインターネット回答

## (3) 回収結果

配付数	回収数	有効回収数	有効回答率
5,000 件	1,791 件	1,791 件	35.8%

## (4) 報告書の表記について

- ① 調査結果の回答比率はすべて百分率(%)で表しており、その質問の回答者数を基数として、百分率の小数第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超えます。
- ③ グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表します。
- ④ 属性別のクロス集計では、属性項目の無回答を除いて集計しているため、属性の各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合があります。例えば年齢別の場合、年齢を回答していない人がいるため、年齢別の合計が「全体」の回答数になりません。そのほかの設問間クロス集計においても同様となります。
- ⑤ 回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、nが30未満の回答は参考として示すにとどめています。
- ⑥ 表中の記号の意味は、以下の通りです。

全体値より	☆：15.1ポイント以上高い	★：15.1ポイント以上低い
	○：10.1～15ポイント高い	●：10.1～15ポイント低い
	△：5.1～10ポイント高い	▲：5.1～10ポイント低い

## (5) 標本誤差について

本調査は、調査対象となる母集団(川口市に住民登録している満18歳以上の市民)から一部を抽出した標本(サンプル)の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っています。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがあります。

標本誤差は下式で統計学的に得られ、①比率算出の基数(n) ②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。(信頼度は95%とします)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \doteq \pm 1.96 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

(N:母集団(川口市の18歳以上の人口)、n:比率算出の基数(回答者数)、p:回答の比率)

今回の調査では、n=1,791、ある回答(調査結果)が20%(p=0.2)の場合、標本誤差は

$$\pm 1.96 \sqrt{\frac{0.2 \times 0.8}{1,791}} \doteq \pm 0.0185$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±1.85%の範囲内(18.15%~21.85%)にあることとなります。同様に計算したものが下表です。

【標本誤差早見表 (主なもの)】

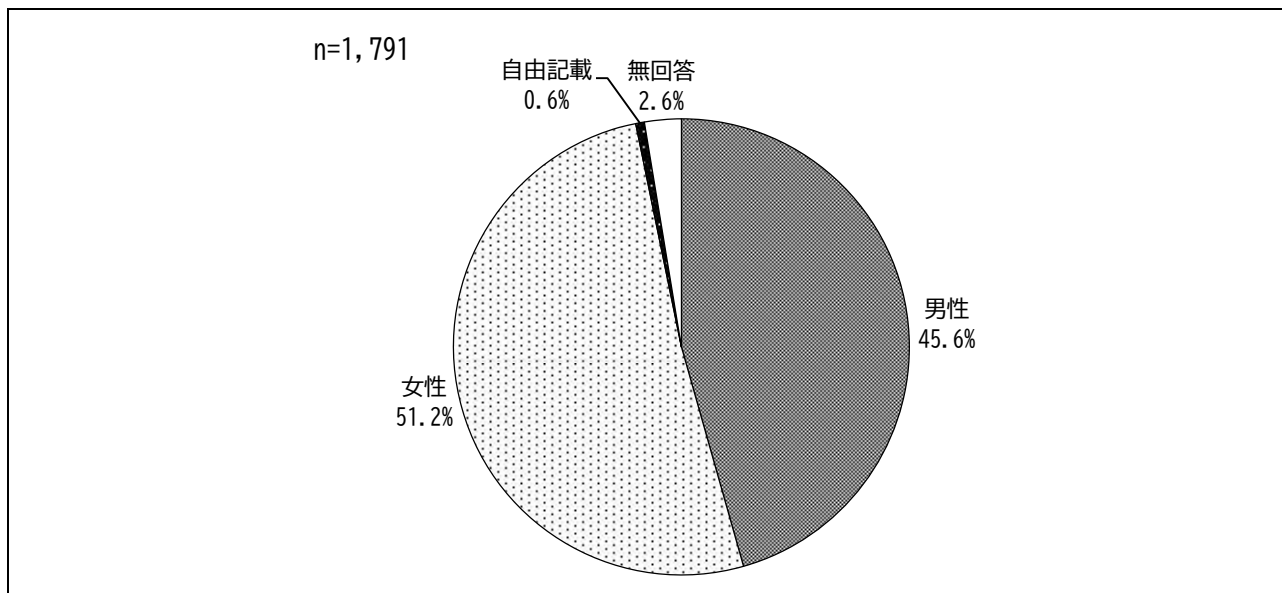
n \ p	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,791	±1.39	±1.85	±2.12	±2.27	±2.32
1,000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
300	±3.39	±4.53	±5.19	±5.54	±5.66
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

## 2 調査回答者の属性

### (1) 性別

回答者の性別は、「男性」が45.6%、「女性」が51.2%と、「女性」が「男性」を5.6ポイント上回っています。

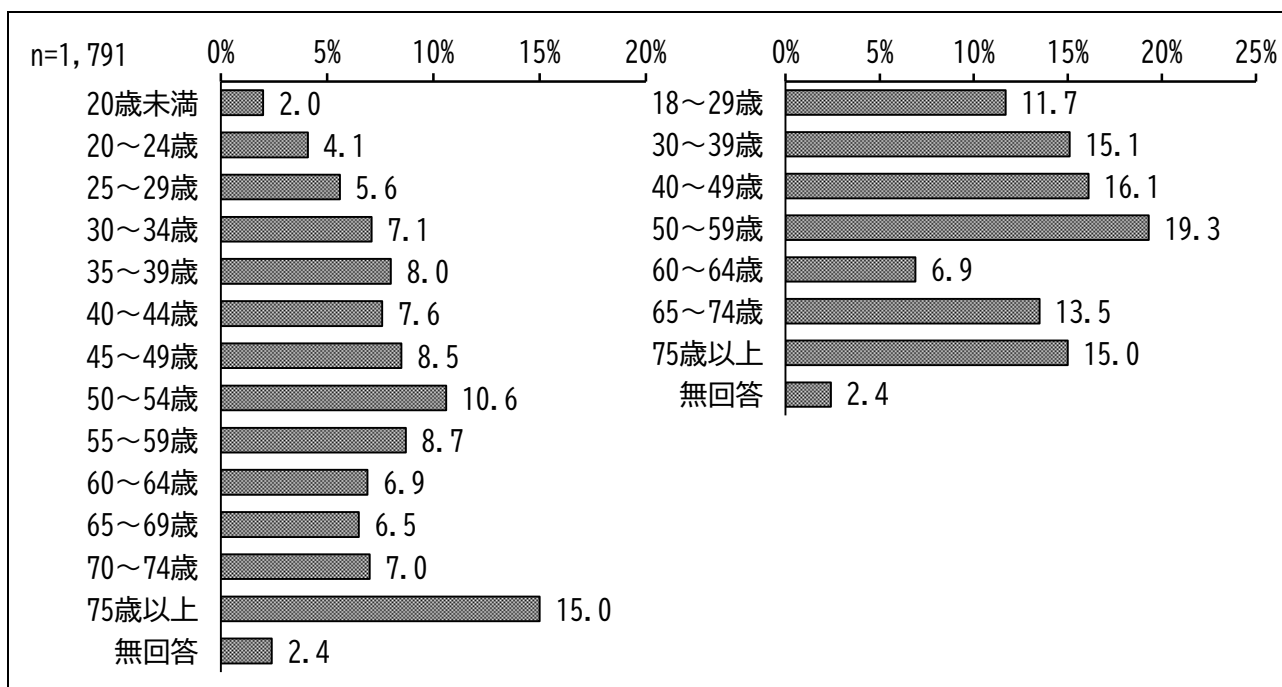
【F 1 性別】



### (2) 年齢

回答者の年齢は、「75歳以上」が15.0%で1割半ば、「50～54歳」が10.6%で約1割を占めています。

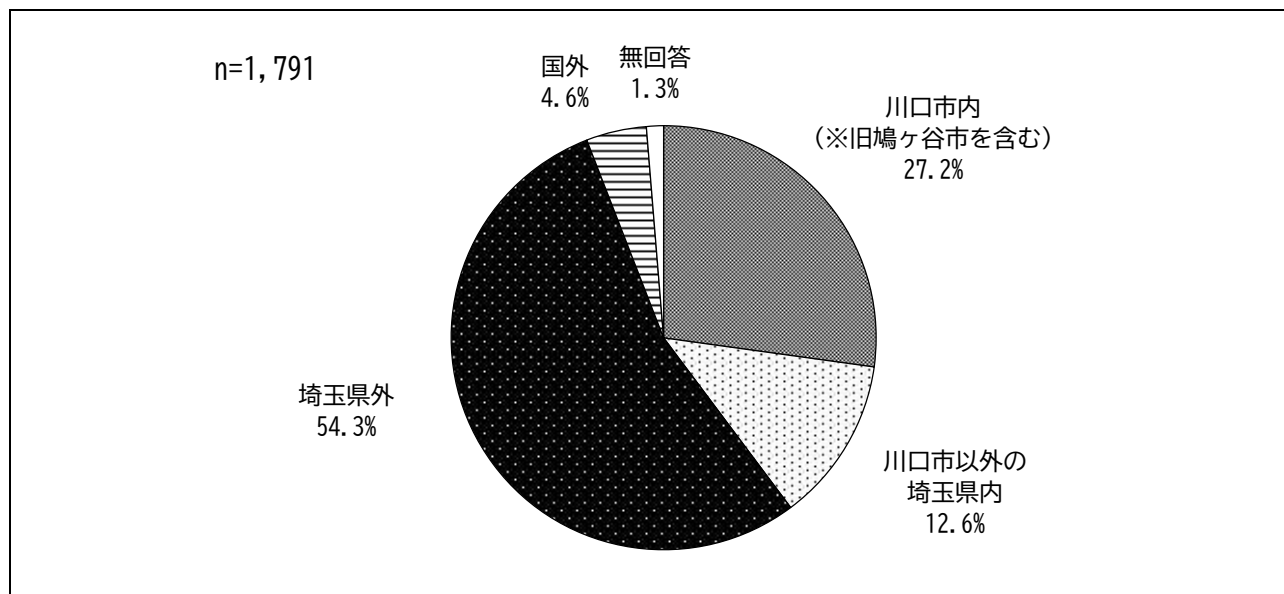
【F 2 年齢】



### (3) 出生地

回答者の出生地は、「埼玉県外」が54.3%と5割半ば近くを占めており、「川口市内(※旧鳩ヶ谷市を含む)」が27.2%と2割半ばを超えています。

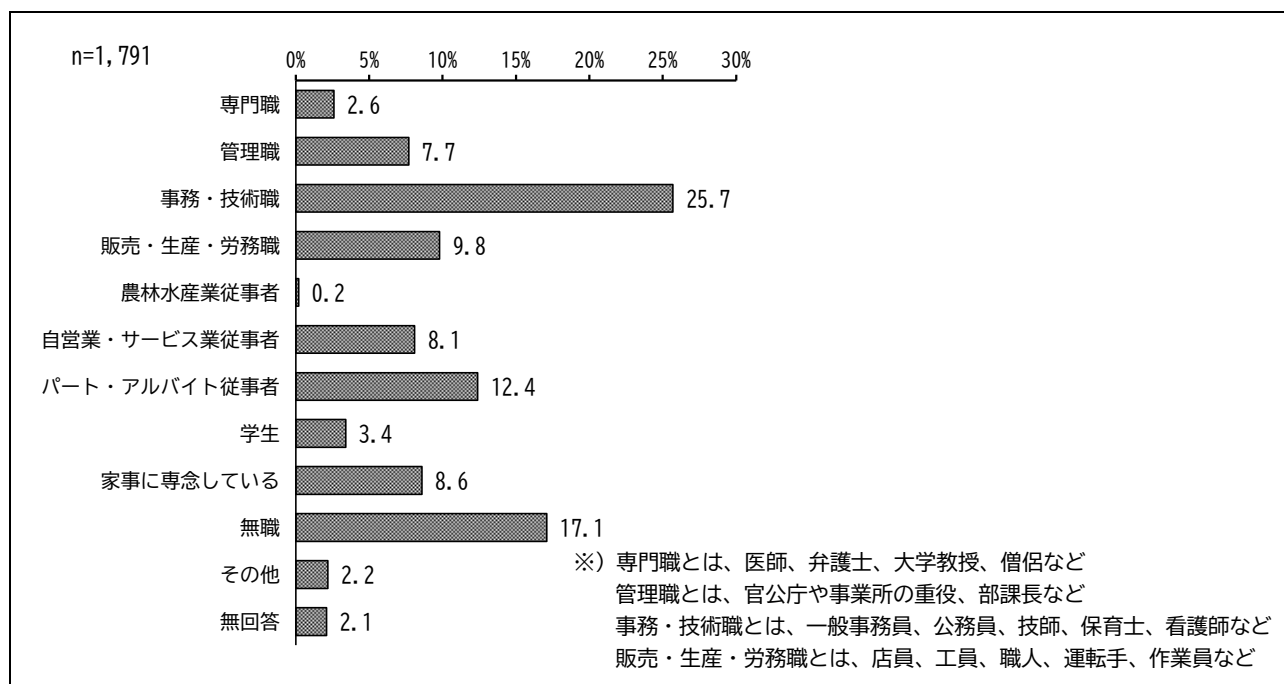
【F3 出生地】



### (4) 職業

回答者の職業は、「事務・技術職(一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など)」が25.7%で2割半ばと最も高く、「無職」が17.1%、「パート・アルバイト従事者」が12.4%、「販売・生産・労務職(店員、工員、職人、運転手、作業員など)」が9.8%と続いています。

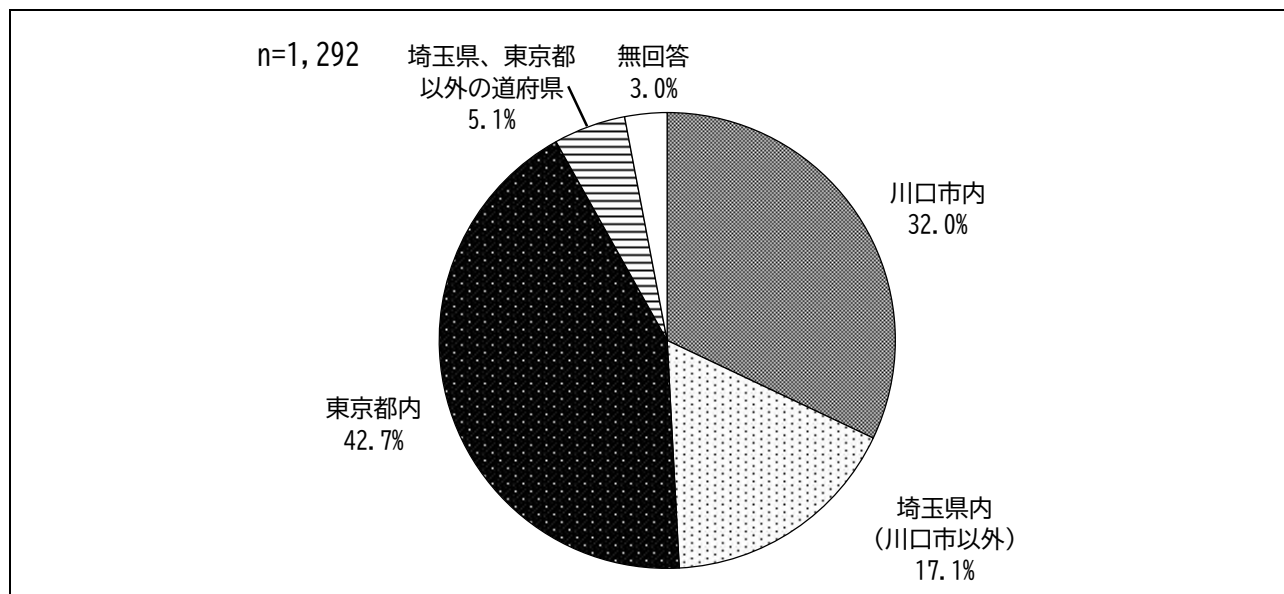
【F4 職業】



## (5) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「東京都内」が42.7%と4割を超えており、「川口市内」が32.0%と3割を超えて続いています。

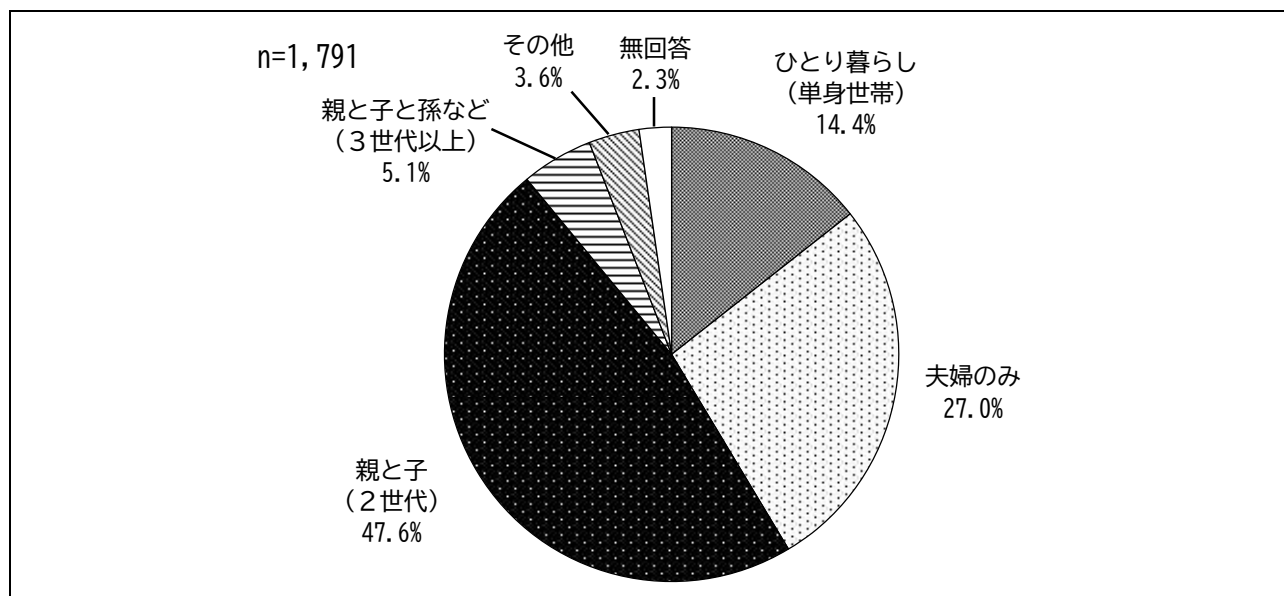
【F5 通勤・通学先】



## (6) 家族構成

回答者の家族構成は、「親と子(2世代)」が47.6%と4割半ばを超えており、「夫婦のみ」が27.0%、「ひとり暮らし(単身世帯)」が14.4%と続いています。

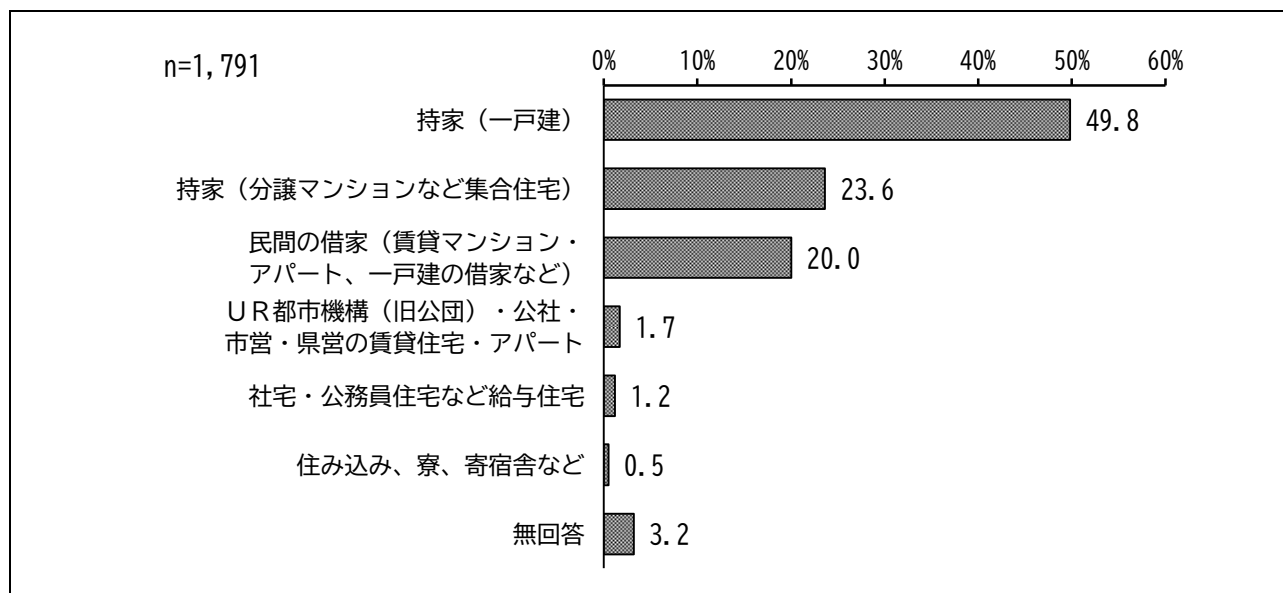
【F6 家族構成】



## (7) 住居形態

回答者の住居形態は、「持家(一戸建)」が49.8%と約5割を占めて最も高く、「持家(分譲マンションなど集合住宅)」が23.6%、「民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)」が20.0%と2割に達し続いています。

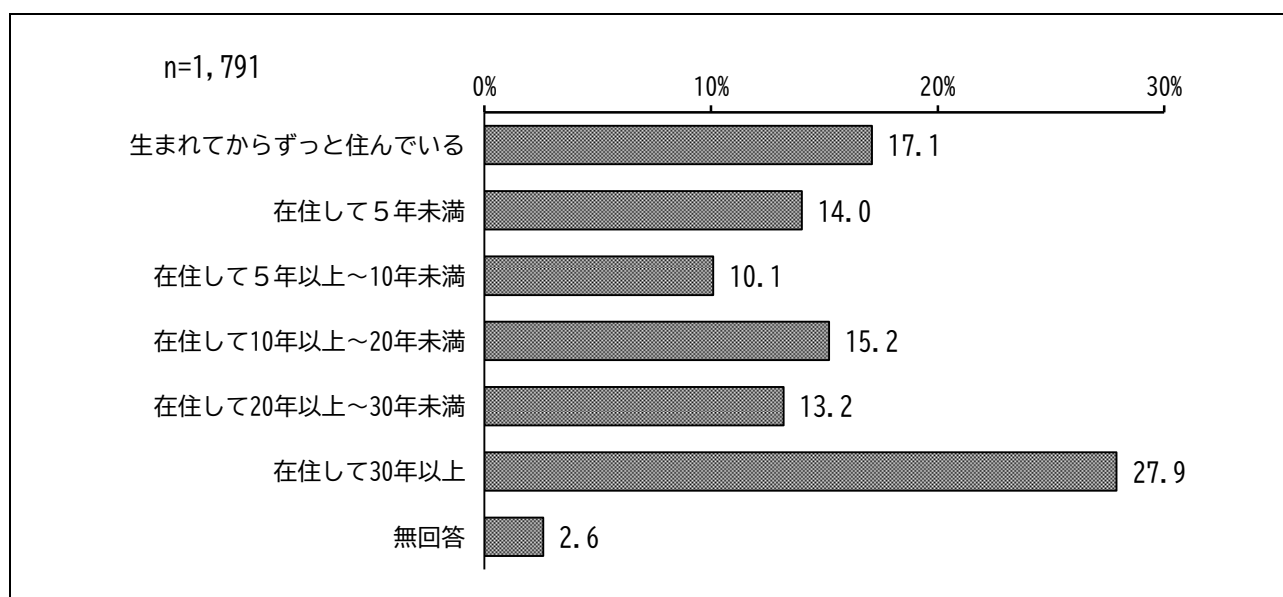
【F7 住居形態】



## (8) 居住年数

回答者の居住年数は、「在住して30年以上」が27.9%と2割半ばを超えて最も高く、「生まれてからずっと住んでいる」が17.1%、「在住して10年以上～20年未満」が15.2%、「在住して5年未満」が14.0%と続いています。

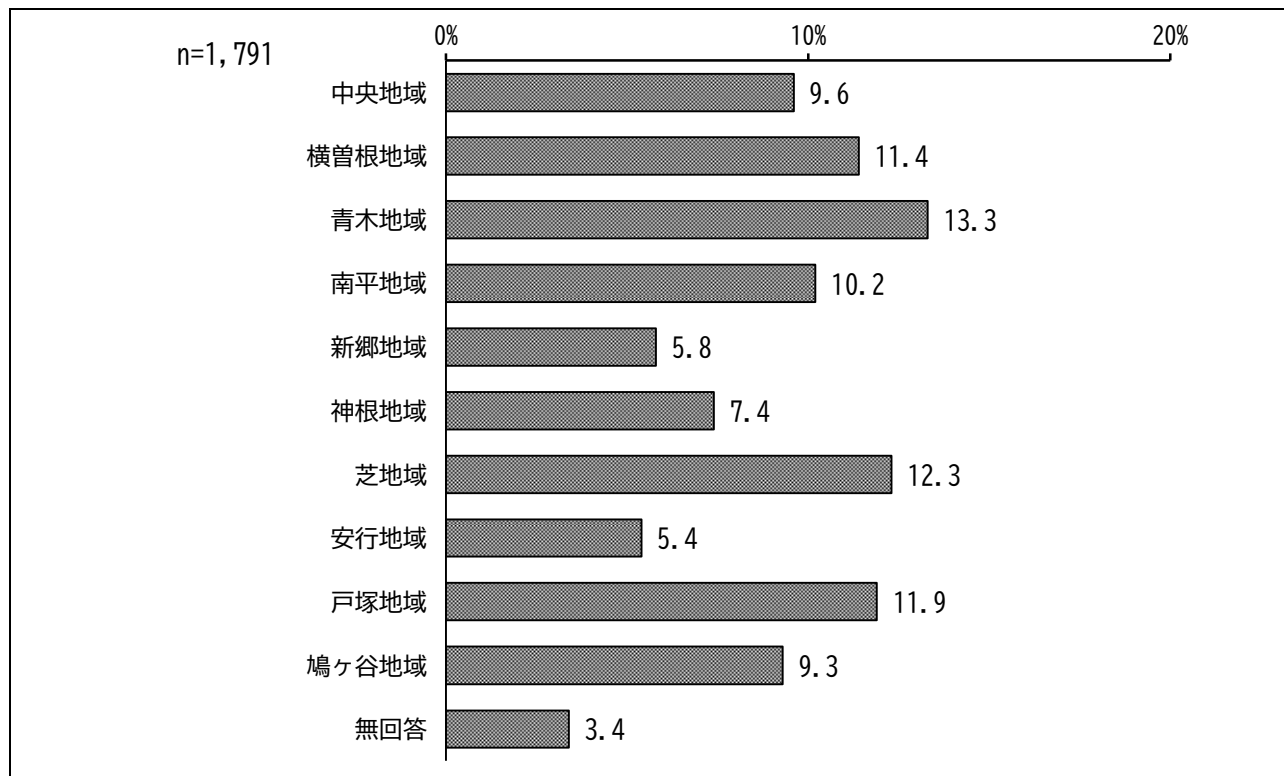
【F8 居住年数】



## (9) 居住地域

回答者の居住地域は、「青木地域」が13.3%、「芝地域」が12.3%、「戸塚地域」が11.9%、「横曽根地域」が11.4%、「南平地域」が10.2%で1割を超えています。

【F9 居住地域】





---

---

## 第2章 調査結果

---

---



# 1 川口市の居住意向

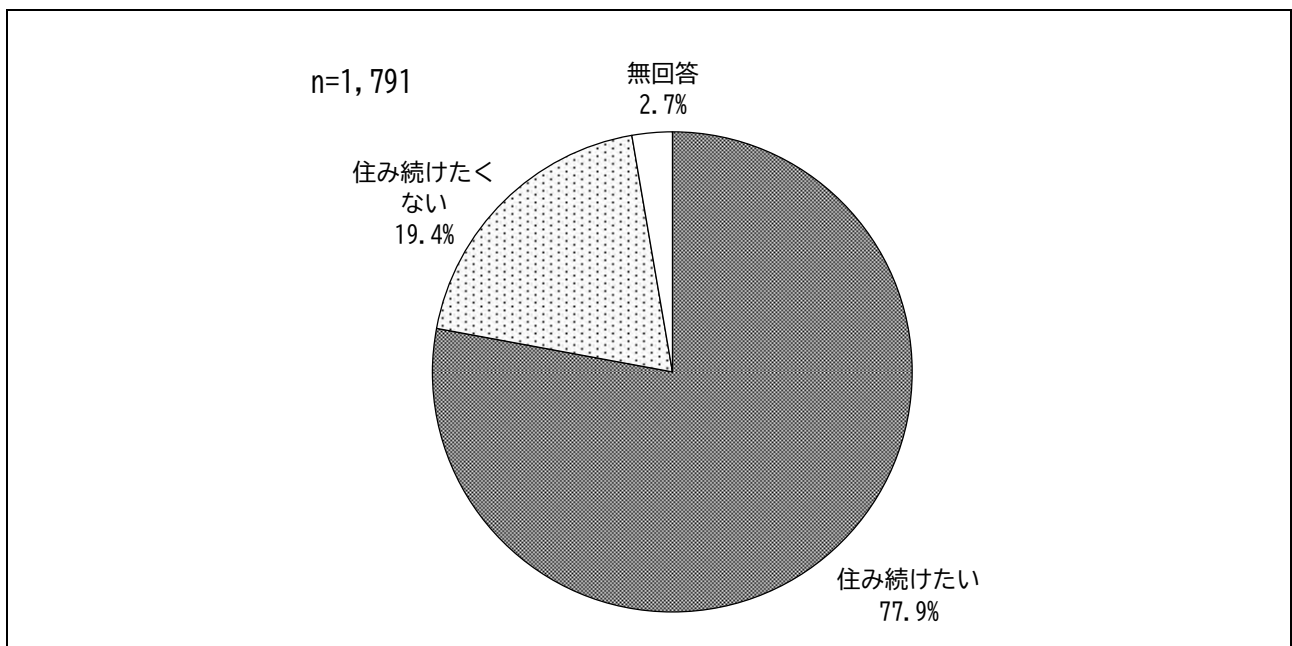
## (1) 居住意向

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

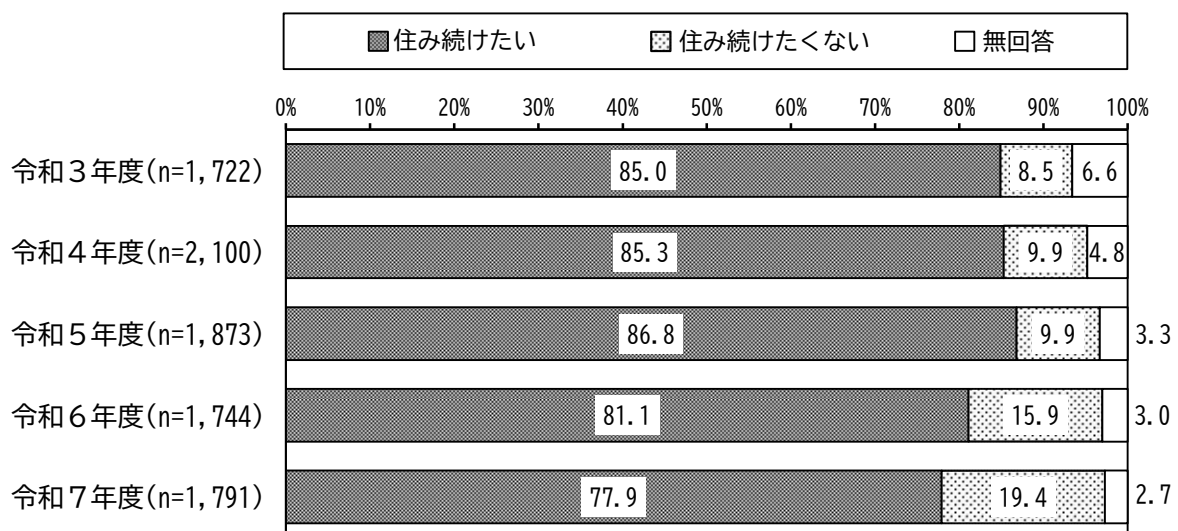
川口市の居住意向は、「住み続けたい」が77.9%で7割半ばを超えており、「住み続けたくない」は19.4%で約2割となっています。

居住意向の推移をみると令和6年度と比べ、「住み続けたい」は3.2ポイント減少しており、反対に「住み続けたくない」は3.5ポイント増加しています。

【居住意向（全体）】



【居住意向の推移】



## (2) 居住意向 (性別、性・年齢別)

性・年齢別にみると、「住みたい」は男性75歳以上(86.3%)、女性65～74歳(86.2%)、女性75歳以上(85.3%)で8割半ばを超えて高くなっています。

一方、「住みたくない」は女性18～29歳(34.2%)、女性40～49歳(31.1%)、男性18～29歳(31.0%)、女性30～39歳(30.9%)で3割を超えて高くなっています。

【居住意向 (性別、性・年齢別)】

		(人)	(%)		
		合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体		1,791	77.9	19.4	2.7
男性		817	78.7	18.7	2.6
女性		917	76.9	20.2	2.9
自由記載		11	● 63.6	☆ 36.4	0.0
男性	18～29歳	87	▲ 69.0	○ 31.0	0.0
	30～39歳	131	▲ 71.8	△ 25.2	3.1
	40～49歳	137	79.6	19.7	0.7
	50～59歳	158	80.4	17.7	1.9
	60～64歳	61	78.7	19.7	1.6
	65～74歳	117	82.1	▲ 12.8	5.1
	75歳以上	124	△ 86.3	● 8.9	4.8
女性	18～29歳	114	● 64.0	○ 34.2	1.8
	30～39歳	136	▲ 69.1	○ 30.9	0.0
	40～49歳	148	● 67.6	○ 31.1	1.4
	50～59歳	183	△ 83.1	15.3	1.6
	60～64歳	61	△ 83.6	▲ 13.1	3.3
	65～74歳	123	△ 86.2	▲ 11.4	2.4
	75歳以上	143	△ 85.3	★ 4.2	△ 10.5

### (3) 居住意向（出生地別）

出生地別にみると、「住み続けたい」は国外(90.4%)で約9割と高くなっています。

【居住意向（出生地別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
川口市内	487	79.7	17.5	2.9
川口市以外の埼玉県内	226	74.8	23.9	1.3
埼玉県外	972	76.4	20.6	3.0
国外	83	○ 90.4	● 8.4	1.2

### (4) 居住意向（職業別）

職業別にみると、「住み続けたい」は家事に専念している(84.4%)、無職(83.7%)で8割を超えて高くなっています。

一方、「住み続けたくない」は学生(32.8%)で3割を超えて最も高く、事務・技術職(25.8%)で2割半ばと高くなっています。

【居住意向（職業別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
専門職	46	78.3	21.7	0.0
管理職	138	76.1	23.2	0.7
事務・技術職	461	▲ 72.7	△ 25.8	1.5
販売・生産・労務職	176	80.7	16.5	2.8
農林水産業従事者	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
自営業・サービス業従事者	145	75.9	22.1	2.1
パート・アルバイト従事者	222	80.2	19.4	0.5
学生	61	● 67.2	○ 32.8	0.0
家事に専念している	154	△ 84.4	▲ 11.0	4.5
無職	307	△ 83.7	▲ 9.8	6.5
その他	40	▲ 72.5	22.5	5.0

## (5) 居住意向（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「住み続けたくない」は埼玉県内(川口市以外)(25.3%)、東京都内(25.0%)で2割半ばに達しています。

### 【居住意向（通勤・通学先別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
川口市内	414	79.0	18.8	2.2
埼玉県内（川口市以外）	221	73.3	△ 25.3	1.4
東京都内	552	74.3	△ 25.0	0.7
埼玉県、東京都以外の道府県	66	74.2	24.2	1.5
通勤・通学していない等	538	△ 83.1	▲ 11.0	5.9

## (6) 居住意向（家族構成別）

家族構成別にみると、「住み続けたい」は親と子と孫など(3世代以上)(80.4%)で8割を超えて最も高くなっています。

一方、「住み続けたくない」はその他(25.0%)で2割半ばと最も高くなっています。

### 【居住意向（家族構成別）】

	(人)		(%)	
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
ひとり暮らし（単身世帯）	258	77.9	18.2	3.9
夫婦のみ	484	78.7	17.8	3.5
親と子（2世代）	852	77.5	20.8	1.8
親と子と孫など（3世代以上）	92	80.4	15.2	4.3
その他	64	75.0	△ 25.0	0.0

## (7) 居住意向（住居形態別）

住居形態別にみると、「住み続けたい」はUR都市機構(旧公団)・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート(86.7%)で8割半ばを超えて高くなっています。

一方、「住み続けたくない」は民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)(27.3%)、で2割半ばを超えて高くなっています。

### 【居住意向（住居形態別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
持家（一戸建）	892	79.8	17.3	2.9
持家（分譲マンションなど集合住宅）	422	78.7	18.0	3.3
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	359	▲ 71.9	△ 27.3	0.8
UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート	30	△ 86.7	▲ 13.3	0.0
社宅・公務員住宅など給与住宅	21	★ 57.1	△ 28.6	○ 14.3
住み込み、寮、寄宿舍など	9	○ 88.9	▲ 11.1	0.0

## (8) 居住意向（居住年数別）

居住年数別にみると、「住み続けたい」は在住して30年以上(84.8%)で8割半ば近くと最も高くなっています。

一方、「住み続けたくない」は在住して5年未満(31.1%)で3割を超えて高くなっています。

### 【居住意向（居住年数別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
生まれてからずっと住んでいる	307	81.1	16.6	2.3
在住して5年未満	251	● 67.7	○ 31.1	1.2
在住して5年以上～10年未満	180	73.9	24.4	1.7
在住して10年以上～20年未満	272	74.6	23.9	1.5
在住して20年以上～30年未満	236	75.0	20.8	4.2
在住して30年以上	499	△ 84.8	▲ 11.2	4.0

## (9) 居住意向（居住地域別）

居住地域別にみると、「住み続けたい」は鳩ヶ谷地域(83.2%)、南平地域(83.1%)で8割を超えて高くなっています。

一方、「住み続けたくない」は、横曽根地域(26.5%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

### 【居住意向（居住地域別）】

	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,791	77.9	19.4	2.7
中央地域	172	80.8	16.3	2.9
横曽根地域	204	▲ 71.1	△ 26.5	2.5
青木地域	238	78.2	19.3	2.5
南平地域	183	△ 83.1	15.8	1.1
新郷地域	103	74.8	16.5	△ 8.7
神根地域	132	75.8	21.2	3.0
芝地域	221	76.5	19.5	4.1
安行地域	96	77.1	21.9	1.0
戸塚地域	214	76.6	22.9	0.5
鳩ヶ谷地域	167	△ 83.2	14.4	2.4

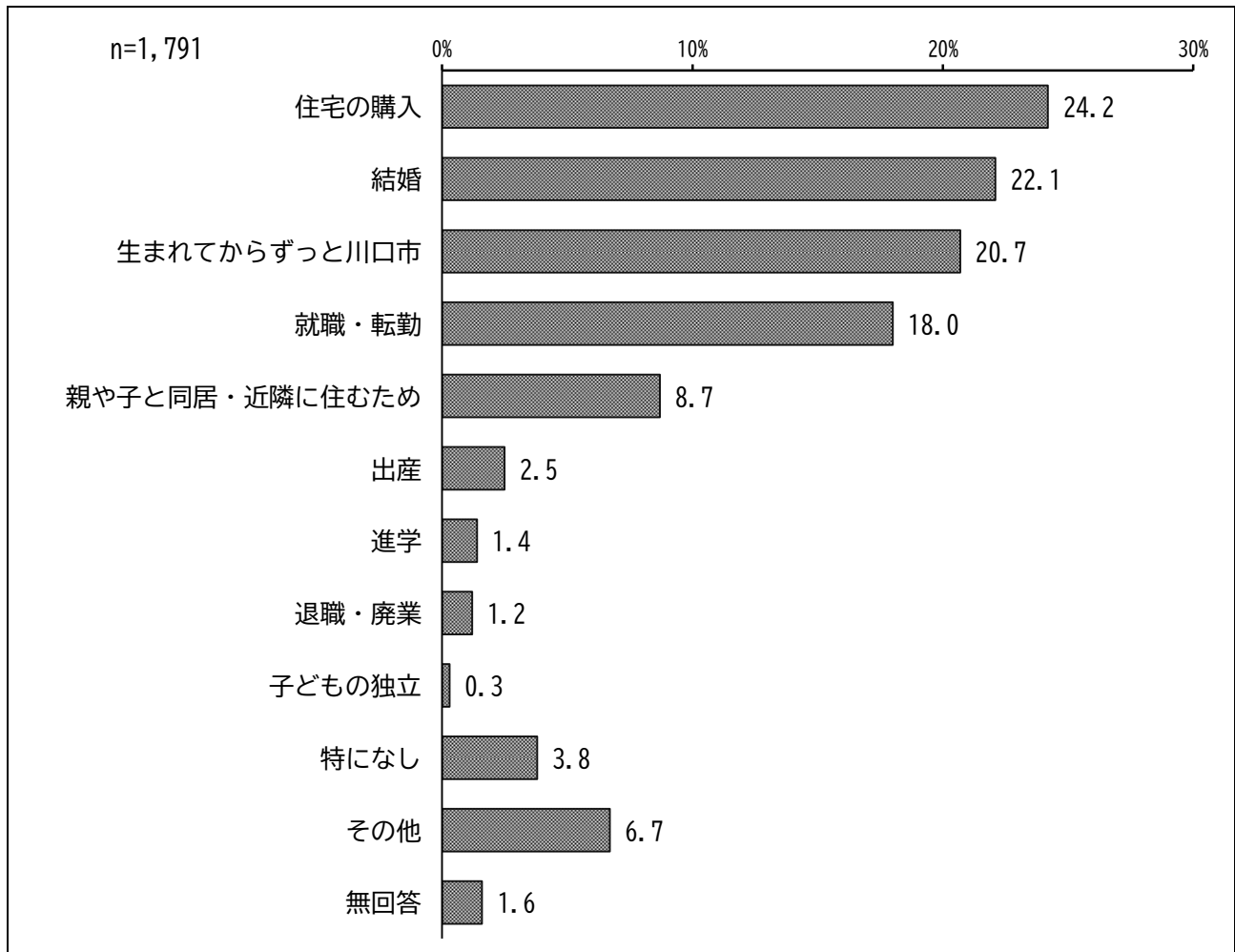
## 2 川口市に転入したきっかけ

### (1) 川口市に転入したきっかけ

問2 あなたが直前に住んでいた市区町村から転入したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

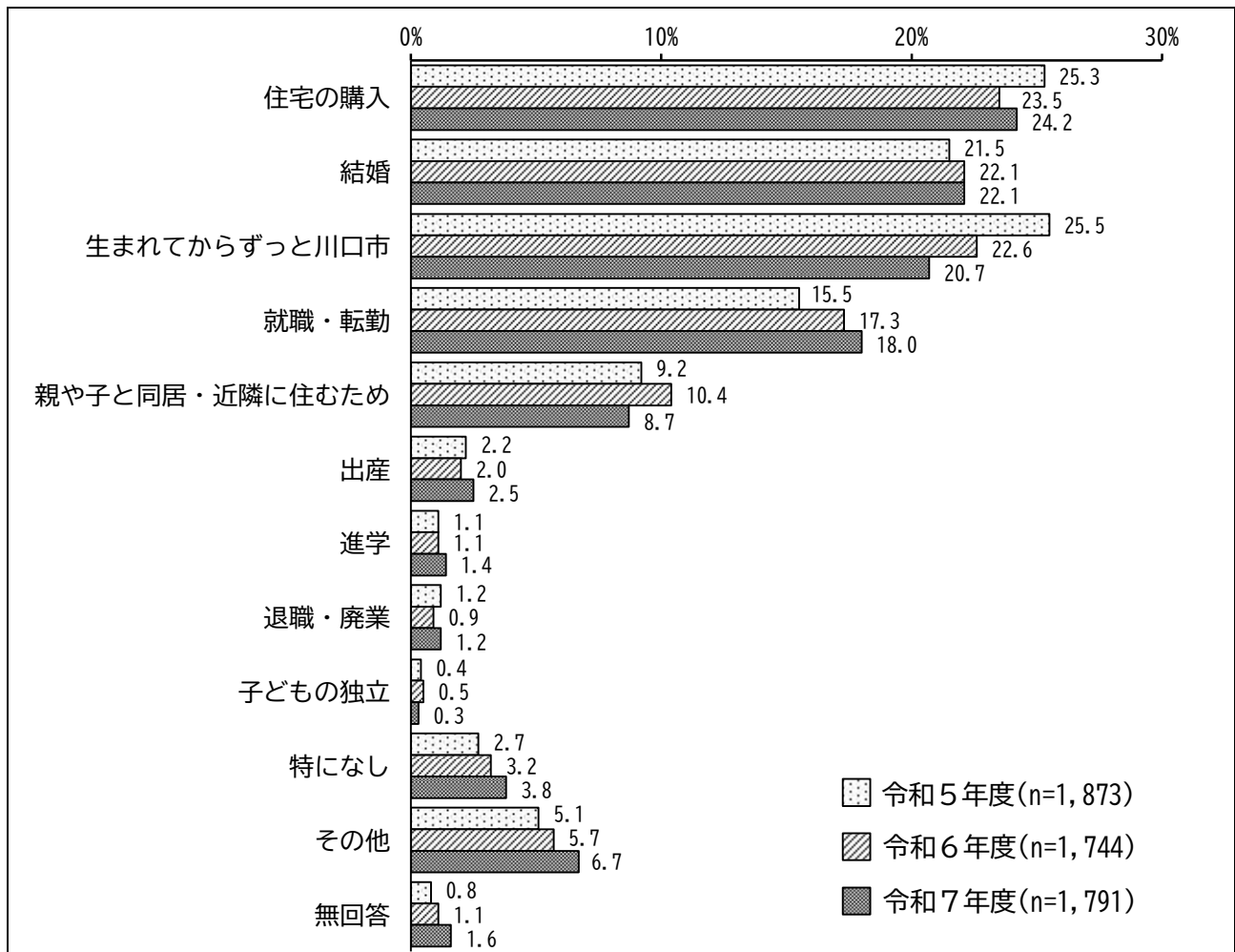
川口市に転入したきっかけは、「住宅の購入」が24.2%、「結婚」が22.1%、「生まれてからずっと川口市」が20.7%と2割台が続いています。

【川口市に転入したきっかけ (全体)】



川口市に転入したきっかけの推移をみると、令和6年度と比べ、「生まれてからずっと川口市」は1.9ポイント、「親や子と同居・近隣に住むため」は1.7ポイント、それぞれ減少しています。

【川口市に転入したきっかけの推移】



## (2) 川口市に転入したきっかけ (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「住宅の購入」は男性75歳以上(43.5%)で4割を超えて最も高く、女性60～64歳(39.3%)で約4割と高くなっています。

「結婚」は女性30～39歳(36.0%)で3割半ばを超えて最も高く、女性50～59歳(33.9%)で3割を超えて高くなっています。

「生まれてからずっと川口市」は男性18～29歳(55.2%)で5割半ばを超えて最も高く、女性18～29歳(39.5%)で約4割と高くなっています。

### 【川口市に転入したきっかけ (男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
住宅の購入	24.2	★ 1.1	21.4	29.2	25.9	▲ 18.0	△ 29.9	☆ 43.5
結婚	22.1	★ 4.6	17.6	24.1	22.8	18.0	▲ 14.5	● 8.9
生まれてからずっと川口市	20.7	☆ 55.2	▲ 11.5	21.9	19.0	23.0	24.8	16.1
就職・転勤	18.0	21.8	☆ 35.1	18.2	21.5	18.0	15.4	△ 24.2
親や子と同居・近隣に住むため	8.7	5.7	9.2	10.2	8.9	4.9	6.0	8.9
出産	2.5	2.3	2.3	4.4	1.9	0.0	1.7	0.8
進学	1.4	3.4	0.8	0.7	1.3	1.6	1.7	0.8
退職・廃業	1.2	0.0	0.8	0.0	0.6	1.6	△ 6.8	3.2
子どもの独立	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0
特になし	3.8	2.3	5.3	3.6	3.8	8.2	6.8	1.6
その他	6.7	2.3	11.5	3.6	5.7	8.2	4.3	7.3
無回答	1.6	2.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	3.2

### 【川口市に転入したきっかけ (女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
住宅の購入	24.2	★ 6.1	▲ 18.4	22.3	20.8	☆ 39.3	25.2	○ 35.7
結婚	22.1	● 9.6	○ 36.0	27.0	○ 33.9	△ 27.9	23.6	△ 28.7
生まれてからずっと川口市	20.7	☆ 39.5	▲ 15.4	23.0	20.2	● 9.8	18.7	● 7.0
就職・転勤	18.0	△ 23.7	14.0	14.2	▲ 12.0	● 4.9	▲ 11.4	▲ 11.9
親や子と同居・近隣に住むため	8.7	4.4	11.0	8.1	10.4	13.1	9.8	4.9
出産	2.5	0.9	7.4	3.4	1.6	3.3	0.8	2.1
進学	1.4	4.4	1.5	2.0	0.0	0.0	0.0	1.4
退職・廃業	1.2	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	1.6	2.1
子どもの独立	0.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.6	0.0
特になし	3.8	4.4	3.7	3.4	2.2	4.9	4.9	2.8
その他	6.7	8.8	5.1	3.4	4.9	4.9	△ 13.0	9.1
無回答	1.6	0.9	0.0	0.0	1.1	3.3	0.8	5.6

### (3) 川口市に転入したきっかけ（出生地別）

出生地別にみると、「住宅の購入」は埼玉県外(30.2%)、国外(30.1%)で約3割と高くなっています。  
 「結婚」は川口市以外の埼玉県内(37.2%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。  
 「生まれてからずっと川口市」は川口市内(64.1%)で6割半ば近くと最も高くなっています。  
 「就職・転勤」は国外(26.5%)、埼玉県外(23.6%)で2割を超えています。

【川口市に転入したきっかけ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	川口市内 (n=487)	川口市以外 の埼玉県内 (n=226)	埼玉県外 (n=972)	国外 (n=83)
住宅の購入	24.2	● 9.4	27.4	△ 30.2	△ 30.1
結婚	22.1	● 8.6	☆ 37.2	25.9	18.1
生まれてからずっと川口市	20.7	☆ 64.1	● 5.8	★ 4.2	★ 0.0
就職・転勤	18.0	● 6.4	16.4	△ 23.6	△ 26.5
親や子と同居・近隣に住むため	8.7	7.6	10.6	9.1	▲ 2.4
出産	2.5	1.0	4.4	2.6	6.0
進学	1.4	1.0	1.8	1.5	1.2
退職・廃業	1.2	1.4	1.3	1.2	0.0
子どもの独立	0.3	0.0	0.4	0.3	0.0
特になし	3.8	1.4	2.7	4.6	△ 12.0
その他	6.7	2.7	7.1	8.7	6.0
無回答	1.6	1.8	0.4	1.0	△ 8.4

#### (4) 川口市に転入したきっかけ (居住地域別)

居住地域別にみると、「住宅の購入」は安行地域(30.2%)、南平地域(30.1%)で約3割と高くなっています。

「結婚」は安行地域(28.1%)、戸塚地域(27.6%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「生まれてからずっと川口市」は神根地域(31.1%)で3割を超えて最も高く、青木地域(26.5%)、新郷地域(25.2%)で2割半ばを超えて高くなっています。

#### 【川口市に転入したきっかけ (居住地域別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
住宅の購入	24.2	26.2	21.6	20.6	△ 30.1	25.2	24.2	24.4	△ 30.2	24.3	▲ 18.6
結婚	22.1	23.8	20.6	21.4	19.7	▲ 16.5	20.5	19.5	△ 28.1	△ 27.6	25.1
生まれてからずっと川口市	20.7	● 9.9	19.1	△ 26.5	19.7	25.2	○ 31.1	16.7	25.0	17.3	24.0
就職・転勤	18.0	21.5	19.6	17.6	17.5	▲ 8.7	14.4	22.2	17.7	19.6	▲ 11.4
親や子と同居・近隣に住むため	8.7	7.0	10.8	8.4	10.4	10.7	13.6	5.9	4.2	5.1	10.8
出産	2.5	3.5	2.9	1.3	2.7	2.9	3.0	3.2	1.0	2.8	1.8
進学	1.4	2.9	2.5	0.8	1.1	1.0	0.8	0.5	1.0	1.9	1.2
退職・廃業	1.2	0.6	2.9	0.4	1.1	0.0	2.3	0.9	1.0	0.5	1.8
子どもの独立	0.3	1.2	0.5	0.4	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	3.8	5.8	3.4	4.2	0.5	7.8	0.8	5.0	1.0	5.1	4.8
その他	6.7	5.2	7.8	4.2	7.7	3.9	5.3	8.6	5.2	7.9	7.2
無回答	1.6	1.7	0.5	1.7	1.1	△ 6.8	1.5	1.4	0.0	0.5	1.2

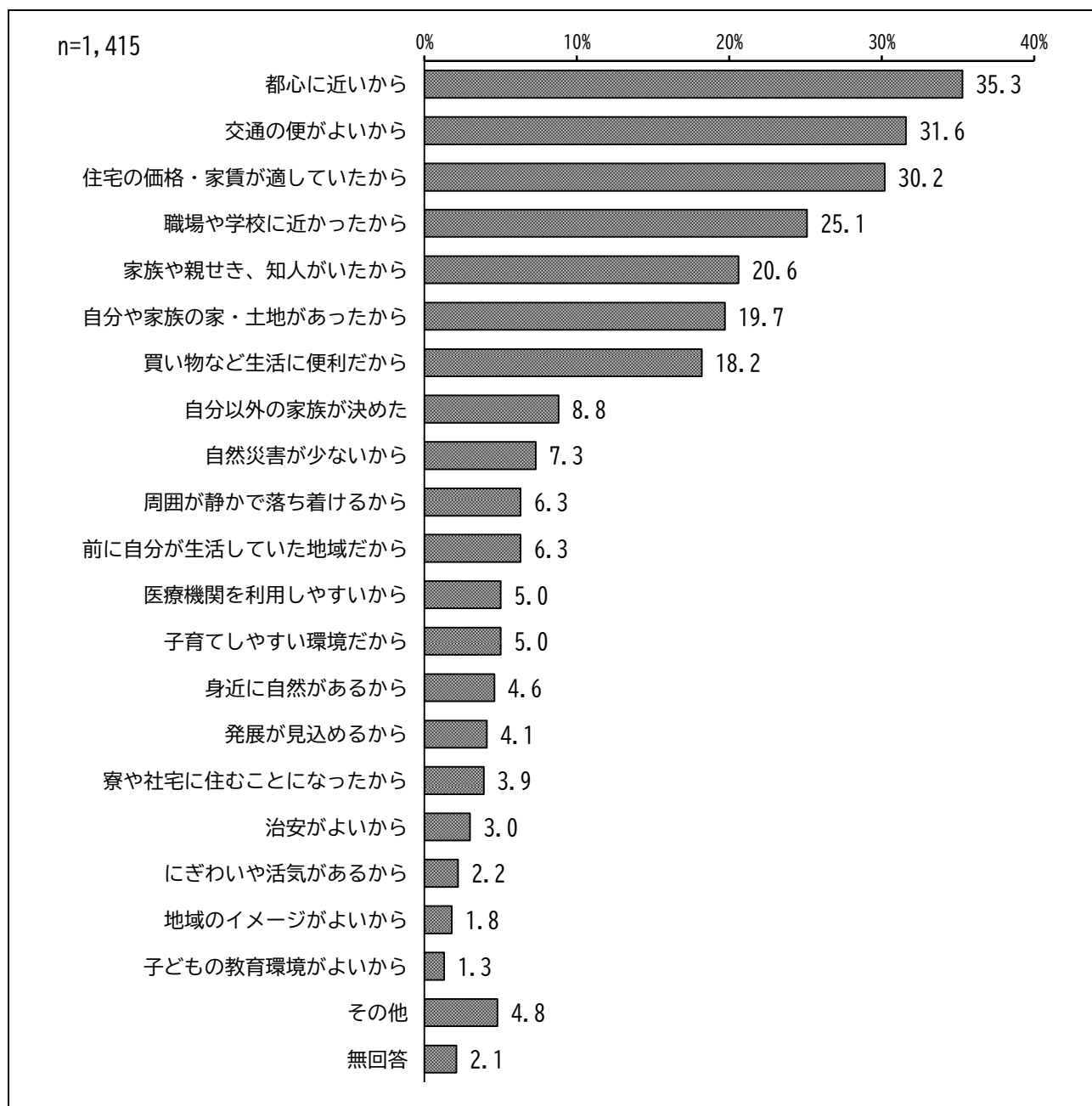
### 3 川口市を選んだ理由

#### (1) 川口市を選んだ理由

問3 あなたが川口市を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

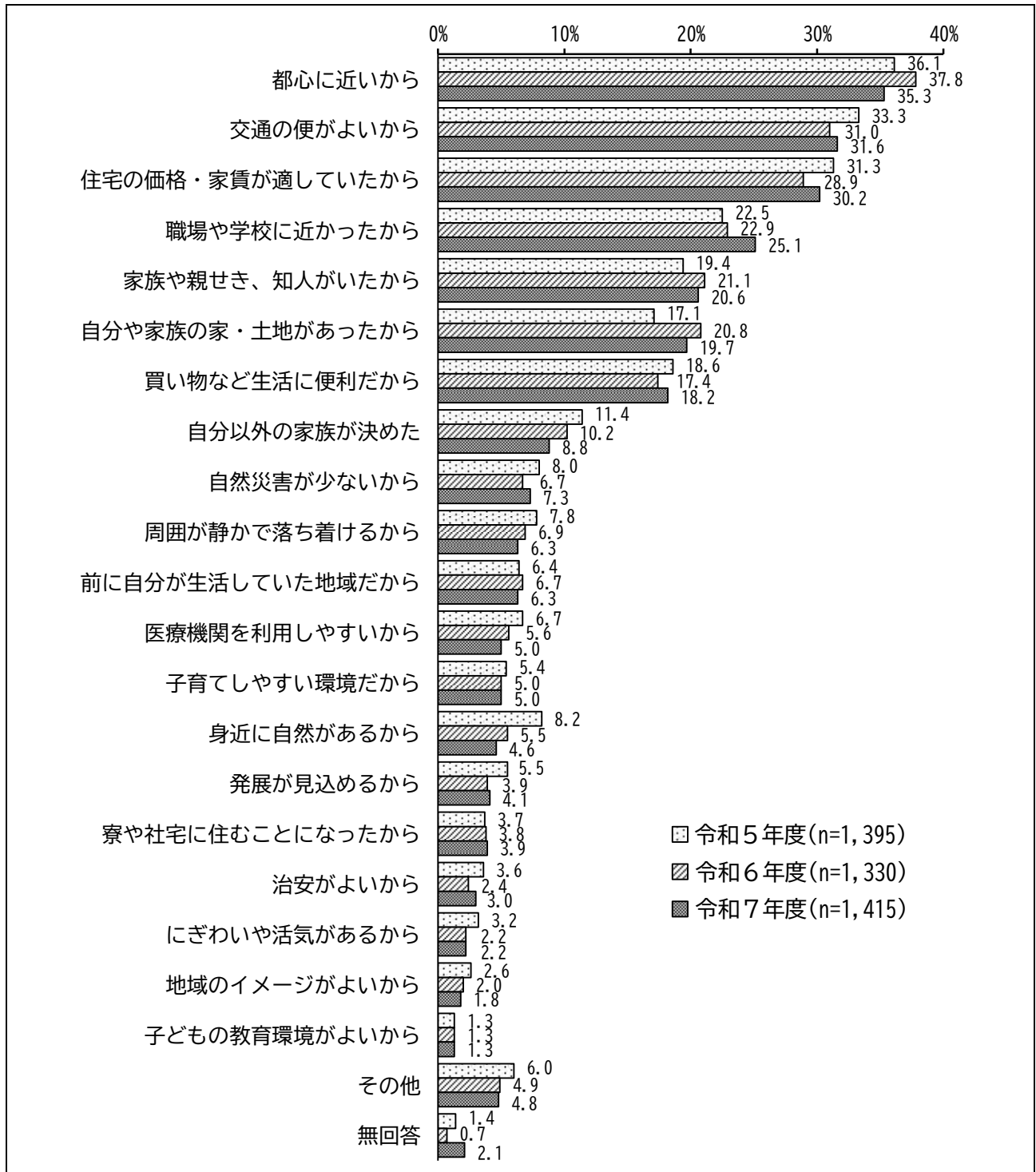
川口市に転入したきっかけで「生まれてからずっと川口市」以外と回答した1,415人の川口市を選んだ理由は、「都心に近いから」が35.3%で3割半ばと最も高く、「交通の便がよいから」が31.6%、「住宅の価格・家賃が適していたから」が30.2%、「職場や学校に近かったから」が25.1%と続いています。

【川口市を選んだ理由（全体）】



川口市を選んだ理由の推移をみると、令和6年度と比べ、「職場や学校に近かったから」は2.2ポイント増加しています。一方、「都心に近いから」は2.5ポイント減少しています。

### 【川口市を選んだ理由の推移】



## (2) 川口市を選んだ理由（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「都心に近いから」は男性50～59歳(42.2%)、男性30～39歳(41.4%)で4割を超えて高くなっています。

「交通の便がよいから」は女性60～64歳(43.6%)で4割を超えて最も高く、男性50～59歳(39.1%)で約4割と高くなっています。

「住宅の価格・家賃が適していたから」は男性50～59歳(39.1%)、男性40～49歳(38.3%)、女性30～39歳(37.4%)、男性30～39歳(37.1%)、男性75歳以上(35.6%)で3割半ばを超えて高くなっています。

### 【川口市を選んだ理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,415)	男性						
		18～29歳 (n=38)	30～39歳 (n=116)	40～49歳 (n=107)	50～59歳 (n=128)	60～64歳 (n=47)	65～74歳 (n=88)	75歳以上 (n=104)
都心に近いから	35.3	34.2	△ 41.4	40.2	△ 42.2	36.2	38.6	35.6
交通の便がよいから	31.6	28.9	33.6	34.6	△ 39.1	▲ 23.4	30.7	31.7
住宅の価格・家賃が適していたから	30.2	● 15.8	△ 37.1	△ 38.3	△ 39.1	29.8	33.0	△ 35.6
職場や学校に近かったから	25.1	△ 34.2	△ 33.6	△ 33.6	28.9	△ 34.0	△ 33.0	20.2
家族や親せき、知人がいたから	20.6	● 10.5	18.1	△ 29.0	25.0	25.5	20.5	17.3
自分や家族の家・土地があったから	19.7	▲ 13.2	▲ 12.1	16.8	18.8	14.9	18.2	▲ 13.5
買い物など生活に便利だから	18.2	15.8	18.1	20.6	22.7	14.9	21.6	17.3
自分以外の家族が決めた	8.8	7.9	4.3	4.7	4.7	6.4	8.0	5.8
自然災害が少ないから	7.3	5.3	2.6	6.5	4.7	▲ 2.1	8.0	△ 17.3
周囲が静かで落ち着けるから	6.3	5.3	4.3	4.7	5.5	6.4	10.2	△ 11.5
前に自分が生活していた地域だから	6.3	2.6	8.6	7.5	7.0	8.5	8.0	▲ 1.0
医療機関を利用しやすいから	5.0	2.6	0.9	2.8	3.9	0.0	8.0	△ 12.5
子育てしやすい環境だから	5.0	0.0	4.3	8.4	7.0	4.3	0.0	2.9
身近に自然があるから	4.6	2.6	2.6	3.7	3.1	2.1	5.7	6.7
発展が見込めるから	4.1	2.6	3.4	6.5	5.5	6.4	3.4	6.7
寮や社宅に住むことになったから	3.9	7.9	4.3	2.8	5.5	4.3	6.8	8.7
治安がよいから	3.0	2.6	0.9	1.9	3.1	4.3	1.1	1.9
にぎわいや活気があるから	2.2	5.3	2.6	0.9	3.1	4.3	1.1	1.0
地域のイメージがよいから	1.8	0.0	0.9	2.8	2.3	0.0	3.4	0.0
子どもの教育環境がよいから	1.3	0.0	1.7	1.9	0.8	0.0	0.0	2.9
その他	4.8	7.9	6.0	3.7	3.1	6.4	3.4	1.9
無回答	2.1	2.6	0.9	0.9	3.1	2.1	0.0	3.8

【川口市を選んだ理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,415)	女性						
		18～29歳 (n=69)	30～39歳 (n=115)	40～49歳 (n=114)	50～59歳 (n=146)	60～64歳 (n=55)	65～74歳 (n=100)	75歳以上 (n=133)
都心に近いから	35.3	31.9	35.7	37.7	32.2	32.7	▲ 30.0	▲ 27.1
交通の便がよいから	31.6	▲ 26.1	32.2	33.3	28.8	○ 43.6	27.0	27.1
住宅の価格・家賃が適していたから	30.2	★ 14.5	△ 37.4	34.2	28.1	▲ 23.6	27.0	● 17.3
職場や学校に近かったから	25.1	△ 34.8	28.7	20.2	▲ 16.4	● 14.5	▲ 18.0	▲ 17.3
家族や親せき、知人がいたから	20.6	▲ 14.5	20.9	18.4	19.9	● 9.1	25.0	22.6
自分や家族の家・土地があったから	19.7	23.2	20.0	15.8	△ 25.3	△ 27.3	24.0	21.8
買い物など生活に便利だから	18.2	15.9	18.3	17.5	20.5	16.4	▲ 9.0	18.0
自分以外の家族が決めた	8.8	△ 17.4	5.2	11.4	△ 14.4	10.9	11.0	10.5
自然災害が少ないから	7.3	5.8	4.3	2.6	4.1	9.1	10.0	△ 15.0
周囲が静かで落ち着けるから	6.3	2.9	▲ 0.9	3.5	4.1	7.3	5.0	△ 12.0
前に自分が生活していた地域だから	6.3	5.8	4.3	7.9	8.2	5.5	8.0	1.5
医療機関を利用しやすいから	5.0	0.0	3.5	0.9	5.5	5.5	5.0	△ 11.3
子育てしやすい環境だから	5.0	5.8	6.1	7.9	7.5	1.8	5.0	2.3
身近に自然があるから	4.6	0.0	2.6	0.9	5.5	3.6	6.0	△ 9.8
発展が見込めるから	4.1	0.0	3.5	3.5	3.4	1.8	2.0	5.3
寮や社宅に住むことになったから	3.9	4.3	0.9	1.8	3.4	0.0	4.0	3.8
治安がよいから	3.0	1.4	0.9	0.9	3.4	3.6	5.0	△ 8.3
にぎわいや活気があるから	2.2	4.3	4.3	0.9	2.7	0.0	0.0	0.8
地域のイメージがよいから	1.8	0.0	0.9	3.5	3.4	0.0	3.0	1.5
子どもの教育環境がよいから	1.3	0.0	0.9	1.8	2.1	0.0	0.0	3.0
その他	4.8	1.4	5.2	4.4	2.7	5.5	8.0	6.0
無回答	2.1	1.4	0.9	0.9	2.1	3.6	2.0	5.3

### (3) 川口市を選んだ理由（出生地別）

出生地別にみると、「都心に近いから」は国外(41.0%)で4割を超えて最も高くなっています。

「交通の便がよいから」は埼玉県外(33.2%)、国外(30.8%)、川口市以外の埼玉県内(30.5%)で3割を超えて高くなっています。

「住宅の価格・家賃が適していたから」は国外(33.3%)と埼玉県外(32.1%)で3割を超えて高くなっています。

「家族や親せき、知人がいたから」は川口市内(34.3%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「自分や家族の家・土地があったから」は川口市内(34.9%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「買い物など生活に便利だから」は国外(26.9%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

#### 【川口市を選んだ理由（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,415)	川口市内 (n=175)	川口市以外 の埼玉県内 (n=213)	埼玉県外 (n=931)	国外 (n=78)
都心に近いから	35.3	▲ 29.1	32.4	36.9	△ 41.0
交通の便がよいから	31.6	▲ 25.7	30.5	33.2	30.8
住宅の価格・家賃が適していたから	30.2	▲ 24.0	26.8	32.1	33.3
職場や学校に近かったから	25.1	22.9	26.3	25.5	25.6
家族や親せき、知人がいたから	20.6	○ 34.3	20.2	18.9	▲ 14.1
自分や家族の家・土地があったから	19.7	☆ 34.9	23.5	16.0	15.4
買い物など生活に便利だから	18.2	17.1	20.2	17.5	△ 26.9
自分以外の家族が決めた	8.8	5.7	9.4	9.3	10.3
自然災害が少ないから	7.3	7.4	5.6	7.4	10.3
周囲が静かで落ち着けるから	6.3	6.9	4.2	6.3	10.3
前に自分が生活していた地域だから	6.3	○ 18.3	7.0	3.3	△ 11.5
医療機関を利用しやすいから	5.0	6.3	4.7	4.8	5.1
子育てしやすい環境だから	5.0	6.3	4.7	4.3	△ 12.8
身近に自然があるから	4.6	5.1	3.8	4.4	6.4
発展が見込めるから	4.1	3.4	2.3	4.7	3.8
寮や社宅に住むことになったから	3.9	1.1	2.8	4.7	3.8
治安がよいから	3.0	3.4	1.4	3.0	5.1
にぎわいや活気があるから	2.2	1.1	2.8	2.1	3.8
地域のイメージがよいから	1.8	3.4	0.9	1.4	6.4
子どもの教育環境がよいから	1.3	2.9	0.5	1.1	2.6
その他	4.8	2.9	5.6	5.0	3.8
無回答	2.1	6.3	0.9	1.5	2.6

#### (4) 川口市を選んだ理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「都心に近いから」は中央地域(56.5%)で5割半ばを超えて最も高く、横曽根地域(49.1%)で5割近くと高くなっています。

「交通の便がよいから」は中央地域(48.1%)、横曽根地域(46.7%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「住宅の価格・家賃が適していたから」は中央地域(40.3%)で約4割と最も高く、横曽根地域(35.8%)で3割半ばと高くなっています。

#### 【川口市を選んだ理由（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,415)	中央 地域 (n=154)	横曽根 地域 (n=165)	青木 地域 (n=174)	南平 地域 (n=147)	新郷 地域 (n=75)	神根 地域 (n=90)	芝 地域 (n=184)	安行 地域 (n=72)	戸塚 地域 (n=177)	鳩ヶ谷 地域 (n=127)
都心に近いから	35.3	☆ 56.5	○ 49.1	39.7	35.4	▲ 25.3	● 21.1	32.1	● 20.8	● 20.9	37.0
交通の便がよいから	31.6	☆ 48.1	☆ 46.7	27.6	27.9	★ 12.0	▲ 22.2	34.8	★ 11.1	32.2	27.6
住宅の価格・家賃が適していたから	30.2	○ 40.3	△ 35.8	25.3	31.3	28.0	34.4	27.7	27.8	28.2	29.1
職場や学校に近かったから	25.1	22.7	21.8	22.4	△ 31.3	● 13.3	23.3	△ 30.4	27.8	28.2	23.6
家族や親せき、知人がいたから	20.6	20.1	18.8	23.0	20.4	17.3	23.3	17.9	22.2	20.3	21.3
自分や家族の家・土地があったから	19.7	▲ 11.0	18.8	23.6	20.4	14.7	20.0	18.5	19.4	19.8	△ 25.2
買い物など生活に便利だから	18.2	☆ 35.7	23.0	13.8	15.6	▲ 10.7	13.3	19.0	▲ 9.7	16.9	13.4
自分以外の家族が決めた	8.8	5.8	7.9	9.2	10.2	6.7	8.9	9.2	△ 13.9	7.3	13.4
自然災害が少ないから	7.3	3.2	5.5	4.6	3.4	9.3	△ 15.6	10.3	9.7	7.9	5.5
周囲が静かで落ち着けるから	6.3	1.9	4.2	2.9	4.1	△ 14.7	5.6	6.0	△ 12.5	10.2	5.5
前に自分が生活していた地域だから	6.3	5.2	6.1	4.6	4.8	8.0	3.3	6.5	8.3	7.9	6.3
医療機関を利用しやすいから	5.0	4.5	4.8	6.3	2.7	4.0	8.9	3.8	5.6	4.0	3.1
子育てしやすい環境だから	5.0	5.2	4.2	2.9	3.4	4.0	5.6	6.0	6.9	9.0	1.6
身近に自然があるから	4.6	4.5	1.8	2.3	2.0	△ 10.7	△ 10.0	2.2	4.2	9.6	1.6
発展が見込めるから	4.1	7.1	5.5	2.3	2.7	5.3	2.2	3.8	2.8	4.0	5.5
寮や社宅に住むことになったから	3.9	3.9	6.1	3.4	4.8	4.0	4.4	4.3	2.8	4.5	0.0
治安がよいから	3.0	1.3	2.4	2.3	2.0	2.7	5.6	4.3	1.4	2.8	3.1
にぎわいや活気があるから	2.2	△ 9.1	3.0	0.6	0.7	1.3	1.1	1.1	4.2	1.1	0.0
地域のイメージがよいから	1.8	0.0	1.2	1.7	3.4	4.0	0.0	2.2	4.2	1.7	2.4
子どもの教育環境がよいから	1.3	0.6	1.2	1.1	0.7	4.0	1.1	0.5	1.4	2.8	0.0
その他	4.8	4.5	4.2	5.2	5.4	△ 10.7	3.3	4.3	4.2	4.0	3.9
無回答	2.1	1.3	0.0	2.3	2.7	6.7	3.3	2.2	1.4	0.0	3.1

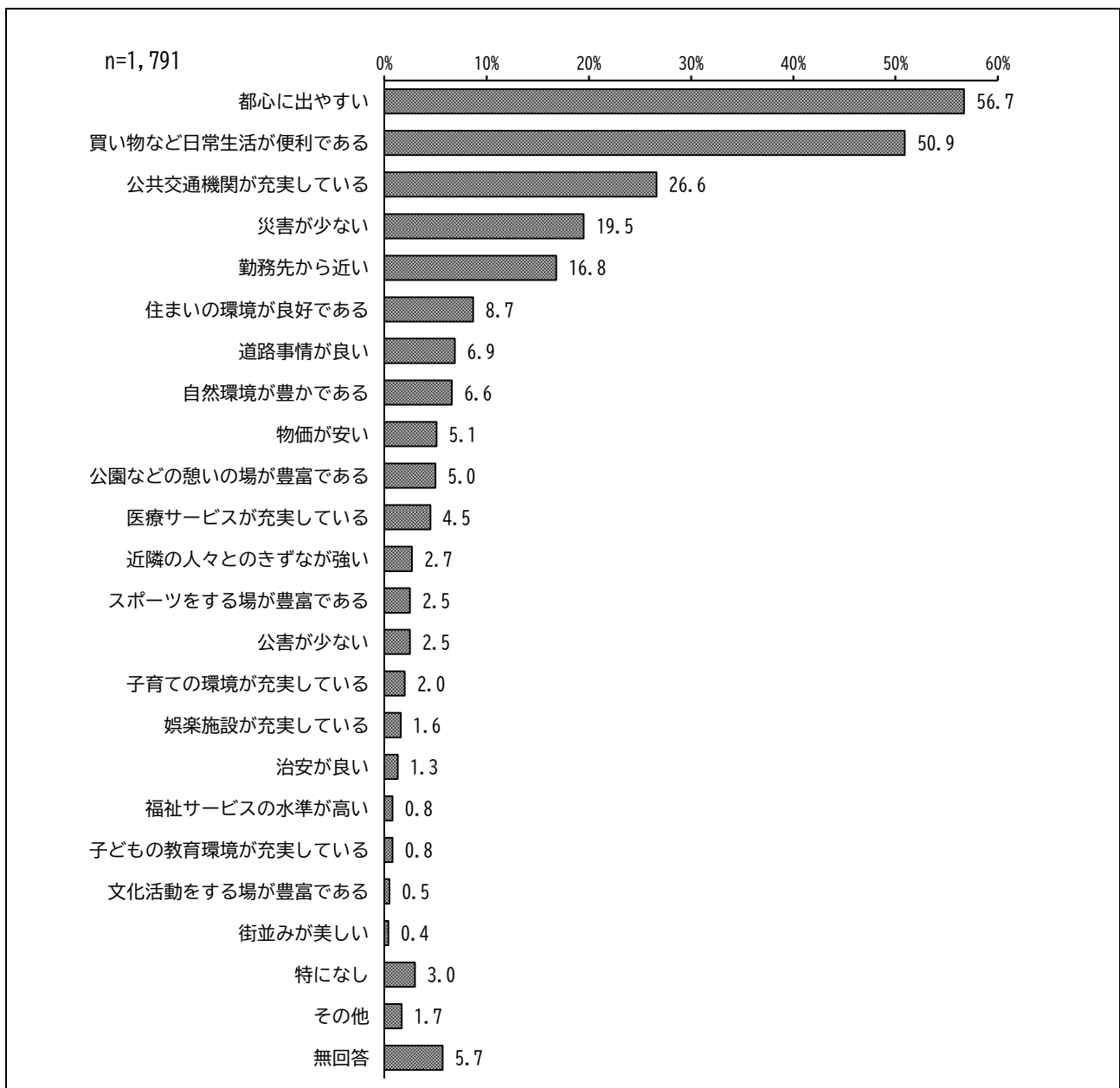
## 4 川口市の良いところ・好きなところ

### (1) 川口市の良いところ・好きなところ

問4 (1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。(○は3つまで)

川口市の良いところ・好きなところは、「都心に出やすい」が56.7%で5割半ばを超えて最も高く、「買い物など日常生活が便利である」が50.9%、「公共交通機関が充実している」が26.6%、「災害が少ない」が19.5%と続いています。

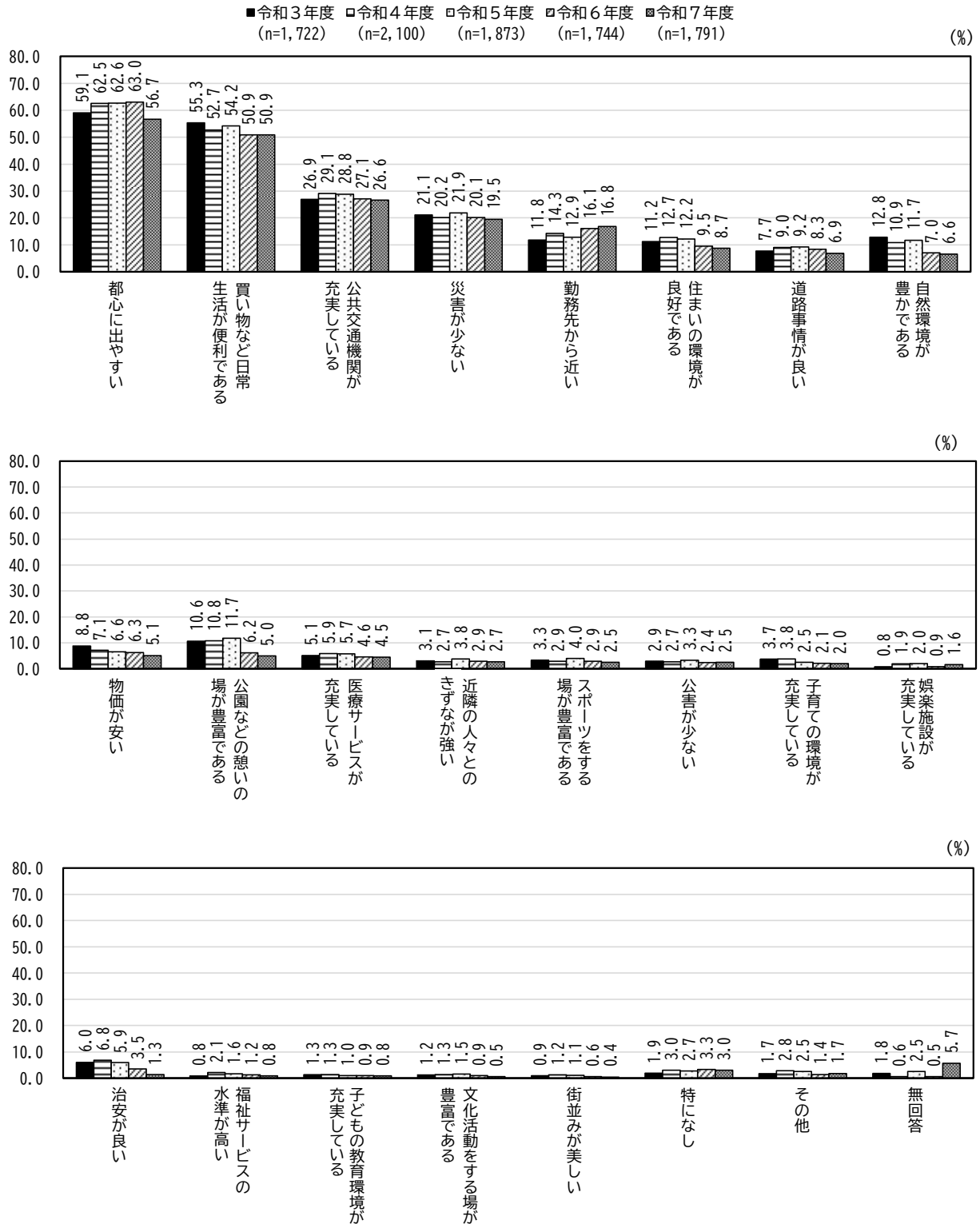
【川口市の良いところ・好きなところ (全体)】



川口市の良いところ・好きなのところの推移をみると、令和3年度と比べ、「勤務先から近い」は5.0ポイント増加しています。

一方、「自然環境が豊かである」は6.2ポイント、「公園などの憩いの場が豊富である」は5.6ポイント、「治安が良い」は4.7ポイント、それぞれ減少しています。

### 【川口市の良いところ・好きなのところの推移】



## (2) 川口市の良いところ・好きなところ (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「都心に出やすい」は男性18～29歳(78.2%)で8割近くと最も高く、女性18～29歳(69.3%)、男性40～49歳(67.9%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は女性30～39歳(64.7%)、女性40～49歳(60.1%)で6割を超えて高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は男性18～29歳(40.2%)で約4割と最も高くなっています。

### 【川口市の良いところ・好きなところ (男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
都心に出やすい	56.7	☆ 78.2	△ 63.4	○ 67.9	52.5	▲ 47.5	▲ 50.4	● 41.9
買い物など日常生活が便利である	50.9	▲ 44.8	55.7	50.4	54.4	49.2	47.9	★ 34.7
公共交通機関が充実している	26.6	○ 40.2	26.7	27.0	31.0	23.0	27.4	▲ 18.5
災害が少ない	19.5	18.3	● 9.2	16.1	14.6	14.8	23.9	☆ 34.7
勤務先から近い	16.8	14.9	△ 26.0	20.4	△ 23.4	☆ 34.4	20.5	▲ 7.3
住まいの環境が良好である	8.7	5.7	6.9	8.8	▲ 3.2	8.2	9.4	13.7
道路事情が良い	6.9	5.7	6.1	8.0	△ 13.3	○ 18.0	9.4	5.6
自然環境が豊かである	6.6	▲ 1.1	3.8	3.6	8.2	4.9	6.8	8.1
物価が安い	5.1	4.6	4.6	2.2	5.7	6.6	8.5	5.6
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	6.9	8.4	5.1	5.7	3.3	5.1	3.2
医療サービスが充実している	4.5	4.6	2.3	3.6	3.8	4.9	5.1	△ 13.7
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	0.0	1.5	2.2	0.6	4.9	3.4	4.8
スポーツをする場が豊富である	2.5	1.1	1.5	2.9	2.5	3.3	4.3	4.0
公害が少ない	2.5	2.3	1.5	1.5	1.3	1.6	3.4	6.5
子育ての環境が充実している	2.0	1.1	3.8	2.9	2.5	0.0	0.0	0.8
娯楽施設が充実している	1.6	3.4	2.3	1.5	1.3	1.6	0.0	0.8
治安が良い	1.3	0.0	0.8	0.0	0.6	0.0	4.3	1.6
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.0	0.8	1.5	1.3	0.0	3.4	0.0
子どもの教育環境が充実している	0.8	2.3	0.0	2.2	0.6	0.0	0.0	0.8
文化活動をする場が豊富である	0.5	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.7	1.6
街並みが美しい	0.4	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	3.0	2.3	2.3	1.5	5.7	1.6	4.3	1.6
その他	1.7	2.3	1.5	1.5	0.6	1.6	1.7	2.4
無回答	5.7	4.6	2.3	4.4	5.7	6.6	1.7	△ 11.3

【川口市の良いところ・好きなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
都心に出やすい	56.7	○ 69.3	△ 63.2	61.5	55.2	52.5	▲ 48.8	★ 39.2
買い物など日常生活が便利である	50.9	▲ 44.7	○ 64.7	△ 60.1	51.4	54.1	47.2	● 40.6
公共交通機関が充実している	26.6	29.8	27.9	23.0	26.8	▲ 21.3	25.2	23.1
災害が少ない	19.5	14.9	14.7	▲ 13.5	18.6	16.4	△ 27.6	☆ 35.7
勤務先から近い	16.8	14.9	19.9	16.9	14.2	▲ 11.5	▲ 10.6	● 4.2
住まいの環境が良好である	8.7	8.8	5.9	10.8	8.2	△ 16.4	8.1	11.9
道路事情が良い	6.9	2.6	3.7	6.8	8.2	4.9	4.1	4.9
自然環境が豊かである	6.6	▲ 0.9	4.4	4.1	8.2	8.2	10.6	△ 14.7
物価が安い	5.1	1.8	2.2	2.7	7.1	8.2	8.1	5.6
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	3.5	7.4	3.4	3.3	1.6	3.3	5.6
医療サービスが充実している	4.5	2.6	4.4	2.7	2.7	1.6	3.3	9.1
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	0.9	2.2	2.0	1.1	3.3	4.9	5.6
スポーツをする場が豊富である	2.5	0.0	2.2	1.4	1.6	6.6	4.1	1.4
公害が少ない	2.5	1.8	0.0	2.7	1.6	0.0	3.3	△ 7.7
子育ての環境が充実している	2.0	0.9	4.4	4.1	1.6	3.3	0.0	1.4
娯楽施設が充実している	1.6	4.4	3.7	1.4	1.0	0.0	0.0	1.4
治安が良い	1.3	1.8	1.5	0.7	0.0	0.0	3.3	2.8
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.0	0.0	0.0	0.5	1.6	0.0	1.4
子どもの教育環境が充実している	0.8	1.8	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.4
文化活動をする場が豊富である	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	1.6	1.6	0.0
街並みが美しい	0.4	0.9	0.0	0.0	1.1	0.0	0.8	0.0
特になし	3.0	2.6	2.9	1.4	3.8	3.3	4.1	3.5
その他	1.7	0.9	1.5	4.1	1.1	0.0	0.8	4.2
無回答	5.7	7.0	2.2	7.4	6.6	4.9	5.7	10.5

### (3) 川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）

出生地別にみると、「都心に出やすい」はいずれも5割台となっています。

「買い物など日常生活が便利である」は川口市以外の埼玉県内(52.7%)、埼玉県外(51.3%)、川口市内(50.1%)で5割台となっています。

「公共交通機関が充実している」はいずれも2割台となっています。

「災害が少ない」は川口市内(26.5%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「勤務先から近い」は国外(25.3%)で2割半ばと最も高くなっています。

#### 【川口市の良いところ・好きなところ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	川口市内 (n=487)	川口市以外 の埼玉県内 (n=226)	埼玉県外 (n=972)	国外 (n=83)
都心に出やすい	56.7	55.9	54.9	57.3	59.0
買い物など日常生活が便利である	50.9	50.1	52.7	51.3	▲ 44.6
公共交通機関が充実している	26.6	27.7	29.6	25.8	24.1
災害が少ない	19.5	△ 26.5	▲ 13.3	17.9	14.5
勤務先から近い	16.8	15.4	18.6	16.4	△ 25.3
住まいの環境が良好である	8.7	8.8	8.0	8.8	7.2
道路事情が良い	6.9	6.8	8.8	6.4	9.6
自然環境が豊かである	6.6	7.0	5.3	6.4	8.4
物価が安い	5.1	3.1	3.5	6.4	6.0
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	4.3	4.0	5.1	7.2
医療サービスが充実している	4.5	6.0	4.9	4.1	1.2
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	2.5	2.7	2.8	3.6
スポーツをする場が豊富である	2.5	3.9	2.7	2.0	0.0
公害が少ない	2.5	3.3	2.2	2.3	2.4
子育ての環境が充実している	2.0	1.6	3.1	1.4	△ 8.4
娯楽施設が充実している	1.6	1.6	2.2	1.4	1.2
治安が良い	1.3	1.6	0.4	1.3	1.2
福祉サービスの水準が高い	0.8	1.4	0.4	0.4	1.2
子どもの教育環境が充実している	0.8	0.8	0.4	0.6	3.6
文化活動をする場が豊富である	0.5	0.6	0.4	0.5	0.0
街並みが美しい	0.4	0.4	0.9	0.3	1.2
特になし	3.0	1.6	2.7	4.0	1.2
その他	1.7	2.7	1.3	1.5	0.0
無回答	5.7	5.5	5.8	5.8	6.0

#### (4) 川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「都心に出やすい」は東京都内(71.7%)で7割を超えて最も高く、埼玉県、東京都以外の道府県(63.6%)で6割を超えて高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は埼玉県、東京都以外の道府県(39.4%)で約4割と最も高くなっています。

「勤務先から近い」は川口市内(30.4%)で約3割と最も高く、埼玉県内(川口市以外)(24.4%)で2割半ば近くと高くなっています。

#### 【川口市の良いところ・好きなところ（通勤・通学先別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	川口市内 (n=414)	埼玉県内 (川口市 以外) (n=221)	東京都内 (n=552)	埼玉県、 東京都以外 の道府県 (n=66)	通勤・通学 していない 等 (n=538)
都心に出やすい	56.7	▲ 49.8	57.5	○ 71.7	△ 63.6	● 45.4
買い物など日常生活が便利である	50.9	52.9	50.7	54.5	48.5	46.1
公共交通機関が充実している	26.6	22.5	31.2	29.7	○ 39.4	23.2
災害が少ない	19.5	23.9	17.2	▲ 12.3	21.2	24.3
勤務先から近い	16.8	○ 30.4	△ 24.4	14.5	● 4.5	▲ 6.9
住まいの環境が良好である	8.7	6.0	8.6	8.9	4.5	11.2
道路事情が良い	6.9	9.2	9.0	6.5	10.6	4.3
自然環境が豊かである	6.6	5.8	6.8	4.9	3.0	9.3
物価が安い	5.1	3.9	5.0	5.4	1.5	6.3
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	3.4	6.3	5.6	7.6	4.8
医療サービスが充実している	4.5	4.1	2.7	3.3	0.0	7.4
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	2.4	1.8	2.0	3.0	4.1
スポーツをする場が豊富である	2.5	2.2	3.2	1.8	1.5	3.3
公害が少ない	2.5	2.7	2.3	1.1	3.0	3.9
子育ての環境が充実している	2.0	2.2	1.8	2.0	4.5	1.7
娯楽施設が充実している	1.6	1.7	0.9	1.8	1.5	1.5
治安が良い	1.3	1.4	0.5	0.9	0.0	2.2
福祉サービスの水準が高い	0.8	1.4	1.4	0.0	0.0	0.9
子どもの教育環境が充実している	0.8	1.2	0.9	0.7	0.0	0.6
文化活動をする場が豊富である	0.5	0.7	0.0	0.4	0.0	0.7
街並みが美しい	0.4	0.2	0.9	0.5	1.5	0.2
特になし	3.0	2.2	2.3	3.6	1.5	3.5
その他	1.7	1.4	2.7	1.4	0.0	2.0
無回答	5.7	5.3	3.6	3.6	1.5	9.5

## (5) 川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）

住居形態別にみると、「都心に出やすい」は持家（分譲マンションなど集合住宅）（68.0％）で7割近くと最も高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は持家（分譲マンションなど集合住宅）（57.1％）で5割半ばを超えて最も高くなっています。

「災害が少ない」は持家（一戸建）（25.3％）で2割半ばと最も高くなっています。

「勤務先から近い」は民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）（23.7％）で2割を超えて高くなっています。

### 【川口市の良いところ・好きなところ（住居形態別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	持家 (一戸建) (n=892)	持家（分譲 マンション など集合住 宅） (n=422)	民間の借家 （賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など） (n=359)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃貸 住宅・ア パート (n=30)	社宅・公務 員住宅など 給与住宅 (n=21)	住み込み、 寮、寄宿舍 など (n=9)
都心に出やすい	56.7	▲ 49.7	○ 68.0	61.3	★ 36.7	△ 66.7	△ 66.7
買い物など日常生活が便利である	50.9	49.2	△ 57.1	50.4	● 40.0	● 38.1	★ 22.2
公共交通機関が充実している	26.6	24.1	30.3	28.4	26.7	23.8	☆ 44.4
災害が少ない	19.5	△ 25.3	▲ 13.7	▲ 13.1	20.0	▲ 14.3	★ 0.0
勤務先から近い	16.8	13.2	16.6	△ 23.7	13.3	○ 28.6	☆ 33.3
住まいの環境が良好である	8.7	8.4	10.7	7.0	13.3	▲ 0.0	11.1
道路事情が良い	6.9	8.9	5.0	5.3	3.3	4.8	11.1
自然環境が豊かである	6.6	8.1	3.6	5.0	○ 20.0	4.8	▲ 0.0
物価が安い	5.1	4.4	7.1	4.7	6.7	▲ 0.0	▲ 0.0
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	5.3	4.0	5.3	3.3	4.8	0.0
医療サービスが充実している	4.5	5.6	3.8	1.7	△ 10.0	0.0	△ 11.1
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	3.3	2.1	1.4	0.0	4.8	0.0
スポーツをする場が豊富である	2.5	3.3	2.4	0.8	0.0	4.8	0.0
公害が少ない	2.5	3.5	1.4	1.7	0.0	4.8	0.0
子育ての環境が充実している	2.0	1.7	1.7	2.8	6.7	4.8	0.0
娯楽施設が充実している	1.6	1.2	1.7	1.9	0.0	4.8	△ 11.1
治安が良い	1.3	1.8	0.5	0.8	3.3	0.0	0.0
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.6	0.5	1.7	3.3	0.0	0.0
子どもの教育環境が充実している	0.8	0.7	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0
文化活動をする場が豊富である	0.5	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
街並みが美しい	0.4	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	3.0	3.5	1.4	3.6	3.3	△ 9.5	0.0
その他	1.7	1.9	1.7	1.7	0.0	4.8	0.0
無回答	5.7	6.5	5.7	3.9	△ 13.3	▲ 0.0	▲ 0.0

## (6) 川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）

居住地域別にみると、「都心に出やすい」は横曽根地域(77.0%)で7割半ばを超えて最も高く、中央地域(73.3%)で7割を超えて高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は中央地域(75.0%)で7割半ばに達して最も高くなっています。

「公共交通機関が充実している」は横曽根地域(33.8%)で3割を超えて最も高くなっています。

「災害が少ない」は神根地域(31.8%)、新郷地域(30.1%)で3割を超えて高く、芝地域(25.8%)で2割半ばと高くなっています。

### 【川口市の良いところ・好きなところ（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
都心に出やすい	56.7	☆ 73.3	☆ 77.0	56.3	△ 62.8	● 43.7	● 45.5	52.9	★ 35.4	● 44.9	59.3
買い物など日常生活が便利である	50.9	☆ 75.0	△ 57.8	△ 60.1	47.0	★ 34.0	★ 31.8	54.8	★ 34.4	▲ 45.8	▲ 44.9
公共交通機関が充実している	26.6	25.6	△ 33.8	28.6	28.4	▲ 20.4	● 15.2	24.9	▲ 16.7	29.4	30.5
災害が少ない	19.5	● 8.7	● 9.3	18.1	16.4	○ 30.1	○ 31.8	△ 25.8	24.0	24.3	16.8
勤務先から近い	16.8	15.7	16.7	16.4	18.0	15.5	15.9	17.2	18.8	15.0	17.4
住まいの環境が良好である	8.7	△ 14.5	8.3	3.8	9.8	9.7	5.3	8.1	6.3	11.7	9.6
道路事情が良い	6.9	2.3	2.9	7.6	9.3	7.8	7.6	7.2	4.2	11.7	8.4
自然環境が豊かである	6.6	4.1	3.4	2.1	▲ 0.5	9.7	○ 20.5	2.7	○ 19.8	9.8	6.6
物価が安い	5.1	6.4	5.4	7.1	5.5	3.9	2.3	3.6	3.1	5.6	6.0
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	2.9	4.9	5.5	2.7	2.9	5.3	5.4	3.1	9.3	3.6
医療サービスが充実している	4.5	4.1	4.4	2.5	2.7	1.9	△ 11.4	5.9	7.3	1.9	4.8
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	1.7	1.5	2.1	4.9	1.9	1.5	6.3	3.1	0.0	3.0
スポーツをする場が豊富である	2.5	0.0	2.5	3.4	2.7	1.0	5.3	1.8	4.2	2.8	1.8
公害が少ない	2.5	0.6	1.0	1.7	1.6	△ 8.7	5.3	2.7	1.0	3.3	2.4
子育ての環境が充実している	2.0	2.9	1.5	1.3	2.7	1.0	3.0	0.9	4.2	2.3	1.8
娯楽施設が充実している	1.6	4.1	3.4	1.3	1.1	1.9	0.8	1.8	0.0	0.0	1.2
治安が良い	1.3	0.0	0.5	0.4	0.5	3.9	2.3	2.7	2.1	1.9	1.2
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.0	0.5	1.7	0.5	0.0	0.8	1.4	1.0	0.9	0.6
子どもの教育環境が充実している	0.8	0.0	0.5	0.8	1.6	1.9	0.0	0.5	0.0	0.5	2.4
文化活動をする場が豊富である	0.5	1.2	0.5	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.6
街並みが美しい	0.4	0.6	0.5	0.8	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.9	0.0
特になし	3.0	0.6	2.5	2.9	2.2	5.8	6.1	3.6	6.3	2.8	1.8
その他	1.7	0.6	2.5	2.1	2.2	2.9	1.5	1.8	2.1	0.5	2.4
無回答	5.7	5.2	2.0	5.9	5.5	6.8	6.1	5.4	△ 11.5	7.0	4.8

## (7) 川口市の良いところ・好きなところ（居留意向別）

居留意向別にみると、「都心に出やすい」は住み続けたくない(62.2%)が6割を超えており、住み続けたい(55.5%)より6.7ポイント高くなっています。

「買い物など日常生活が便利である」は住み続けたい(53.1%)が5割を超えており、住み続けたくない(43.2%)より9.9ポイント高くなっています。

### 【川口市の良いところ・好きなところ（居留意向別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	住み続けたい (n=1,395)	住み続けたくない (n=347)
都心に出やすい	56.7	55.5	△ 62.2
買い物など日常生活が便利である	50.9	53.1	▲ 43.2
公共交通機関が充実している	26.6	27.8	23.3
災害が少ない	19.5	20.1	17.3
勤務先から近い	16.8	16.9	16.7
住まいの環境が良好である	8.7	10.1	3.7
道路事情が良い	6.9	7.3	5.8
自然環境が豊かである	6.6	7.5	3.5
物価が安い	5.1	5.2	4.9
公園などの憩いの場が豊富である	5.0	5.3	4.3
医療サービスが充実している	4.5	4.7	2.9
近隣の人々とのきずなが強い	2.7	2.9	1.4
スポーツをする場が豊富である	2.5	3.0	0.6
公害が少ない	2.5	2.4	2.3
子育ての環境が充実している	2.0	2.4	0.9
娯楽施設が充実している	1.6	1.2	2.9
治安が良い	1.3	1.7	0.0
福祉サービスの水準が高い	0.8	0.8	0.6
子どもの教育環境が充実している	0.8	0.9	0.3
文化活動をする場が豊富である	0.5	0.6	0.3
街並みが美しい	0.4	0.4	0.6
特になし	3.0	1.8	7.8
その他	1.7	1.4	2.0
無回答	5.7	6.2	2.9

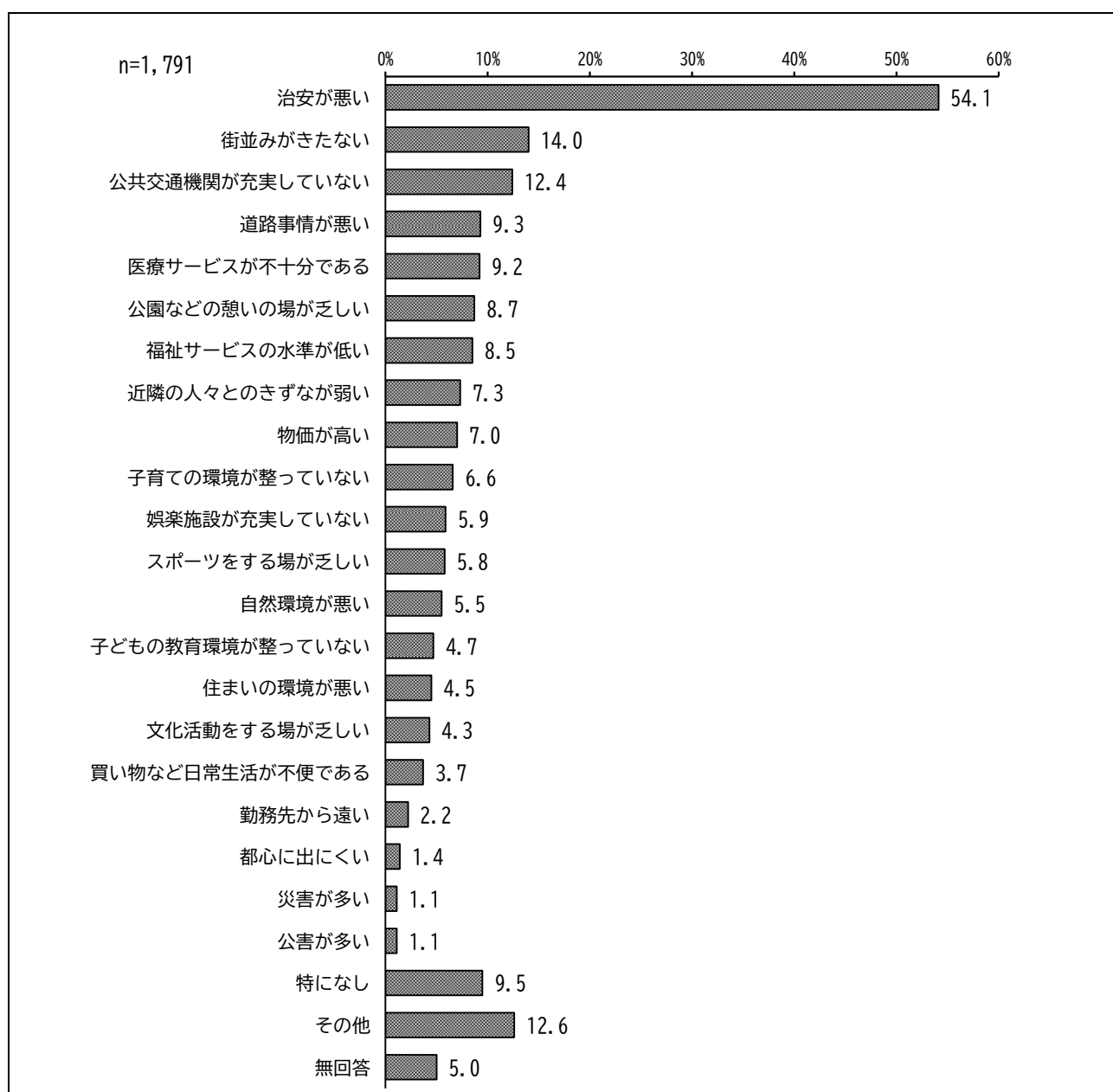
## 5 川口市の良くないところ・嫌いなところ

### (1) 川口市の良くないところ・嫌いなところ

問4 (2) 川口市の良くないところ、嫌いなところは何ですか。(○は3つまで)

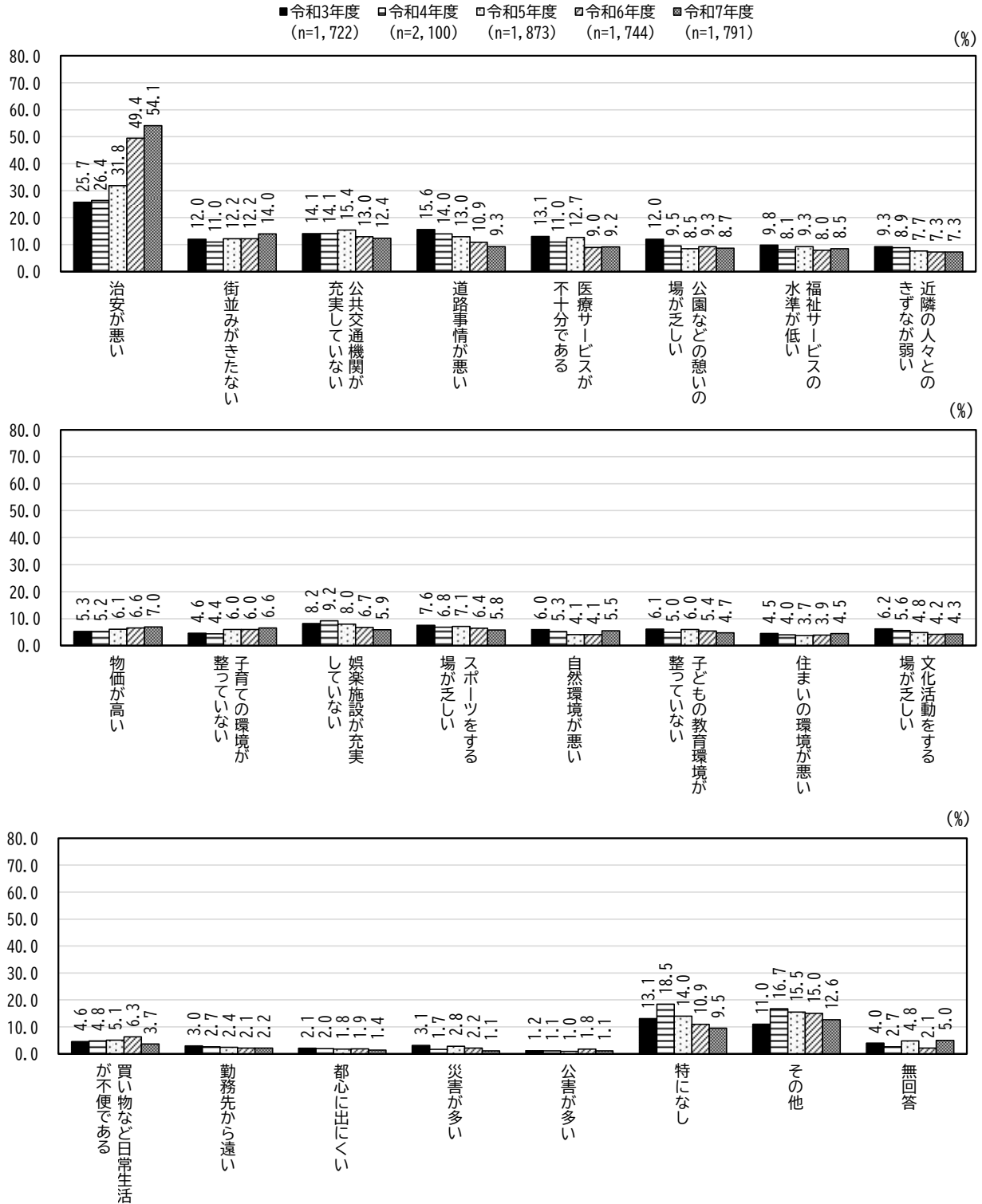
川口市の良くないところ・嫌いなところは、「治安が悪い」が54.1%で5割半ば近くと最も高く、「街並みがきたない」が14.0%、「公共交通機関が充実していない」が12.4%、「道路事情が悪い」が9.3%、「医療サービスが不十分である」が9.2%と続いています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ (全体)】



川口市の良くないところ・嫌いなところの推移をみると、令和3年度と比べ、「道路事情が悪い」は6.3ポイント、「医療サービスが不十分である」は3.9ポイント、「公園などの憩いの場が乏しい」は3.3ポイント、それぞれ減少しています。一方、「治安が悪い」は28.4ポイント増加しています。

### 【川口市の良くないところ・嫌いなところの推移】



## (2) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「治安が悪い」は男性18～29歳(78.2%)で8割近くと最も高く、男性40～49歳(72.3%)、男性30～39歳(71.8%)で7割を超えて高くなっています。

「街並みがきたない」は男性30～39歳(24.4%)、女性18～29歳(21.1%)で2割を超えて高くなっています。

「医療サービスが不十分である」は女性50～59歳(17.5%)で1割半ばを超えて高くなっています。

### 【川口市の良くないところ・嫌いなところ（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
治安が悪い	54.1	☆ 78.2	☆ 71.8	☆ 72.3	△ 59.5	57.4	● 40.2	★ 25.0
街並みがきたない	14.0	17.2	○ 24.4	19.0	12.0	11.5	9.4	▲ 7.3
公共交通機関が充実していない	12.4	8.0	▲ 6.1	12.4	12.7	14.8	12.0	12.1
道路事情が悪い	9.3	13.8	10.7	11.7	8.9	4.9	13.7	11.3
医療サービスが不十分である	9.2	5.7	▲ 2.3	5.1	9.5	6.6	11.1	13.7
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	8.0	6.1	5.8	6.3	6.6	12.8	12.9
福祉サービスの水準が低い	8.5	▲ 3.4	7.6	4.4	8.2	▲ 3.3	△ 13.7	12.9
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	5.7	7.6	4.4	5.1	8.2	8.5	△ 12.9
物価が高い	7.0	10.3	9.9	4.4	8.9	3.3	3.4	5.6
子育ての環境が整っていない	6.6	5.7	△ 16.0	4.4	4.4	3.3	2.6	1.6
娯楽施設が充実していない	5.9	△ 12.6	6.9	2.2	5.1	4.9	6.0	6.5
スポーツをする場が乏しい	5.8	△ 13.8	6.9	7.3	9.5	3.3	7.7	4.0
自然環境が悪い	5.5	5.7	4.6	2.2	5.1	8.2	6.8	5.6
子どもの教育環境が整っていない	4.7	3.4	6.1	2.9	2.5	1.6	3.4	0.0
住まいの環境が悪い	4.5	6.9	5.3	4.4	6.3	8.2	5.1	4.0
文化活動をする場が乏しい	4.3	4.6	2.3	0.7	6.3	8.2	6.0	5.6
買い物など日常生活が不便である	3.7	1.1	3.1	3.6	0.0	3.3	4.3	7.3
勤務先から遠い	2.2	0.0	3.8	2.9	3.8	0.0	0.9	0.0
都心に出にくい	1.4	0.0	0.8	0.7	1.3	1.6	2.6	4.0
災害が多い	1.1	0.0	3.1	1.5	1.3	0.0	0.0	0.8
公害が多い	1.1	0.0	1.5	0.7	0.0	1.6	0.0	0.8
特になし	9.5	6.9	▲ 3.8	5.8	8.2	11.5	13.7	△ 16.9
その他	12.6	10.3	10.7	15.3	15.2	13.1	13.7	10.5
無回答	5.0	2.3	3.1	5.1	4.4	3.3	6.0	4.8

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
治安が悪い	54.1	☆ 69.3	○ 69.1	○ 64.2	55.2	▲ 44.3	★ 25.2	★ 23.8
街並みがきたない	14.0	△ 21.1	16.9	13.5	12.6	14.8	▲ 6.5	9.1
公共交通機関が充実していない	12.4	13.2	11.0	14.9	11.5	16.4	15.4	12.6
道路事情が悪い	9.3	5.3	10.3	10.8	6.6	6.6	8.1	8.4
医療サービスが不十分である	9.2	▲ 3.5	▲ 2.9	9.5	△ 17.5	13.1	12.2	10.5
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	5.3	7.4	8.8	9.8	8.2	13.0	9.8
福祉サービスの水準が低い	8.5	4.4	▲ 2.2	11.5	9.3	8.2	12.2	△ 14.0
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.0	5.9	4.7	3.8	4.9	8.1	△ 14.0
物価が高い	7.0	8.8	8.1	8.8	7.7	9.8	4.9	5.6
子育ての環境が整っていない	6.6	△ 13.2	○ 19.1	7.4	4.4	3.3	▲ 0.8	▲ 1.4
娯楽施設が充実していない	5.9	4.4	5.1	6.8	4.4	3.3	6.5	10.5
スポーツをする場が乏しい	5.8	3.5	5.9	4.7	3.8	1.6	5.7	2.1
自然環境が悪い	5.5	4.4	6.6	6.1	5.5	4.9	8.9	3.5
子どもの教育環境が整っていない	4.7	7.0	8.8	△ 10.1	5.5	3.3	3.3	1.4
住まいの環境が悪い	4.5	6.1	5.1	4.1	2.2	4.9	2.4	0.0
文化活動をする場が乏しい	4.3	2.6	1.5	4.7	1.6	3.3	8.1	7.0
買い物など日常生活が不便である	3.7	1.8	2.9	0.7	2.2	4.9	6.5	△ 11.9
勤務先から遠い	2.2	6.1	2.9	4.1	2.2	1.6	0.0	1.4
都心に出にくい	1.4	0.9	0.7	2.0	0.5	1.6	0.0	3.5
災害が多い	1.1	0.0	0.7	1.4	0.5	0.0	0.8	1.4
公害が多い	1.1	3.5	2.2	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0
特になし	9.5	5.3	5.9	▲ 4.1	13.7	8.2	△ 15.4	11.9
その他	12.6	12.3	11.8	△ 18.9	10.9	9.8	12.2	9.1
無回答	5.0	6.1	4.4	2.7	5.5	6.6	8.9	7.0

### (3) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）

出生地別にみると、「治安が悪い」は川口市以外の埼玉県内(56.6%)、川口市内(55.4%)、埼玉県外(54.9%)で5割半ば前後と高くなっています。

「特になし」は国外(20.5%)で約2割と最も高くなっています。

#### 【川口市の良くないところ・嫌いなところ（出生地別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	川口市内 (n=487)	川口市以外の 埼玉県内 (n=226)	埼玉県外 (n=972)	国外 (n=83)
治安が悪い	54.1	55.4	56.6	54.9	★ 31.3
街並みがきたない	14.0	11.7	17.3	14.9	▲ 4.8
公共交通機関が充実していない	12.4	12.9	10.6	12.6	10.8
道路事情が悪い	9.3	9.4	7.5	10.1	6.0
医療サービスが不十分である	9.2	8.8	11.5	9.5	▲ 1.2
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	8.2	6.6	9.0	△ 15.7
福祉サービスの水準が低い	8.5	10.9	6.6	7.8	7.2
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	5.5	5.8	8.4	7.2
物価が高い	7.0	10.9	5.3	5.6	6.0
子育ての環境が整っていない	6.6	7.4	6.2	6.1	9.6
娯楽施設が充実していない	5.9	5.7	6.2	5.9	7.2
スポーツをする場が乏しい	5.8	7.4	4.4	4.8	△ 12.0
自然環境が悪い	5.5	4.3	6.2	6.2	4.8
子どもの教育環境が整っていない	4.7	7.0	4.9	3.5	6.0
住まいの環境が悪い	4.5	4.3	3.5	4.9	2.4
文化活動をする場が乏しい	4.3	3.5	3.1	4.9	4.8
買い物など日常生活が不便である	3.7	3.3	3.1	3.9	6.0
勤務先から遠い	2.2	1.8	2.2	2.5	2.4
都心に出にくい	1.4	1.0	2.2	1.5	0.0
災害が多い	1.1	0.4	1.8	1.2	0.0
公害が多い	1.1	0.8	0.9	1.2	1.2
特になし	9.5	9.2	9.3	8.4	○ 20.5
その他	12.6	12.9	15.0	12.6	▲ 6.0
無回答	5.0	5.3	3.1	5.1	7.2

#### (4) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「治安が悪い」は埼玉県、東京都以外の道府県(68.2%)で7割近くと最も高く、埼玉県内(川口市以外)(64.3%)、東京都内(62.7%)、川口市内(60.1%)で6割を超えて高くなっています。

「街並みがきたない」は東京都内(19.2%)で約2割と最も高くなっています。

#### 【川口市の良くないところ・嫌いなところ（通勤・通学先別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	川口市内 (n=414)	埼玉県内 (川口市 以外) (n=221)	東京都内 (n=552)	埼玉県、 東京都以外 の道府県 (n=66)	通勤・通学 していない 等 (n=538)
治安が悪い	54.1	△ 60.1	○ 64.3	△ 62.7	○ 68.2	★ 34.8
街並みがきたない	14.0	10.4	18.1	△ 19.2	12.1	9.9
公共交通機関が充実していない	12.4	11.8	10.0	13.6	7.6	13.2
道路事情が悪い	9.3	9.7	14.0	8.3	6.1	8.6
医療サービスが不十分である	9.2	9.4	9.5	6.7	12.1	11.0
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	10.6	6.8	6.7	10.6	9.9
福祉サービスの水準が低い	8.5	8.7	6.3	6.7	7.6	11.2
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	6.0	9.0	6.0	4.5	9.3
物価が高い	7.0	9.9	5.4	5.1	4.5	7.6
子育ての環境が整っていない	6.6	7.0	6.3	8.7	△ 12.1	3.5
娯楽施設が充実していない	5.9	5.6	5.9	4.5	9.1	7.2
スポーツをする場が乏しい	5.8	6.3	6.8	7.6	7.6	2.8
自然環境が悪い	5.5	6.0	5.9	6.5	3.0	4.3
子どもの教育環境が整っていない	4.7	6.0	5.9	5.1	1.5	3.2
住まいの環境が悪い	4.5	5.6	4.5	5.3	4.5	2.8
文化活動をする場が乏しい	4.3	4.8	2.3	3.3	3.0	5.9
買い物など日常生活が不便である	3.7	2.4	2.7	2.5	3.0	6.3
勤務先から遠い	2.2	0.0	3.6	4.2	6.1	0.9
都心に出にくい	1.4	1.0	0.9	0.5	0.0	3.0
災害が多い	1.1	0.7	0.9	1.6	1.5	0.7
公害が多い	1.1	1.9	0.0	1.3	1.5	0.6
特になし	9.5	8.0	7.2	7.2	10.6	13.9
その他	12.6	12.3	16.3	12.1	7.6	12.5
無回答	5.0	5.8	3.2	4.3	1.5	6.1

## (5) 川口市の良いところ・嫌いなところ（住居形態別）

住居形態別にみると、「治安が悪い」は民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）（65.7%）で6割半ばと高くなっています。

「街並みがきたない」は民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）（22.6%）で2割を超えて最も高くなっています。

「医療サービスが不十分である」はUR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート（20.0%）で2割に達し最も高くなっています。

### 【川口市の良いところ・嫌いなところ（住居形態別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	持家 (一戸建) (n=892)	持家（分譲 マンション など集合住 宅） (n=422)	民間の借家 （賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など） (n=359)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃 貸住宅・ア パート (n=30)	社宅・公務 員住宅など 給与住宅 (n=21)	住み込み、 寮、寄宿舍 など (n=9)
治安が悪い	54.1	▲ 48.8	56.9	○ 65.7	★ 26.7	○ 66.7	○ 66.7
街並みがきたない	14.0	9.6	15.4	△ 22.6	10.0	14.3	☆ 33.3
公共交通機関が充実していない	12.4	13.0	12.6	9.5	13.3	△ 19.0	11.1
道路事情が悪い	9.3	8.4	10.7	10.6	▲ 0.0	4.8	○ 22.2
医療サービスが不十分である	9.2	9.6	10.0	7.2	○ 20.0	▲ 0.0	▲ 0.0
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	9.4	9.5	5.3	△ 16.7	9.5	▲ 0.0
福祉サービスの水準が低い	8.5	9.8	9.2	5.0	6.7	9.5	▲ 0.0
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.1	6.2	8.9	△ 13.3	4.8	11.1
物価が高い	7.0	6.2	5.7	10.3	3.3	9.5	☆ 22.2
子育ての環境が整っていない	6.6	6.6	5.2	8.9	▲ 0.0	9.5	▲ 0.0
娯楽施設が充実していない	5.9	6.3	5.9	4.7	10.0	9.5	▲ 0.0
スポーツをする場が乏しい	5.8	5.7	8.3	3.1	▲ 0.0	9.5	△ 11.1
自然環境が悪い	5.5	5.5	4.5	7.2	3.3	4.8	▲ 0.0
子どもの教育環境が整っていない	4.7	4.9	4.0	4.5	3.3	9.5	0.0
住まいの環境が悪い	4.5	3.7	2.8	8.1	3.3	9.5	△ 11.1
文化活動をする場が乏しい	4.3	5.3	5.0	1.7	3.3	0.0	0.0
買い物など日常生活が不便である	3.7	4.4	3.1	2.5	6.7	4.8	0.0
勤務先から遠い	2.2	2.4	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0
都心に出にくい	1.4	1.9	0.9	1.1	0.0	0.0	0.0
災害が多い	1.1	0.9	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0
公害が多い	1.1	0.8	1.2	1.7	3.3	0.0	0.0
特になし	9.5	10.2	6.9	8.9	☆ 26.7	9.5	▲ 0.0
その他	12.6	11.5	16.8	11.1	▲ 3.3	△ 19.0	● 0.0
無回答	5.0	6.2	4.3	3.1	10.0	0.0	0.0

## (6) 川口市の良いところ・嫌いなところ（居住地域別）

居住地域別にみると、「治安が悪い」は横曽根地域(65.2%)で6割半ばと最も高く、戸塚地域(59.3%)、青木地域(59.2%)で約6割と高くなっています。

「街並みがきたない」は横曽根地域(24.0%)で2割半ば近くと最も高く、中央地域(20.3%)、芝地域(19.5%)で2割前後と高くなっています。

「公共交通機関が充実していない」は、安行地域(27.1%)で2割半ばを超えて最も高く、神根地域(23.5%)で2割を超えて高くなっています。

### 【川口市の良いところ・嫌いなところ（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
治安が悪い	54.1	57.6	○ 65.2	△ 59.2	50.3	▲ 44.7	▲ 47.7	50.7	● 42.7	△ 59.3	52.7
街並みがきたない	14.0	△ 20.3	△ 24.0	13.9	11.5	▲ 6.8	▲ 6.1	△ 19.5	▲ 6.3	11.2	9.6
公共交通機関が充実していない	12.4	△ 19.8	10.3	8.4	10.4	△ 18.4	○ 23.5	7.7	○ 27.1	8.4	▲ 7.2
道路事情が悪い	9.3	8.7	6.4	9.7	12.6	△ 14.6	13.6	6.8	8.3	9.3	8.4
医療サービスが不十分である	9.2	8.7	4.9	8.8	8.7	8.7	6.8	11.3	8.3	△ 15.0	10.2
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	13.4	9.8	7.1	7.7	4.9	8.3	9.0	10.4	7.0	9.6
福祉サービスの水準が低い	8.5	7.0	6.9	9.2	9.3	△ 13.6	9.8	9.5	7.3	7.9	6.0
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	5.2	9.3	6.7	3.8	9.7	6.8	7.2	4.2	10.7	8.4
物価が高い	7.0	6.4	4.9	11.3	4.9	2.9	6.1	8.6	8.3	7.9	4.8
子育ての環境が整っていない	6.6	9.3	4.4	6.7	4.9	3.9	5.3	8.1	7.3	6.5	9.6
娯楽施設が充実していない	5.9	5.8	5.9	4.6	7.1	7.8	4.5	5.0	3.1	6.5	7.8
スポーツをする場が乏しい	5.8	9.9	6.9	5.9	6.0	4.9	3.0	4.1	5.2	5.1	7.2
自然環境が悪い	5.5	5.8	8.3	4.2	9.3	5.8	1.5	6.3	1.0	2.8	7.2
子どもの教育環境が整っていない	4.7	4.1	5.9	3.8	3.3	7.8	2.3	5.9	2.1	5.1	6.0
住まいの環境が悪い	4.5	4.7	7.8	6.7	4.4	6.8	0.8	5.0	3.1	3.3	1.2
文化活動をする場が乏しい	4.3	5.8	3.4	2.5	2.2	4.9	5.3	3.6	6.3	4.2	7.2
買い物など日常生活が不便である	3.7	0.6	1.5	1.7	4.9	4.9	△ 12.9	2.3	△ 11.5	3.7	1.8
勤務先から遠い	2.2	0.6	2.0	1.7	1.1	0.0	0.8	3.2	5.2	5.1	2.4
都心に出にくい	1.4	1.2	0.5	0.4	1.1	1.9	0.8	2.3	5.2	2.3	0.6
災害が多い	1.1	2.3	1.0	0.8	1.6	0.0	0.0	0.5	1.0	0.9	0.6
公害が多い	1.1	1.2	1.0	1.3	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	2.3	1.2
特になし	9.5	5.2	7.4	8.0	11.5	△ 18.4	7.6	9.0	8.3	7.9	13.2
その他	12.6	11.6	16.7	13.0	16.4	10.7	12.1	9.0	10.4	13.1	9.6
無回答	5.0	4.1	3.4	5.0	4.4	1.9	△ 11.4	6.3	4.2	5.1	3.0

## (7) 川口市の良くないところ・嫌いなところ（居留意向別）

居留意向別にみると、「治安が悪い」は住み続けたくない(75.2%)が7割半ばと、住み続けたい(49.8%)より25.4ポイント高くなっています。

「街並みがきたない」は住み続けたくない(25.9%)が2割半ばと、住み続けたい(11.0%)より14.9ポイント高くなっています。

【川口市の良くないところ・嫌いなところ（居留意向別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	住み続けたい (n=1,395)	住み続けたくない (n=347)
治安が悪い	54.1	49.8	☆ 75.2
街並みがきたない	14.0	11.0	○ 25.9
公共交通機関が充実していない	12.4	12.6	11.8
道路事情が悪い	9.3	8.7	12.1
医療サービスが不十分である	9.2	9.5	7.8
公園などの憩いの場が乏しい	8.7	9.2	6.9
福祉サービスの水準が低い	8.5	8.7	6.3
近隣の人々とのきずなが弱い	7.3	7.4	6.1
物価が高い	7.0	7.3	6.6
子育ての環境が整っていない	6.6	5.7	9.8
娯楽施設が充実していない	5.9	6.2	4.6
スポーツをする場が乏しい	5.8	5.9	6.1
自然環境が悪い	5.5	5.2	7.8
子どもの教育環境が整っていない	4.7	4.4	6.3
住まいの環境が悪い	4.5	3.0	△ 10.4
文化活動をする場が乏しい	4.3	4.6	3.7
買い物など日常生活が不便である	3.7	4.1	2.0
勤務先から遠い	2.2	2.2	2.3
都心に出にくい	1.4	1.4	1.4
災害が多い	1.1	1.2	0.6
公害が多い	1.1	1.0	1.4
特になし	9.5	11.8	▲ 0.3
その他	12.6	12.2	13.5
無回答	5.0	3.9	7.8

## 6 川口市に住むことを勧めたいか

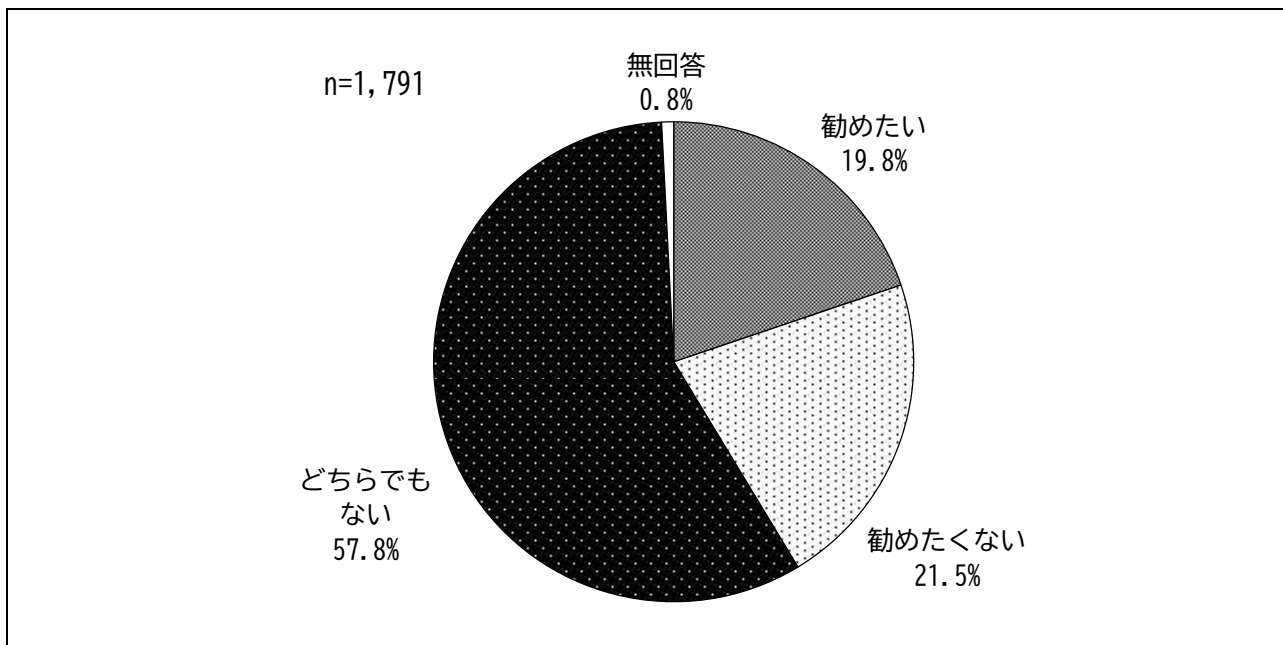
### (1) 川口市に住むことを勧めたいか

問4 (3) 友人や知人に川口市に住むことを勧めたいですか。(○は1つ)

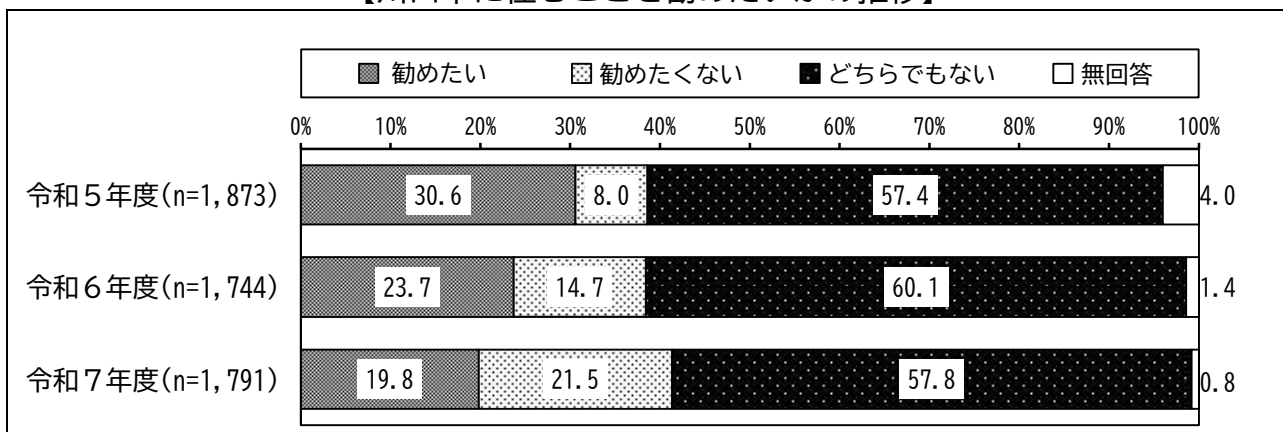
川口市に住むことを勧めたいか聞いたところ、「勧めたい」は19.8%で約2割を占めています。一方、「勧めたくない」は21.5%で2割以上、「どちらでもない」は57.8%で5割半ばを超えています。

川口市に住むことを勧めたいかの推移をみると、令和6年度と比べ、「勧めたい」は3.9ポイント減少、「勧めたくない」は6.8ポイント増加しています。

【川口市に住むことを勧めたいか (全体)】



【川口市に住むことを勧めたいかの推移】



## (2) 川口市に住むことを勧めたいか（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「勧めたい」は男性60～64歳(26.2%)、男性75歳以上(25.8%)、女性18～29歳(25.4%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「勧めたくない」は男性18～29歳(40.2%)で約4割と最も高くなっています。

### 【川口市に住むことを勧めたいか（性別、性・年齢別）】

(人)

(%)

		合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体		1,791	19.8	21.5	57.8	0.8
男性		817	21.9	24.2	53.2	0.6
女性		917	18.0	19.0	61.9	1.1
自由記載		11	★ 0.0	☆ 54.5	● 45.5	0.0
男性	18～29歳	87	18.4	☆ 40.2	★ 40.2	1.1
	30～39歳	131	19.8	○ 35.1	● 45.0	0.0
	40～49歳	137	19.7	△ 30.7	▲ 49.6	0.0
	50～59歳	158	21.5	20.9	57.0	0.6
	60～64歳	61	△ 26.2	23.0	▲ 50.8	0.0
	65～74歳	117	23.9	▲ 14.5	60.7	0.9
	75歳以上	124	△ 25.8	● 8.9	△ 63.7	1.6
女性	18～29歳	114	△ 25.4	△ 29.8	● 44.7	0.0
	30～39歳	136	20.6	△ 27.9	▲ 51.5	0.0
	40～49歳	148	▲ 13.5	△ 28.4	57.4	0.7
	50～59歳	183	20.2	▲ 15.3	△ 63.4	1.1
	60～64歳	61	▲ 13.1	▲ 11.5	○ 72.1	3.3
	65～74歳	123	▲ 11.4	▲ 13.0	☆ 74.0	1.6
	75歳以上	143	18.9	★ 5.6	☆ 73.4	2.1

### (3) 川口市に住むことを勧めたいか（出生地別）

出生地別にみると、「勧めたい」は国外(42.2%)で4割を超えて最も高くなっています。  
「勧めたくない」は川口市以外の埼玉県内(28.3%)で3割近くと最も高くなっています。

#### 【川口市に住むことを勧めたいか（出生地別）】

	(人)				(%)
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体	1,791	19.8	21.5	57.8	0.8
川口市内	487	19.3	22.0	58.3	0.4
川口市以外の埼玉県内	226	21.2	△ 28.3	▲ 50.4	0.0
埼玉県外	972	17.9	21.1	59.9	1.1
国外	83	☆ 42.2	● 8.4	● 47.0	2.4

### (4) 川口市に住むことを勧めたいか（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「勧めたくない」は埼玉県、東京都以外の道府県(36.4%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

#### 【川口市に住むことを勧めたいか（通勤・通学先別）】

	(人)				(%)
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体	1,791	19.8	21.5	57.8	0.8
川口市内	414	18.1	22.7	58.7	0.5
埼玉県内（川口市以外）	221	21.3	26.2	▲ 51.6	0.9
東京都内	552	21.2	25.9	▲ 52.5	0.4
埼玉県、東京都以外の道府県	66	19.7	○ 36.4	★ 42.4	1.5
通勤・通学していない等	538	19.1	▲ 12.3	△ 67.1	1.5

## (5) 川口市に住むことを勧めたいか（居住年数別）

居住年数別にみると、「勧めたくない」は在住して10年以上～20年未満(31.3%)で3割を超えて最も高く、在住して5年未満(28.3%)で3割近くと高くなっています。

### 【川口市に住むことを勧めたいか（居住年数別）】

	(人)				(%)
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体	1,791	19.8	21.5	57.8	0.8
生まれてからずっと住んでいる	307	19.2	20.8	59.6	0.3
在住して5年未満	251	23.9	△ 28.3	▲ 47.8	0.0
在住して5年以上～10年未満	180	18.9	25.6	55.0	0.6
在住して10年以上～20年未満	272	15.8	△ 31.3	▲ 51.5	1.5
在住して20年以上～30年未満	236	15.7	21.6	61.9	0.8
在住して30年以上	499	22.6	▲ 12.8	△ 63.1	1.4

## (6) 川口市に住むことを勧めたいか（居住地域別）

居住地域別にみると、「勧めたい」は南平地域(26.2%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。一方、「勧めたくない」は横曽根地域(27.5%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

### 【川口市に住むことを勧めたいか（居住地域別）】

	(人)				(%)
	合計	勧めたい	勧めたくない	どちらでもない	無回答
全体	1,791	19.8	21.5	57.8	0.8
中央地域	172	18.6	▲ 16.3	△ 64.0	1.2
横曽根地域	204	19.6	△ 27.5	▲ 52.0	1.0
青木地域	238	16.0	26.1	57.1	0.8
南平地域	183	△ 26.2	16.9	56.8	0.0
新郷地域	103	15.5	▲ 15.5	○ 68.9	0.0
神根地域	132	18.2	24.2	56.1	1.5
芝地域	221	19.9	22.6	55.7	1.8
安行地域	96	21.9	25.0	53.1	0.0
戸塚地域	214	16.8	24.8	57.5	0.9
鳩ヶ谷地域	167	24.6	▲ 15.6	59.3	0.6

## 7 川口市に愛着や誇りを持っているか

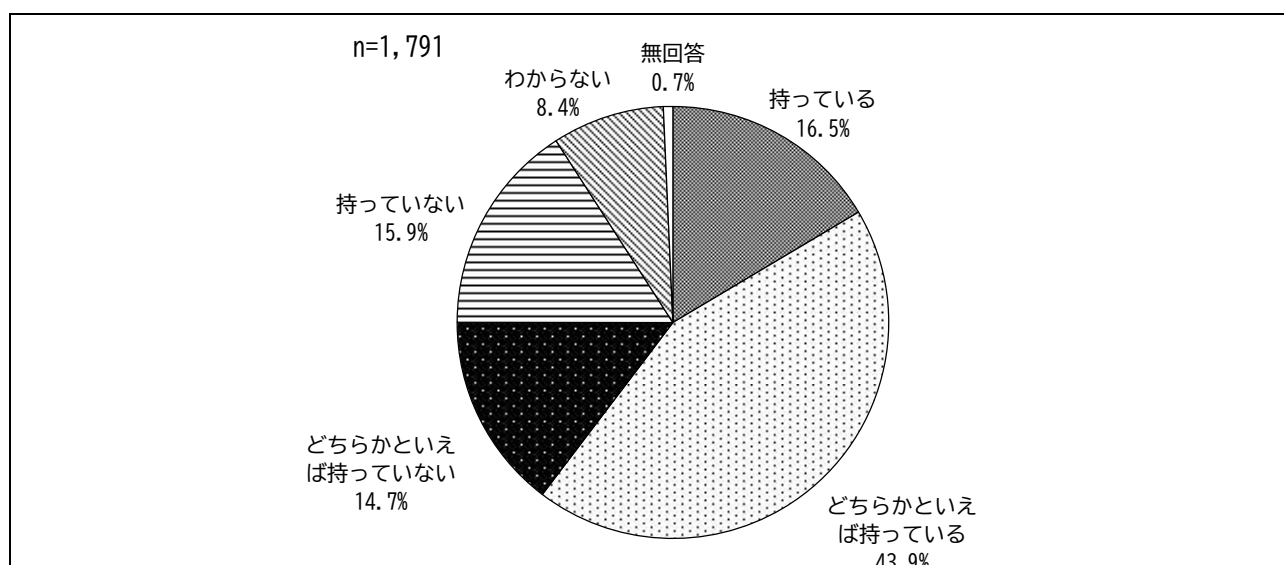
### (1) 川口市に愛着や誇りを持っているか

問4 (4) 川口市やお住まいの地域に愛着や誇りを持っていますか。(○は1つ)

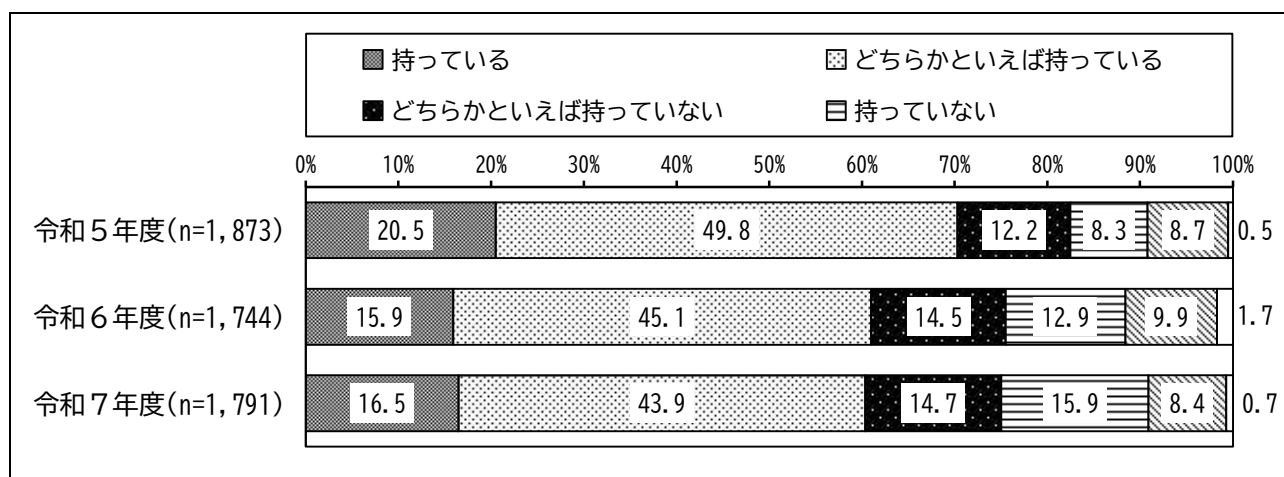
川口市に愛着や誇りを持っているかを聞いたところ、「持っている」(16.5%)と「どちらかといえば持っている」(43.9%)を合わせた『持っている』は60.4%で約6割を占めています。一方、「どちらかといえば持っていない」(14.7%)と「持っていない」(15.9%)を合わせた『持っていない』は30.6%で約3割となっています。

川口市に愛着や誇りを持っているかの推移をみると、令和6年度と比べると大きな変化はありません。

【川口市に愛着や誇りを持っているか (全体)】



【川口市に愛着や誇りを持っているかの推移】



## (2) 川口市に愛着や誇りを持っているか（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「持っている」は男性75歳以上(25.0%)で2割半ばと最も高く、女性75歳以上(23.8%)で2割を超えて高くなっています。

一方、「持っていない」は男性30～39歳(29.0%)で約3割と最も高く、男性18～29歳(26.4%)で2割半ばを超えて高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)
		合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば持 っていない	持っていない	わからない	無回答
全体		1,791	16.5	43.9	14.7	15.9	8.4	0.7
男性		817	16.9	44.2	14.3	17.0	6.9	0.7
女性		917	16.1	43.5	15.3	14.6	9.9	0.5
自由記載		11	▲ 9.1	★ 18.2	▲ 9.1	☆ 45.5	△ 18.2	0.0
男性	18～29歳	87	14.9	▲ 36.8	13.8	○ 26.4	8.0	0.0
	30～39歳	131	▲ 9.9	▲ 35.1	13.7	○ 29.0	11.5	0.8
	40～49歳	137	15.3	40.9	13.9	△ 22.6	6.6	0.7
	50～59歳	158	18.4	△ 51.3	10.8	13.9	5.7	0.0
	60～64歳	61	11.5	△ 49.2	△ 23.0	13.1	▲ 3.3	0.0
	65～74歳	117	19.7	47.9	17.9	▲ 8.5	5.1	0.9
	75歳以上	124	△ 25.0	47.6	12.9	● 5.6	6.5	2.4
女性	18～29歳	114	17.5	● 28.9	△ 20.2	△ 22.8	10.5	0.0
	30～39歳	136	▲ 9.6	▲ 38.2	19.1	△ 24.3	8.8	0.0
	40～49歳	148	16.2	41.9	14.9	16.9	9.5	0.7
	50～59歳	183	16.4	48.6	14.8	▲ 8.7	10.4	1.1
	60～64歳	61	● 4.9	☆ 59.0	16.4	11.5	8.2	0.0
	65～74歳	123	17.9	44.7	15.4	13.8	7.3	0.8
	75歳以上	143	△ 23.8	48.3	▲ 7.7	▲ 6.3	13.3	0.7

### (3) 川口市に愛着や誇りを持っているか（出生地別）

出生地別にみると、「持っている」は国外(34.9%)で3割半ば近くと最も高く、川口市内(24.6%)で2割半ば近くと高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（出生地別）】

	(人)						(%)
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば 持っていない	持っていない	わからない	無回答
全体	1,791	16.5	43.9	14.7	15.9	8.4	0.7
川口市内	487	△ 24.6	46.0	10.9	11.7	6.2	0.6
川口市以外の埼玉県内	226	11.5	39.8	15.0	20.8	12.4	0.4
埼玉県外	972	11.8	44.9	17.1	17.3	8.2	0.7
国外	83	☆ 34.9	★ 27.7	10.8	12.0	△ 14.5	0.0

### (4) 川口市に愛着や誇りを持っているか（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「持っている」は川口市内(20.0%)で2割と最も高くなっています。また、「持っていない」は東京都内(21.6%)で2割を超えて最も高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（通勤・通学先別）】

	(人)						(%)
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば 持っていない	持っていない	わからない	無回答
全体	1,791	16.5	43.9	14.7	15.9	8.4	0.7
川口市内	414	20.0	41.8	15.2	13.5	9.2	0.2
埼玉県内（川口市以外）	221	15.8	43.0	14.9	18.6	7.2	0.5
東京都内	552	11.8	43.3	15.2	△ 21.6	7.6	0.5
埼玉県、東京都以外の道府県	66	15.2	43.9	16.7	18.2	6.1	0.0
通勤・通学していない等	538	19.0	46.5	13.6	▲ 10.4	9.3	1.3

## (5) 川口市に愛着や誇りを持っているか（居住年数別）

居住年数別にみると、「持っている」は生まれてからずっと住んでいる(28.7%)で3割近くと最も高くなっています。一方、「持っていない」は在住して5年未満(29.5%)で約3割と最も高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（居住年数別）】

	(人)				(%)		
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば 持っていない	持っていない	わからない	無回答
全体	1,791	16.5	43.9	14.7	15.9	8.4	0.7
生まれてからずっと住んでいる	307	○ 28.7	44.6	11.1	▲ 10.4	5.2	0.0
在住して5年未満	251	▲ 10.8	● 29.9	19.1	○ 29.5	10.4	0.4
在住して5年以上～10年未満	180	▲ 10.0	▲ 33.9	19.4	△ 25.6	11.1	0.0
在住して10年以上～20年未満	272	▲ 9.9	41.5	17.6	△ 21.7	8.1	1.1
在住して20年以上～30年未満	236	13.6	47.0	18.2	12.7	8.5	0.0
在住して30年以上	499	18.6	△ 53.7	10.0	▲ 7.8	8.8	1.0

## (6) 川口市に愛着や誇りを持っているか（居住地域別）

居住地域別にみると、「持っている」は青木地域(21.0%)で2割を超えて最も高くなっています。一方、「持っていない」は横曽根地域(23.0%)、戸塚地域(21.5%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市に愛着や誇りを持っているか（居住地域別）】

	(人)				(%)		
	合計	持っている	どちらか といえば 持っている	どちらか といえば 持っていない	持っていない	わからない	無回答
全体	1,791	16.5	43.9	14.7	15.9	8.4	0.7
中央地域	172	18.0	47.1	15.1	12.2	7.6	0.0
横曽根地域	204	14.7	41.2	15.2	△ 23.0	4.4	1.5
青木地域	238	21.0	▲ 37.0	12.6	17.2	11.8	0.4
南平地域	183	19.1	46.4	12.6	13.1	8.7	0.0
新郷地域	103	13.6	44.7	14.6	12.6	△ 14.6	0.0
神根地域	132	18.2	42.4	18.9	12.9	7.6	0.0
芝地域	221	12.7	47.1	17.2	15.4	6.8	0.9
安行地域	96	16.7	42.7	14.6	15.6	9.4	1.0
戸塚地域	214	▲ 11.2	47.2	11.2	△ 21.5	7.9	0.9
鳩ヶ谷地域	167	17.4	43.7	18.0	14.4	6.6	0.0

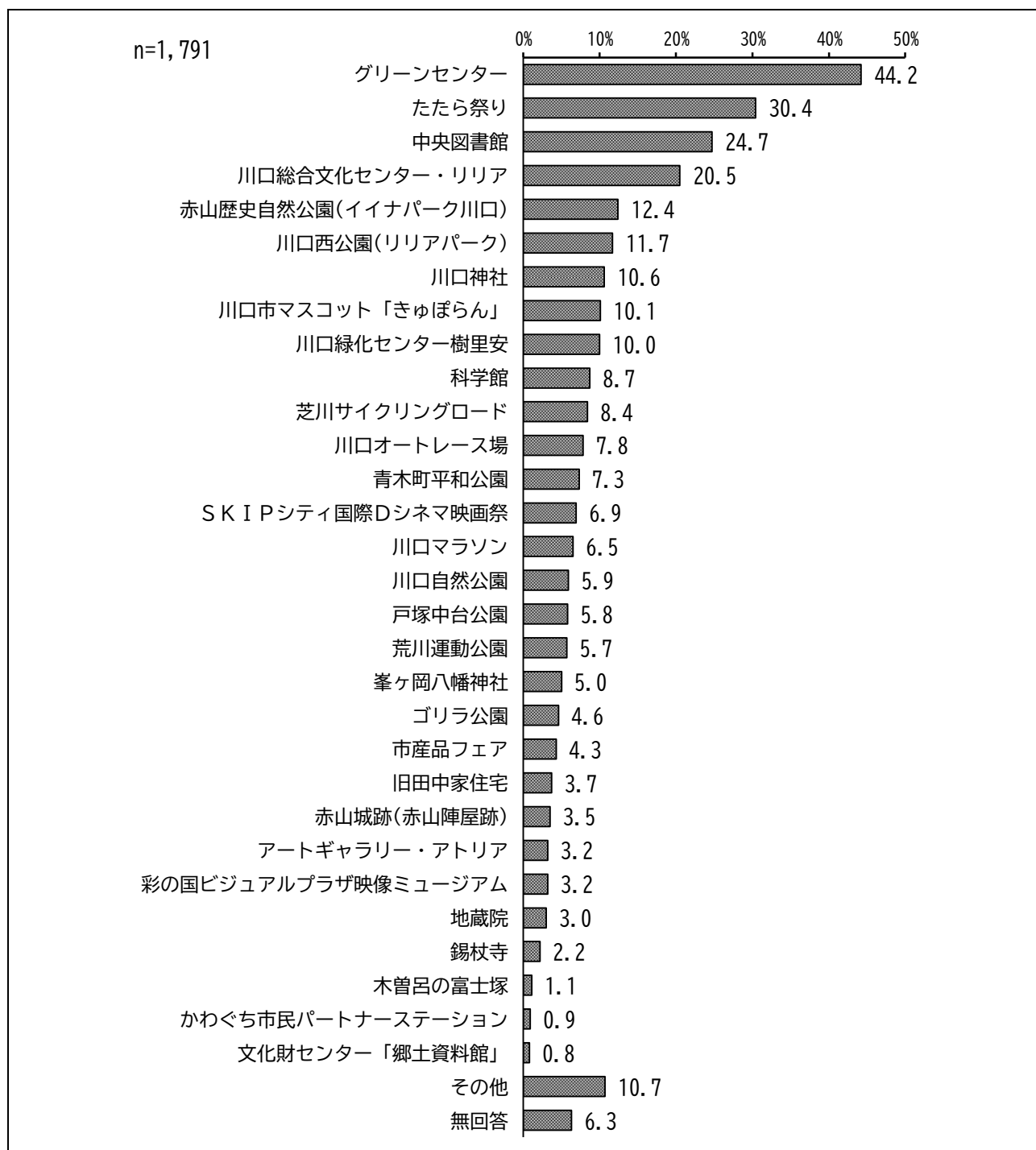
## 8 川口市の好きな場所、もの、行事

### (1) 川口市の好きな場所、もの、行事

問5 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。(〇はいくつでも)

川口市の好きな場所、もの、行事は、「グリーンセンター」が44.2%で4割半ば近くと最も高く、「たたら祭り」が30.4%、「中央図書館」が24.7%、「川口総合文化センター・リリア」が20.5%と続いています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（全体）】



## (2) 川口市の好きな場所、もの、行事（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「グリーンセンター」は男性75歳以上(59.7%)で約6割と最も高く、女性65～74歳(55.3%)で5割半ばと高くなっています。

「たたら祭り」は男性50～59歳(39.9%)、男性40～49歳(39.4%)で約4割と高くなっています。

「川口総合文化センター・リリア」は女性65～74歳(33.3%)、女性75歳以上(32.9%)で3割を超えて高く、女性50～59歳(27.9%)、男性65～74歳(27.4%)、女性60～64歳(26.2%)で2割半ばを超えて高くなっています。

### 【川口市の好きな場所、もの、行事（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
グリーンセンター	44.2	★ 25.3	● 29.8	43.8	42.4	● 31.1	45.3	☆ 59.7
たたら祭り	30.4	31.0	▲ 24.4	△ 39.4	△ 39.9	26.2	△ 35.9	27.4
中央図書館	24.7	25.3	21.4	▲ 16.8	24.1	● 13.1	21.4	▲ 16.9
川口総合文化センター・リリア	20.5	17.2	● 6.1	▲ 10.9	17.1	16.4	△ 27.4	22.6
赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)	12.4	▲ 4.6	16.0	△ 19.0	8.2	9.8	12.8	14.5
川口西公園(リリアパーク)	11.7	11.5	8.4	▲ 6.6	▲ 5.7	11.5	△ 20.5	11.3
川口神社	10.6	10.3	7.6	6.6	13.3	△ 18.0	△ 20.5	9.7
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	8.0	13.7	13.1	11.4	8.2	▲ 3.4	▲ 3.2
川口緑化センター樹里安	10.0	▲ 0.0	▲ 4.6	10.2	8.2	▲ 3.3	△ 16.2	○ 22.6
科学館	8.7	8.0	7.6	9.5	12.0	▲ 3.3	5.1	▲ 2.4
芝川サイクリングロード	8.4	10.3	▲ 3.1	10.9	7.0	9.8	○ 18.8	10.5
川口オートレース場	7.8	10.3	6.9	11.7	10.8	△ 16.4	△ 16.2	7.3
青木町平和公園	7.3	5.7	5.3	10.9	7.6	6.6	6.8	8.9
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	6.9	6.9	3.8	5.1	10.1	6.6	10.3	5.6
川口マラソン	6.5	▲ 1.1	3.1	△ 11.7	8.9	6.6	9.4	△ 14.5
川口自然公園	5.9	6.9	1.5	7.3	4.4	4.9	10.3	8.9
戸塚中台公園	5.8	3.4	3.1	6.6	7.6	4.9	3.4	4.0
荒川運動公園	5.7	5.7	6.9	5.1	3.2	8.2	△ 14.5	10.5
峯ヶ岡八幡神社	5.0	2.3	3.1	5.8	4.4	3.3	5.1	7.3
ゴリラ公園	4.6	9.2	6.9	4.4	5.7	1.6	0.9	3.2
市産品フェア	4.3	1.1	4.6	3.6	5.7	1.6	4.3	7.3
旧田中家住宅	3.7	0.0	2.3	0.7	4.4	4.9	4.3	7.3
赤山城跡(赤山陣屋跡)	3.5	0.0	0.0	3.6	2.5	1.6	6.8	△ 10.5
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.2	4.6	3.1	1.5	4.4	3.3	3.4	0.0
アートギャラリー・アトリア	3.2	0.0	0.8	2.2	1.3	0.0	4.3	2.4
地藏院	3.0	0.0	1.5	2.2	1.3	0.0	6.0	△ 8.1
錫杖寺	2.2	0.0	0.0	0.7	1.9	3.3	6.0	3.2
木曾呂の富士塚	1.1	1.1	0.0	0.7	0.6	1.6	1.7	0.8
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	1.1	0.8	0.7	0.6	1.6	0.9	0.8
文化財センター「郷土資料館」	0.8	1.1	0.8	1.5	0.6	0.0	0.0	0.8
その他	10.7	6.9	12.2	10.2	9.5	9.8	8.5	8.1
無回答	6.3	△ 14.9	△ 14.5	6.6	4.4	△ 13.1	3.4	4.0

【川口市の好きな場所、もの、行事（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
グリーンセンター	44.2	★ 25.4	△ 51.5	46.6	45.9	△ 52.5	○ 55.3	△ 52.4
たたら祭り	30.4	31.6	30.9	31.1	29.0	▲ 23.0	▲ 22.0	▲ 23.8
中央図書館	24.7	△ 31.6	27.9	○ 37.2	△ 30.6	23.0	29.3	▲ 18.9
川口総合文化センター・リリア	20.5	17.5	▲ 12.5	18.2	△ 27.9	△ 26.2	○ 33.3	○ 32.9
赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)	12.4	▲ 7.0	△ 19.9	12.8	13.7	11.5	8.1	7.7
川口西公園(リリアパーク)	11.7	13.2	14.7	9.5	13.1	11.5	13.8	13.3
川口神社	10.6	▲ 4.4	7.4	7.4	12.6	9.8	11.4	11.9
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	12.3	8.1	14.2	△ 15.8	13.1	▲ 3.3	7.0
川口緑化センター樹里安	10.0	▲ 3.5	▲ 4.4	▲ 3.4	10.4	13.1	△ 17.9	14.7
科学館	8.7	11.4	11.0	○ 23.6	4.4	▲ 3.3	4.9	▲ 2.1
芝川サイクリングロード	8.4	3.5	▲ 2.9	6.1	13.1	4.9	8.9	7.0
川口オートレース場	7.8	4.4	6.6	6.1	6.0	4.9	▲ 0.8	3.5
青木町平和公園	7.3	5.3	4.4	6.1	6.0	9.8	10.6	6.3
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	6.9	7.9	2.2	8.8	4.4	4.9	10.6	7.0
川口マラソン	6.5	3.5	2.2	4.7	5.5	4.9	5.7	7.0
川口自然公園	5.9	5.3	2.9	4.7	7.1	9.8	7.3	5.6
戸塚中台公園	5.8	3.5	5.9	4.7	7.7	4.9	4.1	3.5
荒川運動公園	5.7	6.1	2.9	5.4	3.8	1.6	0.8	7.0
峯ヶ岡八幡神社	5.0	0.9	2.2	6.1	7.1	6.6	5.7	8.4
ゴリラ公園	4.6	7.0	8.1	4.7	3.3	4.9	2.4	2.1
市産品フェア	4.3	1.8	3.7	5.4	4.4	3.3	7.3	2.1
旧田中家住宅	3.7	0.9	2.9	4.7	5.5	4.9	3.3	3.5
赤山城跡(赤山陣屋跡)	3.5	0.9	0.7	0.7	3.8	8.2	4.1	4.2
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.2	5.3	2.2	5.4	2.2	4.9	4.9	1.4
アートギャラリー・アトリア	3.2	7.0	3.7	6.8	4.9	3.3	2.4	3.5
地蔵院	3.0	0.0	0.0	0.0	3.3	6.6	6.5	6.3
錫杖寺	2.2	0.9	0.0	2.0	1.6	1.6	4.9	4.2
木曾呂の富士塚	1.1	1.8	0.0	0.0	2.2	0.0	0.8	2.1
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	0.0	0.0	2.7	0.5	1.6	0.8	2.1
文化財センター「郷土資料館」	0.8	2.6	0.7	0.7	0.0	1.6	0.0	1.4
その他	10.7	10.5	△ 16.2	11.5	12.0	11.5	10.6	10.5
無回答	6.3	7.0	4.4	6.8	3.3	4.9	3.3	6.3

### (3) 川口市の好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）

通勤・通学先別にみると、「グリーンセンター」は埼玉県内(川口市以外)(46.2%)、川口市内(45.2%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「たたら祭り」は埼玉県内(川口市以外)(38.5%)で4割近くと最も高くなっています。

#### 【川口市の好きな場所、もの、行事（通勤・通学先別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	川口市内 (n=414)	埼玉県内 (川口市 以外) (n=221)	東京都内 (n=552)	埼玉県、 東京都以外 の道府県 (n=66)	通勤・通学 していない 等 (n=538)
グリーンセンター	44.2	45.2	46.2	▲ 37.0	● 30.3	△ 51.7
たたら祭り	30.4	32.9	△ 38.5	27.7	31.8	27.9
中央図書館	24.7	20.5	19.9	△ 30.4	24.2	24.0
川口総合文化センター・リリア	20.5	19.3	17.6	16.5	24.2	△ 26.4
赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)	12.4	△ 17.6	13.6	11.1	7.6	9.9
川口西公園(リリアパーク)	11.7	10.1	▲ 6.3	12.0	▲ 4.5	15.8
川口神社	10.6	9.2	9.5	10.5	9.1	12.3
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	10.6	10.0	11.8	10.6	7.8
川口緑化センター樹里安	10.0	11.1	9.5	▲ 4.2	7.6	△ 15.6
科学館	8.7	10.6	13.1	8.7	4.5	5.9
芝川サイクリングロード	8.4	12.1	8.1	5.3	7.6	9.1
川口オートレース場	7.8	10.4	9.5	6.3	6.1	6.7
青木町平和公園	7.3	7.5	6.8	6.9	4.5	8.2
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	6.9	5.8	5.4	6.2	△ 12.1	8.4
川口マラソン	6.5	5.6	8.6	4.5	3.0	8.7
川口自然公園	5.9	7.7	5.4	2.9	7.6	7.6
戸塚中台公園	5.8	7.2	△ 11.3	4.7	6.1	3.5
荒川運動公園	5.7	4.8	4.1	5.8	3.0	7.2
峯ヶ岡八幡神社	5.0	6.8	5.4	3.1	4.5	5.4
ゴリラ公園	4.6	3.6	△ 10.9	4.5	4.5	2.8
市産品フェア	4.3	7.0	2.7	3.4	3.0	3.9
旧田中家住宅	3.7	3.6	1.8	4.9	4.5	3.3
赤山城跡(赤山陣屋跡)	3.5	4.3	2.3	1.3	1.5	5.9
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.2	2.4	4.5	4.2	0.0	2.6
アートギャラリー・アトリア	3.2	3.9	1.8	2.4	4.5	4.1
地藏院	3.0	3.6	1.8	0.9	1.5	5.4
錫杖寺	2.2	1.0	0.9	2.4	0.0	3.7
木曾呂の富士塚	1.1	2.2	1.4	0.4	1.5	0.7
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	0.2	0.0	1.6	0.0	1.3
文化財センター「郷土資料館」	0.8	0.7	0.5	1.3	1.5	0.6
その他	10.7	10.9	11.8	11.6	9.1	9.3
無回答	6.3	7.5	5.9	7.6	4.5	4.5

#### (4) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）

居住地域別にみると、「グリーンセンター」は神根地域(59.8%)で約6割と最も高く、芝地域(53.4%)、鳩ヶ谷地域(52.1%)、新郷地域(51.5%)で5割を超えて高くなっています。

「たたら祭り」は鳩ヶ谷地域(44.9%)、青木地域(42.4%)で4割を超えて高くなっています。

「中央図書館」は中央地域(54.7%)で5割半ば近くと最も高く、横曽根地域(42.6%)で4割を超えて高くなっています。

「川口総合文化センター・リリア」は中央地域(32.0%)、横曽根地域(30.9%)で3割を超えて高くなっています。

#### 【川口市の好きな場所、もの、行事（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
グリーンセンター	44.2	★ 29.1	★ 27.5	45.8	▲ 35.5	△ 51.5	☆ 59.8	△ 53.4	41.7	45.8	△ 52.1
たたら祭り	30.4	▲ 23.8	26.5	○ 42.4	33.9	28.2	31.8	▲ 22.6	27.1	▲ 20.6	○ 44.9
中央図書館	24.7	☆ 54.7	☆ 42.6	24.8	○ 35.5	● 14.6	● 10.6	▲ 19.5	★ 9.4	★ 8.9	▲ 16.2
川口総合文化センター・リリア	20.5	○ 32.0	○ 30.9	21.4	24.6	15.5	▲ 12.1	20.4	● 10.4	▲ 13.6	16.8
赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)	12.4	8.7	▲ 4.4	8.8	10.9	11.7	○ 24.2	10.9	○ 26.0	13.6	14.4
川口西公園(リリアパーク)	11.7	☆ 29.1	☆ 37.3	13.0	10.9	▲ 1.9	▲ 3.8	▲ 5.0	● 0.0	● 0.9	▲ 2.4
川口神社	10.6	☆ 31.4	△ 17.6	12.2	13.1	▲ 2.9	7.6	6.8	▲ 1.0	▲ 3.3	▲ 2.4
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	△ 16.9	7.8	10.1	9.8	8.7	8.3	10.4	8.3	8.9	10.2
川口緑化センター樹里安	10.0	7.0	▲ 4.4	8.4	5.5	○ 22.3	13.6	6.3	☆ 29.2	9.3	9.0
科学館	8.7	4.7	7.4	10.9	8.7	9.7	9.1	6.8	7.3	9.3	10.2
芝川サイクリングロード	8.4	▲ 1.7	3.9	12.2	11.5	▲ 1.9	△ 18.2	11.3	▲ 1.0	▲ 2.8	△ 15.6
川口オートレース場	7.8	7.0	8.3	10.5	7.7	7.8	6.8	5.4	11.5	3.7	11.4
青木町平和公園	7.3	4.7	7.4	○ 22.3	6.0	8.7	5.3	5.9	▲ 1.0	▲ 1.4	2.4
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	6.9	9.3	5.9	10.9	6.0	6.8	6.8	6.8	7.3	2.8	5.4
川口マラソン	6.5	5.8	4.9	10.1	4.9	1.9	△ 12.9	7.2	4.2	7.0	3.6
川口自然公園	5.9	5.2	2.0	5.5	▲ 0.5	1.9	○ 18.9	4.5	4.2	△ 12.6	3.0
戸塚中台公園	5.8	4.1	2.5	▲ 0.4	▲ 0.0	3.9	6.1	2.7	6.3	☆ 29.0	1.2
荒川運動公園	5.7	△ 15.7	△ 14.7	3.4	7.7	1.0	0.8	3.6	2.1	0.9	2.4
峯ヶ岡八幡神社	5.0	2.3	0.0	1.7	2.2	☆ 35.9	1.5	1.8	○ 19.8	2.8	1.8
ゴリラ公園	4.6	1.2	1.5	3.8	1.6	1.9	4.5	○ 18.6	5.2	3.3	1.8
市産品フェア	4.3	4.1	2.5	8.0	4.4	2.9	4.5	3.2	3.1	1.4	8.4
旧田中家住宅	3.7	3.5	4.4	2.9	8.2	2.9	3.8	1.8	2.1	1.9	4.8
赤山城跡(赤山陣屋跡)	3.5	1.7	1.5	3.4	2.2	5.8	8.3	0.9	6.3	3.3	2.4
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.2	1.7	3.4	4.2	4.4	1.9	4.5	2.3	3.1	2.3	3.6
アートギャラリー・アトリア	3.2	5.2	△ 8.3	5.0	2.2	1.0	2.3	1.8	1.0	0.9	2.4
地藏院	3.0	1.7	0.5	1.7	1.6	4.9	3.0	1.8	3.1	2.8	△ 9.0
錫杖寺	2.2	△ 8.7	2.0	2.5	2.2	1.0	0.0	1.8	0.0	0.9	0.6
木曾呂の富士塚	1.1	1.7	0.5	0.0	0.5	1.0	6.1	0.5	0.0	0.9	0.0
かわぐち市民パートナーズステーション	0.9	2.3	1.0	0.8	2.7	1.0	0.8	0.5	0.0	0.5	0.0
文化財センター「郷土資料館」	0.8	0.0	0.5	1.3	0.0	1.0	0.0	1.4	0.0	0.9	3.0
その他	10.7	7.0	13.7	8.0	13.7	10.7	8.3	9.5	△ 19.8	10.7	9.6
無回答	6.3	5.2	6.9	3.4	6.0	7.8	3.8	6.8	7.3	△ 11.7	4.2

## (5) 川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）

居住意向別にみると、「グリーンセンター」は住み続けたい(47.0%)が4割半ばを超えて、住み続けたくない(32.3%)より14.7ポイント高くなっています。

「たたら祭り」は住み続けたい(32.6%)が3割を超えて、住み続けたくない(24.8%)より7.8ポイント高くなっています。

【川口市の好きな場所、もの、行事（居住意向別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	住み続けたい (n=1,395)	住み続けたくない (n=347)
グリーンセンター	44.2	47.0	● 32.3
たたら祭り	30.4	32.6	▲ 24.8
中央図書館	24.7	25.2	23.9
川口総合文化センター・リリア	20.5	22.1	▲ 13.8
赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)	12.4	13.4	8.1
川口西公園(リリアパーク)	11.7	12.4	8.4
川口神社	10.6	11.3	8.6
川口市マスコット「きゅぼらん」	10.1	11.2	5.8
川口緑化センター樹里安	10.0	11.0	6.1
科学館	8.7	9.2	8.1
芝川サイクリングロード	8.4	9.5	4.3
川口オートレース場	7.8	8.2	6.1
青木町平和公園	7.3	8.3	3.7
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	6.9	7.3	5.2
川口マラソン	6.5	7.5	3.2
川口自然公園	5.9	6.7	3.5
戸塚中台公園	5.8	6.5	4.0
荒川運動公園	5.7	5.9	4.9
峯ヶ岡八幡神社	5.0	5.2	3.2
ゴリラ公園	4.6	4.6	5.2
市産品フェア	4.3	4.7	2.9
旧田中家住宅	3.7	3.9	2.9
赤山城跡(赤山陣屋跡)	3.5	3.8	2.0
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.2	3.3	2.9
アートギャラリー・アトリア	3.2	3.3	2.3
地藏院	3.0	3.5	0.6
錫杖寺	2.2	2.5	0.6
木曾呂の富士塚	1.1	1.1	1.2
かわぐち市民パートナーステーション	0.9	1.0	0.6
文化財センター「郷土資料館」	0.8	0.9	0.6
その他	10.7	9.7	13.8
無回答	6.3	5.0	11.2

## 9 川口市の状況や取り組みについての実感

### (1) 川口市の状況や取り組みについての実感

問6 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。(それぞれに○は1つ)

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、報告書中では下記の表のように表記します。

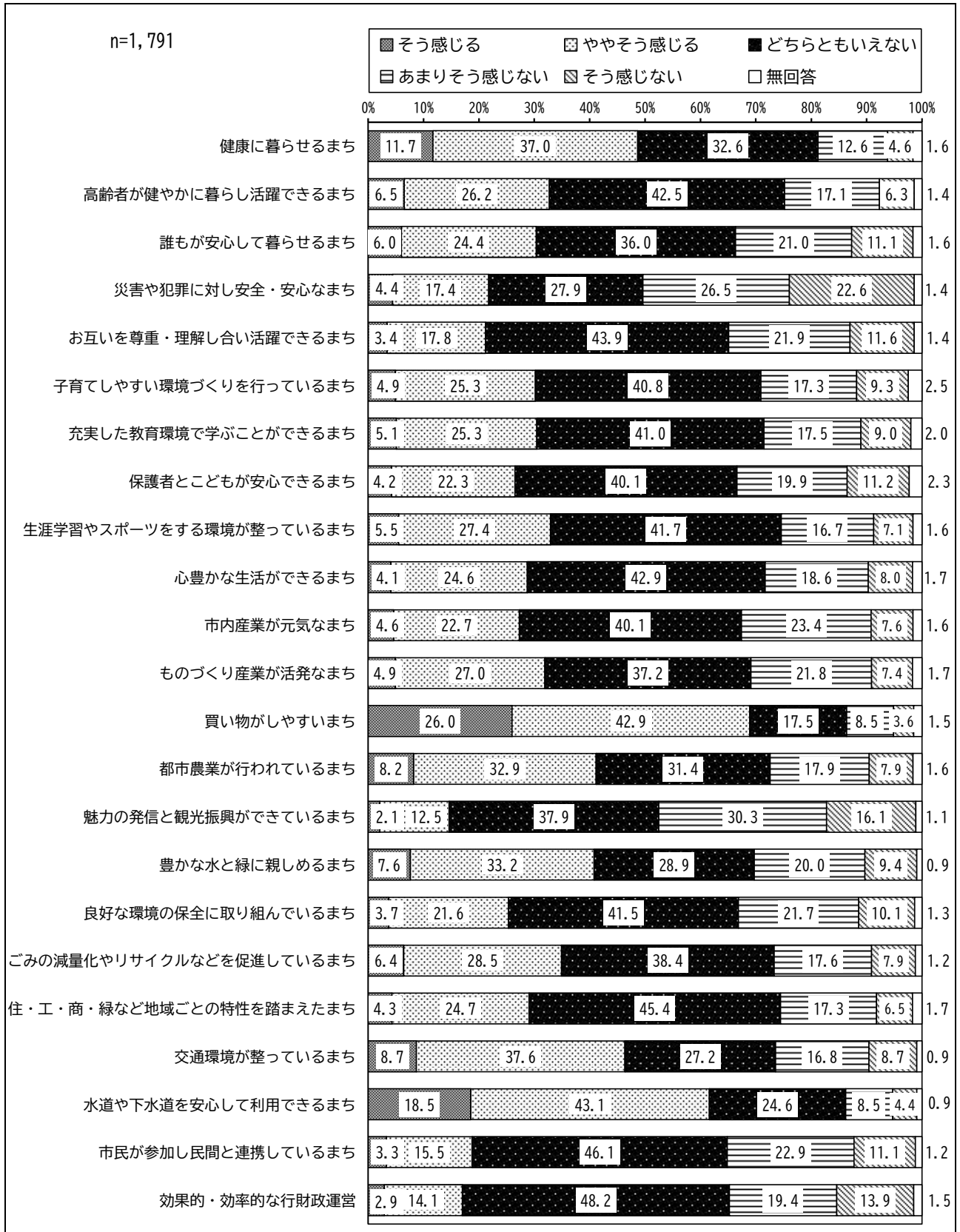
No.	まちづくりの基本的な方向性を示す状況や取り組み	報告書中の表記
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	健康に暮らせるまち
2	高齢者が健やかに暮らし、活躍できるまち	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち
3	年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、安心して暮らせるまち	誰もが安心して暮らせるまち
4	さまざまな災害や犯罪などに対して、安全で安心して暮らせるまち	災害や犯罪に対し安全・安心なまち
5	お互いを尊重・理解し合い、支え合いながら生き生きと活躍できるまち	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち
6	妊娠期から青年期まで、子育てしやすい環境づくりを行っているまち	子育てしやすい環境づくりを行っているまち
7	子どもたちが充実した教育環境で学ぶことができるまち	充実した教育環境で学ぶことができるまち
8	保護者が安心して子育てでき、子どもが安心して自分らしく育つことができるまち	保護者と子どもが安心できるまち
9	生涯学習や、スポーツをするための環境が整っているまち	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち
10	歴史、文化、芸術を学び、楽しみ、心豊かな生活ができるまち	心豊かな生活ができるまち
11	市内産業が元気なまち	市内産業が元気なまち
12	ものづくり産業が活発なまち	ものづくり産業が活発なまち
13	大型店から商店街まで買い物しやすいまち	買い物がしやすいまち
14	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	都市農業が行われているまち
15	特徴ある多種多様な魅力を、市内外に発信し、地域資源を活用した観光振興ができています	魅力の発信と観光振興ができています
16	豊かな水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間があるまち	豊かな水と緑に親しめるまち
17	人と生物が暮らす良好な環境の保全に向けた取り組みを行っているまち	良好な環境の保全に取り組んでいるまち
18	廃棄物の減量化・再資源化・適正処理を促進しているまち	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち
20	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	交通環境が整っているまち
21	安心して水道や下水道を利用できるまち	水道や下水道を安心して利用できるまち
22	市民が市政に参加しやすく、民間と連携してまちづくりを行っているまち	市民が参加し民間と連携しているまち
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	効果的・効率的な行財政運営

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』は、「買い物がしやすいまち」が68.9%、「水道や下水道を安心して利用できるまち」が61.6%と6割を超えています。

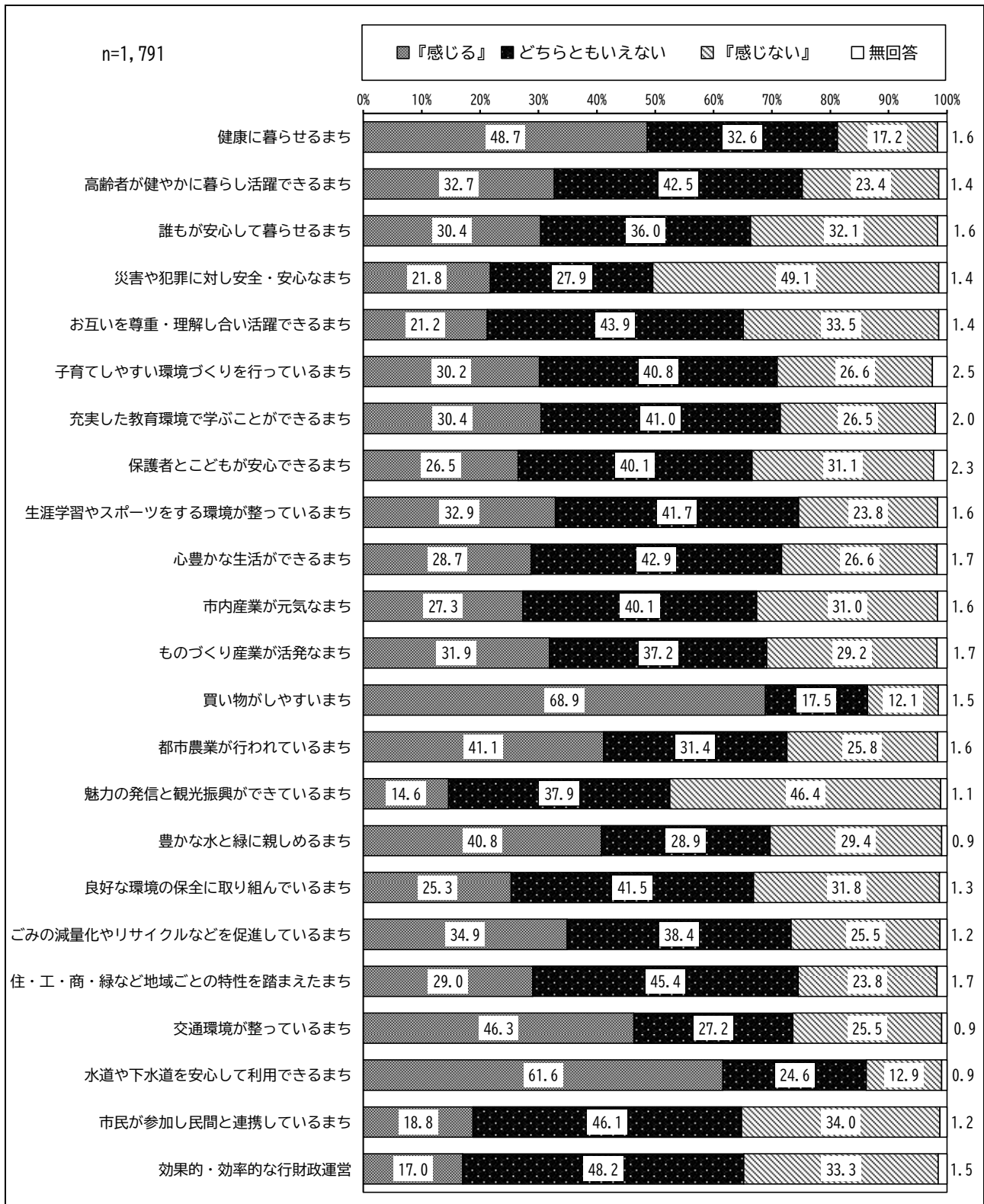
「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた『感じない』は、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」が49.1%、「魅力の発信と観光振興ができているまち」が46.4%と4割半ばを超えています。

No.	まちづくりの基本的な方向性を示す状況や取り組み	『感じる』	『感じない』
1	健康に暮らせるまち	48.7%	17.2%
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	32.7%	23.4%
3	誰もが安心して暮らせるまち	30.4%	32.1%
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	21.8%	49.1%
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	21.2%	33.5%
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	30.2%	26.6%
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	30.4%	26.5%
8	保護者と子どもが安心できるまち	26.5%	31.1%
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	32.9%	23.8%
10	心豊かな生活ができるまち	28.7%	26.6%
11	市内産業が元気なまち	27.3%	31.0%
12	ものづくり産業が活発なまち	31.9%	29.2%
13	買い物がしやすいまち	68.9%	12.1%
14	都市農業が行われているまち	41.1%	25.8%
15	魅力の発信と観光振興ができているまち	14.6%	46.4%
16	豊かな水と緑に親しめるまち	40.8%	29.4%
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	25.3%	31.8%
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	34.9%	25.5%
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	29.0%	23.8%
20	交通環境が整っているまち	46.3%	25.5%
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	61.6%	12.9%
22	市民が参加し民間と連携しているまち	18.8%	34.0%
23	効果的・効率的な行財政運営	17.0%	33.3%

## 【川口市の状況や取り組みについての実感（全体）】



## 【川口市の状況や取り組みについての実感（全体・3区分）】



## (2) 川口市の状況や取り組みについての実感（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』が40%以上である項目の数は、女性75歳以上が10項目と最も多くなっています。

『感じる』の割合が40%以上の項目数			
男性 18～29 歳	7	女性 18～29 歳	5
男性 30～39 歳	5	女性 30～39 歳	3
男性 40～49 歳	5	女性 40～49 歳	5
男性 50～59 歳	6	女性 50～59 歳	6
男性 60～64 歳	5	女性 60～64 歳	7
男性 65～74 歳	6	女性 65～74 歳	6
男性 75 歳以上	7	女性 75 歳以上	10

「健康に暮らせるまち」は男性75歳以上(57.3%)、男性18～29歳(56.3%)で5割半ばを超えて高くなっています。

「高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち」は女性18～29歳(44.7%)、女性75歳以上(41.3%)で4割を超えて高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は女性75歳以上(42.0%)で4割を超えて最も高く、男性75歳以上(39.5%)で約4割と高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は女性75歳以上(40.6%)、男性75歳以上(40.3%)で約4割と高くなっています。

「お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち」は女性75歳以上(32.2%)で3割を超えて最も高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりを行っているまち」は男性18～29歳(39.1%)で約4割と最も高くなっています。

「充実した教育環境で学ぶことができるまち」は男性18～29歳(40.2%)、女性18～29歳(39.5%)で4割前後と高くなっています。

「保護者と子どもが安心できるまち」は男性75歳以上(33.9%)、女性75歳以上(33.6%)、女性18～29歳(32.5%)で3割を超えて高くなっています。

「生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち」は男性18～29歳(44.8%)で4割半ば近くと最も高く、男性40～49歳(39.4%)で約4割と高くなっています。

「心豊かな生活ができるまち」は男性18～29歳(37.9%)、女性18～29歳(37.7%)、女性30～39歳(35.3%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「市内産業が元気なまち」は男性30～39歳(36.6%)、男性18～29歳(35.6%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「ものづくり産業が活発なまち」は男性30～39歳(41.2%)で4割を超えて最も高く、女性50～59歳(37.2%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「買い物がしやすいまち」は男性30～39歳(79.4%)で約8割と最も高く、女性40～49歳(78.4%)、女性18～29歳(78.1%)、女性30～39歳(77.9%)で7割半ばを超えて高くなっています。

「都市農業が行われているまち」は女性75歳以上(47.6%)、女性60～64歳(47.5%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「魅力の発信と観光振興ができているまち」は女性60～64歳(19.7%)、女性75歳以上(19.6%)で約2割と高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は男性75歳以上(50.8%)で約5割と最も高く、女性50～59歳(47.5%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「良好な環境の保全に取り組んでいるまち」は大きな差はありませんでした。

「ごみの減量化やリサイクルなどを推進しているまち」は男性65～74歳(52.1%)で5割を超えて最も高く、女性75歳以上(49.7%)、女性65～74歳(48.0%)、男性75歳以上(47.6%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち」は男性18～29歳(40.0%)で4割に達して最も高く、男性75歳以上(37.1%)、男性30～39歳(35.1%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は男性18～29歳(64.4%)で6割半ば近くと最も高くなっています。

「水道や下水道を安心して利用できるまち」は男性65～74歳(71.8%)、男性18～29歳(71.3%)、男性30～39歳(70.2%)で7割を超えて高く、女性75歳以上(69.9%)、男性75歳以上(69.4%)で7割近くと高くなっています。

「市民が参加し民間と連携しているまち」は女性75歳以上(27.3%)で2割半ばを超えて最も高く、男性18～29歳(25.3%)、女性18～29歳(24.6%)で2割半ば前後と高くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は男性75歳以上(25.0%)で2割半ばと最も高く、女性75歳以上(23.1%)で2割を超えて高くなっています。

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合（男性・年齢別）】

(%)

No.	実感を『感じる』取り組み	全体 (n=1,791)	男性						
			18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
1	健康に暮らせるまち	48.7	△ 56.3	48.1	51.1	49.4	45.9	52.1	△ 57.3
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	32.7	△ 39.1	△ 38.2	31.4	▲ 27.2	34.4	▲ 27.4	△ 37.9
3	誰もが安心して暮らせるまち	30.4	27.6	29.8	27.0	▲ 23.4	34.4	29.9	△ 39.5
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	21.8	21.8	▲ 16.0	● 9.5	▲ 13.9	21.3	26.5	☆ 40.3
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	21.2	18.4	17.6	▲ 15.3	18.4	18.0	17.1	△ 27.4
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	30.2	△ 39.1	31.3	32.8	31.0	● 19.7	▲ 24.8	27.4
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	30.4	△ 40.2	26.7	34.3	26.6	26.2	31.6	32.3
8	保護者と子どもが安心できるまち	26.5	25.3	▲ 19.8	24.8	22.2	24.6	29.9	△ 33.9
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	32.9	○ 44.8	35.9	△ 39.4	31.0	▲ 26.2	▲ 26.5	37.9
10	心豊かな生活ができるまち	28.7	△ 37.9	△ 34.4	33.6	▲ 22.2	● 18.0	▲ 21.4	27.4
11	市内産業が元気なまち	27.3	△ 35.6	△ 36.6	32.1	25.3	▲ 21.3	25.6	28.2
12	ものづくり産業が活発なまち	31.9	35.6	△ 41.2	35.8	28.5	29.5	30.8	29.8
13	買い物しやすいまち	68.9	△ 74.7	○ 79.4	73.0	69.0	68.9	65.0	● 54.8
14	都市農業が行われているまち	41.1	39.1	▲ 32.1	45.3	41.1	45.9	42.7	45.2
15	魅力の発信と観光振興ができていますまち	14.6	16.1	18.3	13.1	10.8	13.1	12.0	10.5
16	豊かな水と緑に親しめるまち	40.8	39.1	36.6	37.2	40.5	● 29.5	38.5	△ 50.8
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	25.3	26.4	29.8	29.2	▲ 18.4	26.2	25.6	28.2
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	34.9	32.2	▲ 26.0	32.1	● 24.7	▲ 26.2	☆ 52.1	○ 47.6
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	29.0	○ 40.0	△ 35.1	32.1	25.3	▲ 19.7	28.2	△ 37.1
20	交通環境が整っているまち	46.3	☆ 64.4	51.1	48.2	46.2	▲ 41.0	41.9	▲ 37.9
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	61.6	△ 71.3	△ 70.2	56.9	61.4	▲ 55.7	○ 71.8	△ 69.4
22	市民が参加し民間と連携しているまち	18.8	△ 25.3	19.8	16.8	▲ 12.0	19.7	18.8	21.8
23	効果的・効率的な行政運営	17.0	18.4	17.6	16.8	13.9	21.3	20.5	△ 25.0

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合（女性・年齢別）】

(%)

No.	実感を『感じる』取り組み	全体 (n=1,791)	女性						
			18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
1	健康に暮らせるまち	48.7	51.8	▲ 39.7	50.7	46.4	45.9	43.9	50.3
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	32.7	○ 44.7	▲ 26.5	32.4	30.6	▲ 23.0	▲ 25.2	△ 41.3
3	誰もが安心して暮らせるまち	30.4	△ 36.0	27.9	25.7	30.1	27.9	30.1	○ 42.0
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	21.8	19.3	▲ 11.8	▲ 15.5	19.7	23.0	△ 30.1	☆ 40.6
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	21.2	25.4	19.9	17.6	21.9	△ 29.5	17.9	○ 32.2
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	30.2	32.5	30.9	31.8	31.7	△ 37.7	25.2	31.5
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	30.4	△ 39.5	28.7	▲ 23.6	27.9	34.4	28.5	34.3
8	保護者と子どもが安心できるまち	26.5	△ 32.5	22.8	24.3	29.0	31.1	23.6	△ 33.6
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	32.9	34.2	33.8	28.4	30.6	34.4	▲ 24.4	35.0
10	心豊かな生活ができるまち	28.7	△ 37.7	△ 35.3	32.4	28.4	27.9	▲ 20.3	25.2
11	市内産業が元気なまち	27.3	26.3	27.2	△ 33.8	28.4	▲ 21.3	▲ 18.7	▲ 18.2
12	ものづくり産業が活発なまち	31.9	29.8	28.7	36.5	△ 37.2	31.1	● 21.1	29.4
13	買い物しやすいまち	68.9	△ 78.1	△ 77.9	△ 78.4	73.2	72.1	● 55.3	★ 50.3
14	都市農業が行われているまち	41.1	▲ 33.3	● 30.9	44.6	45.9	△ 47.5	42.3	△ 47.6
15	魅力の発信と観光振興ができています	14.6	18.4	11.8	14.9	▲ 9.3	△ 19.7	12.2	19.6
16	豊かな水と緑に親しめるまち	40.8	36.0	39.7	▲ 33.1	△ 47.5	42.6	45.5	45.5
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	25.3	23.7	26.5	24.3	24.6	23.0	▲ 18.7	29.4
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	34.9	▲ 28.1	● 22.1	● 23.0	35.0	△ 44.3	○ 48.0	○ 49.7
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	29.0	29.8	24.3	▲ 21.6	27.9	27.9	26.0	30.8
20	交通環境が整っているまち	46.3	50.0	45.6	44.6	48.1	▲ 41.0	▲ 39.8	41.3
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	61.6	63.2	● 49.3	▲ 54.1	▲ 55.2	▲ 55.7	62.6	△ 69.9
22	市民が参加し民間と連携しているまち	18.8	△ 24.6	16.9	14.2	▲ 12.6	18.0	16.3	△ 27.3
23	効果的・効率的な行財政運営	17.0	15.8	▲ 11.8	▲ 9.5	13.1	18.0	13.8	△ 23.1

### (3) 川口市の状況や取り組みについての実感（居住地域別）

居住地域別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』が40%以上である項目の数は、南平地域、安行地域、戸塚地域で6項目と多くなっています。

『感じる』の割合が40%以上の項目数			
中央地域	4	神根地域	5
横曽根地域	4	芝地域	5
青木地域	5	安行地域	6
南平地域	6	戸塚地域	6
新郷地域	5	鳩ヶ谷地域	4

「健康に暮らせるまち」は大きな差はありませんでした。

「高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち」は安行地域(38.5%)で4割近くと最も高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は鳩ヶ谷地域(38.9%)で4割近くと最も高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は大きな差はありませんでした。

「お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち」は安行地域(28.1%)で3割近くと最も高くなっています。

「子育てしやすい環境づくりを行っているまち」は安行地域(36.5%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「充実した教育環境で学ぶことができるまち」は南平地域(37.2%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「保護者と子どもが安心できるまち」は南平地域(34.4%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち」は安行地域(39.6%)、青木地域(39.1%)で約4割と高くなっています。

「心豊かな生活ができるまち」は大きな差はありませんでした。

「市内産業が元気なまち」は大きな差はありませんでした。

「ものづくり産業が活発なまち」は中央地域と南平地域(ともに37.2%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「買い物がしやすいまち」は中央地域(76.2%)、青木地域(74.4%)で7割半ば前後と高くなっています。

「都市農業が行われているまち」は安行地域(54.2%)で5割半ば近くと最も高くなっています。

「魅力の発信と観光振興ができているまち」は安行地域(21.9%)で2割を超えて最も高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめるまち」は神根地域(53.8%)、安行地域(52.1%)で5割を超えて高くなっています。

「良好な環境の保全に取り組んでいるまち」は神根地域(36.4%)で3割半ばを超えて最も高く、安行地域(31.3%)で3割を超えて高くなっています。

「ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち」は南平地域(43.7%)で4割を超えて最も高くなっています。

「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち」は南平地域(35.5%)で3割半ばと最も高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は戸塚地域(52.8%)で5割を超えて最も高くなっています。

「水道や下水道を安心して利用できるまち」は南平地域(69.4%)で約7割と最も高くなっています。

「市民が参加し民間と連携しているまち」は南平地域(26.2%)で2割半ばを超えて最も高く、安行地域(24.0%)で2割半ば近くと高くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は南平地域(22.4%)で2割を超えて最も高くなっています。

【川口市の状況や取り組みについての実感を『感じる』割合（居住地域別）】

(%)

No.	実感を『感じる』取り組み	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
1	健康に暮らせるまち	48.7	47.1	45.6	47.5	51.4	43.7	51.5	46.6	52.1	50.9	49.1
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	32.7	32.6	▲ 27.0	35.7	32.8	34.0	31.8	28.5	△ 38.5	30.8	34.1
3	誰もが安心して暮らせるまち	30.4	33.1	27.9	28.6	33.3	26.2	34.1	28.1	28.1	▲ 24.3	△ 38.9
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	21.8	18.0	17.6	21.8	26.2	23.3	25.8	19.5	24.0	18.7	24.0
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	21.2	17.4	▲ 15.7	21.8	26.2	17.5	22.7	22.2	△ 28.1	▲ 15.4	21.6
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	30.2	32.6	▲ 23.0	29.4	34.4	25.2	29.5	26.7	△ 36.5	31.8	34.1
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	30.4	32.0	▲ 24.0	30.3	△ 37.2	27.2	28.8	29.0	34.4	32.2	29.3
8	保護者と子どもが安心できるまち	26.5	27.3	▲ 21.1	25.6	△ 34.4	23.3	26.5	▲ 21.3	31.3	24.3	30.5
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	32.9	29.7	29.4	△ 39.1	35.0	29.1	31.1	31.2	△ 39.6	34.6	▲ 26.3
10	心豊かな生活ができるまち	28.7	32.6	27.0	31.5	30.6	29.1	29.5	24.4	29.2	▲ 22.9	30.5
11	市内産業が元気なまち	27.3	29.7	28.4	30.7	30.6	26.2	25.8	25.3	22.9	▲ 21.5	27.5
12	ものづくり産業が活発なまち	31.9	△ 37.2	32.8	35.7	△ 37.2	35.0	28.0	27.6	30.2	● 21.5	35.3
13	買い物しやすいまち	68.9	△ 76.2	73.5	△ 74.4	71.6	● 58.3	67.4	▲ 62.9	65.6	64.5	66.5
14	都市農業が行われているまち	41.1	● 30.8	▲ 32.8	41.2	43.7	△ 46.6	△ 49.2	37.6	○ 54.2	45.8	38.3
15	魅力の発信と観光振興ができて いるまち	14.6	14.5	13.2	15.1	15.8	16.5	17.4	16.3	△ 21.9	▲ 8.9	10.2
16	豊かな水と緑に親しめるまち	40.8	▲ 33.7	▲ 33.8	36.6	38.8	43.7	○ 53.8	40.3	○ 52.1	44.4	39.5
17	良好な環境の保全に取り組ん でいるまち	25.3	22.1	21.1	23.1	28.4	27.2	○ 36.4	22.2	△ 31.3	24.3	25.1
18	ごみの減量化やリサイクルな どを促進しているまち	34.9	▲ 29.1	31.4	31.5	△ 43.7	35.9	35.6	33.5	38.5	33.2	35.3
19	住・工・商・緑など地域ごと の特性を踏まえたまち	29.0	32.6	25.0	29.4	△ 35.5	27.2	28.8	25.3	32.3	26.2	29.3
20	交通環境が整っているまち	46.3	41.9	45.6	49.6	46.4	▲ 38.8	● 34.8	46.6	41.7	△ 52.8	47.9
21	水道や下水道を安心して利用 できるまち	61.6	▲ 54.7	59.3	61.8	△ 69.4	57.3	60.6	59.7	64.6	63.1	64.1
22	市民が参加し民間と連携して いるまち	18.8	18.6	18.6	18.9	△ 26.2	15.5	15.2	15.8	△ 24.0	14.5	18.0
23	効果的・効率的な行財政運営	17.0	16.3	18.1	14.3	△ 22.4	12.6	18.9	17.2	18.8	▲ 10.7	18.6

## 10 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

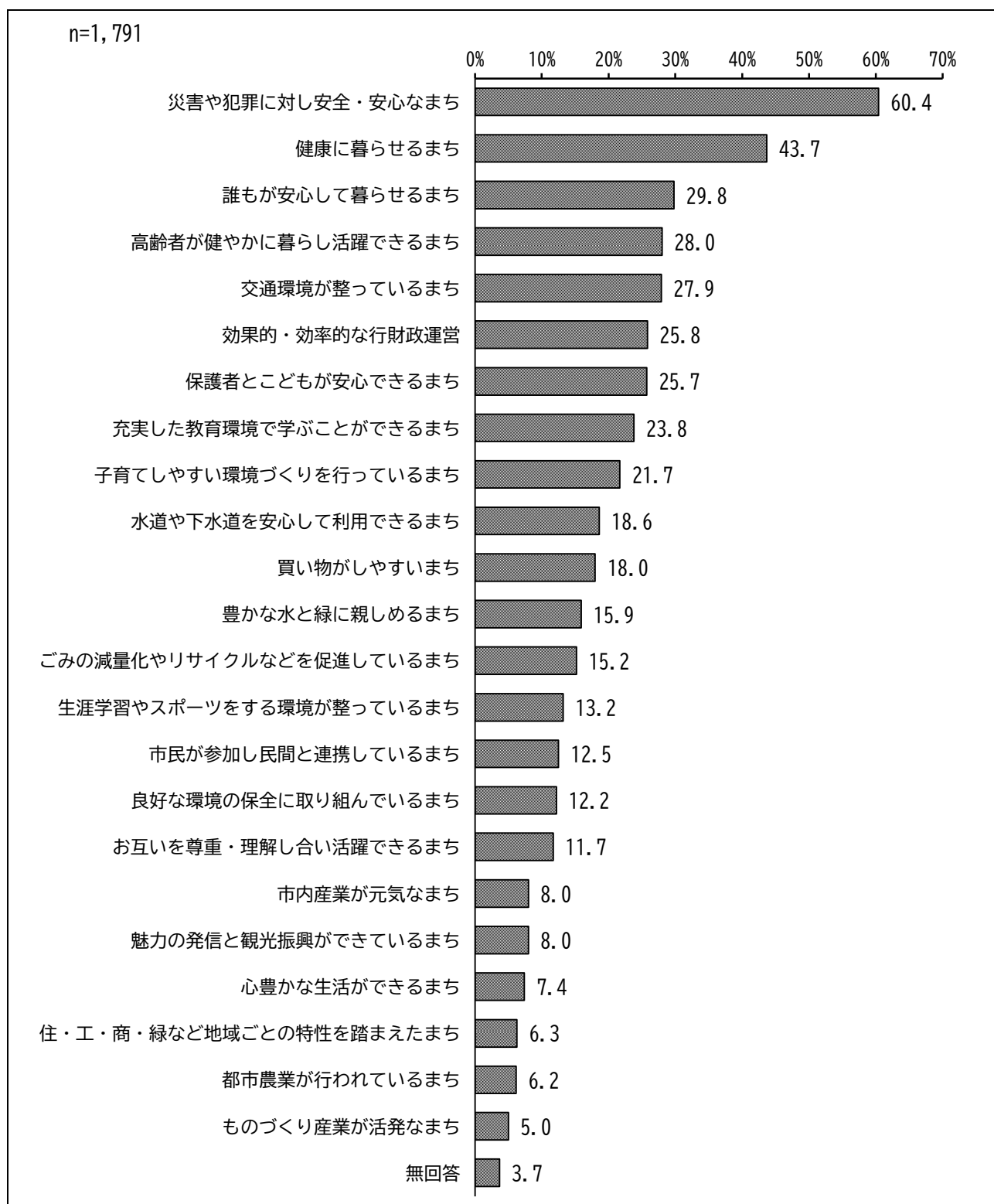
### (1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

問7 あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものは何ですか。  
（上位5つ）

川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みのうち、今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものは、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」が60.4%、「健康に暮らせるまち」が43.7%、「誰もが安心して暮らせるまち」が29.8%、「高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち」が28.0%、「交通環境が整っているまち」が27.9%と、上位5項目となっています。

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	%
1	健康に暮らせるまち	43.7
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	28.0
3	誰もが安心して暮らせるまち	29.8
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	60.4
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	11.7
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	21.7
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	23.8
8	保護者と子どもが安心できるまち	25.7
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	13.2
10	心豊かな生活ができるまち	7.4
11	市内産業が元気なまち	8.0
12	ものづくり産業が活発なまち	5.0
13	買い物がしやすいまち	18.0
14	都市農業が行われているまち	6.2
15	魅力の発信と観光振興ができていますまち	8.0
16	豊かな水と緑に親しめるまち	15.9
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	12.2
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	15.2
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	6.3
20	交通環境が整っているまち	27.9
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	18.6
22	市民参加し民間と連携しているまち	12.5
23	効果的・効率的な行財政運営	25.8

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（全体）】



## (2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）

性別にみると、「水道や下水道を安心して利用できるまち」は女性(21.0%)が男性(16.6%)より4.4ポイント、「高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち」は女性(29.8%)が男性(25.7%)より4.1ポイント、それぞれ高くなっています。

一方、「市内産業が元気なまち」は男性(10.2%)が女性(6.4%)より3.8ポイント、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は男性(62.2%)が女性(58.9%)より3.3ポイント、それぞれ高くなっています。

### 【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）】

(%)

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい 取り組み	全体 (n=1,791)	男性 (n=817)	女性 (n=917)
1	健康に暮らせるまち	43.7	43.3	44.7
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	28.0	25.7	29.8
3	誰もが安心して暮らせるまち	29.8	27.8	31.5
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	60.4	62.2	58.9
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	11.7	12.7	11.0
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	21.7	20.6	22.9
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	23.8	23.7	24.3
8	保護者とこどもが安心できるまち	25.7	25.3	26.5
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	13.2	14.3	12.4
10	心豊かな生活ができるまち	7.4	7.5	7.4
11	市内産業が元気なまち	8.0	10.2	6.4
12	ものづくり産業が活発なまち	5.0	5.3	4.6
13	買い物がしやすいまち	18.0	20.0	17.1
14	都市農業が行われているまち	6.2	5.5	7.2
15	魅力の発信と観光振興ができているまち	8.0	9.1	7.1
16	豊かな水と緑に親しめるまち	15.9	16.0	16.0
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	12.2	12.4	12.3
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	15.2	15.4	15.7
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	6.3	6.9	6.0
20	交通環境が整っているまち	27.9	26.3	30.0
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	18.6	16.6	21.0
22	市民が参加し民間と連携しているまち	12.5	13.0	12.4
23	効果的・効率的な行財政運営	25.8	25.5	26.4
	無回答	3.7	3.4	3.5

### (3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「健康に暮らせるまち」は男性50～59歳(57.6%)で5割半ばを超えて最も高く、男性60～64歳(54.1%)、女性50～59歳(54.1%)で5割半ば近くと高くなっています。

「高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち」は女性65～74歳(49.6%)で約5割と最も高く、男性60～64歳(47.5%)、女性60～64歳(47.5%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は男性50～59歳(72.8%)と男性60～64歳(70.5%)で7割を超えて高く、男性40～49歳(68.6%)、女性30～39歳(67.6%)、女性50～59歳(66.1%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「充実した教育環境で学ぶことができるまち」は女性30～39歳(52.2%)で5割を超えて最も高く、男性30～39歳(44.3%)で4割半ば近くと高くなっています。

「保護者と子どもが安心できるまち」は女性30～39歳(55.9%)で5割半ばと最も高く、男性30～39歳(41.2%)で4割を超えて高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は女性60～64歳(37.7%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は男性18～29歳(32.2%)で3割を超えて最も高くなっています。

#### 【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（男性・年齢別）】

(%)

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい取り組み	全体 (n=1,791)	男性						
			18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
1	健康に暮らせるまち	43.7	● 32.2	38.9	43.1	○ 57.6	○ 54.1	▲ 36.8	39.5
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	28.0	★ 9.2	★ 6.9	● 15.3	△ 35.4	☆ 47.5	△ 35.9	△ 36.3
3	誰もが安心して暮らせるまち	29.8	31.0	29.0	26.3	26.6	27.9	29.9	25.0
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	60.4	64.4	61.1	△ 68.6	○ 72.8	○ 70.5	57.3	★ 41.9
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	11.7	△ 18.4	△ 16.8	13.1	11.4	13.1	6.8	11.3
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	21.7	○ 32.2	☆ 37.4	△ 29.2	● 10.1	● 8.2	21.4	★ 4.0
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	23.8	26.4	☆ 44.3	△ 32.1	▲ 15.2	● 11.5	21.4	● 10.5
8	保護者と子どもが安心できるまち	25.7	○ 37.9	☆ 41.2	△ 35.0	● 15.2	● 14.8	▲ 17.1	● 15.3
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	13.2	△ 19.5	13.0	14.6	16.5	9.8	△ 18.8	▲ 7.3
10	心豊かな生活ができるまち	7.4	5.7	6.9	4.4	8.9	9.8	6.0	11.3
11	市内産業が元気なまち	8.0	8.0	6.9	7.3	12.0	8.2	△ 16.2	11.3
12	ものづくり産業が活発なまち	5.0	3.4	0.8	4.4	6.3	3.3	8.5	8.9
13	買い物しやすいまち	18.0	○ 28.7	21.4	△ 26.3	16.5	23.0	14.5	13.7
14	都市農業が行われているまち	6.2	4.6	4.6	▲ 0.7	6.3	1.6	7.7	△ 11.3
15	魅力の発信と観光振興ができていくまち	8.0	4.6	3.1	5.1	8.2	8.2	12.8	○ 21.0
16	豊かな水と緑に親しめるまち	15.9	11.5	▲ 7.6	17.5	12.7	○ 27.9	△ 23.1	18.5
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	12.2	12.6	▲ 3.8	10.2	10.8	13.1	△ 22.2	16.1
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	15.2	12.6	10.7	11.7	14.6	△ 21.3	18.8	△ 21.8
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	6.3	4.6	4.6	6.6	4.4	△ 11.5	9.4	9.7
20	交通環境が整っているまち	27.9	▲ 18.4	▲ 22.1	28.5	29.1	32.8	24.8	29.0
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	18.6	▲ 12.6	▲ 9.9	△ 28.5	15.2	▲ 11.5	17.1	17.7
22	市民が参加し民間と連携しているまち	12.5	△ 20.7	8.4	11.7	12.0	▲ 6.6	13.7	△ 17.7
23	効果的・効率的な行財政運営	25.8	△ 32.2	26.0	▲ 20.4	27.8	24.6	26.5	22.6
	無回答	3.7	1.1	2.3	0.7	1.9	0.0	4.3	△ 12.1

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（女性・年齢別）】

(%)

No.	今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい 取り組み	全体 (n=1,791)	女性						
			18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
1	健康に暮らせるまち	43.7	● 32.5	▲ 35.3	45.9	○ 54.1	△ 52.5	△ 49.6	42.7
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	28.0	★ 10.5	★ 7.4	▲ 22.3	△ 36.6	☆ 47.5	☆ 49.6	○ 41.3
3	誰もが安心して暮らせるまち	29.8	34.2	28.7	33.8	33.9	31.1	27.6	30.1
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	60.4	60.5	△ 67.6	60.1	△ 66.1	63.9	▲ 54.5	★ 39.2
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	11.7	16.7	10.3	6.8	8.7	14.8	10.6	12.6
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	21.7	☆ 50.9	☆ 49.3	20.9	▲ 14.8	● 8.2	● 9.8	★ 6.3
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	23.8	△ 33.3	☆ 52.2	○ 34.5	▲ 17.5	● 9.8	★ 6.5	● 9.1
8	保護者と子どもが安心できるまち	25.7	△ 33.3	☆ 55.9	△ 34.5	▲ 15.8	● 13.1	▲ 17.9	● 11.9
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	13.2	11.4	10.3	14.2	14.8	13.1	16.3	▲ 7.0
10	心豊かな生活ができるまち	7.4	7.9	2.9	11.5	9.3	8.2	7.3	4.2
11	市内産業が元気なまち	8.0	4.4	4.4	8.1	3.8	9.8	10.6	7.0
12	ものづくり産業が活発なまち	5.0	0.9	4.4	4.1	4.9	4.9	9.8	3.5
13	買い物がしやすいまち	18.0	21.1	19.1	▲ 11.5	20.8	13.1	19.5	13.3
14	都市農業が行われているまち	6.2	7.0	2.9	8.8	9.8	3.3	8.1	7.7
15	魅力の発信と観光振興ができているまち	8.0	3.5	▲ 2.9	8.1	8.2	▲ 1.6	11.4	10.5
16	豊かな水と緑に親しめるまち	15.9	11.4	▲ 10.3	20.9	15.8	18.0	16.3	19.6
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	12.2	10.5	10.3	12.8	12.0	△ 19.7	15.4	10.5
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	15.2	11.4	▲ 9.6	13.5	19.1	△ 21.3	19.5	18.2
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	6.3	2.6	▲ 0.7	4.7	7.1	4.9	7.3	△ 12.6
20	交通環境が整っているまち	27.9	28.9	29.4	28.4	28.4	△ 37.7	28.5	32.9
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	18.6	▲ 10.5	17.6	△ 25.0	△ 24.0	○ 29.5	17.1	△ 24.5
22	市民が参加し民間と連携しているまち	12.5	16.7	10.3	8.8	10.9	11.5	13.8	16.1
23	効果的・効率的な行財政運営	25.8	27.2	26.5	30.4	26.8	23.0	28.5	21.7
	無回答	3.7	0.9	0.0	0.0	1.6	1.6	6.5	△ 13.3

#### (4) 今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいもの(居住地域別)

居住地域別にみると、「健康に暮らせるまち」は鳩ヶ谷地域(49.7%)で約5割と最も高くなっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」は青木地域(35.3%)で3割半ばと最も高くなっています。

「災害や犯罪に対し安全・安心なまち」は戸塚地域(66.4%)、横曽根地域(66.2%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「保護者と子どもが安心できるまち」は戸塚地域(31.3%)で3割を超えて最も高くなっています。

「交通環境が整っているまち」は安行地域(40.6%)で約4割と最も高くなっています。

「効果的・効率的な行財政運営」は新郷地域(33.0%)で3割を超えて最も高くなっています。

#### 【今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいもの(居住地域別)】

(%)

No.	今後さらに力を入れて(充実させて)ほしい取り組み	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
1	健康に暮らせるまち	43.7	45.3	40.7	45.8	40.4	39.8	44.7	42.1	47.9	42.5	△ 49.7
2	高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち	28.0	▲ 20.3	25.5	29.8	27.9	27.2	31.8	32.1	25.0	26.6	28.7
3	誰もが安心して暮らせるまち	29.8	32.0	34.3	△ 35.3	26.8	26.2	25.8	33.0	28.1	24.8	26.3
4	災害や犯罪に対し安全・安心なまち	60.4	60.5	△ 66.2	59.7	60.1	▲ 54.4	63.6	57.0	58.3	△ 66.4	56.3
5	お互いを尊重・理解し合い活躍できるまち	11.7	14.0	13.2	14.7	12.0	11.7	6.8	13.6	9.4	9.3	7.8
6	子育てしやすい環境づくりを行っているまち	21.7	23.3	25.5	22.3	18.6	22.3	16.7	21.3	△ 28.1	22.0	21.6
7	充実した教育環境で学ぶことができるまち	23.8	26.2	24.5	22.3	26.8	▲ 17.5	21.2	25.3	25.0	24.3	25.7
8	保護者と子どもが安心できるまち	25.7	23.8	26.5	23.9	21.3	▲ 20.4	24.2	27.6	30.2	△ 31.3	26.9
9	生涯学習やスポーツをする環境が整っているまち	13.2	11.0	15.2	▲ 8.0	15.3	8.7	14.4	16.7	10.4	16.8	13.2
10	心豊かな生活ができるまち	7.4	11.6	8.8	6.7	7.1	4.9	9.1	6.8	8.3	4.7	7.2
11	市内産業が元気なまち	8.0	7.6	8.3	△ 13.9	7.7	8.7	9.1	7.7	6.3	5.1	6.0
12	ものづくり産業が活発なまち	5.0	3.5	4.4	8.4	4.9	4.9	4.5	5.4	5.2	4.2	3.0
13	買い物がしやすいまち	18.0	△ 25.6	20.1	13.4	△ 24.0	▲ 8.7	17.4	16.3	14.6	21.5	17.4
14	都市農業が行われているまち	6.2	6.4	3.4	7.6	4.9	6.8	6.1	3.2	5.2	9.3	9.0
15	魅力の発信と観光振興ができています	8.0	3.5	4.9	9.7	11.5	8.7	6.8	7.2	8.3	7.9	10.2
16	豊かな水と緑に親しめるまち	15.9	16.3	13.7	13.4	20.2	14.6	17.4	14.9	12.5	14.5	△ 21.0
17	良好な環境の保全に取り組んでいるまち	12.2	11.0	14.7	10.9	14.2	14.6	12.9	12.7	10.4	8.9	10.8
18	ごみの減量化やリサイクルなどを促進しているまち	15.2	14.5	12.7	12.2	18.6	18.4	13.6	18.1	13.5	15.4	15.6
19	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえたまち	6.3	4.7	4.4	4.2	8.2	6.8	7.6	7.2	2.1	7.5	9.0
20	交通環境が整っているまち	27.9	32.0	▲ 22.1	24.8	25.7	△ 33.0	△ 36.4	24.9	○ 40.6	29.0	24.6
21	水道や下水道を安心して利用できるまち	18.6	▲ 10.5	15.2	21.4	20.8	17.5	△ 27.3	19.9	▲ 12.5	18.7	21.6
22	市民が参加し民間と連携しているまち	12.5	9.9	12.3	13.0	8.7	△ 18.4	11.4	15.4	16.7	12.1	11.4
23	効果的・効率的な行財政運営	25.8	22.7	27.5	25.6	24.6	△ 33.0	24.2	25.3	26.0	30.8	▲ 20.4
	無回答	3.7	2.9	2.0	4.2	2.7	5.8	1.5	5.0	5.2	1.4	3.0

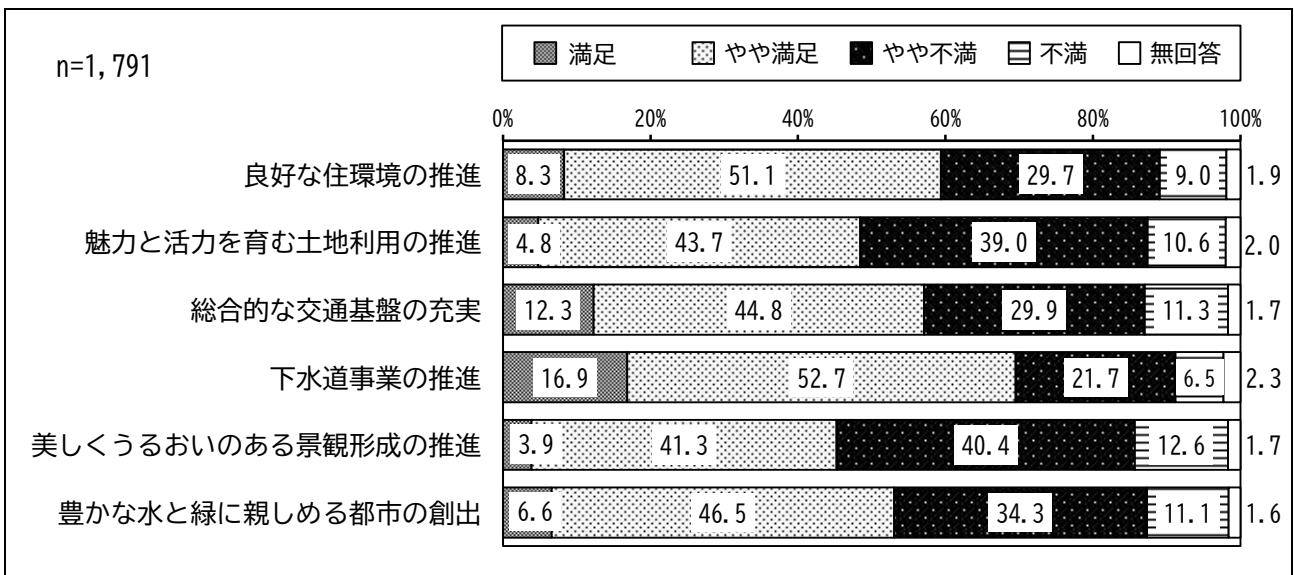
# 11 川口市の都市整備に対する満足度

## (1) 川口市の都市整備に対する満足度

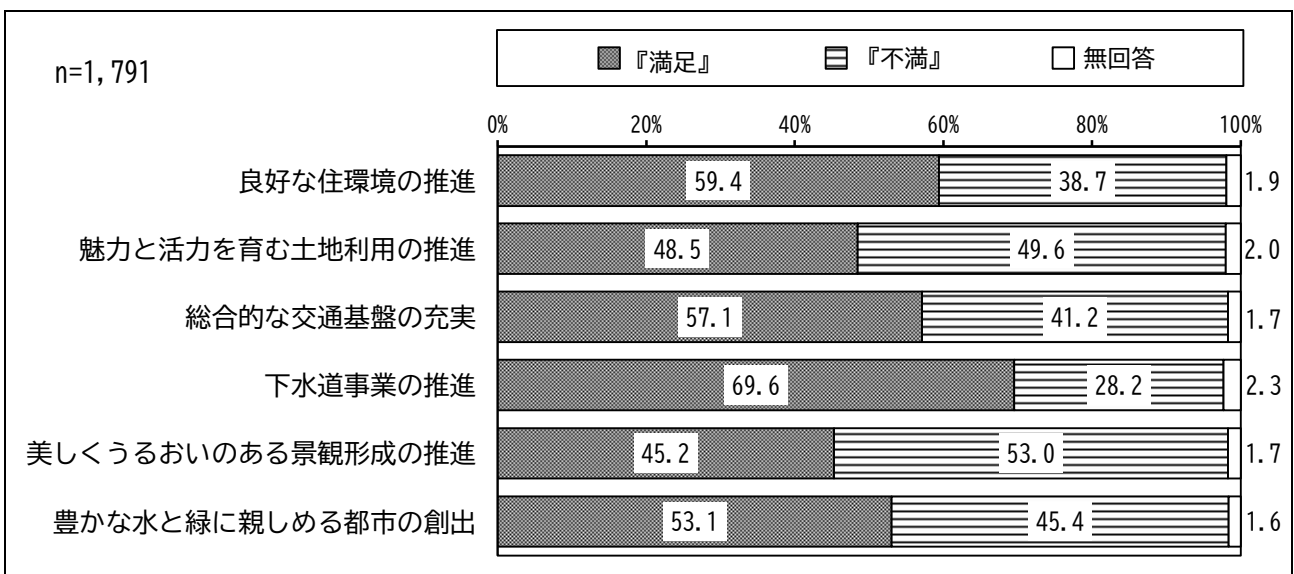
問8 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。  
(それぞれ○は1つ)

川口市の都市整備6施策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「下水道事業の推進」が69.6%で約7割と最も高く、「良好な住環境の推進」が59.4%で約6割となっています。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、「美しくうるおいのある景観形成の推進」が53.0%で5割を超えて最も高く、「魅力と活力を育む土地利用の推進」が49.6%で約5割と、ともに『満足』を上回りました。

【川口市の都市整備に対する満足度（全体）】



【川口市の都市整備に対する満足度（全体・2区分）】



## (2) 川口市の都市整備に対する満足度（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』について、「良好な住環境の推進」は男性18～29歳(70.1%)で約7割と最も高く、男性30～39歳(66.4%)、女性18～29歳(65.8%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「魅力と活力を育む土地利用の推進」は女性18～29歳(66.7%)で6割半ばを超えて最も高く、男性18～29歳(57.5%)、男性30～39歳(56.5%)、女性50～59歳(55.2%)、女性30～39歳(55.1%)で5割半ばを超えて高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」は男性18～29歳(70.1%)で約7割と最も高く、男性30～39歳(64.9%)、女性18～29歳(64.0%)で6割半ば近くと高くなっています。

「下水道事業の推進」は男性30～39歳(78.6%)で8割近くと最も高く、男性65～74歳(76.9%)、男性18～29歳(75.9%)で7割半ばを超えて高くなっています。

「美しくうるおいのある景観形成の推進」は女性18～29歳(52.6%)、女性50～59歳(50.8%)で5割を超えて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」は女性50～59歳(61.2%)で6割を超えて最も高く、女性60～64歳(59.0%)で約6割と高くなっています。

### 【川口市の都市整備に対する満足度（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
良好な住環境の推進	59.4	○ 70.1	△ 66.4	59.1	56.3	● 47.5	59.8	59.7
魅力と活力を育む土地利用の推進	48.5	△ 57.5	△ 56.5	48.2	● 36.7	▲ 39.3	44.4	▲ 41.9
総合的な交通基盤の充実	57.1	○ 70.1	△ 64.9	60.6	57.0	▲ 50.8	57.3	▲ 48.4
下水道事業の推進	69.6	△ 75.9	△ 78.6	67.2	72.2	▲ 63.9	△ 76.9	71.8
美しくうるおいのある景観形成の推進	45.2	48.3	44.3	46.7	44.3	41.0	41.9	41.1
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	53.1	55.2	56.5	54.7	52.5	● 41.0	49.6	55.6

### 【川口市の都市整備に対する満足度（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
良好な住環境の推進	59.4	△ 65.8	61.0	60.1	60.7	63.9	▲ 53.7	58.0
魅力と活力を育む土地利用の推進	48.5	☆ 66.7	△ 55.1	47.3	△ 55.2	45.9	▲ 39.0	46.9
総合的な交通基盤の充実	57.1	△ 64.0	△ 62.5	60.8	53.6	52.5	▲ 52.0	▲ 48.3
下水道事業の推進	69.6	74.6	65.4	▲ 64.2	68.3	▲ 63.9	67.5	69.9
美しくうるおいのある景観形成の推進	45.2	△ 52.6	46.3	43.2	△ 50.8	44.3	▲ 38.2	45.5
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	53.1	52.6	51.5	48.6	△ 61.2	△ 59.0	50.4	52.4

### (3) 川口市の都市整備に対する満足度（居住地域別）

居住地域別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』について、「良好な住環境の推進」は鳩ヶ谷地域(71.3%)で7割を超えて最も高く、中央地域(65.1%)で6割半ばと高くなっています。

「魅力と活力を育む土地利用の推進」は中央地域(55.2%)で5割半ばと最も高くなっています。

「総合的な交通基盤の充実」は鳩ヶ谷地域(68.9%)で7割近くと最も高くなっています。

「下水道事業の推進」は鳩ヶ谷地域(76.0%)で7割半ばを超えて最も高くなっています。

「美しくうるおいのある景観形成の推進」は鳩ヶ谷地域(51.5%)、神根地域(50.8%)で5割を超えて高くなっています。

「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」は大きな差はありませんでした。

#### 【川口市の都市整備に対する満足度（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
良好な住環境の推進	59.4	△ 65.1	55.4	56.3	60.1	54.4	59.1	▲ 52.9	56.3	62.1	○ 71.3
魅力と活力を育む土地利用の推進	48.5	△ 55.2	49.5	45.8	52.5	▲ 41.7	48.5	44.8	▲ 41.7	46.3	52.7
総合的な交通基盤の充実	57.1	54.7	61.3	59.7	58.5	▲ 48.5	● 45.5	58.4	★ 39.6	57.5	○ 68.9
下水道事業の推進	69.6	69.8	72.5	72.3	73.2	▲ 61.2	★ 53.0	67.0	67.7	72.0	△ 76.0
美しくうるおいのある景観形成の推進	45.2	47.7	▲ 38.7	45.4	41.0	41.7	△ 50.8	41.6	42.7	49.5	△ 51.5
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	53.1	48.8	56.9	53.4	▲ 46.4	52.4	57.6	49.3	56.3	54.7	55.7

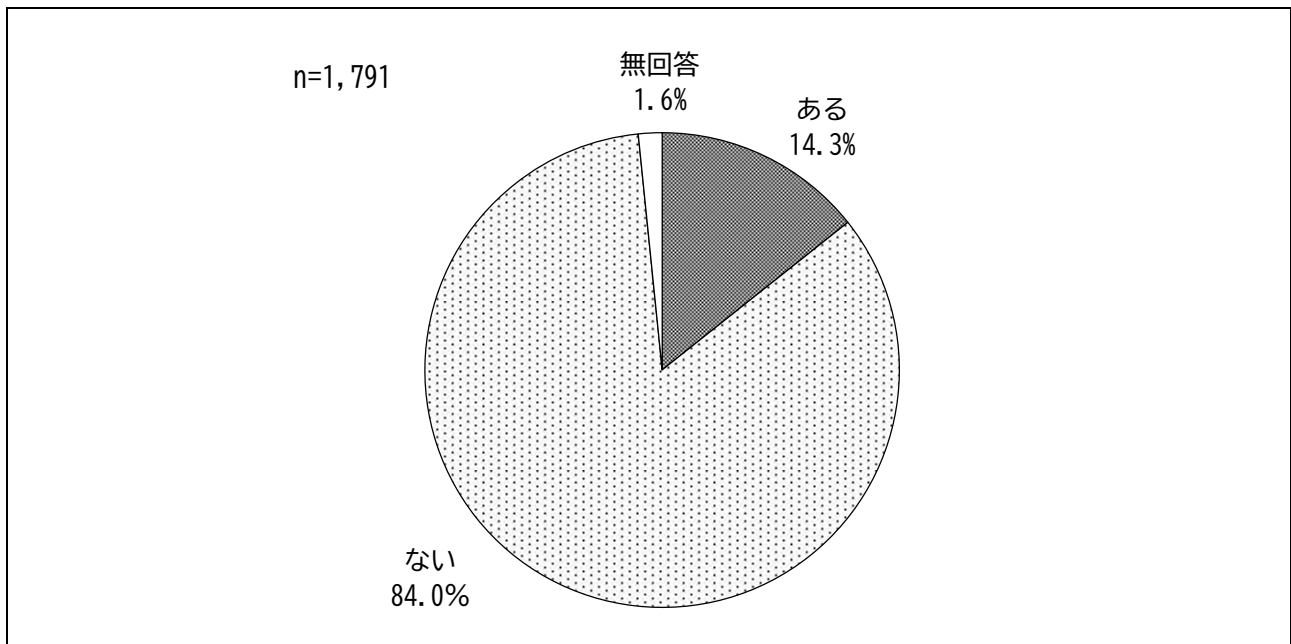
## 12 犯罪被害遭遇の有無

### (1) 犯罪被害遭遇の有無

問9 過去1年間で、ご自身や身近な人が、市内で（警察に届け出るような）犯罪被害に遭ったことがありますか。（○は1つ）

犯罪被害遭遇の有無について、「ある」は14.3%で1割半ば近くとなっています。一方、「ない」は84.0%で8割半ば近くを占めています。

【犯罪被害遭遇の有無（全体）】



## (2) 犯罪被害遭遇の有無（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ある」は女性18～29歳(19.3%)で約2割と最も高くなっています。  
一方、「ない」は男性75歳以上(89.5%)で約9割と最も高くなっています。

【犯罪被害遭遇の有無（性別、性・年齢別）】

		(人)			(%)
		合計	ある	ない	無回答
全体		1,791	14.3	84.0	1.6
男性		817	14.2	84.9	0.9
女性		917	14.1	84.6	1.3
自由記載		11	☆ 45.5	★ 45.5	△ 9.1
男性	18～29歳	87	12.6	86.2	1.1
	30～39歳	131	16.8	83.2	0.0
	40～49歳	137	13.9	85.4	0.7
	50～59歳	158	17.1	82.9	0.0
	60～64歳	61	9.8	88.5	1.6
	65～74歳	117	17.1	82.1	0.9
	75歳以上	124	▲ 8.9	△ 89.5	1.6
女性	18～29歳	114	19.3	80.7	0.0
	30～39歳	136	18.4	80.1	1.5
	40～49歳	148	15.5	84.5	0.0
	50～59歳	183	10.9	88.5	0.5
	60～64歳	61	11.5	88.5	0.0
	65～74歳	123	10.6	87.0	2.4
	75歳以上	143	12.6	83.9	3.5

### (3) 犯罪被害遭遇の有無（居住地域別）

居住地域別にみると、大きな差はありませんでした。

#### 【犯罪被害遭遇の有無（居住地域別）】

(人)

(%)

	合計	ある	ない	無回答
全体	1,791	14.3	84.0	1.6
中央地域	172	9.3	87.8	2.9
横曽根地域	204	17.2	80.4	2.5
青木地域	238	15.1	84.0	0.8
南平地域	183	13.1	86.9	0.0
新郷地域	103	11.7	81.6	△ 6.8
神根地域	132	18.2	▲ 78.0	3.8
芝地域	221	14.0	85.5	0.5
安行地域	96	17.7	81.3	1.0
戸塚地域	214	12.1	87.4	0.5
鳩ヶ谷地域	167	14.4	85.6	0.0

## 13 犯罪被害の内容

### (1) 犯罪被害の内容

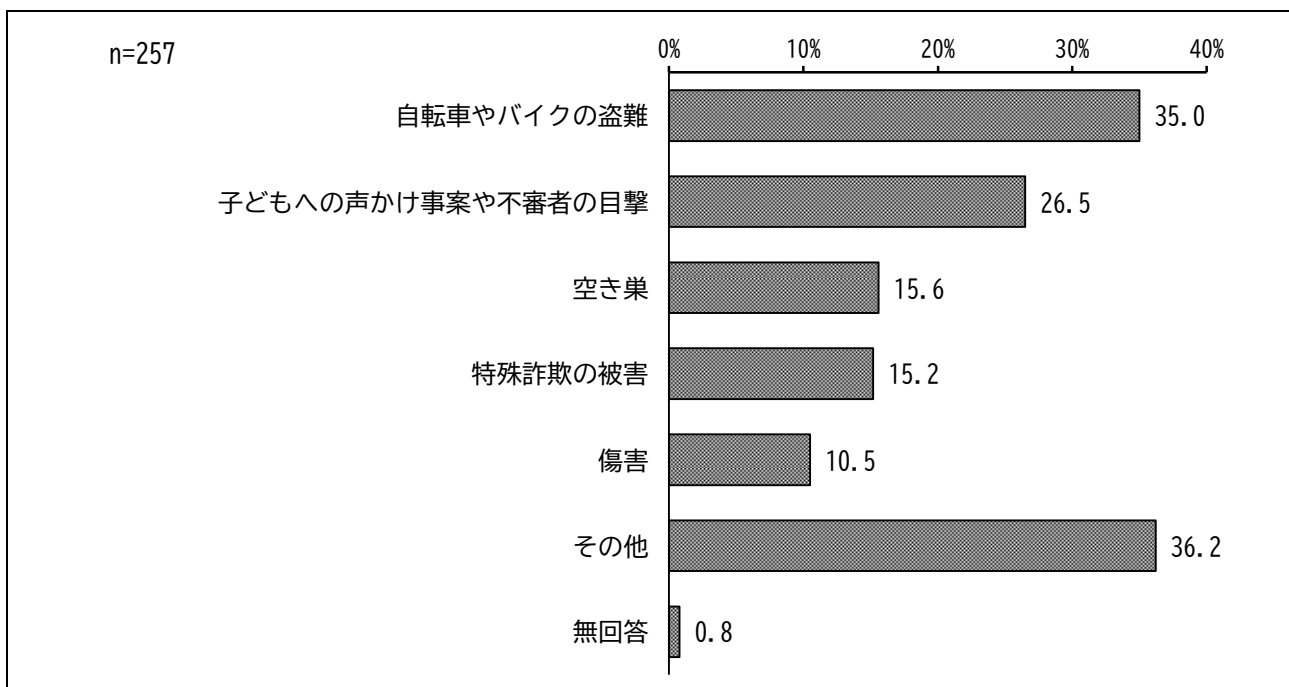
問9で「ある」と回答した方

問10 どのような被害に遭われましたか。(〇はいくつでも)

犯罪被害に遭遇した経験が「ある」と回答した257人の犯罪被害の内容は、「自転車やバイクの盗難」が35.0%で3割半ばと最も高く、「子どもへの声かけ事案や不審者の目撃」が26.5%、「空き巣」が15.6%、「特殊詐欺の被害」が15.2%、「傷害」が10.5%と続いています。

また、「その他」が36.2%で3割半ばを超える高い割合を占めています。具体的な内容として「敷地内侵入、ゴミの放置等」、「自動車盗難、自家用車へのいたずら」、「路上駐車(による迷惑)」などがあげられています。

【犯罪被害の内容（全体）】



## (2) 犯罪被害の内容（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「自転車やバイクの盗難」は女性40～49歳(56.5%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

「子どもへの声かけ事案や不審者の目撃」は女性65～74歳(38.5%)で4割近くと最も高くなっています。

「空き巣」は女性65～74歳(38.5%)で4割近くと最も高く、男性60～64歳(33.3%)で3割を超えて高くなっています。

「特殊詐欺の被害」は男性75歳以上(45.5%)で4割半ばを超えて最も高く、女性65～74歳(30.8%)で約3割と高くなっています。

「傷害」は男性50～59歳(22.2%)で2割を超えて最も高くなっています。

### 【犯罪被害の内容（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=257)	男性						
		18～29歳 (n=11)	30～39歳 (n=22)	40～49歳 (n=19)	50～59歳 (n=27)	60～64歳 (n=6)	65～74歳 (n=20)	75歳以上 (n=11)
自転車やバイクの盗難	35.0	○ 45.5	△ 40.9	▲ 26.3	33.3	○ 50.0	● 20.0	36.4
子どもへの声かけ事案や 不審者の目撃	26.5	27.3	▲ 18.2	△ 31.6	25.9	▲ 16.7	25.0	▲ 18.2
空き巣	15.6	▲ 9.1	△ 22.7	△ 21.1	11.1	☆ 33.3	15.0	18.2
特殊詐欺の被害	15.2	○ 27.3	▲ 9.1	10.5	▲ 7.4	★ 0.0	○ 30.0	☆ 45.5
傷害	10.5	9.1	13.6	10.5	○ 22.2	● 0.0	10.0	● 0.0
その他	36.2	▲ 27.3	36.4	31.6	○ 48.1	33.3	△ 45.0	▲ 27.3
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 【犯罪被害の内容（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=257)	女性						
		18～29歳 (n=22)	30～39歳 (n=25)	40～49歳 (n=23)	50～59歳 (n=20)	60～64歳 (n=7)	65～74歳 (n=13)	75歳以上 (n=18)
自転車やバイクの盗難	35.0	31.8	36.0	☆ 56.5	40.0	△ 42.9	30.8	▲ 27.8
子どもへの声かけ事案や 不審者の目撃	26.5	△ 36.4	△ 32.0	21.7	25.0	★ 0.0	○ 38.5	▲ 16.7
空き巣	15.6	● 4.5	16.0	● 4.3	15.0	○ 28.6	☆ 38.5	11.1
特殊詐欺の被害	15.2	▲ 9.1	12.0	13.0	★ 0.0	14.3	☆ 30.8	△ 22.2
傷害	10.5	9.1	12.0	▲ 4.3	△ 20.0	● 0.0	● 0.0	5.6
その他	36.2	40.9	36.0	▲ 30.4	● 25.0	▲ 28.6	★ 15.4	△ 44.4
無回答	0.8	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6

### (3) 犯罪被害の内容（居住地域別）

居住地域別にみると、「自転車やバイクの盗難」は南平地域(50.0%)で5割に達し最も高く、戸塚地域(46.2%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「子どもへの声かけ事案や不審者の目撃」は戸塚地域(38.5%)で4割近くと最も高くなっています。

「空き巣」は鳩ヶ谷地域(29.2%)で約3割と最も高くなっています。

「特殊詐欺の被害」は新郷地域(25.0%)で2割半ばと最も高く、戸塚地域(23.1%)で2割を超えて高くなっています。

「傷害」は鳩ヶ谷地域(25.0%)で2割半ばと最も高くなっています。

#### 【犯罪被害の内容（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=257)	中央 地域 (n=16)	横曽根 地域 (n=35)	青木 地域 (n=36)	南平 地域 (n=24)	新郷 地域 (n=12)	神根 地域 (n=24)	芝 地域 (n=31)	安行 地域 (n=17)	戸塚 地域 (n=26)	鳩ヶ谷 地域 (n=24)
自転車やバイクの盗難	35.0	△ 43.8	34.3	33.3	○ 50.0	▲ 25.0	33.3	35.5	★ 17.6	○ 46.2	▲ 29.2
子どもへの声かけ事案や 不審者の目撃	26.5	31.3	▲ 20.0	▲ 19.4	★ 8.3	△ 33.3	△ 33.3	25.8	△ 35.3	○ 38.5	25.0
空き巣	15.6	▲ 6.3	14.3	13.9	△ 20.8	★ 0.0	△ 20.8	12.9	17.6	▲ 7.7	○ 29.2
特殊詐欺の被害	15.2	12.5	17.1	▲ 5.6	▲ 8.3	△ 25.0	16.7	19.4	17.6	△ 23.1	16.7
傷害	10.5	12.5	11.4	△ 19.4	8.3	● 0.0	8.3	6.5	● 0.0	▲ 3.8	○ 25.0
その他	36.2	37.5	△ 42.9	▲ 30.6	△ 41.7	○ 50.0	37.5	△ 41.9	41.2	▲ 26.9	▲ 29.2
無回答	0.8	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

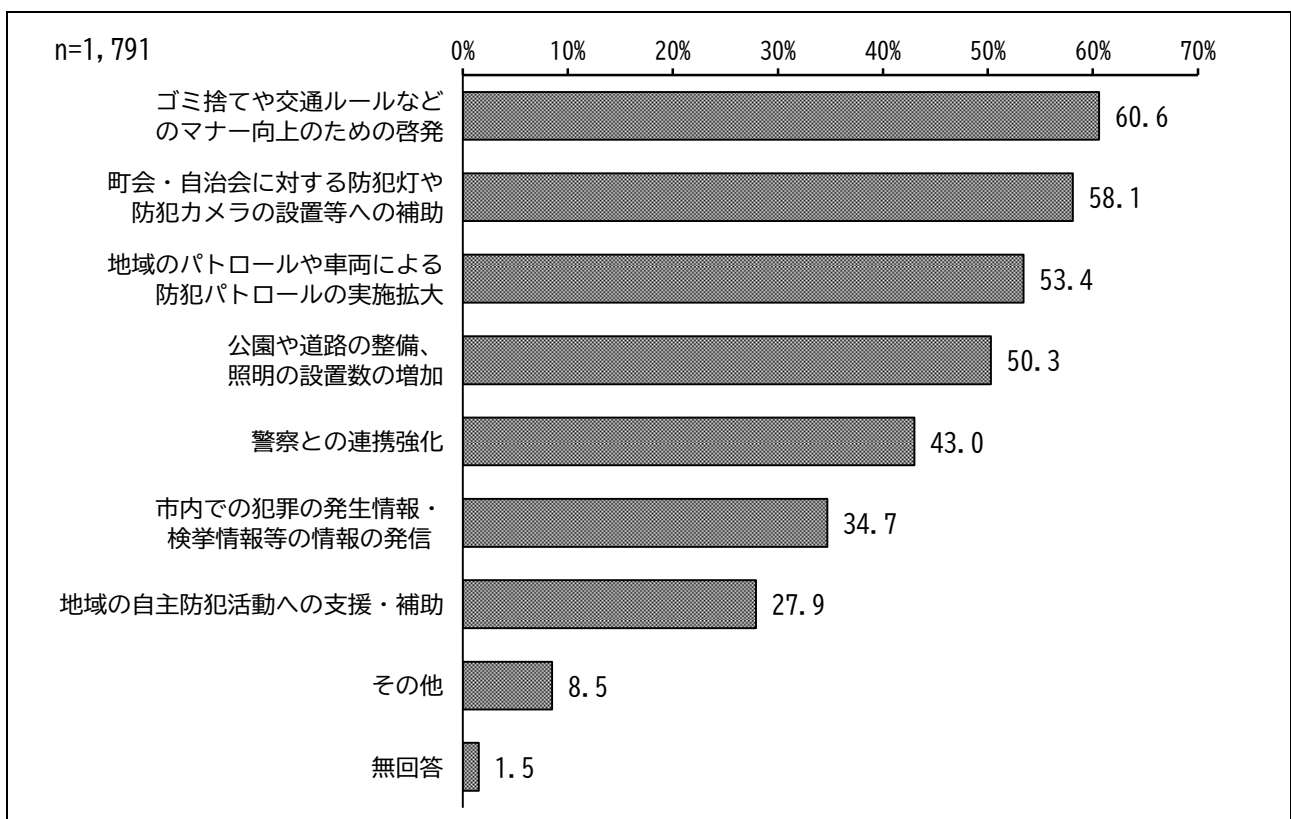
## 14 治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと

### (1) 治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと

問 11 治安向上、犯罪防止に対して川口市に（さらに）力を入れてほしいことは何ですか。  
（〇はいくつでも）

治安向上、犯罪防止に対して川口市に力を入れてほしいことについて、「ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発」は60.6%で約6割と最も高く、「町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助」が58.1%、「地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大」が53.4%、「公園や道路の整備、照明の設置数の増加」が50.3%と続いています。

#### 【治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（全体）】



## (2) 治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発」は女性65～74歳(73.2%)、男性65～74歳(70.9%)で7割を超えて高くなっています。

「町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助」は男性65～74歳(65.8%)で6割半ばと最も高くなっています。

「地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大」は女性30～39歳(62.5%)、男性30～39歳(61.1%)で6割を超えて高くなっています。

「公園や道路の整備、照明の設置数の増加」は女性30～39歳(64.7%)で6割半ば近くと最も高くなっています。

「警察との連携強化」は男性18～29歳(59.8%)、女性18～29歳(58.8%)で6割近くと高くなっています。

「市内での犯罪の発生情報・検挙情報等の情報の発信」は男性18～29歳(55.2%)で5割半ばと最も高くなっています。

### 【治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発	60.6	● 49.4	56.5	62.8	△ 69.6	60.7	○ 70.9	59.7
町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助	58.1	▲ 51.7	57.3	53.3	62.0	57.4	△ 65.8	55.6
地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大	53.4	52.9	△ 61.1	58.4	52.5	57.4	52.1	▲ 43.5
公園や道路の整備、照明の設置数の増加	50.3	55.2	52.7	46.0	48.7	▲ 42.6	45.3	46.8
警察との連携強化	43.0	☆ 59.8	○ 56.5	○ 54.7	△ 50.6	△ 50.8	★ 24.8	★ 26.6
市内での犯罪の発生情報・検挙情報等の情報の発信	34.7	☆ 55.2	38.2	39.4	△ 39.9	▲ 29.5	29.9	● 22.6
地域の自主防犯活動への支援・補助	27.9	27.6	△ 34.4	28.5	▲ 20.9	26.2	23.9	30.6
その他	8.5	10.3	13.0	△ 15.3	△ 15.8	9.8	5.1	6.5
無回答	1.5	1.1	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	4.8

【治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発	60.6	58.8	57.4	60.1	56.3	60.7	○ 73.2	58.0
町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助	58.1	62.3	59.6	62.2	54.6	57.4	62.6	58.7
地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大	53.4	55.3	△ 62.5	56.1	54.6	▲ 47.5	48.8	● 42.7
公園や道路の整備、照明の設置数の増加	50.3	53.5	○ 64.7	△ 58.1	51.4	49.2	50.4	▲ 43.4
警察との連携強化	43.0	☆ 58.8	○ 55.9	△ 50.7	38.8	▲ 36.1	★ 24.4	★ 21.0
市内での犯罪の発生情報・検挙情報等の情報の発信	34.7	37.7	39.7	35.8	▲ 25.7	39.3	▲ 26.0	34.3
地域の自主防犯活動への支援・補助	27.9	△ 35.1	29.4	30.4	▲ 21.9	26.2	△ 33.3	28.0
その他	8.5	9.6	7.4	10.1	5.5	▲ 1.6	▲ 3.3	▲ 2.1
無回答	1.5	0.9	0.0	0.7	0.5	0.0	2.4	4.9

### (3) 治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（居住地域別）

居住地域別にみると、「ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発」は芝地域(73.8%)、横曽根地域(70.6%)で7割を超えて高くなっています。

「町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助」は神根地域(68.9%)で7割近くと最も高くなっています。

「地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大」は中央地域(62.8%)で6割を超えて最も高くなっています。

「公園や道路の整備、照明の設置数の増加」は神根地域(60.6%)で約6割と最も高くなっています。

「市内での犯罪の発生情報・検挙情報等の情報の発信」は横曽根地域(40.2%)で約4割と最も高くなっています。

「地域の自主防犯活動への支援・補助」は芝地域(36.7%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

#### 【治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいこと（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発	60.6	▲ 51.2	△ 70.6	61.8	57.9	● 48.5	▲ 52.3	○ 73.8	▲ 55.2	64.0	▲ 54.5
町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助	58.1	54.1	58.8	56.7	56.3	58.3	○ 68.9	58.4	62.5	54.2	58.7
地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大	53.4	△ 62.8	53.9	51.7	▲ 47.0	50.5	56.1	55.7	55.2	57.0	▲ 47.9
公園や道路の整備、照明の設置数の増加	50.3	52.3	▲ 42.2	50.0	53.0	52.4	○ 60.6	50.2	53.1	50.9	48.5
警察との連携強化	43.0	47.7	42.6	44.1	41.0	40.8	47.0	39.8	44.8	43.0	43.7
市内での犯罪の発生情報・検挙情報等の情報の発信	34.7	38.4	△ 40.2	33.6	31.7	▲ 28.2	35.6	37.1	31.3	32.7	34.7
地域の自主防犯活動への支援・補助	27.9	25.0	28.9	31.5	▲ 21.3	27.2	28.0	△ 36.7	29.2	▲ 19.6	28.7
その他	8.5	6.4	12.7	9.2	7.1	4.9	9.8	7.7	8.3	8.9	7.8
無回答	1.5	0.6	1.0	2.1	0.0	2.9	0.8	1.4	2.1	0.9	1.2

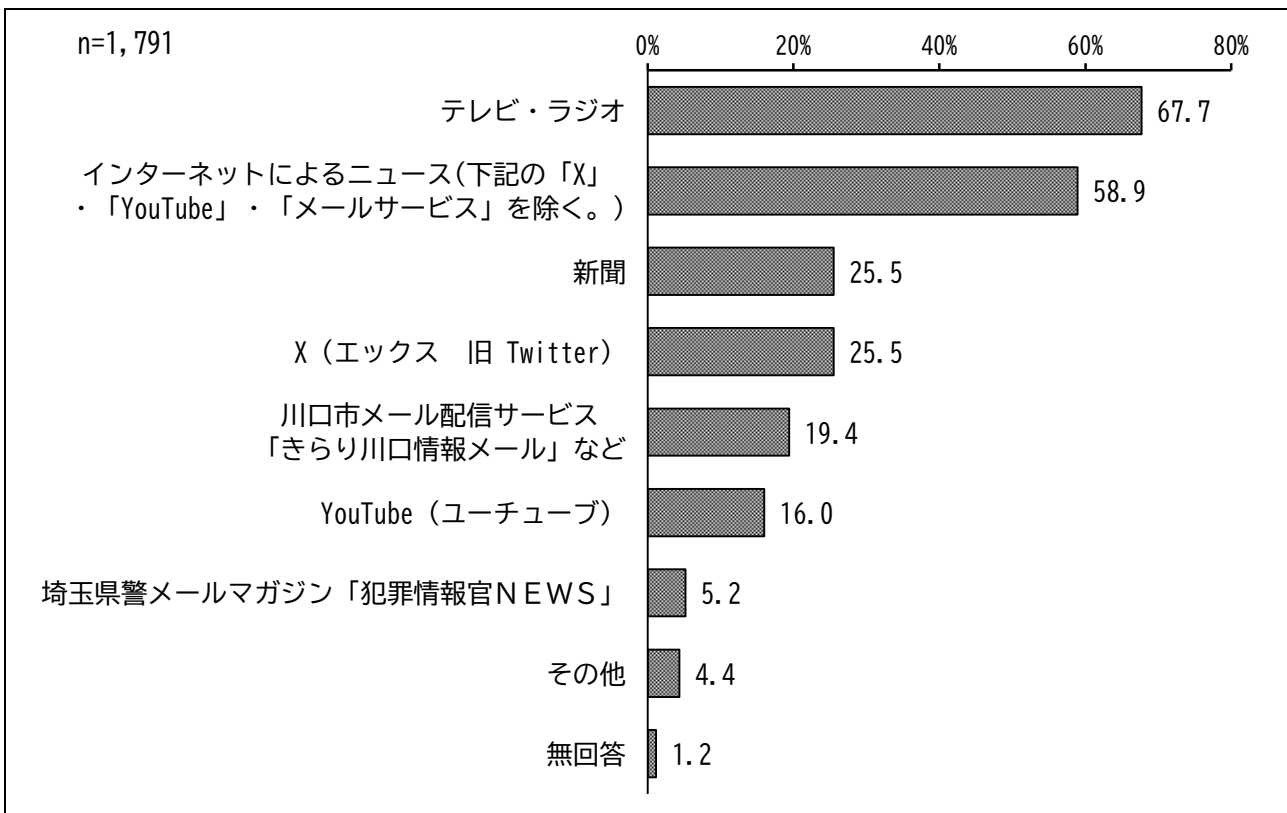
## 15 犯罪情報・防犯情報を確認する方法

### (1) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法

問 12 日常の防犯対策のため、主に犯罪情報・防犯情報を確認する方法は何ですか。  
(○はいくつでも)

犯罪情報・防犯情報を確認する方法について、「テレビ・ラジオ」は67.7%で6割半ばを超えて最も高く、「インターネットによるニュース(「X」・「YouTube」・「メールサービス」を除く。)」が58.9%、「新聞」と「X(エックス 旧 Twitter)」がともに25.5%と続いています。

【犯罪情報・防犯情報を確認する方法(全体)】



## (2) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「テレビ・ラジオ」は男性75歳以上(89.5%)、女性65～74歳(89.4%)で約9割と高く、女性75歳以上(84.6%)で8割半ば近くと高くなっています。

「インターネットによるニュース(「X」・「YouTube」・「メールサービス」を除く。)」は男性30～39歳(80.9%)で約8割と最も高くなっています。

「新聞」は男性75歳以上(68.5%)で7割近くと最も高く、女性75歳以上(55.9%)、女性65～74歳(45.5%)、男性65～74歳(41.9%)、女性60～64歳(41.0%)と続いています。

「X(エックス 旧 Twitter)」は男性18～29歳(65.5%)で6割半ばと最も高く、男性30～39歳(52.7%)、女性18～29歳(52.6%)、女性30～39歳(48.5%)で5割前後と高くなっています。

「川口市メール配信サービス「きらり川口情報メール」など」は女性40～49歳(39.2%)で約4割と最も高くなっています。

「YouTube」は男性18～29歳(44.8%)で4割半ば近くと最も高くなっています。

「埼玉県警メールマガジン「犯罪情報官NEWS」」は女性60～64歳(11.5%)で1割を超えて最も高くなっています。

### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
テレビ・ラジオ	67.7	● 55.2	★ 48.1	★ 52.6	▲ 58.2	○ 78.7	○ 79.5	☆ 89.5
インターネットによるニュース (下記の「X」・「YouTube」・ 「メールサービス」を除く。)	58.9	△ 66.7	☆ 80.9	○ 69.3	☆ 78.5	63.9	▲ 50.4	★ 20.2
新聞	25.5	▲ 16.1	★ 8.4	● 13.1	● 13.9	△ 31.1	☆ 41.9	☆ 68.5
X(エックス 旧 Twitter)	25.5	☆ 65.5	☆ 52.7	△ 33.6	24.1	★ 8.2	★ 7.7	★ 0.8
川口市メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	19.4	▲ 11.5	14.5	24.1	15.2	23.0	21.4	▲ 9.7
YouTube(ユーチューブ)	16.0	☆ 44.8	△ 26.0	18.2	17.7	18.0	17.1	▲ 8.9
埼玉県警メールマガジン 「犯罪情報官NEWS」	5.2	3.4	3.8	6.6	7.0	6.6	9.4	1.6
その他	4.4	1.1	4.6	2.2	6.3	1.6	0.9	1.6
無回答	1.2	0.0	0.8	0.7	0.0	0.0	0.9	5.6

【犯罪情報・防犯情報を確認する方法（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
テレビ・ラジオ	67.7	64.0	▲ 58.8	62.8	68.9	○ 82.0	☆ 89.4	☆ 84.6
インターネットによるニュース (下記の「X」・「YouTube」・ 「メールサービス」を除く。)	58.9	○ 71.9	○ 69.9	△ 67.6	○ 71.0	54.1	★ 42.3	★ 18.2
新聞	25.5	● 11.4	★ 2.2	● 12.8	▲ 16.4	☆ 41.0	☆ 45.5	☆ 55.9
X (エックス 旧 Twitter)	25.5	☆ 52.6	☆ 48.5	25.0	▲ 17.5	★ 9.8	★ 4.1	★ 2.8
川口市メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	19.4	● 7.0	20.6	☆ 39.2	○ 32.8	19.7	14.6	● 7.7
YouTube (ユーチューブ)	16.0	○ 27.2	13.2	16.9	▲ 8.2	▲ 9.8	▲ 8.1	● 3.5
埼玉県警メールマガジン 「犯罪情報官NEWS」	5.2	2.6	3.7	6.8	5.5	△ 11.5	4.1	1.4
その他	4.4	7.9	△ 13.2	4.7	6.0	0.0	2.4	2.1
無回答	1.2	0.9	0.0	0.0	1.1	0.0	0.8	4.2

### (3) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法（居住地域別）

居住地域別にみると、「テレビ・ラジオ」は芝地域(76.0%)で7割半ばを超えて最も高く、新郷地域(73.8%)で7割を超えて高くなっています。

「インターネットによるニュース」は横曽根地域(64.2%)、鳩ヶ谷地域(64.1%)、中央地域(64.0%)、戸塚地域(64.0%)で6割半ば近くと高くなっています。

「X(エックス 旧 Twitter)」は中央地域(32.6%)、横曽根地域(30.9%)で3割を超えて高くなっています。

「YouTube」は安行地域(25.0%)で2割半ばに達し最も高くなっています。

#### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
テレビ・ラジオ	67.7	▲ 58.7	63.2	71.0	71.0	△ 73.8	63.6	△ 76.0	63.5	65.9	68.3
インターネットによるニュース (下記の「X」・「YouTube」・ 「メールサービス」を除く。)	58.9	△ 64.0	△ 64.2	58.0	58.5	● 45.6	59.8	▲ 53.8	59.4	△ 64.0	△ 64.1
新聞	25.5	22.1	24.5	27.7	27.9	25.2	27.3	26.7	▲ 18.8	21.5	26.9
X(エックス 旧 Twitter)	25.5	△ 32.6	△ 30.9	22.7	22.4	▲ 18.4	28.0	▲ 20.4	25.0	29.0	26.9
川口市メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	19.4	15.7	17.2	23.5	19.7	23.3	17.4	19.9	19.8	16.4	21.0
YouTube(ユーチューブ)	16.0	15.1	17.2	15.1	12.0	▲ 9.7	18.2	14.0	△ 25.0	16.4	21.0
埼玉県警メールマガジン 「犯罪情報官NEWS」	5.2	4.1	6.9	5.0	3.8	1.9	9.1	4.5	7.3	4.2	3.6
その他	4.4	5.2	6.9	2.9	2.7	1.9	3.0	4.1	6.3	3.7	6.6
無回答	1.2	1.7	0.5	2.1	0.5	1.9	1.5	0.5	0.0	0.5	0.6

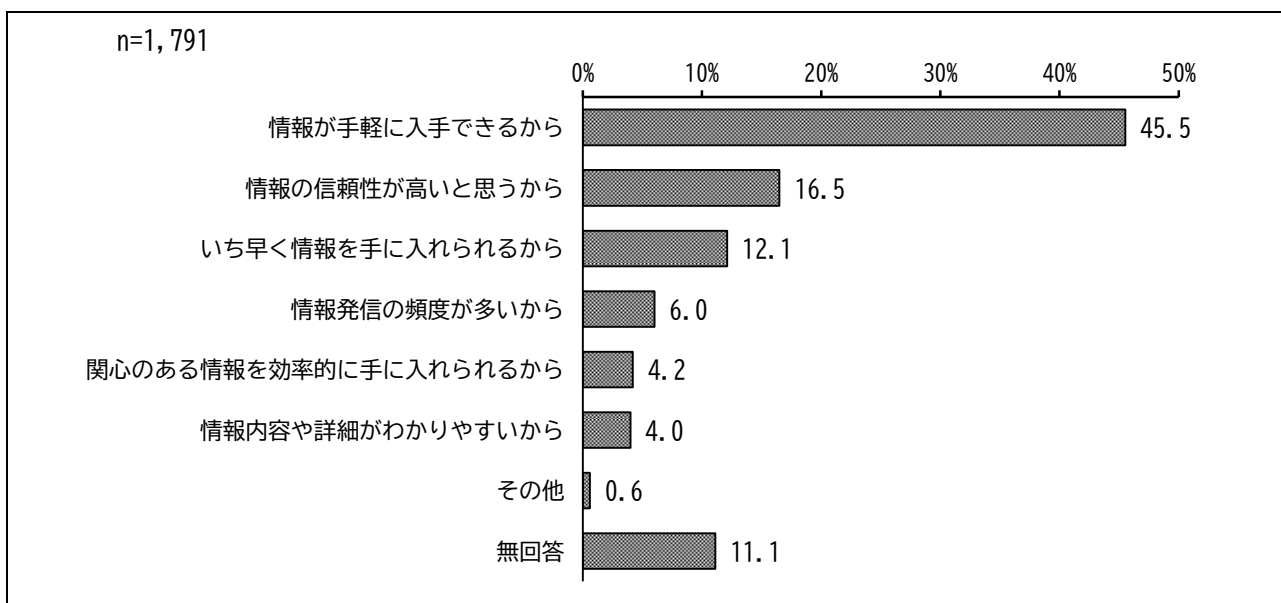
## 16 犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由

### (1) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由

問13 問12で回答した方法を使う理由は何ですか。(○は1つ)

犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由について、「情報が手軽に入手できるから」が45.5%で4割半ばを占めており、「情報の信頼性が高いと思うから」が16.5%、「いち早く情報を手に入れられるから」が12.1%と続いています。

#### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（全体）】



## (2) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「情報が手軽に入手できるから」は男性18～29歳(60.9%)で約6割と最も高くなっています。

「情報の信頼性が高いと思うから」は女性75歳以上(32.9%)、男性75歳以上(30.6%)で3割を超えて高くなっています。

「いち早く情報を手に入れられるから」は男性60～64歳(18.0%)で2割近くと最も高くなっています。

### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
情報が手軽に入手できるから	45.5	☆ 60.9	△ 52.7	48.9	48.7	▲ 39.3	▲ 38.5	★ 25.8
情報の信頼性が高いと思うから	16.5	● 5.7	12.2	13.1	13.3	19.7	△ 24.8	○ 30.6
いち早く情報を手に入れられるから	12.1	10.3	9.9	10.9	15.8	△ 18.0	11.1	8.9
情報発信の頻度が多いから	6.0	10.3	10.7	9.5	8.9	8.2	3.4	3.2
関心のある情報を効率的に手に入れられるから	4.2	8.0	7.6	6.6	5.1	3.3	6.0	3.2
情報内容や詳細がわかりやすいから	4.0	1.1	0.8	2.2	3.2	1.6	5.1	8.1
その他	0.6	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
無回答	11.1	▲ 2.3	6.1	8.8	▲ 5.1	9.8	10.3	△ 20.2

### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
情報が手軽に入手できるから	45.5	○ 57.0	○ 58.1	△ 54.1	49.2	42.6	● 33.3	● 31.5
情報の信頼性が高いと思うから	16.5	● 5.3	▲ 8.8	▲ 6.8	14.2	○ 29.5	△ 22.0	☆ 32.9
いち早く情報を手に入れられるから	12.1	14.0	13.2	14.9	15.8	8.2	11.4	▲ 4.2
情報発信の頻度が多いから	6.0	3.5	4.4	4.7	4.4	4.9	6.5	2.8
関心のある情報を効率的に手に入れられるから	4.2	5.3	2.2	5.4	1.6	0.0	1.6	2.8
情報内容や詳細がわかりやすいから	4.0	4.4	2.2	4.1	1.6	1.6	8.9	2.1
その他	0.6	0.9	0.7	0.0	0.5	1.6	2.4	1.4
無回答	11.1	9.6	10.3	10.1	12.6	11.5	13.8	○ 22.4

### (3) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「情報が手軽に入手できるから」は戸塚地域(56.1%)で5割半ばを超えて最も高く、安行地域(53.1%)で5割を超えて高くなっています。

#### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
情報が手軽に入手できるから	45.5	49.4	▲ 39.7	45.4	42.6	44.7	50.0	▲ 39.8	△ 53.1	○ 56.1	46.1
情報の信頼性が高いと思うから	16.5	14.0	18.6	17.6	17.5	13.6	15.2	21.3	12.5	▲ 10.7	15.6
いち早く情報を手に入れられるから	12.1	11.6	16.7	9.2	12.6	14.6	10.6	13.6	11.5	12.1	9.0
情報発信の頻度が多いから	6.0	3.5	6.4	7.6	4.4	8.7	2.3	6.3	4.2	6.1	9.6
関心のある情報を効率的に手に入れられるから	4.2	4.7	4.4	4.6	3.3	3.9	5.3	5.0	3.1	3.7	3.0
情報内容や詳細がわかりやすいから	4.0	4.1	5.9	3.4	4.9	1.0	2.3	5.0	4.2	3.3	4.2
その他	0.6	0.0	0.5	1.3	1.1	1.0	0.0	1.4	0.0	0.5	0.0
無回答	11.1	12.8	7.8	10.9	13.7	12.6	14.4	7.7	11.5	7.5	12.6

#### (4) 犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（確認方法別）

犯罪情報・防犯情報を確認する方法別にみると、「情報が手軽に入手できるから」はインターネットによるニュース(54.9%)で5割半ば近くと最も高くなっています。

「情報の信頼性が高いと思うから」は新聞(32.4%)で3割を超えて最も高くなっています。

「いち早く情報を手に入れられるから」は埼玉県警メールマガジン「犯罪情報官NEWS」(24.5%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

#### 【犯罪情報・防犯情報を確認する方法を使う理由（確認方法別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	テレビ・ラジオ (n=1,213)	新聞 (n=457)	インターネットによるニュース（「X」・「YouTube」・「メールサービス」を除く。） (n=1,055)	X（エックス旧Twitter） (n=456)	YouTube（ユーチューブ） (n=286)	川口市メール配信サービス「きらり川口情報メール」など (n=348)	埼玉県警メールマガジン「犯罪情報官NEWS」 (n=94)	その他 (n=79)
情報が手軽に入手できるから	45.5	44.6	● 31.3	△ 54.9	49.3	50.0	42.8	★ 26.6	● 34.2
情報の信頼性が高いと思うから	16.5	19.9	☆ 32.4	▲ 7.7	● 5.3	▲ 7.7	19.3	△ 24.5	12.7
いち早く情報を手に入れられるから	12.1	10.1	▲ 7.0	13.7	△ 18.0	14.3	△ 18.7	○ 24.5	15.2
情報発信の頻度が多いから	6.0	5.7	4.6	6.3	9.4	7.0	3.4	6.4	6.3
関心のある情報を効率的に手に入れられるから	4.2	3.1	3.5	5.4	5.9	8.7	3.7	6.4	△ 10.1
情報内容や詳細がわかりやすいから	4.0	4.1	5.9	2.7	3.7	2.4	4.9	3.2	1.3
その他	0.6	0.8	1.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0	1.3
無回答	11.1	11.6	14.2	9.2	8.3	9.8	6.9	8.5	△ 19.0

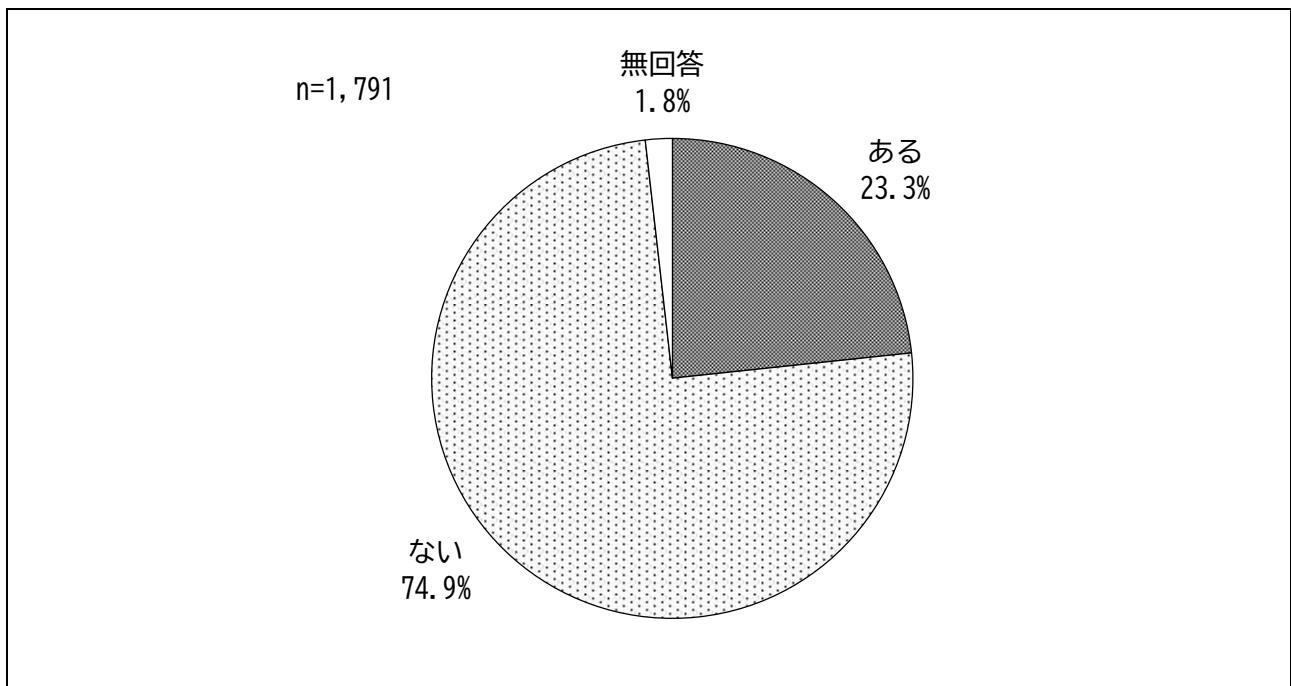
## 17 窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無

### (1) 窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無

問 14 市内の施設（グリーンセンター・サンアール朝日・科学館）や庁舎等の窓口（市民課・支所・駅前行政センター・駅連絡室・固定資産税課・道路管理課）での支払いに、キャッシュレス決済を利用したことはありますか。（○は1つ）

窓口でのキャッシュレス決済の利用経験について、「ある」は23.3%で2割を超えています。一方、「ない」は74.9%で7割半ば近くを占めています。

#### 【窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（全体）】



## (2) 窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ある」は男性30～39歳(45.0%)で4割半ばに達し最も高く、女性30～39歳(39.7%)で約4割と高くなっています。

一方、「ない」は女性75歳以上(87.4%)、女性65～74歳(85.4%)、男性60～64歳(85.2%)で8割半ばを超えて高くなっています。

【窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	ある	ない	無回答
全体		1,791	23.3	74.9	1.8
男性		817	25.5	73.6	1.0
女性		917	21.7	77.0	1.3
自由記載		11	▲ 18.2	72.7	△ 9.1
男性	18～29歳	87	27.6	72.4	0.0
	30～39歳	131	☆ 45.0	★ 55.0	0.0
	40～49歳	137	27.0	72.3	0.7
	50～59歳	158	25.3	74.7	0.0
	60～64歳	61	▲ 14.8	○ 85.2	0.0
	65～74歳	117	21.4	78.6	0.0
	75歳以上	124	● 11.3	△ 84.7	4.0
女性	18～29歳	114	25.4	74.6	0.0
	30～39歳	136	☆ 39.7	★ 59.6	0.7
	40～49歳	148	26.4	73.0	0.7
	50～59歳	183	▲ 17.5	△ 82.0	0.5
	60～64歳	61	▲ 16.4	△ 82.0	1.6
	65～74歳	123	▲ 13.8	○ 85.4	0.8
	75歳以上	143	● 9.1	○ 87.4	3.5

### (3) 窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（居住地域別）

居住地域別にみると、「ある」は中央地域(27.3%)、戸塚地域(26.6%)、青木地域(26.5%)、芝地域(26.2%)で2割半ばを超えて高くなっています。

一方、「ない」は鳩ヶ谷地域(82.0%)、安行地域(81.3%)、新郷地域(80.6%)、南平地域(80.3%)で8割を超えて高くなっています。

【窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無（居住地域別）】

(人)

(%)

	合計	ある	ない	無回答
全体	1,791	23.3	74.9	1.8
中央地域	172	27.3	▲ 69.2	3.5
横曽根地域	204	24.5	72.1	3.4
青木地域	238	26.5	72.7	0.8
南平地域	183	19.7	△ 80.3	0.0
新郷地域	103	▲ 15.5	△ 80.6	3.9
神根地域	132	24.2	74.2	1.5
芝地域	221	26.2	73.3	0.5
安行地域	96	▲ 16.7	△ 81.3	2.1
戸塚地域	214	26.6	72.9	0.5
鳩ヶ谷地域	167	▲ 18.0	△ 82.0	0.0

## 18 キャッシュレス決済の満足度

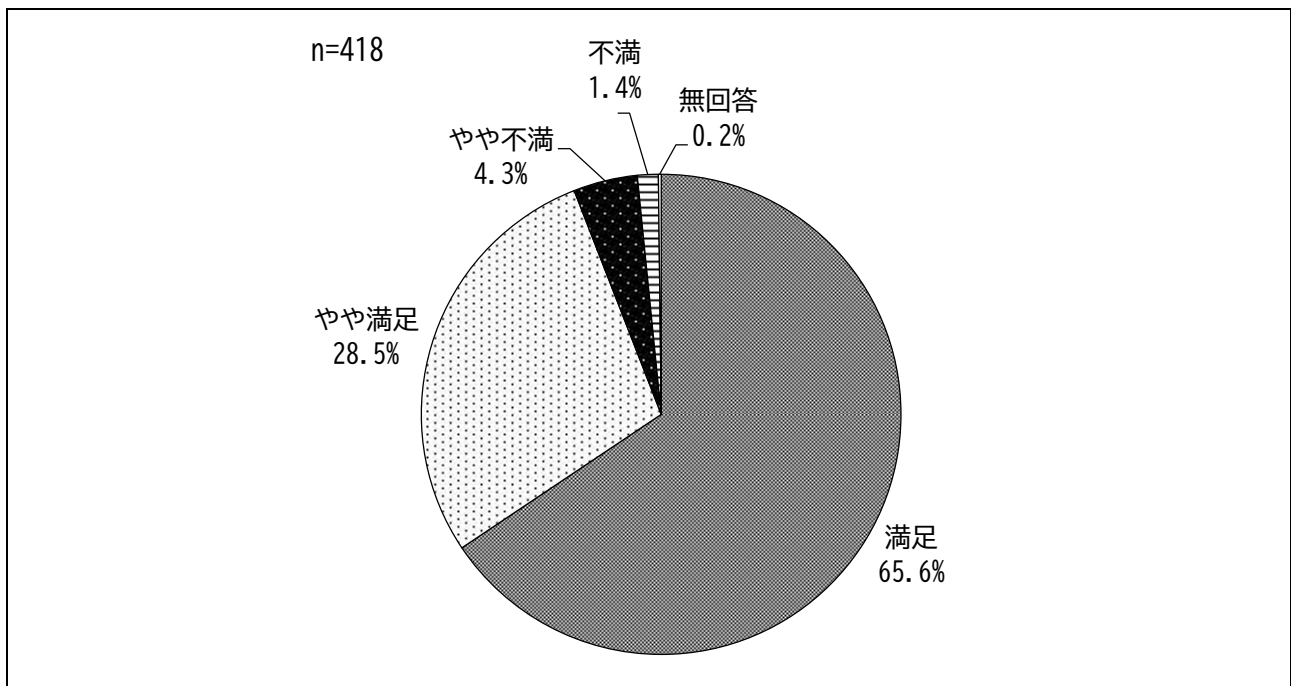
### (1) キャッシュレス決済の満足度

問 14 で「ある」と回答した方

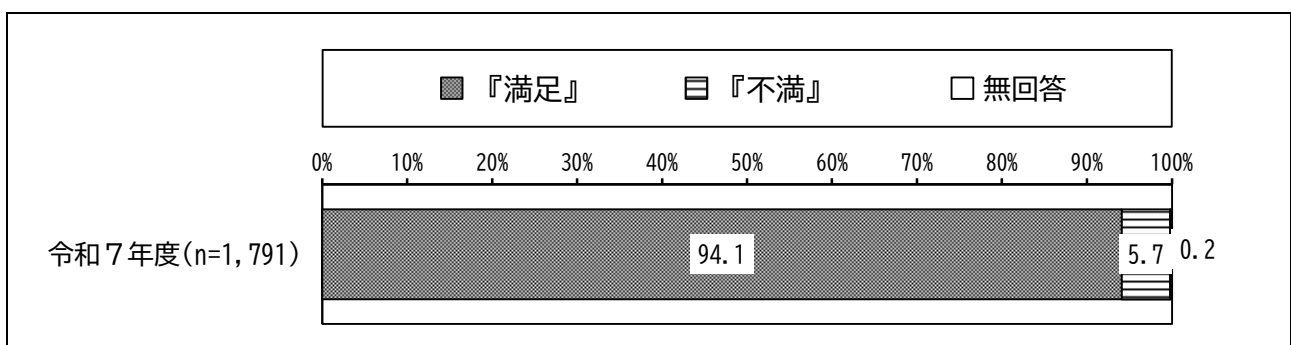
問 15 キャッシュレス決済を利用した際の満足度はいかがですか。(○は1つ)

キャッシュレス決済を利用したことが「ある」と回答した418人のキャッシュレス決済の満足度について、「満足」(65.6%)と「やや満足」(28.5%)を合わせた『満足』は94.1%で9割半ば近くを占めています。「やや不満」(4.3%)と「不満」(1.4%)を合わせた『不満』は5.7%と1割にも満たない状況です。

【キャッシュレス決済の満足度 (全体)】



【キャッシュレス決済の満足度 (全体・2区分)】



## (2) キャッシュレス決済の満足度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「満足」は女性30～39歳(79.6%)で約8割と高くなっています。

【キャッシュレス決済の満足度（性別、性・年齢別）】

(人)

(%)

		合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体		418	65.6	28.5	4.3	1.4	0.2
男性		208	62.0	31.7	4.3	1.4	0.5
女性		199	68.8	26.1	3.5	1.5	0.0
自由記載		2	★ 50.0	★ 0.0	☆ 50.0	0.0	0.0
男性	18～29歳	24	66.7	29.2	0.0	4.2	0.0
	30～39歳	59	△ 71.2	23.7	5.1	0.0	0.0
	40～49歳	37	62.2	△ 35.1	2.7	0.0	0.0
	50～59歳	40	62.5	32.5	2.5	0.0	2.5
	60～64歳	9	★ 22.2	☆ 55.6	△ 11.1	△ 11.1	0.0
	65～74歳	25	64.0	28.0	8.0	0.0	0.0
	75歳以上	14	★ 35.7	☆ 50.0	7.1	△ 7.1	0.0
女性	18～29歳	29	☆ 82.8	● 17.2	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	54	○ 79.6	▲ 20.4	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	39	66.7	25.6	2.6	5.1	0.0
	50～59歳	32	△ 71.9	25.0	3.1	0.0	0.0
	60～64歳	10	★ 50.0	○ 40.0	△ 10.0	0.0	0.0
	65～74歳	17	★ 29.4	☆ 58.8	△ 11.8	0.0	0.0
	75歳以上	13	★ 46.2	30.8	○ 15.4	△ 7.7	0.0

### (3) キャッシュレス決済の満足度（居住地域別）

居住地域別にみると、「満足」は南平地域(75.0%)で7割半ばに達し、芝地域(74.1%)、中央地域(72.3%)で7割を超えて高くなっています。「やや満足」は青木地域(39.7%)で約4割と最も高くなっています。

【キャッシュレス決済の満足度（居住地域別）】  
(人) (%)

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体	418	65.6	28.5	4.3	1.4	0.2
中央地域	47	△ 72.3	25.5	2.1	0.0	0.0
横曽根地域	50	66.0	26.0	6.0	2.0	0.0
青木地域	63	● 54.0	○ 39.7	6.3	0.0	0.0
南平地域	36	△ 75.0	▲ 19.4	5.6	0.0	0.0
新郷地域	16	68.8	▲ 18.8	0.0	○ 12.5	0.0
神根地域	32	62.5	△ 34.4	3.1	0.0	0.0
芝地域	58	△ 74.1	▲ 22.4	3.4	0.0	0.0
安行地域	16	62.5	△ 37.5	0.0	0.0	0.0
戸塚地域	57	▲ 57.9	33.3	3.5	3.5	1.8
鳩ヶ谷地域	30	63.3	26.7	6.7	3.3	0.0

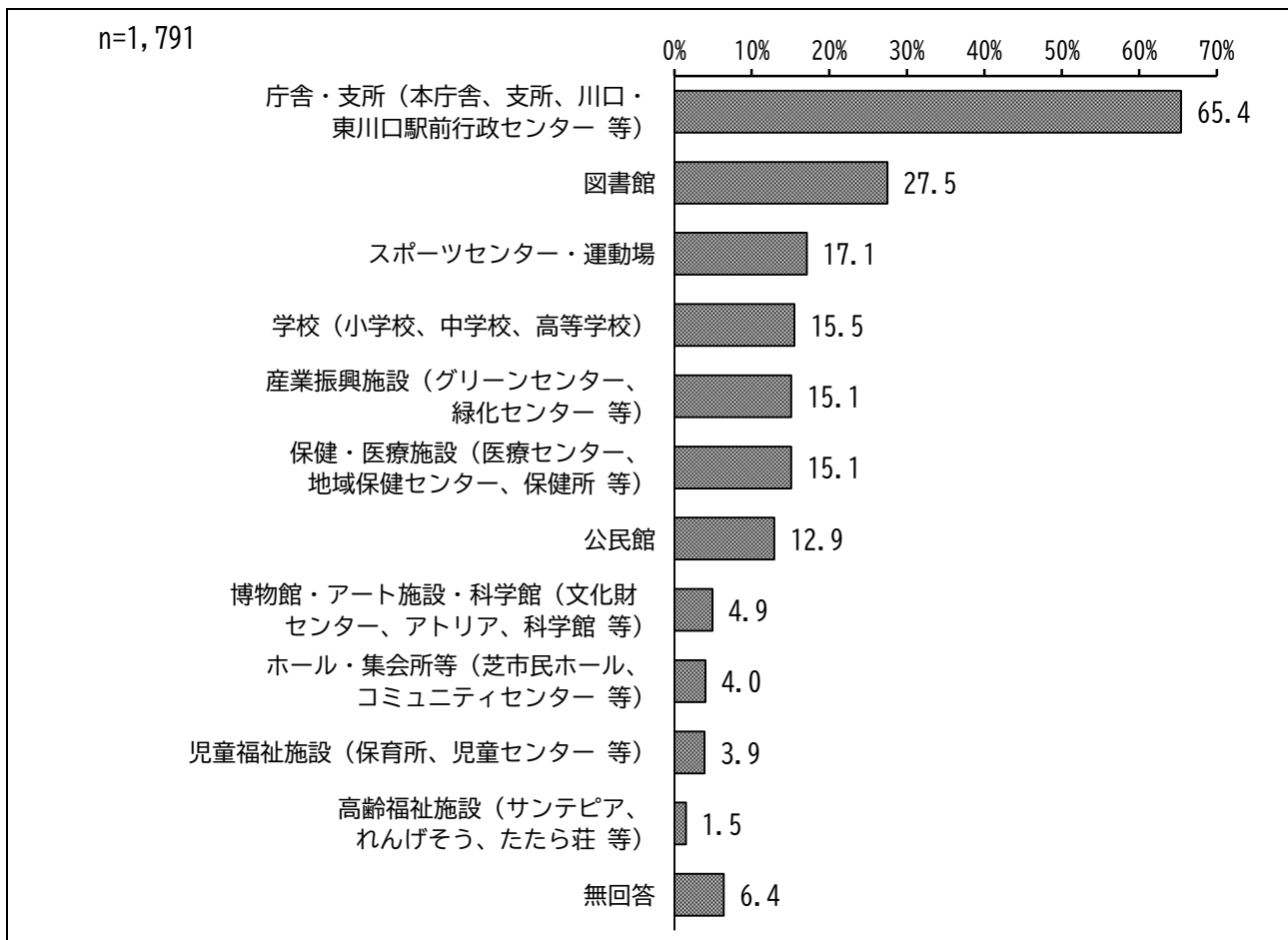
## 19 利用する機会が多い公共施設

### (1) 利用する機会が多い公共施設

問 16 川口市ではこれまで様々なニーズに応じて、数多くの公共施設を整備してきました。あなたが過去1年間に訪れたり利用したりした公共施設の中で、利用する機会が多かったものを選んでください。(〇は3つまで)

利用する機会が多い公共施設について、「庁舎・支所(本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等)」が65.4%で6割半ばと最も高く、「図書館」が27.5%、「スポーツセンター・運動場」が17.1%、「学校(小学校、中学校、高等学校)」が15.5%、「産業振興施設(グリーンセンター、緑化センター等)」と「保健・医療施設(医療センター、地域保健センター、保健所等)」がともに15.1%と続いています。

【利用する機会が多い公共施設 (全体)】



## (2) 利用する機会が多い公共施設（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター 等）」は男性50～59歳(75.9%)、男性60～64歳(75.4%)、男性65～74歳(75.2%)、女性50～59歳(74.9%)で7割半ば前後と高くなっています。

「図書館」は女性30～39歳(37.5%)、女性40～49歳(35.1%)で3割半ばを超えて高く、女性18～29歳(33.3%)で3割を超えて高くなっています。

「スポーツセンター・運動場」は男性40～49歳(32.1%)、男性18～29歳(28.7%)で3割前後と高くなっています。

「学校（小学校、中学校、高等学校）」は女性40～49歳(44.6%)で4割半ば近くと最も高く、男性40～49歳(30.7%)で約3割と高くなっています。

「産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター 等）」は男性30～39歳(22.9%)、女性30～39歳(20.6%)で2割を超えて高くなっています。

「保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所 等）」は男性75歳以上(23.4%)、男性65～74歳(20.5%)、女性18～29歳(20.2%)で2割を超えて高くなっています。

「公民館」は女性75歳以上(28.7%)、男性75歳以上(27.4%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「児童福祉施設（保育所、児童センター 等）」は女性30～39歳(16.2%)、男性30～39歳(14.5%)で1割半ば前後と高くなっています。

### 【利用する機会が多い公共施設（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター 等）	65.4	65.5	67.9	67.2	○ 75.9	△ 75.4	△ 75.2	● 54.0
図書館	27.5	26.4	24.4	26.3	22.8	▲ 21.3	27.4	29.0
スポーツセンター・運動場	17.1	○ 28.7	19.8	○ 32.1	△ 23.4	▲ 11.5	18.8	△ 22.6
学校（小学校、中学校、高等学校）	15.5	14.9	13.0	☆ 30.7	△ 22.2	● 4.9	● 4.3	● 3.2
産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター 等）	15.1	▲ 9.2	△ 22.9	18.2	13.3	14.8	13.7	19.4
保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所 等）	15.1	13.8	10.7	13.1	▲ 7.6	16.4	△ 20.5	△ 23.4
公民館	12.9	10.3	▲ 6.9	8.0	▲ 5.1	▲ 4.9	△ 19.7	○ 27.4
博物館・アート施設・科学館（文化財センター、アトリア、科学館 等）	4.9	4.6	5.3	2.2	4.4	0.0	6.8	4.8
ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター 等）	4.0	6.9	0.8	2.9	5.7	1.6	4.3	4.0
児童福祉施設（保育所、児童センター 等）	3.9	2.3	○ 14.5	3.6	0.6	0.0	0.0	0.8
高齢福祉施設（サンテピア、れんげそう、たたら荘 等）	1.5	0.0	0.0	0.7	0.6	3.3	0.9	2.4
無回答	6.4	6.9	5.3	▲ 0.7	1.9	△ 11.5	4.3	7.3

【利用する機会が多い公共施設（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等）	65.4	69.3	66.9	★ 48.6	△ 74.9	63.9	69.9	● 52.4
図書館	27.5	△ 33.3	△ 37.5	△ 35.1	25.1	27.9	25.2	▲ 21.7
スポーツセンター・運動場	17.1	▲ 8.8	12.5	16.2	▲ 9.8	16.4	16.3	▲ 8.4
学校（小学校、中学校、高等学校）	15.5	▲ 9.6	19.9	☆ 44.6	16.4	▲ 6.6	● 4.9	● 2.8
産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）	15.1	11.4	△ 20.6	10.1	▲ 8.7	18.0	19.5	▲ 9.8
保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所等）	15.1	△ 20.2	14.0	18.2	▲ 9.8	16.4	17.1	16.1
公民館	12.9	● 1.8	12.5	10.1	11.5	13.1	17.1	☆ 28.7
博物館・アート施設・科学館（文化財センター、アトリア、科学館等）	4.9	7.9	5.1	8.1	3.8	1.6	4.9	2.8
ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター等）	4.0	1.8	1.5	3.4	2.7	8.2	8.9	4.2
児童福祉施設（保育所、児童センター等）	3.9	6.1	○ 16.2	6.1	0.0	0.0	0.8	0.0
高齢福祉施設（サンテピア、れんげそう、たたら荘等）	1.5	0.9	0.0	0.7	1.1	0.0	1.6	△ 7.7
無回答	6.4	3.5	3.7	4.7	4.4	4.9	6.5	○ 18.9

### (3) 利用する機会が多い公共施設（家族構成別）

家族構成別にみると、「庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等）」はひとり暮らし（単身世帯）（72.5%）で7割を超えて最も高くなっています。

「学校（小学校、中学校、高等学校）」は親と子（2世代）（25.1%）で2割半ばと最も高く、親と子と孫など（3世代以上）（22.8%）で2割を超えて高くなっています。

「産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）」は親と子と孫など（3世代以上）（25.0%）で2割半ばに達し、最も高くなっています。

【利用する機会が多い公共施設（家族構成別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	ひとり暮らし （単身世帯） (n=258)	夫婦のみ (n=484)	親と子（2 世代） (n=852)	親と子と孫 など（3世 代以上） (n=92)	その他 (n=64)
庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等）	65.4	△ 72.5	69.2	62.7	▲ 59.8	65.6
図書館	27.5	23.6	29.5	28.2	▲ 20.7	25.0
スポーツセンター・運動場	17.1	▲ 9.7	16.5	19.5	19.6	20.3
学校（小学校、中学校、高等学校）	15.5	● 3.9	● 4.3	△ 25.1	△ 22.8	10.9
産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）	15.1	▲ 8.1	17.1	15.6	△ 25.0	▲ 9.4
保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所等）	15.1	13.6	14.7	15.3	17.4	14.1
公民館	12.9	12.4	14.5	12.2	15.2	14.1
博物館・アート施設・科学館（文化財センター、アトリア、科学館等）	4.9	3.5	5.0	5.2	5.4	4.7
ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター等）	4.0	3.1	4.8	4.1	5.4	0.0
児童福祉施設（保育所、児童センター等）	3.9	0.4	0.6	6.9	4.3	4.7
高齢福祉施設（サンテピア、れんげそう、たたら荘等）	1.5	3.1	1.4	0.8	0.0	3.1
無回答	6.4	8.9	5.0	5.5	7.6	6.3

#### (4) 利用する機会が多い公共施設（居住地域別）

居住地域別にみると、「庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等）」は中央地域（75.0%）で7割半ばに達し、最も高くなっています。

「図書館」は中央地域（51.2%）で5割を超えて最も高くなっています。

「スポーツセンター・運動場」は安行地域（29.2%）で約3割と最も高くなっています。

「産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）」は神根地域（26.5%）で2割半ばを超えて最も高くなっています。

「保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所等）」は安行地域（25.0%）で2割半ばに達し最も高く、南平地域（21.9%）、鳩ヶ谷地域（20.4%）で2割を超えて高くなっています。

「公民館」は安行地域（20.8%）で約2割と最も高くなっています。

「ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター等）」は芝地域（10.4%）で約1割と最も高くなっています。

【利用する機会が多い公共施設（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等）	65.4	△ 75.0	67.6	63.0	66.7	67.0	61.4	64.3	▲ 59.4	67.3	64.7
図書館	27.5	☆ 51.2	△ 36.8	27.3	27.3	● 15.5	▲ 18.2	▲ 21.3	● 15.6	25.2	25.7
スポーツセンター・運動場	17.1	● 7.0	15.2	△ 24.4	17.5	12.6	17.4	14.0	○ 29.2	△ 26.2	▲ 8.4
学校（小学校、中学校、高等学校）	15.5	12.8	12.7	16.8	18.6	14.6	15.9	13.6	11.5	18.7	18.0
産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター等）	15.1	12.2	11.3	13.0	▲ 6.6	11.7	○ 26.5	19.9	△ 21.9	16.4	13.2
保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所等）	15.1	10.5	▲ 9.8	13.9	△ 21.9	14.6	17.4	12.7	△ 25.0	11.2	△ 20.4
公民館	12.9	8.1	15.7	11.8	10.4	13.6	17.4	12.2	△ 20.8	13.6	10.2
博物館・アート施設・科学館（文化財センター、アトリア、科学館等）	4.9	7.0	7.4	7.1	3.3	3.9	3.8	3.6	4.2	1.9	4.8
ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター等）	4.0	2.9	3.9	3.8	3.3	1.9	2.3	△ 10.4	3.1	0.5	4.2
児童福祉施設（保育所、児童センター等）	3.9	2.9	2.5	1.7	3.3	1.9	5.3	3.2	6.3	7.5	6.6
高齢福祉施設（サンテピア、れんげそう、たたら荘等）	1.5	1.7	1.5	0.8	1.6	1.0	3.8	1.4	1.0	0.0	1.8
無回答	6.4	6.4	6.4	4.6	6.0	10.7	3.8	7.7	8.3	2.8	7.8

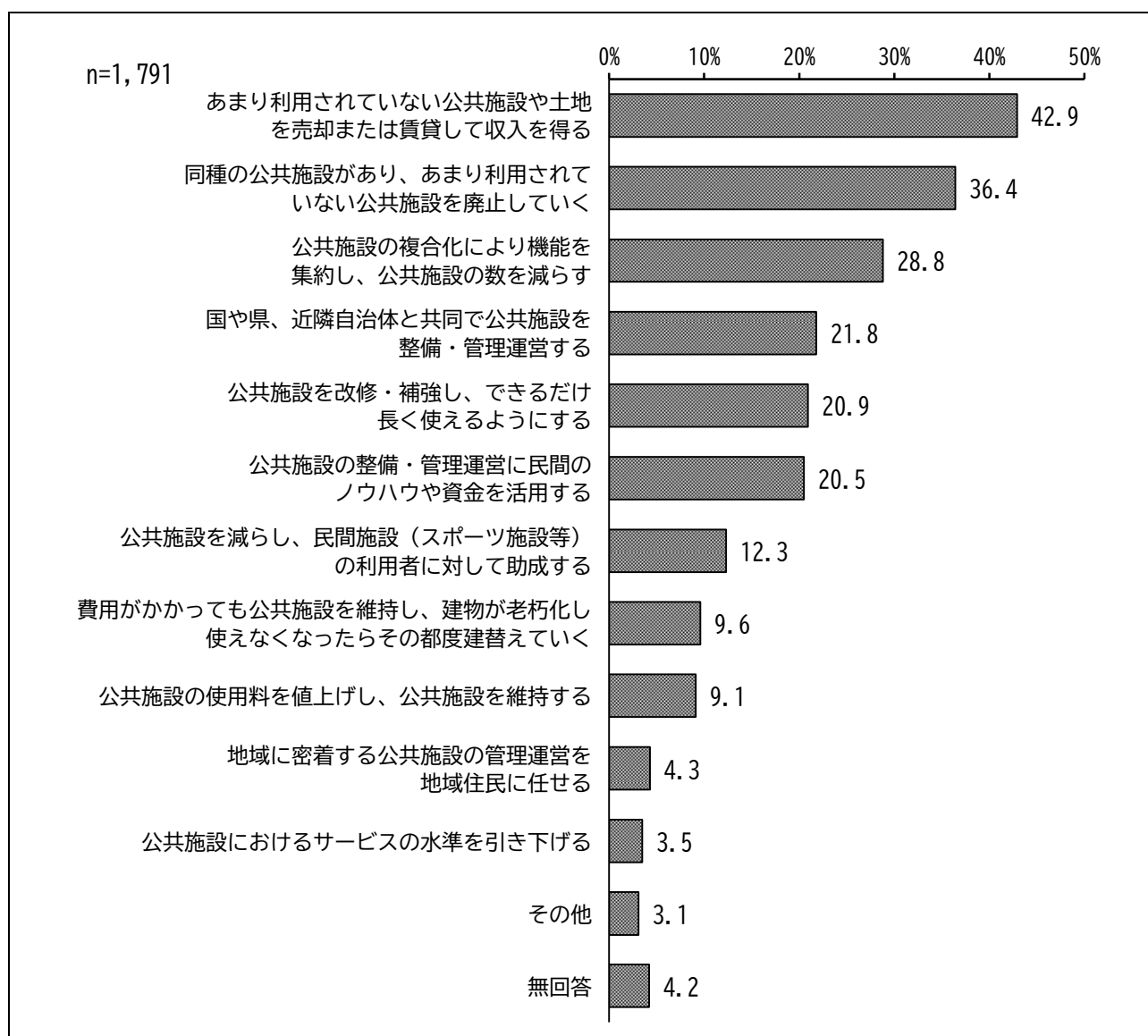
## 20 今後の公共施設のあり方に対する考え

### (1) 今後の公共施設のあり方に対する考え

問 17 多くの公共施設が老朽化しており、管理や維持が難しくなっています。そこで、今後の公共施設のあり方について、あなたの考えに近い項目を選んでください。(○は3つまで)

今後の公共施設のあり方に対する考えについて、「あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る」が42.9%で4割を超えて最も高く、「同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく」が36.4%、「公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす」が28.8%と続いています。

#### 【今後の公共施設のあり方に対する考え（全体）】



## (2) 今後の公共施設のあり方に対する考え (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る」は男性50～59歳(51.3%)、男性30～39歳(51.1%)、男性40～49歳(48.9%)、女性40～49歳(48.0%)で5割前後と高くなっています。

「同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく」は男性60～64歳(55.7%)で5割半ばと最も高くなっています。

「公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす」は男性40～49歳(40.1%)で約4割と、最も高くなっています。

「国や県、近隣自治体と共同で公共施設を整備・管理運営する」は女性18～29歳(28.9%)、女性60～64歳(27.9%)、女性40～49歳(27.0%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「公共施設を改修・補強し、できるだけ長く使えるようにする」は男性75歳以上(35.5%)で3割半ばと最も高く、女性18～29歳(33.3%)で3割を超えて高くなっています。

「公共施設を整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」は男性30～39歳(28.2%)、男性40～49歳(27.0%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「公共施設を減らし、民間施設(スポーツ施設等)の利用者に対して助成する」は男性40～49歳(19.7%)、男性18～29歳(18.4%)、女性30～39歳(17.6%)で1割半ばを超えて高くなっています。

「費用がかかっても公共施設を維持し、建物が老朽化し使えなくなったらその都度建替えていく」は男性75歳以上(16.1%)で1割半ばを超えて最も高くなっています。

### 【今後の公共施設のあり方に対する考え (男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る	42.9	44.8	△ 51.1	△ 48.9	△ 51.3	47.5	41.9	● 30.6
同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく	36.4	33.3	35.1	40.9	△ 42.4	☆ 55.7	△ 42.7	33.9
公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす	28.8	27.6	32.8	○ 40.1	△ 36.7	△ 34.4	30.8	▲ 20.2
国や県、近隣自治体と共同で公共施設を整備・管理運営する	21.8	23.0	16.8	19.0	19.6	21.3	22.2	21.8
公共施設を改修・補強し、できるだけ長く使えるようにする	20.9	19.5	16.8	16.1	▲ 15.8	16.4	23.1	○ 35.5
公共施設を整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	20.5	19.5	△ 28.2	△ 27.0	24.1	19.7	24.8	21.8
公共施設を減らし、民間施設(スポーツ施設等)の利用者に対して助成する	12.3	△ 18.4	16.8	△ 19.7	15.8	● 1.6	8.5	▲ 3.2
費用がかかっても公共施設を維持し、建物が老朽化し使えなくなったらその都度建替えていく	9.6	10.3	9.9	8.0	▲ 4.4	13.1	12.0	△ 16.1
公共施設の使用料を値上げし、公共施設を維持する	9.1	10.3	11.5	13.1	8.9	6.6	10.3	12.1
地域に密着する公共施設の管理運営を地域住民に任せる	4.3	3.4	7.6	3.6	5.1	1.6	5.1	6.5
公共施設におけるサービスの水準を引き下げる	3.5	8.0	4.6	4.4	3.8	1.6	2.6	4.8
その他	3.1	2.3	2.3	2.9	3.8	3.3	2.6	1.6
無回答	4.2	3.4	1.5	0.7	0.6	1.6	3.4	8.9

【今後の公共施設のあり方に対する考え（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る	42.9	39.5	44.9	△ 48.0	47.0	41.0	40.7	★ 26.6
同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく	36.4	▲ 28.1	36.0	36.5	36.6	▲ 31.1	32.5	▲ 29.4
公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす	28.8	28.9	30.9	▲ 20.9	29.5	26.2	25.2	▲ 18.9
国や県、近隣自治体と共同で公共施設を整備・管理運営する	21.8	△ 28.9	22.1	△ 27.0	19.7	△ 27.9	21.1	20.3
公共施設を改修・補強し、できるだけ長く使えるようにする	20.9	○ 33.3	19.1	16.9	19.1	▲ 13.1	18.7	△ 26.6
公共施設を整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	20.5	16.7	▲ 15.4	23.6	16.9	19.7	18.7	▲ 13.3
公共施設を減らし、民間施設（スポーツ施設等）の利用者に対して助成する	12.3	11.4	△ 17.6	12.2	13.7	13.1	13.8	▲ 3.5
費用がかかっても公共施設を維持し、建物が老朽化し使えなくなったらその都度建替えていく	9.6	10.5	8.8	8.1	6.6	13.1	8.9	14.0
公共施設の使用料を値上げし、公共施設を維持する	9.1	▲ 2.6	8.8	12.2	7.7	▲ 3.3	8.9	6.3
地域に密着する公共施設の管理運営を地域住民に任せる	4.3	5.3	4.4	3.4	3.3	3.3	5.7	2.1
公共施設におけるサービスの水準を引き下げる	3.5	2.6	2.9	2.0	1.1	4.9	5.7	3.5
その他	3.1	2.6	3.7	4.7	3.3	1.6	4.1	3.5
無回答	4.2	3.5	0.7	1.4	4.4	3.3	5.7	○ 16.8

### (3) 今後の公共施設のあり方に対する考え（居住地域別）

居住地域別にみると、「同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく」は鳩ヶ谷地域(41.9%)で4割を超えて最も高くなっています。

「公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす」は中央地域(34.3%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「国や県、近隣自治体と共同で公共施設を整備・管理運営する」は鳩ヶ谷地域(26.9%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

#### 【今後の公共施設のあり方に対する考え（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る	42.9	44.8	40.2	45.4	42.6	41.7	▲ 37.1	44.8	44.8	44.9	44.3
同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく	36.4	40.1	38.7	34.9	37.7	32.0	▲ 27.3	38.5	▲ 29.2	35.0	△ 41.9
公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす	28.8	△ 34.3	31.4	30.7	27.3	▲ 21.4	25.0	29.9	29.2	30.8	24.0
国や県、近隣自治体と共同で公共施設を整備・管理運営する	21.8	21.5	18.1	23.1	18.6	18.4	19.7	23.5	22.9	23.4	△ 26.9
公共施設を改修・補強し、できるだけ長く使えるようにする	20.9	▲ 13.4	21.1	25.6	22.4	16.5	22.7	24.0	21.9	18.7	18.6
公共施設の整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	20.5	22.1	21.6	21.0	24.6	● 7.8	21.2	22.2	21.9	21.0	16.2
公共施設を減らし、民間施設（スポーツ施設等）の利用者に対して助成する	12.3	13.4	10.3	10.1	13.7	13.6	10.6	10.9	16.7	14.5	14.4
費用がかかっても公共施設を維持し、建物が老朽化し使えなくなったらその都度建替えていく	9.6	5.2	10.8	12.2	8.2	10.7	10.6	12.2	8.3	8.9	9.6
公共施設の使用料を値上げし、公共施設を維持する	9.1	9.9	11.8	8.4	11.5	7.8	13.6	7.7	7.3	9.3	▲ 3.0
地域に密着する公共施設の管理運営を地域住民に任せる	4.3	4.1	3.4	3.8	3.3	4.9	6.1	5.4	4.2	4.7	3.6
公共施設におけるサービスの水準を引き下げる	3.5	4.7	3.4	4.6	7.1	2.9	1.5	3.6	2.1	3.3	1.2
その他	3.1	2.9	4.9	1.3	3.3	3.9	6.1	1.8	1.0	3.3	4.2
無回答	4.2	6.4	2.5	4.2	3.3	5.8	6.8	3.2	7.3	1.9	1.2

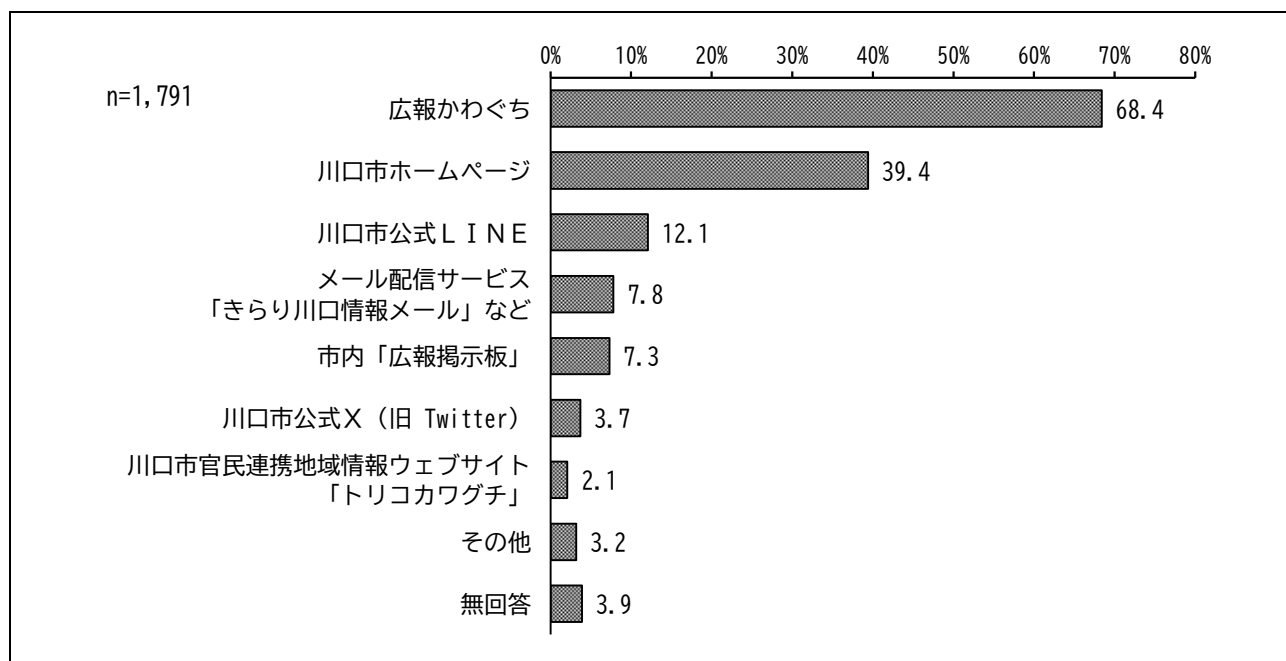
## 21 市の行政情報を確認する方法

### (1) 市の行政情報を確認する方法

問 18 市の行政情報を確認する方法は何ですか。(〇はいくつでも)

市の行政情報を確認する方法について、「広報かわぐち」が68.4%で7割近くと最も高く、「川口市ホームページ」が39.4%、「川口市公式LINE」が12.1%、「メール配信サービス「きらり川口情報メール」など」が7.8%と続いています。

【市の行政情報を確認する方法（全体）】



## (2) 市の行政情報を確認する方法（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「広報かわぐち」は男性75歳以上(96.0%)で9割半ばを超えて最も高く、女性75歳以上(90.9%)で9割に達し、男性65～74歳(88.0%)、女性65～74歳(87.0%)、女性60～64歳(85.2%)で8割半ばを超えて高くなっています。

「川口市ホームページ」は男性60～64歳(54.1%)、男性40～49歳(53.3%)、男性50～59歳(52.5%)で5割を超えて高くなっています。

「市内「広報掲示板」」は男性75歳以上(18.5%)で2割近くと最も高くなっています。

### 【市の行政情報を確認する方法（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
広報かわぐち	68.4	★ 40.2	★ 43.5	▲ 59.9	68.4	△ 73.8	☆ 88.0	☆ 96.0
川口市ホームページ	39.4	41.4	43.5	○ 53.3	○ 52.5	○ 54.1	40.2	★ 15.3
川口市公式LINE	12.1	9.2	16.0	△ 17.5	12.7	9.8	▲ 4.3	▲ 4.8
メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	7.8	8.0	3.1	10.9	5.1	4.9	10.3	3.2
市内「広報掲示板」	7.3	6.9	3.1	4.4	3.2	8.2	12.0	○ 18.5
川口市公式X(旧 Twitter)	3.7	△ 12.6	6.1	5.8	3.8	1.6	0.9	0.8
川口市官民連携地域情報ウェブサイト 「トリコカワグチ」	2.1	0.0	2.3	2.2	1.3	0.0	0.9	0.0
その他	3.2	4.6	4.6	2.9	4.4	0.0	0.0	0.8
無回答	3.9	8.0	△ 10.7	1.5	0.6	0.0	2.6	4.0

### 【市の行政情報を確認する方法（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
広報かわぐち	68.4	★ 36.0	● 55.9	68.2	△ 77.6	☆ 85.2	☆ 87.0	☆ 90.9
川口市ホームページ	39.4	43.9	42.6	43.9	△ 47.5	42.6	▲ 31.7	★ 9.8
川口市公式LINE	12.1	12.3	△ 17.6	△ 20.3	△ 18.0	13.1	▲ 6.5	▲ 2.8
メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	7.8	3.5	10.3	12.2	10.4	4.9	5.7	▲ 2.1
市内「広報掲示板」	7.3	5.3	3.7	4.1	4.4	9.8	9.8	△ 16.1
川口市公式X(旧 Twitter)	3.7	7.9	6.6	4.7	3.3	0.0	0.0	0.0
川口市官民連携地域情報ウェブサイト 「トリコカワグチ」	2.1	3.5	5.1	2.7	3.8	0.0	0.0	0.0
その他	3.2	7.9	3.7	2.0	1.6	1.6	2.4	4.2
無回答	3.9	7.0	3.7	3.4	2.2	0.0	4.1	2.8

### (3) 市の行政情報を確認する方法（居住地域別）

居住地域別にみると、「広報かわぐち」は青木地域(77.7%)で7割半ばを超えて最も高く、神根地域(75.0%)、南平地域(74.9%)で7割半ば前後と高くなっています。

「川口市ホームページ」は戸塚地域(48.1%)で5割近くと最も高くなっています。

「川口市公式LINE」は横曽根地域(17.6%)で1割半ばを超えて最も高くなっています。

「市内「広報掲示板」」は神根地域(12.9%)で1割を超えて最も高くなっています。

「川口市公式X(旧 Twitter)」は安行地域(9.4%)で約1割と最も高くなっています。

#### 【市の行政情報を確認する方法（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
広報かわぐち	68.4	65.7	66.7	△ 77.7	△ 74.9	▲ 61.2	△ 75.0	72.4	● 58.3	● 53.7	△ 73.7
川口市ホームページ	39.4	41.3	44.1	40.8	41.0	▲ 30.1	37.9	▲ 33.9	35.4	△ 48.1	39.5
川口市公式LINE	12.1	9.9	△ 17.6	8.0	12.0	10.7	9.8	10.4	15.6	14.5	15.0
メール配信サービス 「きらり川口情報メール」など	7.8	4.7	6.4	9.7	6.0	9.7	6.1	7.7	6.3	5.6	9.0
市内「広報掲示板」	7.3	4.1	7.4	9.7	9.8	3.9	△ 12.9	8.1	6.3	3.7	6.0
川口市公式X(旧 Twitter)	3.7	4.7	5.4	0.8	1.6	2.9	6.1	2.7	△ 9.4	4.2	4.2
川口市官民連携地域情報ウェブ サイト「トリコカワグチ」	2.1	6.4	2.0	0.8	1.6	1.0	0.0	1.4	1.0	0.5	4.8
その他	3.2	4.1	4.9	2.1	2.7	5.8	0.8	2.7	3.1	3.7	2.4
無回答	3.9	3.5	1.5	2.1	3.3	6.8	3.8	5.0	5.2	5.6	1.8

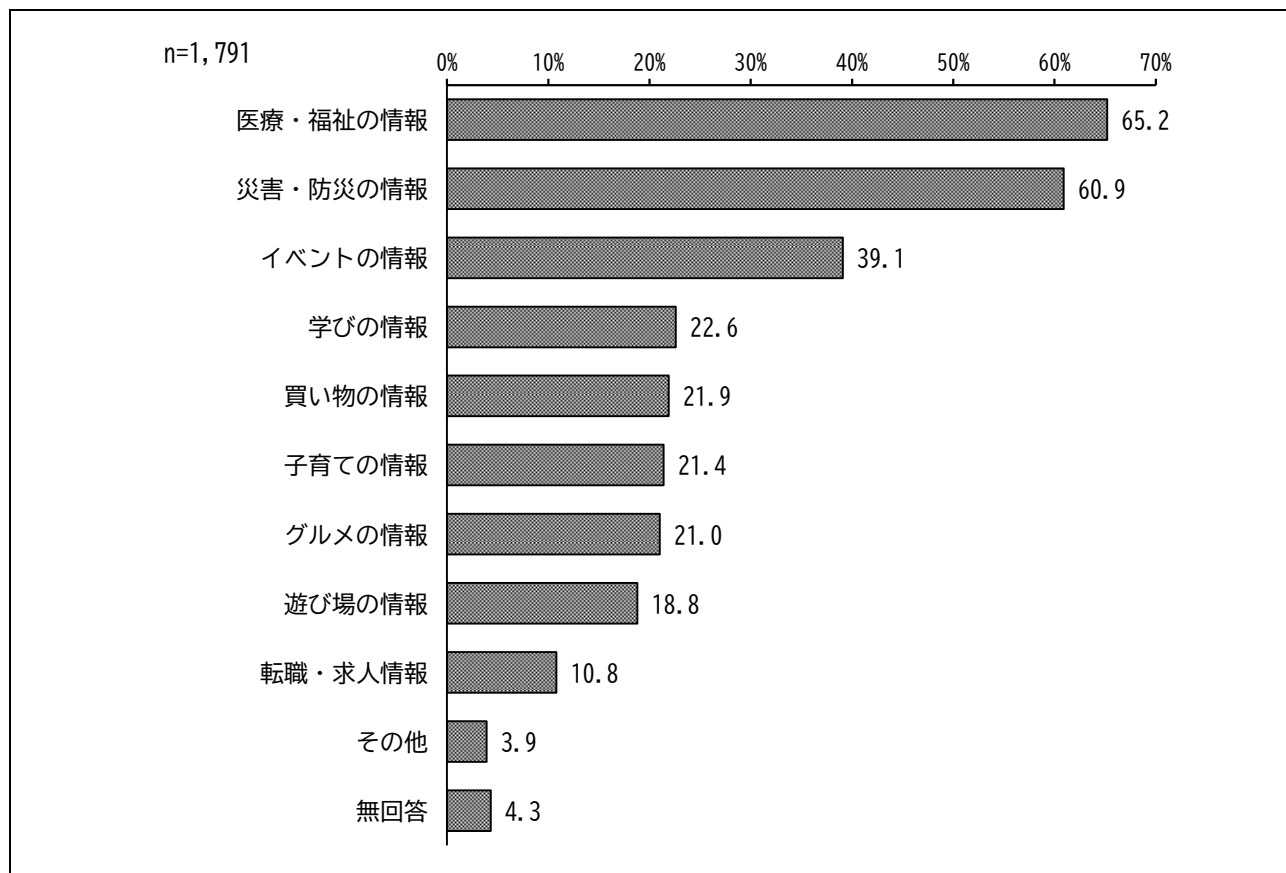
## 22 市に関する欲しい情報

### (1) 市に関する欲しい情報

問 19 市に関するどんな情報が欲しいですか。(〇はいくつでも)

市に関する欲しい情報について、「医療・福祉の情報」が65.2%で6割半ばと最も高く、「災害・防災の情報」が60.9%、「イベントの情報」が39.1%、「学びの情報」が22.6%と続いています。

【市に関する欲しい情報（全体）】



## (2) 市に関する欲しい情報（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「医療・福祉の情報」は女性65～74歳(83.7%)、女性75歳以上(83.2%)で8割を超えて高くなっています。

「災害・防災の情報」は女性50～59歳(73.2%)で7割を超えて最も高くなっています。

「イベントの情報」は女性30～39歳(53.7%)で5割を超えて最も高くなっています。

「学びの情報」は女性40～49歳(36.5%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「買い物の情報」は男性30～39歳(35.9%)で3割半ばと最も高く、女性30～39歳(33.1%)、男性18～29歳(32.2%)で3割を超えて高くなっています。

「子育ての情報」は女性30～39歳(61.8%)で6割を超えて最も高く、男性30～39歳(50.4%)で5割に達し、男性40～49歳(37.2%)、女性18～29歳(36.8%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「グルメの情報」は男性30～39歳(35.1%)で3割半ばと最も高く、男性18～29歳(34.5%)、男性40～49歳(31.4%)で3割を超えて高くなっています。

「遊び場の情報」は女性30～39歳(54.4%)で5割半ば近くと最も高く、男性30～39歳(42.7%)で4割を超えて、男性18～29歳(34.5%)で3割半ば近くと高くなっています。

### 【市に関する欲しい情報（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
医療・福祉の情報	65.2	★ 42.5	★ 43.5	★ 49.6	61.4	68.9	△ 73.5	○ 75.8
災害・防災の情報	60.9	▲ 55.2	▲ 55.7	65.0	59.5	63.9	59.0	60.5
イベントの情報	39.1	41.4	△ 46.6	39.4	39.2	37.7	▲ 31.6	▲ 29.8
学びの情報	22.6	23.0	24.4	25.5	21.5	18.0	▲ 12.8	● 9.7
買い物の情報	21.9	○ 32.2	○ 35.9	17.5	22.2	21.3	▲ 15.4	▲ 13.7
子育ての情報	21.4	24.1	☆ 50.4	☆ 37.2	▲ 12.0	● 6.6	● 10.3	★ 2.4
グルメの情報	21.0	○ 34.5	○ 35.1	○ 31.4	△ 28.5	▲ 14.8	● 6.8	● 8.9
遊び場の情報	18.8	☆ 34.5	☆ 42.7	△ 24.1	15.8	▲ 9.8	● 7.7	★ 2.4
転職・求人情報	10.8	12.6	△ 16.0	9.5	11.4	△ 16.4	7.7	▲ 2.4
その他	3.9	5.7	2.3	7.3	△ 10.8	4.9	0.9	3.2
無回答	4.3	2.3	3.1	2.2	1.3	4.9	5.1	8.1

【市に関する欲しい情報（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
医療・福祉の情報	65.2	▲ 56.1	● 54.4	△ 73.6	○ 77.6	△ 73.8	☆ 83.7	☆ 83.2
災害・防災の情報	60.9	57.0	▲ 51.5	△ 69.6	○ 73.2	63.9	△ 68.3	60.8
イベントの情報	39.1	43.9	○ 53.7	△ 48.0	38.3	42.6	39.0	● 26.6
学びの情報	22.6	22.8	△ 30.9	○ 36.5	23.0	24.6	△ 29.3	▲ 17.5
買い物の情報	21.9	△ 29.8	○ 33.1	23.6	19.7	23.0	▲ 13.0	▲ 15.4
子育ての情報	21.4	☆ 36.8	☆ 61.8	○ 33.8	● 8.7	● 6.6	★ 4.1	★ 0.7
グルメの情報	21.0	△ 29.8	△ 27.2	25.7	20.2	18.0	● 6.5	● 6.3
遊び場の情報	18.8	23.7	☆ 54.4	23.0	● 8.7	● 8.2	● 5.7	● 4.2
転職・求人情報	10.8	△ 17.5	9.6	△ 18.2	14.2	13.1	6.5	▲ 2.1
その他	3.9	3.5	2.2	5.4	2.2	1.6	1.6	2.1
無回答	4.3	4.4	2.2	1.4	3.3	0.0	2.4	4.9

### (3) 市に関する欲しい情報（居住地域別）

居住地域別にみると、「医療・福祉の情報」は芝地域(71.9%)、南平地域(70.5%)で7割を超えて高くなっています。

「災害・防災の情報」は鳩ヶ谷地域(67.1%)、芝地域(67.0%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「学びの情報」は中央地域(29.1%)で約3割と最も高くなっています。

「買い物の情報」は中央地域(29.1%)で約3割と最も高くなっています。

「グルメの情報」は中央地域(28.5%)、安行地域(27.1%)、南平地域(26.2%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「遊び場の情報」は鳩ヶ谷地域(24.6%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

#### 【市に関する欲しい情報（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
医療・福祉の情報	65.2	64.0	61.3	63.9	△ 70.5	61.2	65.9	△ 71.9	61.5	66.8	67.1
災害・防災の情報	60.9	59.3	59.3	57.6	63.9	▲ 53.4	59.1	△ 67.0	64.6	62.1	△ 67.1
イベントの情報	39.1	42.4	39.2	42.4	41.5	41.7	37.9	38.0	36.5	34.6	39.5
学びの情報	22.6	△ 29.1	22.1	20.6	23.5	21.4	24.2	22.6	21.9	21.0	24.6
買い物の情報	21.9	△ 29.1	25.5	21.0	23.5	▲ 14.6	23.5	▲ 16.7	25.0	19.6	23.4
子育ての情報	21.4	25.0	24.0	17.2	16.9	▲ 14.6	19.7	24.9	25.0	26.2	22.8
グルメの情報	21.0	△ 28.5	17.2	16.8	△ 26.2	19.4	22.7	18.6	△ 27.1	21.5	22.2
遊び場の情報	18.8	19.8	18.1	17.6	18.0	▲ 11.7	20.5	15.4	22.9	23.4	△ 24.6
転職・求人情報	10.8	9.3	11.3	9.7	12.0	8.7	10.6	15.4	11.5	8.9	10.2
その他	3.9	3.5	5.4	3.8	2.7	2.9	3.8	4.1	6.3	4.7	1.8
無回答	4.3	2.9	2.0	4.2	2.7	6.8	3.8	4.5	3.1	2.8	0.6

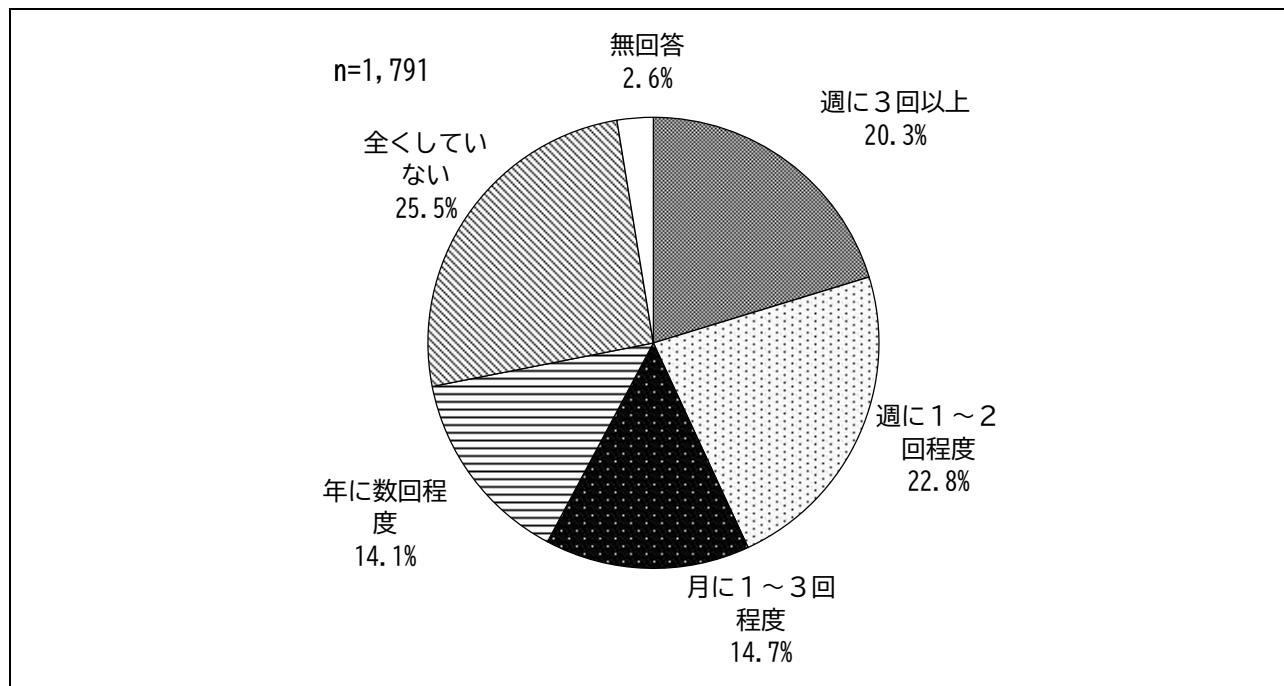
## 23 スポーツ等の頻度

### (1) スポーツ等の頻度

問 20 過去1年間に運動やスポーツ・レクリエーション活動をする機会がどの程度ありましたか。(○は1つ)

過去1年間のスポーツ等の頻度について、「全くしていない」が25.5%で2割半ばと最も高く、「週に1～2回程度」が22.8%、「週に3回以上」が20.3%、「月に1～3回程度」が14.7%、「年に数回程度」が14.1%と続いています。

【スポーツ等の頻度（全体）】



## (2) スポーツ等の頻度 (性別、性・年齢別)

性・年齢別にみると、「週に3回以上」は女性65～74歳(33.3%)で3割を超えて最も高く、男性75歳以上(29.0%)、男性65～74歳(25.6%)で2割半ばを超えて高くなっています。また、「月に1～3回程度」は男性18～29歳(25.3%)で2割半ばと最も高くなっています。

一方、「全くしていない」は女性60～64歳(37.7%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

### 【スポーツ等の頻度 (性別、性・年齢別)】

(人)

(%)

		合計	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	全くしていない	無回答
全体		1,791	20.3	22.8	14.7	14.1	25.5	2.6
男性		817	20.4	22.2	18.1	15.7	22.5	1.1
女性		917	20.6	23.1	12.0	12.9	28.9	2.5
自由記載		11	● 9.1	18.2	○ 27.3	18.2	27.3	0.0
男性	18～29歳	87	19.5	▲ 17.2	○ 25.3	13.8	21.8	2.3
	30～39歳	131	16.8	21.4	△ 21.4	△ 20.6	▲ 19.8	0.0
	40～49歳	137	15.3	24.1	15.3	△ 24.1	21.2	0.0
	50～59歳	158	17.1	24.7	△ 22.2	13.3	22.2	0.6
	60～64歳	61	21.3	26.2	11.5	14.8	26.2	0.0
	65～74歳	117	△ 25.6	19.7	14.5	12.0	27.4	0.9
	75歳以上	124	△ 29.0	21.0	14.5	9.7	21.8	4.0
女性	18～29歳	114	▲ 12.3	24.6	△ 20.2	16.7	24.6	1.8
	30～39歳	136	19.9	▲ 17.6	14.7	19.1	28.7	0.0
	40～49歳	148	▲ 12.8	25.0	13.5	17.6	△ 31.1	0.0
	50～59歳	183	24.0	22.4	11.5	14.2	25.1	2.7
	60～64歳	61	▲ 13.1	26.2	11.5	11.5	○ 37.7	0.0
	65～74歳	123	○ 33.3	26.8	▲ 5.7	▲ 4.9	28.5	0.8
	75歳以上	143	25.2	21.7	▲ 8.4	▲ 5.6	△ 32.9	6.3

### (3) スポーツ等の頻度（居住地域別）

居住地域別にみると、「週に3回以上」は鳩ヶ谷地域(25.7%)で2割半ばと最も高くなっています。

「週に1～2回程度」は南平地域(28.4%)で3割近くと最も高くなっています。

「月に1～3回程度」は中央地域(21.5%)で2割を超えて最も高くなっています。

「年に数回程度」は神根地域(19.7%)で約2割と最も高くなっています。

#### 【スポーツ等の頻度（居住地域別）】

	(人)	(%)					
	合計	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	全くして いない	無回答
全体	1,791	20.3	22.8	14.7	14.1	25.5	2.6
中央地域	172	18.6	24.4	△ 21.5	14.0	20.9	0.6
横曽根地域	204	22.1	23.0	14.7	13.7	25.5	1.0
青木地域	238	19.7	21.8	14.7	13.4	28.6	1.7
南平地域	183	20.2	△ 28.4	15.8	13.7	20.8	1.1
新郷地域	103	19.4	23.3	15.5	▲ 8.7	28.2	4.9
神根地域	132	18.9	▲ 16.7	15.9	△ 19.7	27.3	1.5
芝地域	221	21.7	25.3	13.1	13.1	24.0	2.7
安行地域	96	20.8	25.0	15.6	14.6	24.0	0.0
戸塚地域	214	16.8	25.2	15.0	15.9	26.2	0.9
鳩ヶ谷地域	167	△ 25.7	18.0	▲ 9.6	15.0	30.5	1.2

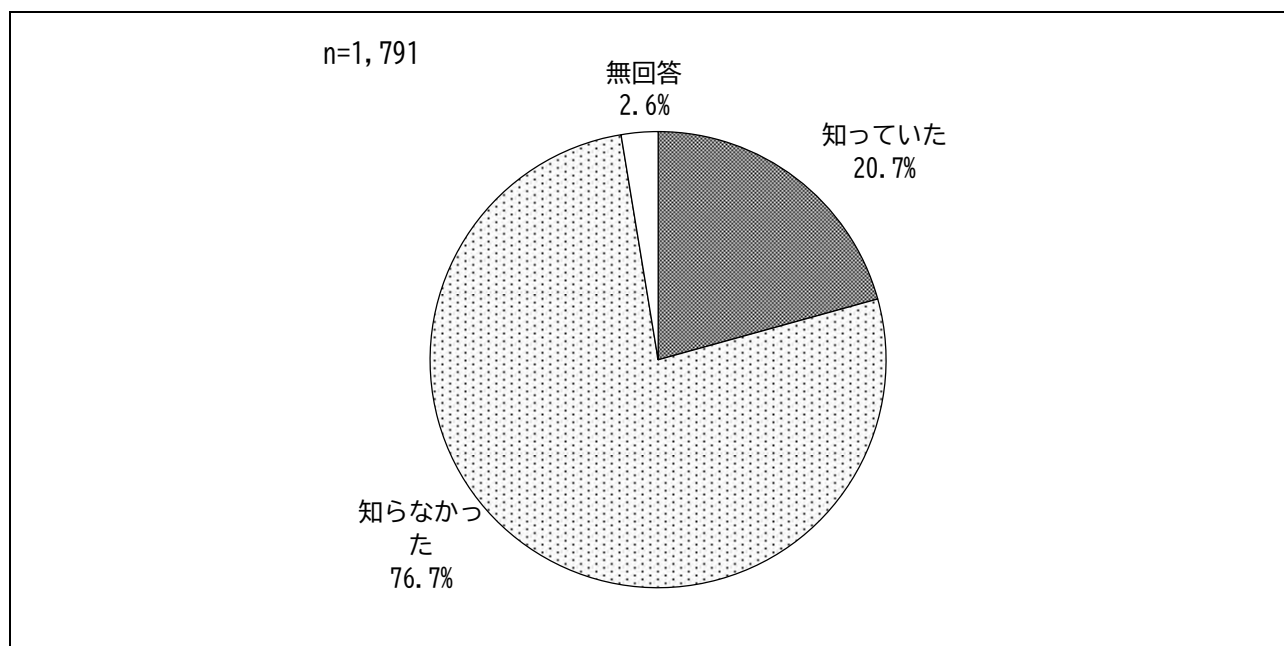
## 24 協働によるまちづくりの認知度

### (1) 協働によるまちづくりの認知度

問 21 あなたは、川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを知っていましたか。(○は1つ)

川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを、「知っていた」が20.7%で約2割を占めており、「知らなかった」は76.7%と7割半ばを超えています。

【協働によるまちづくりの認知度 (全体)】



## (2) 協働によるまちづくりの認知度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「知っていた」は男性75歳以上(41.9%)で4割を超えて最も高く、女性75歳以上(35.0%)、女性65～74歳(34.1%)で3割半ば前後と高くなっています。

一方、「知らなかった」は女性30～39歳(90.4%)で約9割と最も高く、男性18～29歳(89.7%)、男性30～39歳(87.8%)で8割半ばを超えて高くなっています。

【協働によるまちづくりの認知度（性別、性・年齢別）】

(人)

(%)

		合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,791	20.7	76.7	2.6
男性		817	20.7	78.8	0.5
女性		917	21.2	76.7	2.2
自由記載		11	18.2	72.7	△ 9.1
男性	18～29歳	87	● 10.3	○ 89.7	0.0
	30～39歳	131	▲ 12.2	○ 87.8	0.0
	40～49歳	137	▲ 14.6	△ 83.9	1.5
	50～59歳	158	15.8	△ 84.2	0.0
	60～64歳	61	19.7	78.7	1.6
	65～74歳	117	△ 29.9	▲ 70.1	0.0
	75歳以上	124	☆ 41.9	★ 58.1	0.0
女性	18～29歳	114	▲ 13.2	△ 86.0	0.9
	30～39歳	136	● 9.6	○ 90.4	0.0
	40～49歳	148	▲ 14.2	△ 85.1	0.7
	50～59歳	183	22.4	76.5	1.1
	60～64歳	61	19.7	78.7	1.6
	65～74歳	123	○ 34.1	● 65.9	0.0
	75歳以上	143	○ 35.0	★ 59.4	5.6

### (3) 協働によるまちづくりの認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、「知っていた」は神根地域(28.0%)、南平地域(26.8%)で2割半ばを超えて高くなっています。

一方、「知らなかった」は安行地域(83.3%)で8割を超えて最も高くなっています。

#### 【協働によるまちづくりの認知度（居住地域別）】

(人)

(%)

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,791	20.7	76.7	2.6
中央地域	172	16.3	81.4	2.3
横曽根地域	204	17.2	81.4	1.5
青木地域	238	23.9	73.9	2.1
南平地域	183	△ 26.8	▲ 71.0	2.2
新郷地域	103	16.5	77.7	5.8
神根地域	132	△ 28.0	▲ 69.7	2.3
芝地域	221	19.9	79.6	0.5
安行地域	96	16.7	△ 83.3	0.0
戸塚地域	214	18.7	80.8	0.5
鳩ヶ谷地域	167	19.2	80.8	0.0

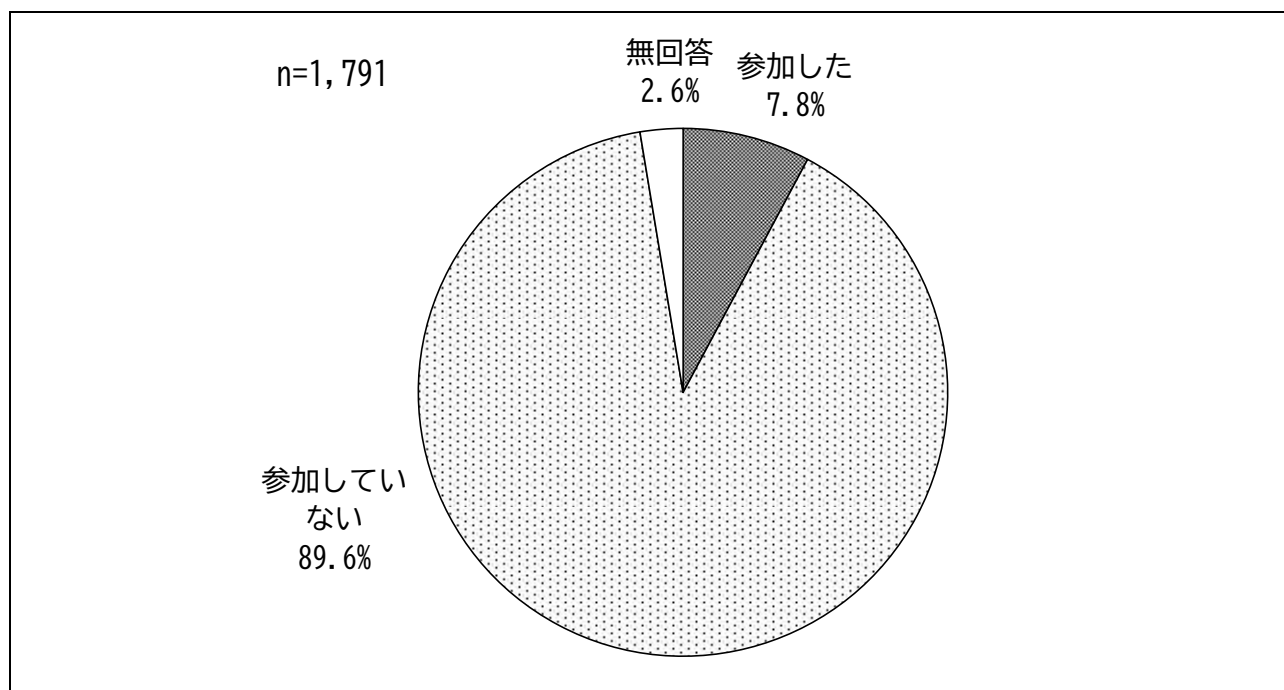
## 25 協働によるまちづくりの参加状況

### (1) 協働によるまちづくりの参加状況

問 22 あなたは、過去1年間に、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加しましたか。  
(○は1つ)

過去1年以内に、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したかについて、「参加した」が7.8%となっており、「参加していない」は89.6%で9割近くを占めています。

【協働によるまちづくりの参加状況（全体）】



## (2) 協働によるまちづくりの参加状況（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「参加した」は男性75歳以上(21.8%)で2割を超えて最も高くなっています。

一方、「参加していない」は男性30～39歳(96.9%)、男性18～29歳(96.6%)、女性18～29歳(96.5%)、男性40～49歳(96.4%)、女性30～39歳(95.6歳)で9割半ばを超えて高くなっています。

### 【協働によるまちづくりの参加状況（性別、性・年齢別）】

(人)

(%)

		合計	参加した	参加していない	無回答
全体		1,791	7.8	89.6	2.6
男性		817	7.8	91.7	0.5
女性		917	8.0	89.9	2.2
自由記載		11	9.1	▲ 81.8	△ 9.1
男性	18～29歳	87	▲ 2.3	△ 96.6	1.1
	30～39歳	131	▲ 2.3	△ 96.9	0.8
	40～49歳	137	3.6	△ 96.4	0.0
	50～59歳	158	5.1	△ 94.9	0.0
	60～64歳	61	4.9	93.4	1.6
	65～74歳	117	△ 13.7	86.3	0.0
	75歳以上	124	○ 21.8	● 78.2	0.0
女性	18～29歳	114	▲ 1.8	△ 96.5	1.8
	30～39歳	136	3.7	△ 95.6	0.7
	40～49歳	148	8.8	90.5	0.7
	50～59歳	183	9.8	89.1	1.1
	60～64歳	61	9.8	88.5	1.6
	65～74歳	123	11.4	88.6	0.0
	75歳以上	143	10.5	85.3	4.2

### (3) 協働によるまちづくりの参加状況（居住地域別）

居住地域別にみると、大きな差はありませんでした。

#### 【協働によるまちづくりの参加状況（居住地域別）】

(人)

(%)

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,791	7.8	89.6	2.6
中央地域	172	4.1	93.0	2.9
横曽根地域	204	3.9	94.6	1.5
青木地域	238	8.0	91.2	0.8
南平地域	183	9.3	88.5	2.2
新郷地域	103	9.7	85.4	4.9
神根地域	132	10.6	87.1	2.3
芝地域	221	8.1	91.4	0.5
安行地域	96	9.4	90.6	0.0
戸塚地域	214	7.9	91.6	0.5
鳩ヶ谷地域	167	9.0	89.8	1.2

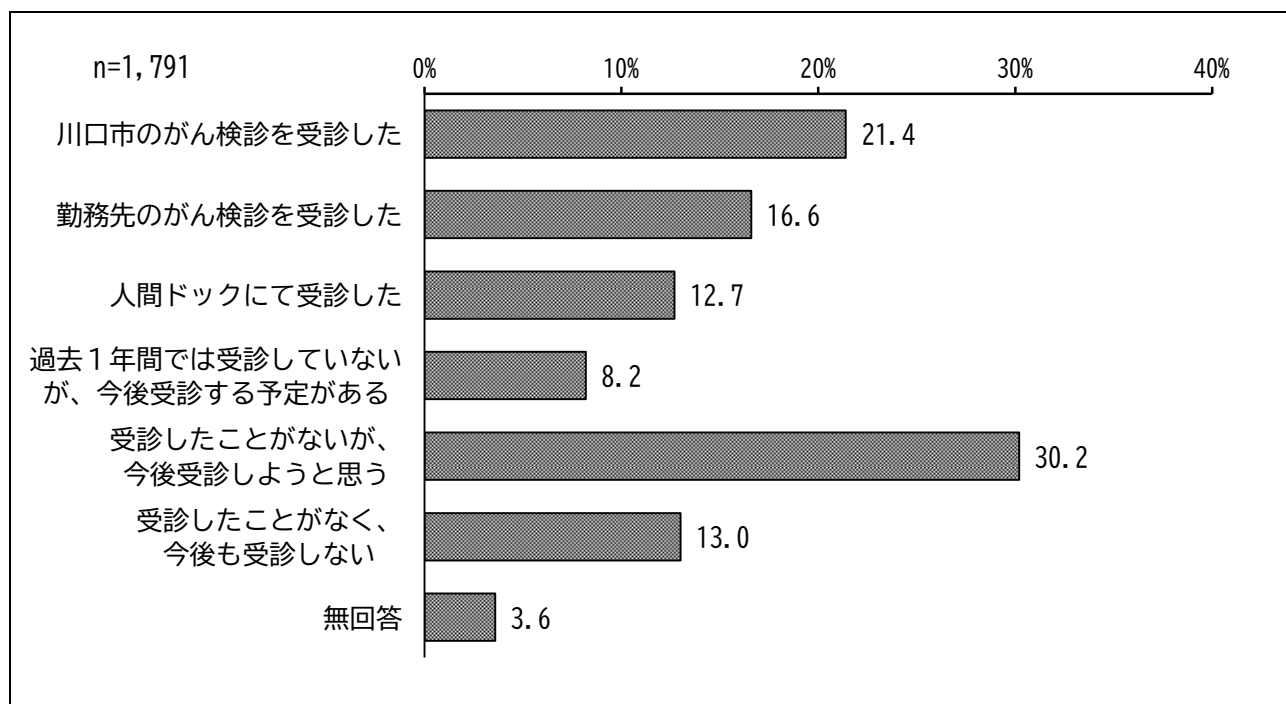
## 26 がん検診の受診

### (1) がん検診の受診

問 23 過去1年間でがん検診を受診されましたか。(〇はいくつでも)

がん検診の受診について、「受診したことがないが、今後受診しようと思う」が30.2%と約3割で最も高く、「川口市のがん検診を受診した」が21.4%、「勤務先のがん検診を受診した」が16.6%、「人間ドックにて受診した」が12.7%と続いています。

【がん検診の受診（全体）】



## (2) がん検診の受診（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「川口市のがん検診を受診した」は女性65～74歳(45.5%)、男性75歳以上(44.4%)で4割半ば前後と高くなっています。

「勤務先のがん検診を受診した」は男性60～64歳(32.8%)で3割を超えて最も高くなっています。

「人間ドックにて受診した」は男性65～74歳(23.9%)で2割を超えて最も高くなっています。

「過去1年間では受診していないが、今後受診する予定がある」は女性50～59歳(15.8%)、女性30～39歳(14.7%)、女性65～74歳(13.8%)で1割半ば前後と高くなっています。

一方、「受診したことがないが、今後受診しようと思う」は男性18～29歳(64.4%)、男性30～39歳(64.1%)で6割半ば近くと高く、女性18～29歳(56.1%)で5割半ばを超えて高く、女性30～39歳(45.6%)で4割半ばと高くなっています。

「受診したことがなく、今後も受診しない」は男性18～29歳(29.9%)で約3割と最も高くなっています。

【がん検診の受診（性別、性・年齢別）】

		(人)								(%)
		合計	川口市のがん検診を受診した	勤務先のがん検診を受診した	人間ドックにて受診した	過去1年間では受診していないが、今後受診する予定がある	受診したことがないが、今後受診しようと思う	受診したことがなく、今後も受診しない	無回答	
全体		1,791	21.4	16.6	12.7	8.2	30.2	13.0	3.6	
男性		817	▲ 15.4	15.2	15.2	4.3	△ 37.5	15.8	1.8	
女性		917	△ 27.7	17.2	11.0	12.0	▲ 24.6	10.5	3.4	
自由記載		11	★ 0.0	☆ 36.4	● 0.0	▲ 0.0	● 18.2	○ 27.3	○ 18.2	
男性	18～29歳	87	★ 1.1	★ 1.1	● 1.1	▲ 1.1	☆ 64.4	☆ 29.9	1.1	
	30～39歳	131	★ 1.5	▲ 8.4	▲ 5.3	6.1	☆ 64.1	16.0	0.0	
	40～49歳	137	● 7.3	16.1	△ 21.2	▲ 2.9	○ 43.8	12.4	1.5	
	50～59歳	158	★ 6.3	○ 27.8	16.5	4.4	32.9	13.9	1.3	
	60～64歳	61	▲ 13.1	☆ 32.8	△ 21.3	3.3	26.2	13.1	0.0	
	65～74歳	117	○ 34.2	13.7	○ 23.9	3.4	● 18.8	10.3	3.4	
	75歳以上	124	☆ 44.4	● 6.5	16.1	7.3	★ 12.9	△ 18.5	4.8	
女性	18～29歳	114	▲ 14.9	● 6.1	● 1.8	6.1	☆ 56.1	15.8	0.9	
	30～39歳	136	▲ 11.8	19.1	▲ 2.9	△ 14.7	☆ 45.6	▲ 5.9	0.7	
	40～49歳	148	△ 31.1	○ 29.1	10.8	10.8	● 17.6	8.8	1.4	
	50～59歳	183	25.1	○ 30.1	14.2	△ 15.8	★ 14.8	▲ 6.6	2.2	
	60～64歳	61	○ 32.8	△ 24.6	△ 21.3	8.2	● 16.4	▲ 6.6	3.3	
	65～74歳	123	☆ 45.5	▲ 8.1	13.8	△ 13.8	★ 14.6	10.6	1.6	
	75歳以上	143	○ 35.0	★ 1.4	16.1	11.2	★ 13.3	△ 19.6	△ 9.1	

### (3) がん検診の受診（職業別）

職業別にみると、「川口市のがん検診を受診した」は無職(40.4%)で約4割と最も高く、家事に専念している(37.0%)で3割半ばを超えて高くなっています。

「勤務先のがん検診を受診した」は管理職(官公庁や事業所の重役、部課長など)(29.0%)で3割近くと最も高くなっています。

「人間ドックにて受診した」は管理職(官公庁や事業所の重役、部課長など)(19.6%)で約2割と最も高くなっています。

一方、「過去1年間では受診していないが、今後受診する予定がある」は家事に専念している(16.9%)で1割半ばを超えて高くなっています。

また、「受診したことがないが、今後受診しようと思う」は学生(72.1%)で7割を超えて最も高くなっています。

「受診したことがなく、今後も受診しない」は学生(26.2%)で2割半ばを超えて最も高くなっています。

#### 【がん検診の受診（職業別）】

(人)

(%)

	合計	川口市のがん検診を受診した	勤務先のがん検診を受診した	人間ドックにて受診した	過去1年間では受診していないが、今後受診する予定がある	受診したことがないが、今後受診しようと思う	受診したことがなく、今後も受診しない	無回答
全体	1,791	21.4	16.6	12.7	8.2	30.2	13.0	3.6
専門職（医師、弁護士、大学教授、僧侶など）	46	▲ 13.0	17.4	10.9	4.3	30.4	10.9	△ 13.0
管理職（官公庁や事業所の重役、部課長など）	138	★ 5.8	○ 29.0	△ 19.6	▲ 1.4	29.7	10.9	△ 10.9
事務・技術職（一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など）	461	▲ 13.4	△ 26.2	13.4	8.0	34.7	10.2	0.2
販売・生産・労務職（店員、工員、職人、運転手、作業員など）	176	● 9.7	△ 22.2	8.5	6.8	○ 42.6	14.2	0.6
農林水産業従事者	3	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 33.3	☆ 66.7	● 0.0	0.0
自営業・サービス業従事者	145	23.4	12.4	12.4	9.7	33.1	9.7	4.8
パート・アルバイト従事者	222	△ 27.5	18.9	11.7	9.0	▲ 24.8	11.3	2.3
学生	61	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	▲ 1.6	☆ 72.1	○ 26.2	0.0
家事に専念している	154	☆ 37.0	▲ 7.8	11.7	△ 16.9	● 19.5	9.1	3.9
無職	307	☆ 40.4	● 2.6	16.0	8.1	● 15.3	△ 19.2	4.9
その他	40	▲ 12.5	20.0	12.5	7.5	○ 42.5	12.5	2.5

#### (4) がん検診の受診（居住地域別）

居住地域別にみると、「川口市のがん検診を受診した」は新郷地域(33.0%)、神根地域(31.1%)で3割を超えて高くなっています。

「勤務先のがん検診を受診した」は安行地域(24.0%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

一方、「受診したことがないが、今後受診しようと思う」は安行地域(36.5%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

【がん検診の受診（居住地域別）】

	(人)							(%)
	合計	川口市のがん検診を受診した	勤務先のがん検診を受診した	人間ドックにて受診した	過去1年間では受診していないが、今後受診する予定がある	受診したことがないが、今後受診しようと思う	受診したことがなく、今後も受診しない	無回答
全体	1,791	21.4	16.6	12.7	8.2	30.2	13.0	3.6
中央地域	172	▲ 11.6	19.2	17.4	12.2	32.0	12.2	1.2
横曽根地域	204	18.6	19.1	9.8	7.8	32.4	13.7	2.9
青木地域	238	18.5	14.7	12.2	6.3	33.6	17.2	2.5
南平地域	183	24.6	16.4	17.5	6.0	30.1	9.8	2.2
新郷地域	103	○ 33.0	▲ 10.7	▲ 4.9	8.7	27.2	17.5	3.9
神根地域	132	△ 31.1	14.4	11.4	7.6	30.3	9.1	4.5
芝地域	221	24.4	18.1	14.5	7.2	28.1	13.6	3.6
安行地域	96	▲ 12.5	△ 24.0	▲ 6.3	11.5	△ 36.5	11.5	1.0
戸塚地域	214	18.7	16.4	14.0	8.9	34.1	11.7	0.9
鳩ヶ谷地域	167	24.0	16.8	12.6	9.0	▲ 24.6	13.8	1.8

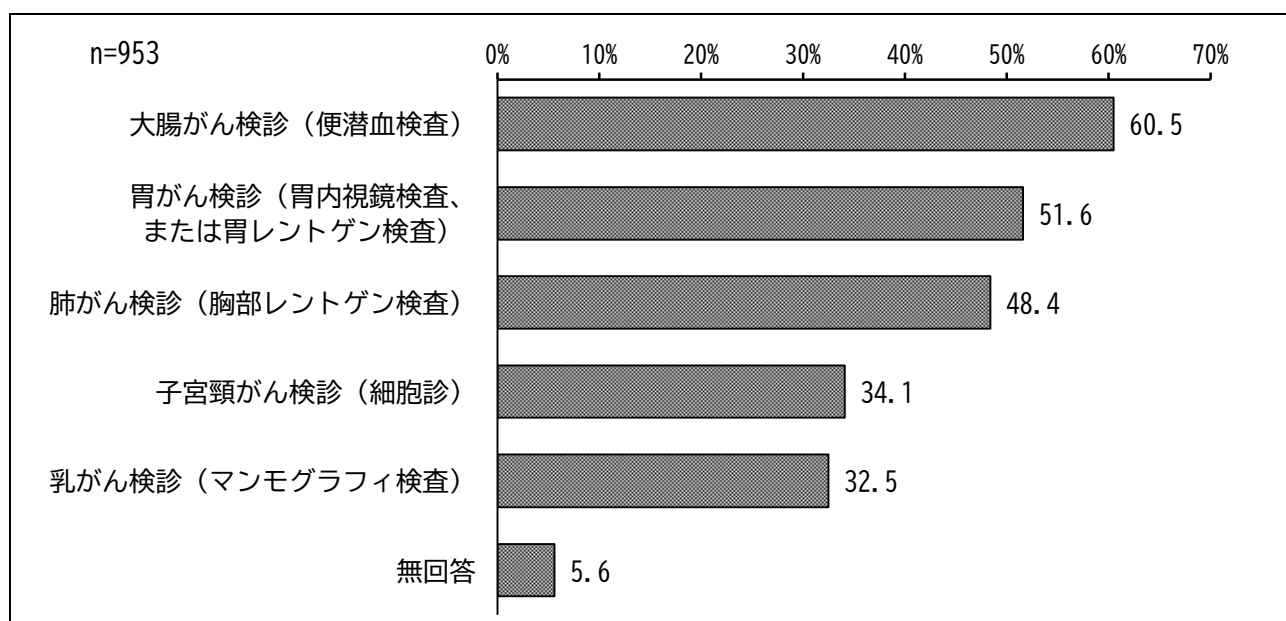
## 27 受診したがん検診の種類

### (1) 受診したがん検診の種類

問 23 で「受診した」か「受診する予定がある」と回答した方  
問 24 受診した検診の種類をおしえてください。(〇はいくつでも)

がん検診を『受診した』もしくは『受診する予定がある』と回答した953人が受診した(する予定の)がん検診の種類は、「大腸がん検診(便潜血検査)」が60.5%で約6割と最も高く、「胃がん検診(胃内視鏡検査、または胃レントゲン検査)」が51.6%、「肺がん検診(胸部レントゲン検査)」が48.4%、「子宮頸がん検診(細胞診)」が34.1%、「乳がん検診(マンモグラフィ検査)」が32.5%と続いています。

【受診したがん検診の種類 (全体)】



## (2) 受診したがん検診の種類 (性・年齢別)

性・年齢別にみると、「大腸がん検診(便潜血検査)」は男性75歳以上(84.8%)、男性65～74歳(81.0%)で8割を超えて高く、男性60～64歳(78.4%)、男性50～59歳(78.0%)で8割近くと高くなっています。

胃がん検診(胃内視鏡検査、または胃レントゲン検査)は男性50～59歳(74.4%)、男性65～74歳(73.4%)、男性75歳以上(72.2%)で7割を超えて高く、男性60～64歳(67.6%)で6割半ばを超えて高くなっています。

肺がん検診(胸部レントゲン検査)は、男性75歳以上(63.3%)、女性75歳以上(62.7%)、女性65～74歳(62.2%)で6割を超えて高くなっています。

子宮頸がん検診(細胞診)は女性18～29歳(90.3%)、女性30～39歳(89.2%)で9割前後と高く、女性40～49歳(74.8%)で7割半ば近くと高く、女性50～59歳(63.6%)で6割を超えて高くなっています。

乳がん検診(マンモグラフィ検査)は女性50～59歳(67.9%)、女性40～49歳(66.4%)で6割半ばを超えて高く、女性60～64歳(55.6%)、女性65～74歳(51.1%)で5割台と高くなっています。

### 【受診したがん検診の種類 (男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=953)	男性						
		18～29歳 (n=4)	30～39歳 (n=26)	40～49歳 (n=58)	50～59歳 (n=82)	60～64歳 (n=37)	65～74歳 (n=79)	75歳以上 (n=79)
大腸がん検診 (便潜血検査)	60.5	★ 25.0	● 46.2	○ 74.1	☆ 78.0	☆ 78.4	☆ 81.0	☆ 84.8
胃がん検診 (胃内視鏡検査、 または胃レントゲン検査)	51.6	50.0	▲ 46.2	△ 58.6	☆ 74.4	☆ 67.6	☆ 73.4	☆ 72.2
肺がん検診 (胸部レントゲン検査)	48.4	☆ 75.0	▲ 42.3	51.7	△ 54.9	△ 56.8	△ 58.2	○ 63.3
子宮頸がん検診 (細胞診)	34.1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0
乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	32.5	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0
無回答	5.6	▲ 0.0	○ 19.2	6.9	6.1	8.1	3.8	▲ 0.0

### 【受診したがん検診の種類 (女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=953)	女性						
		18～29歳 (n=31)	30～39歳 (n=65)	40～49歳 (n=107)	50～59歳 (n=140)	60～64歳 (n=45)	65～74歳 (n=90)	75歳以上 (n=83)
大腸がん検診 (便潜血検査)	60.5	★ 6.5	★ 7.7	★ 40.2	63.6	62.2	△ 70.0	○ 71.1
胃がん検診 (胃内視鏡検査、 または胃レントゲン検査)	51.6	★ 6.5	★ 10.8	★ 31.8	51.4	51.1	△ 61.1	55.4
肺がん検診 (胸部レントゲン検査)	48.4	★ 9.7	★ 7.7	★ 32.7	51.4	△ 57.8	○ 62.2	○ 62.7
子宮頸がん検診 (細胞診)	34.1	☆ 90.3	☆ 89.2	☆ 74.8	☆ 63.6	△ 42.2	32.2	▲ 24.1
乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	32.5	29.0	△ 38.5	☆ 66.4	☆ 67.9	☆ 55.6	☆ 51.1	○ 44.6
無回答	5.6	3.2	4.6	3.7	3.6	4.4	▲ 0.0	4.8

### (3) 受診したがん検診の種類（居住地域別）

居住地域別にみると、「大腸がん検診（便潜血検査）」は南平地域（67.9%）、安行地域（67.3%）で6割半ばを超えて高くなっています。

「胃がん検診（胃内視鏡検査、または胃レントゲン検査）」は芝地域（57.9%）で5割半ばを超えて最も高くなっています。

「肺がん検診（胸部レントゲン検査）」は南平地域（58.5%）で6割近くと最も高く、芝地域（53.7%）で5割を超えて高くなっています。

「子宮頸がん検診（細胞診）」は鳩ヶ谷地域（41.0%）、芝地域（39.7%）、新郷地域（39.6%）で4割前後と高くなっています。

「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」は新郷地域（41.5%）で4割を超えて最も高く、芝地域（38.8%）で4割近くと高くなっています。

【受診したがん検診の種類（居住地域別）】

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
大腸がん検診（便潜血検査）	60.5	57.4	58.7	58.6	△ 67.9	▲ 52.8	59.5	64.5	△ 67.3	▲ 55.3	59.0
胃がん検診（胃内視鏡検査、 または胃レントゲン検査）	51.6	51.1	51.9	50.5	53.8	★ 35.8	51.4	△ 57.9	53.1	52.6	49.0
肺がん検診 （胸部レントゲン検査）	48.4	51.1	45.2	47.7	○ 58.5	47.2	47.3	△ 53.7	▲ 42.9	● 36.0	49.0
子宮頸がん検診（細胞診）	34.1	▲ 28.7	32.7	34.2	33.0	△ 39.6	37.8	△ 39.7	★ 14.3	35.1	△ 41.0
乳がん検診 （マンモグラフィ検査）	32.5	35.1	▲ 23.1	29.7	35.8	△ 41.5	32.4	△ 38.8	● 22.4	31.6	35.0
無回答	5.6	8.5	9.6	3.6	5.7	9.4	2.7	3.3	10.2	2.6	3.0

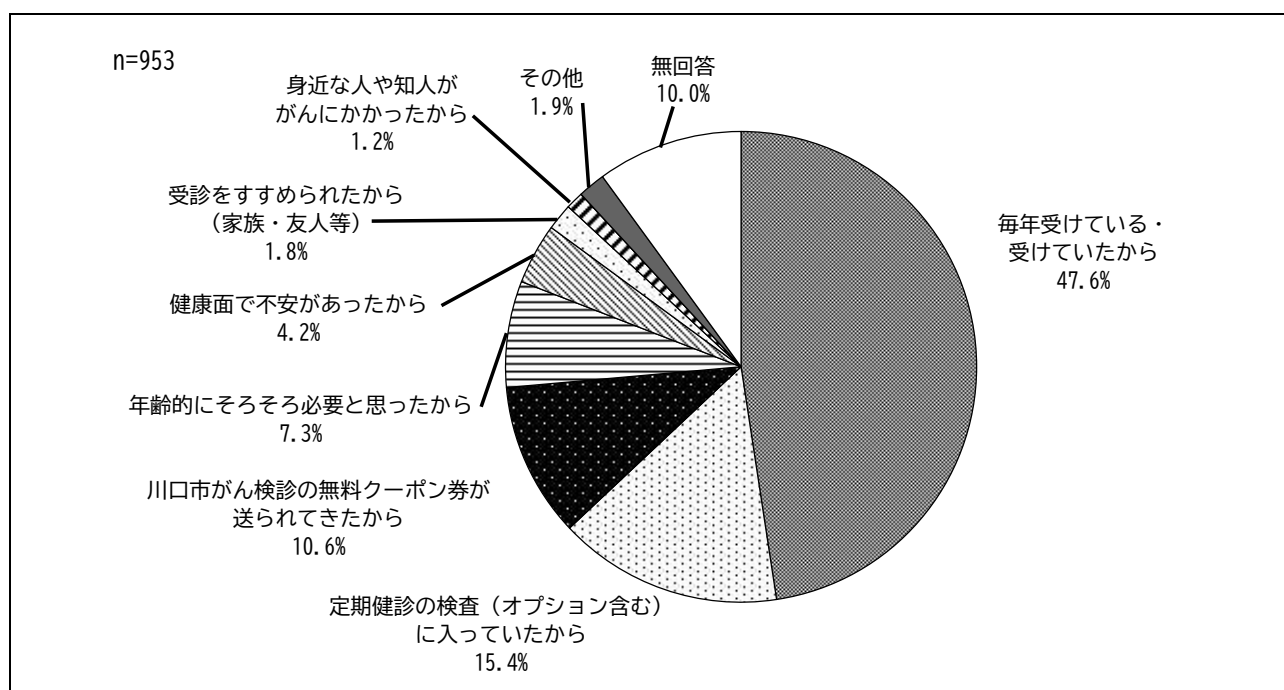
## 28 がん検診を受診した理由

### (1) がん検診を受診した理由

問 23 で「受診した」か「受診する予定がある」と回答した方  
問 25 受診した理由について、最もあてはまるものを選択してください。(○は1つ)

がん検診を受診した(受診する予定)理由については、「毎年受けている・受けていたから」が47.6%と4割半ばを超えて最も高く、「定期健診の検査(オプション含む)に入っていたから」が15.4%、「川口市がん検診の無料クーポンが送られてきたから」が10.6%、「年齢的にそろそろ必要と思ったから」が7.3%、「健康面で不安があったから」が4.2%と続いています。

【がん検診を受診した理由 (全体)】



## (2) がん検診を受診した理由（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「毎年受けている・受けていたから」は男性65～74歳(55.7%)、女性65～74歳(54.4%)、男性75歳以上(54.4%)、男性60～64歳(54.1%)で5割半ば前後と高くなっています。

「定期健診の検査(オプション含む)に入っていたから」は男性50～59歳(25.6%)で2割半ばと最も高くなっています。

「川口市がん検診の無料クーポン券が送られてきたから」は女性60～64歳(17.8%)、女性18～29歳(16.1%)で1割半ばを超えて高くなっています。

「年齢的にそろそろ必要と思ったから」は女性40～49歳(15.0%)で1割半ばに達し最も高くなっています。

【がん検診を受診した理由（性別、性・年齢別）】

		(人)										(%)
	合計	毎年受けている・受けていたから	定期健診の検査(オプション含む)に入っていたから	川口市がん検診の無料クーポン券が送られてきたから	年齢的にそろそろ必要と思ったから	健康面で不安があったから	受診をすすめられたから(家族・友人等)	身近な人や知人ががんにかかったから	パンフレットやポスターなどをみたから	その他	無回答	
全体	953	47.6	15.4	10.6	7.3	4.2	1.8	1.2	0.0	1.9	10.0	
男性	367	51.0	18.5	8.4	6.5	3.3	1.9	1.4	0.0	0.8	8.2	
女性	564	46.6	13.8	12.1	8.2	4.8	1.8	0.9	0.0	2.7	9.2	
自由記載	4	★ 25.0	△ 25.0	● 0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 50.0	
男性	18～29歳	4	50.0	★ 0.0	○ 25.0	▲ 0.0	☆ 25.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	
	30～39歳	26	★ 30.8	○ 26.9	● 0.0	☆ 23.1	3.8	0.0	3.8	0.0	11.5	
	40～49歳	58	51.7	19.0	8.6	8.6	5.2	3.4	1.7	0.0	▲ 1.7	
	50～59歳	82	48.8	○ 25.6	6.1	7.3	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	9.8
	60～64歳	37	△ 54.1	18.9	▲ 2.7	8.1	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	13.5
	65～74歳	79	△ 55.7	19.0	8.9	2.5	5.1	2.5	0.0	0.0	0.0	6.3
	75歳以上	79	△ 54.4	▲ 8.9	15.2	2.5	3.8	2.5	2.5	0.0	2.5	7.6
女性	18～29歳	31	★ 32.3	19.4	△ 16.1	6.5	6.5	6.5	3.2	△ 9.7	▲ 0.0	
	30～39歳	65	● 36.9	18.5	13.8	4.6	7.7	0.0	1.5	0.0	4.6	12.3
	40～49歳	107	47.7	▲ 10.3	9.3	△ 15.0	4.7	1.9	1.9	0.0	1.9	7.5
	50～59歳	140	50.7	17.1	11.4	10.0	2.9	2.1	0.0	0.0	2.1	▲ 3.6
	60～64歳	45	51.1	17.8	△ 17.8	▲ 0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	8.9
	65～74歳	90	△ 54.4	▲ 10.0	13.3	4.4	3.3	1.1	1.1	0.0	3.3	8.9
	75歳以上	83	▲ 41.0	▲ 9.6	9.6	8.4	8.4	2.4	0.0	0.0	0.0	○ 20.5

### (3) がん検診を受診した理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「毎年受けている・受けていたから」は南平地域(58.5%)で6割近くと最も高くなっています。

【がん検診を受診した理由（居住地域別）】

	(人)										(%)
	合計	毎年受けている・受けていたから	定期健診の検査（オプション含む）に入っていたから	川口市がん検診の無料クーポン券が送られてきたから	年齢的にそろそろ必要と思ったから	健康面で不安があったから	受診をすすめられたから（家族・友人等）	身近な人や知人ががんにかかったから	パンフレットやポスターなどをみたから	その他	無回答
全体	953	47.6	15.4	10.6	7.3	4.2	1.8	1.2	0.0	1.9	10.0
中央地域	94	46.8	19.1	▲ 5.3	7.4	5.3	1.1	0.0	0.0	0.0	14.9
横曽根地域	104	45.2	18.3	10.6	9.6	1.9	1.0	1.0	0.0	1.0	11.5
青木地域	111	48.6	15.3	9.9	9.0	4.5	0.9	1.8	0.0	2.7	7.2
南平地域	106	○ 58.5	14.2	8.5	▲ 1.9	3.8	4.7	0.9	0.0	0.9	6.6
新郷地域	53	▲ 39.6	17.0	13.2	11.3	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	△ 15.1
神根地域	74	▲ 39.2	18.9	12.2	6.8	2.7	2.7	1.4	0.0	1.4	14.9
芝地域	121	46.3	10.7	14.9	7.4	4.1	1.7	0.8	0.0	3.3	10.7
安行地域	49	▲ 40.8	16.3	6.1	4.1	8.2	4.1	0.0	0.0	6.1	14.3
戸塚地域	114	52.6	13.2	14.9	9.6	4.4	0.0	0.0	0.0	0.9	▲ 4.4
鳩ヶ谷地域	100	51.0	17.0	7.0	6.0	6.0	1.0	3.0	0.0	3.0	6.0

## 29 がん検診を受診しない理由

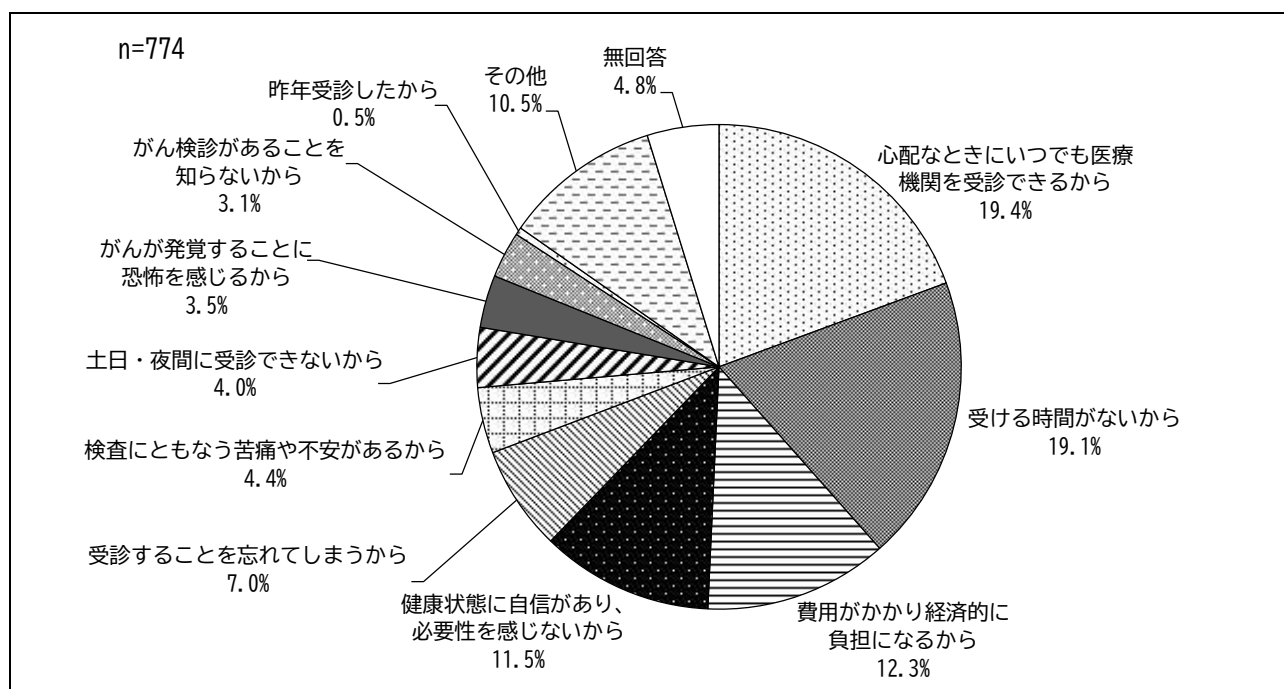
### (1) がん検診を受診しない理由

問 23 で「受診したことがないが、今後受診しようと思う」、「受診したことがなく、今後も受診しない」と回答した方

問 26 受診しない理由について、最もあてはまるものを選択してください。(○は1つ)

がん検診を「受診したことがないが、今後受診しようと思う」、「受診したことがなく、今後も受診しない」と回答した774人の受診しない理由について、「心配なときにいつでも医療機関を受診できるから」が19.4%で約2割と最も高く、「受ける時間がないから」が19.1%、「費用がかかり経済的に負担になるから」が12.3%、「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」が11.5%、「受診することを忘れてしまうから」が7.0%と続いています。

【がん検診を受診しない理由（全体）】



## (2) がん検診を受診しない理由（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「受ける時間がないから」は女性30～39歳(31.4%)で3割を超えて最も高くなっています。

「心配なときにいつでも医療機関を受診できるから」は女性75歳以上(55.3%)で5割半ばと最も高く、男性75歳以上(38.5%)で4割近くと高くなっています。

「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」は男性30～39歳(20.0%)で2割に達し、男性18～29歳(19.5%)、男性65～74歳(17.6%)で1割半ばを超えて高くなっています。

「費用がかかり経済的に負担になるから」は男性30～39歳(24.8%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

「受診することを忘れてしまうから」は男性65～74歳(17.6%)で1割半ばを超えて最も高くなっています。

「土日・夜間に受診できないから」は男性50～59歳(10.8%)、女性40～49歳(10.3%)で約1割と高くなっています。

「検査にともなう苦痛や不安があるから」は女性40～49歳(15.4%)で1割半ばと最も高くなっています。

【がん検診を受診しない理由（性別、性・年齢別）】

		(人)											(%)	
		合計	受ける時間がないから	心配なときにいつでも医療機関を受診できるから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	費用がかかり経済的に負担になるから	受診することを忘れてしまうから	昨年受診したから	土日・夜間に受診できないから	検査にともなう苦痛や不安があるから	がんが発覚することに恐怖を感じるから	がん検診があることを知らないから	その他	無回答
全体		774	19.1	19.4	11.5	12.3	7.0	0.5	4.0	4.4	3.5	3.1	10.5	4.8
男性		435	18.9	16.3	14.5	15.4	6.9	0.2	4.1	2.5	3.4	3.7	10.3	3.7
女性		322	19.3	23.9	7.1	8.4	6.5	0.9	4.0	7.1	3.4	2.2	10.9	6.2
自由記載		5	20.0	20.0	△ 20.0	△ 20.0	○ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	● 0.0	0.0
男性	18～29歳	82	△ 25.6	14.6	△ 19.5	11.0	2.4	0.0	1.2	0.0	4.9	6.1	13.4	1.2
	30～39歳	105	20.0	▲ 13.3	△ 20.0	○ 24.8	6.7	1.0	1.9	0.0	1.0	3.8	6.7	1.0
	40～49歳	77	22.1	▲ 11.7	10.4	△ 18.2	10.4	0.0	6.5	2.6	3.9	6.5	▲ 3.9	3.9
	50～59歳	74	20.3	▲ 10.8	6.8	14.9	6.8	0.0	△ 10.8	4.1	4.1	2.7	14.9	4.1
	60～64歳	24	20.8	20.8	12.5	▲ 4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	8.3	△ 12.5
	65～74歳	34	● 8.8	23.5	△ 17.6	▲ 5.9	○ 17.6	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	△ 17.6	2.9
	75歳以上	39	★ 0.0	☆ 38.5	10.3	10.3	2.6	0.0	2.6	7.7	5.1	0.0	12.8	△ 10.3
女性	18～29歳	82	△ 24.4	17.1	12.2	11.0	4.9	0.0	2.4	3.7	1.2	6.1	14.6	2.4
	30～39歳	70	○ 31.4	15.7	10.0	11.4	5.7	0.0	1.4	5.7	4.3	1.4	7.1	5.7
	40～49歳	39	△ 25.6	● 7.7	▲ 2.6	▲ 5.1	7.7	0.0	△ 10.3	○ 15.4	2.6	0.0	15.4	7.7
	50～59歳	39	15.4	△ 25.6	▲ 5.1	12.8	7.7	2.6	5.1	△ 10.3	5.1	0.0	▲ 5.1	5.1
	60～64歳	14	● 7.1	21.4	7.1	▲ 7.1	△ 14.3	△ 7.1	○ 14.3	△ 14.3	0.0	0.0	7.1	0.0
	65～74歳	31	● 6.5	○ 32.3	▲ 3.2	▲ 6.5	6.5	3.2	3.2	6.5	6.5	0.0	9.7	○ 16.1
	75歳以上	47	★ 2.1	☆ 55.3	▲ 2.1	● 0.0	6.4	0.0	2.1	4.3	4.3	2.1	12.8	8.5

### (3) がん検診を受診しない理由（居住地域別）

居住地域別にみると、「受ける時間がないから」は中央地域(26.3%)で2割半ばを超え最も高くなっています。

「心配なときにいつでも医療機関を受診できるから」は安行地域(28.3%)、鳩ヶ谷地域(28.1%)、青木地域(25.6%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」は戸塚地域(19.4%)で約2割と最も高くなっています。

「費用がかかり経済的に負担になるから」は青木地域(18.2%)で2割近くと最も高くなっています。

「受診することを忘れてしまうから」は新郷地域(15.2%)、中央地域(13.2%)で1割を超えて高くなっています。

「がんが発覚することに恐怖を感じるから」は安行地域(8.7%)で1割近くと最も高くなっています。

#### 【がん検診を受診しない理由（居住地域別）】

	(人)												(%)
	合計	受ける時間がないから	心配なときにいつでも医療機関を受診できるから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	費用がかかり経済的に負担になるから	受診することを忘れてしまうから	昨年受診したから	土日・夜間に受診できないから	検査にともなう苦痛や不安があるから	がんが発覚することに恐怖を感じるから	がん検診があることを知らないから	その他	無回答
全体	774	19.1	19.4	11.5	12.3	7.0	0.5	4.0	4.4	3.5	3.1	10.5	4.8
中央地域	76	△ 26.3	● 7.9	11.8	11.8	△ 13.2	0.0	1.3	9.2	1.3	2.6	10.5	3.9
横曽根地域	94	19.1	18.1	9.6	7.4	9.6	0.0	2.1	3.2	2.1	7.4	13.8	7.4
青木地域	121	15.7	△ 25.6	9.9	△ 18.2	2.5	0.0	3.3	1.7	5.8	4.1	9.9	3.3
南平地域	73	17.8	16.4	15.1	11.0	8.2	1.4	5.5	2.7	2.7	1.4	15.1	2.7
新郷地域	46	19.6	21.7	▲ 4.3	8.7	△ 15.2	0.0	6.5	4.3	4.3	4.3	6.5	4.3
神根地域	52	15.4	21.2	7.7	15.4	▲ 0.0	0.0	5.8	7.7	5.8	5.8	7.7	7.7
芝地域	92	19.6	20.7	9.8	9.8	6.5	0.0	3.3	6.5	2.2	2.2	9.8	9.8
安行地域	46	21.7	△ 28.3	10.9	10.9	2.2	0.0	2.2	6.5	△ 8.7	0.0	8.7	0.0
戸塚地域	98	20.4	▲ 12.2	△ 19.4	16.3	7.1	2.0	5.1	2.0	2.0	1.0	10.2	2.0
鳩ヶ谷地域	64	15.6	△ 28.1	12.5	9.4	6.3	1.6	6.3	4.7	3.1	1.6	7.8	3.1

## 30 こどもの権利条約の認知度

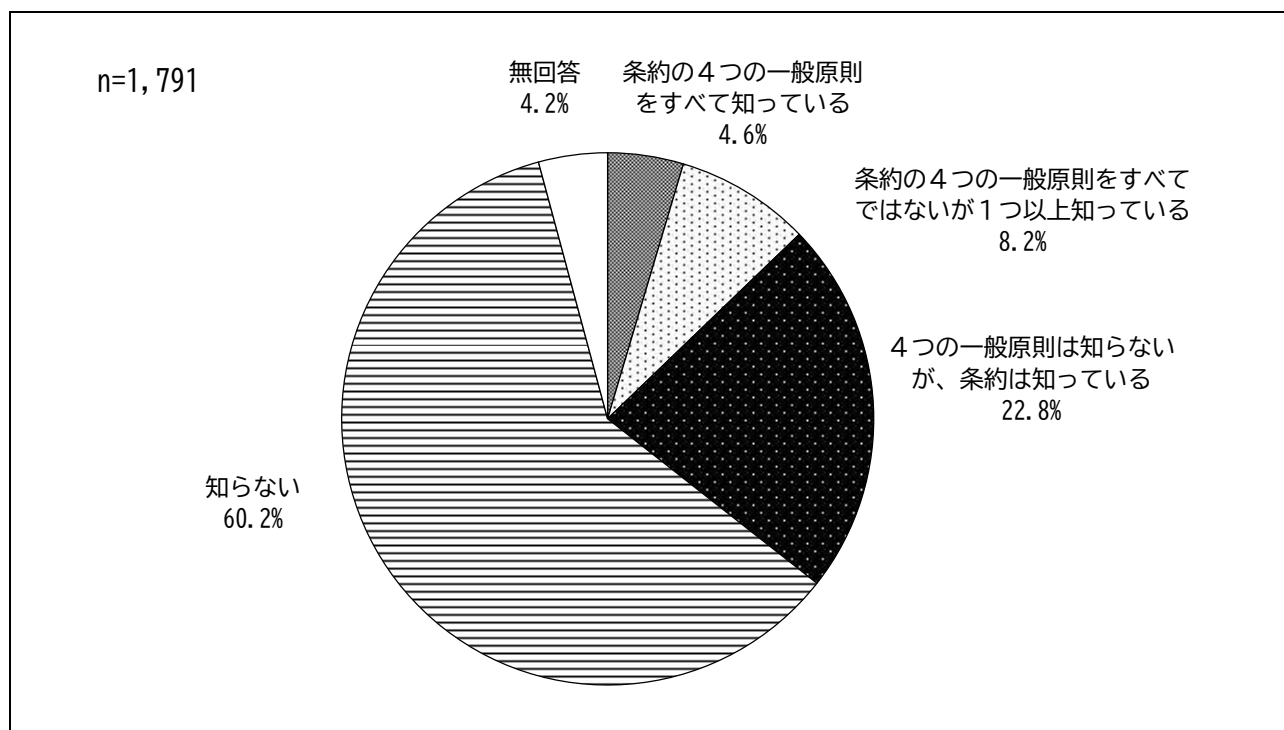
### (1) こどもの権利条約の認知度

問 27 あなたは、「児童の権利に関する条約」(こどもの権利条約)についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

「児童の権利に関する条約」(こどもの権利条約)の認知度について、「知らない」が60.2%で約6割と最も高くなっています。

一方、「条約の4つの一般原則をすべて知っている」は4.6%、「条約の4つの一般原則をすべてではないが1つ以上知っている」は8.2%となっています。また、「4つの一般原則は知らないが、条約は知っている」は22.8%を占めています。

【こどもの権利条約の認知度 (全体)】



## (2) こどもの権利条約の認知度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「条約の4つの一般原則をすべて知っている」は女性18～29歳(13.2%)で1割を超えて最も高くなっています。

「条約の4つの一般原則をすべてではないが1つ以上知っている」は女性40～49歳(14.2%)で1割半ば近くと最も高くなっています。

「4つの一般原則は知らないが、条約は知っている」は女性60～64歳(32.8%)、女性65～74歳(30.9%)、男性60～64歳(29.5%)、男性75歳以上(29.0%)、男性65～74歳(28.2%)で3割前後と高くなっています。

一方、「知らない」は男性30～39歳(72.5%)、男性50～59歳(70.3%)で7割を超えて高くなっています。

【こどもの権利条約の認知度（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)				
		合計	条約の4つの一般原則をすべて知っている	条約の4つの一般原則をすべてではないが1つ以上知っている	4つの一般原則は知らないが、条約は知っている	知らない	無回答
全体		1,791	4.6	8.2	22.8	60.2	4.2
男性		817	4.2	6.6	23.1	64.0	2.1
女性		917	5.2	9.5	23.0	58.0	4.3
自由記載		11	0.0	9.1	18.2	○ 72.7	0.0
男性	18～29歳	87	9.2	5.7	25.3	58.6	1.1
	30～39歳	131	6.9	▲ 3.1	▲ 16.8	○ 72.5	0.8
	40～49歳	137	2.9	8.0	19.7	△ 67.9	1.5
	50～59歳	158	3.8	6.3	19.6	○ 70.3	0.0
	60～64歳	61	1.6	8.2	△ 29.5	60.7	0.0
	65～74歳	117	2.6	6.8	△ 28.2	59.8	2.6
	75歳以上	124	1.6	8.1	△ 29.0	▲ 53.2	8.1
女性	18～29歳	114	△ 13.2	6.1	▲ 17.5	62.3	0.9
	30～39歳	136	7.4	9.6	22.1	60.3	0.7
	40～49歳	148	4.1	△ 14.2	20.3	60.8	0.7
	50～59歳	183	4.9	8.7	20.2	63.9	2.2
	60～64歳	61	0.0	11.5	△ 32.8	▲ 54.1	1.6
	65～74歳	123	3.3	10.6	△ 30.9	▲ 52.8	2.4
	75歳以上	143	1.4	7.0	25.2	▲ 51.0	○ 15.4

### (3) こどもの権利条約の認知度（居住地域別）

居住地域別にみると、大きな差はありませんでした。

【こどもの権利条約の認知度（居住地域別）】

	(人)					(%)
	合計	条約の4つの一般原則をすべて知っている	条約の4つの一般原則をすべてではないが1つ以上知っている	4つの一般原則は知らないが、条約は知っている	知らない	無回答
全体	1,791	4.6	8.2	22.8	60.2	4.2
中央地域	172	5.8	8.7	21.5	59.9	4.1
横曽根地域	204	3.9	8.3	23.0	61.8	2.9
青木地域	238	4.6	7.1	22.7	62.6	2.9
南平地域	183	3.3	9.3	20.2	64.5	2.7
新郷地域	103	3.9	10.7	▲ 15.5	64.1	5.8
神根地域	132	5.3	12.1	27.3	● 50.0	5.3
芝地域	221	4.5	8.1	22.2	61.5	3.6
安行地域	96	3.1	12.5	18.8	63.5	2.1
戸塚地域	214	7.5	4.7	27.6	60.3	0.0
鳩ヶ谷地域	167	3.0	4.8	27.5	61.7	3.0

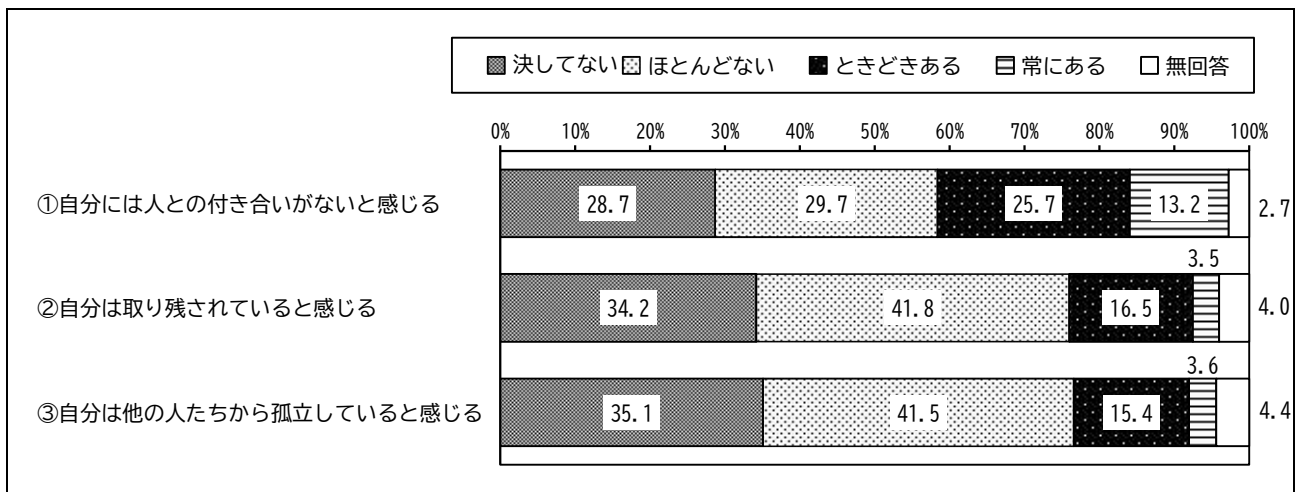
### 31 他人とのつながりの認識状況

#### (1) 他人とのつながりの認識状況

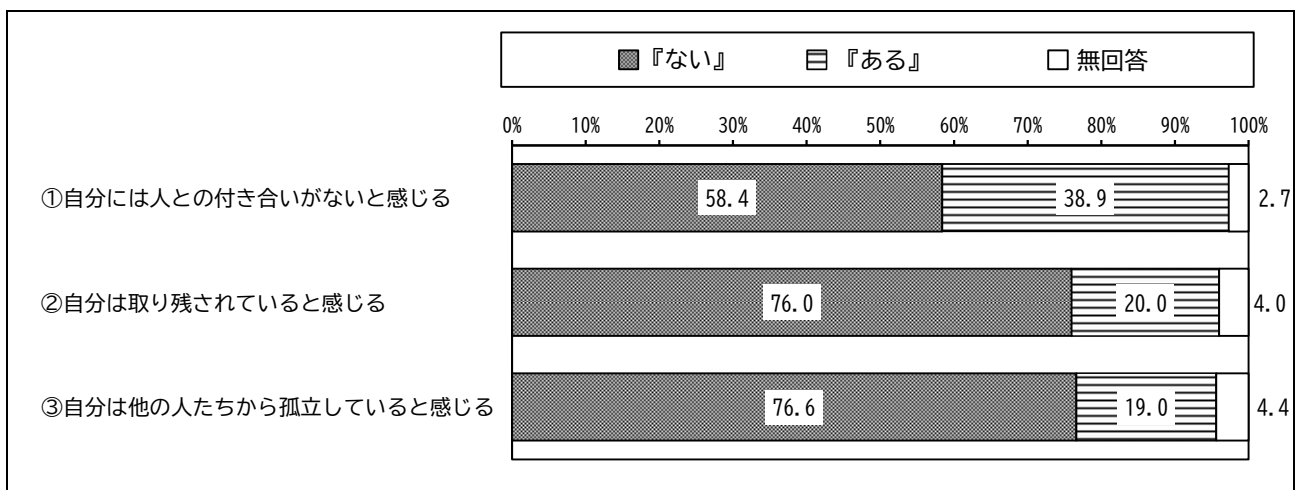
問 28 あなたは、次の①～③の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか。  
(それぞれ○は1つ)

他人とのつながり3項目の認識状況について、「決してない」と「ほとんどない」を合わせた『ない』は、「自分は他の人たちから孤立していると感じる」が76.6%、「自分は取り残されていると感じる」が76.0%と7割半ばを超えており、「自分には人との付き合いがないと感じる」が58.4%で5割半ばを超えています。「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』は、「自分には人との付き合いがないと感じる」が38.9%で4割近くと高くなっています。

【他人とのつながりの認識状況（全体）】



【他人とのつながりの認識状況（全体・2区分）】



## (2) 他人とのつながりの認識状況（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』について、「自分には人との付き合いがないと感じる」は男性60～64歳(57.4%)で5割半ばを超えて最も高くなっています。

「自分は取り残されていると感じる」は女性40～49歳(29.8%)で約3割と最も高く、男性60～64歳(27.9%)、女性30～39歳(27.2%)で2割半ばを超えて高くなっています。

「自分は他の人たちから孤立していると感じる」は女性40～49歳(27.0%)で2割半ばを超えて最も高く、女性30～39歳(24.3%)で2割半ば近くと高くなっています。

### 【他人とのつながりの認識状況（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
①自分には人との付き合いがないと感じる	38.9	▲ 33.3	▲ 32.8	△ 48.1	43.7	☆ 57.4	41.0	38.7
②自分は取り残されていると感じる	20.0	21.8	21.3	18.9	17.7	△ 27.9	▲ 11.1	15.3
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	19.0	21.8	22.1	24.0	18.4	23.0	14.6	15.3

### 【他人とのつながりの認識状況（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
①自分には人との付き合いがないと感じる	38.9	▲ 33.3	36.7	41.9	39.8	34.5	▲ 33.4	39.2
②自分は取り残されていると感じる	20.0	20.1	△ 27.2	△ 29.8	18.5	19.6	18.7	17.5
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	19.0	14.0	△ 24.3	△ 27.0	18.5	18.0	▲ 12.2	14.0

### (3) 他人とのつながりの認識状況（居住地域別）

居住地域別にみると、「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』について、「自分には人との付き合いがないと感じる」は青木地域(45.4%)で4割半ばと最も高くなっています。

「自分は取り残されていると感じる」は大きな差はありませんでした。

「自分は他の人たちから孤立していると感じる」は神根地域(24.2%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

#### 【他人とのつながりの認識状況（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
①自分には人との付き合いがないと感じる	38.9	38.9	39.2	△ 45.4	35.0	40.8	43.2	38.4	● 27.1	42.5	34.8
②自分は取り残されていると感じる	20.0	16.9	17.7	21.0	16.4	23.3	23.4	23.9	18.8	24.3	15.0
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	19.0	15.7	17.7	20.1	17.5	18.5	△ 24.2	23.5	17.7	20.5	14.4

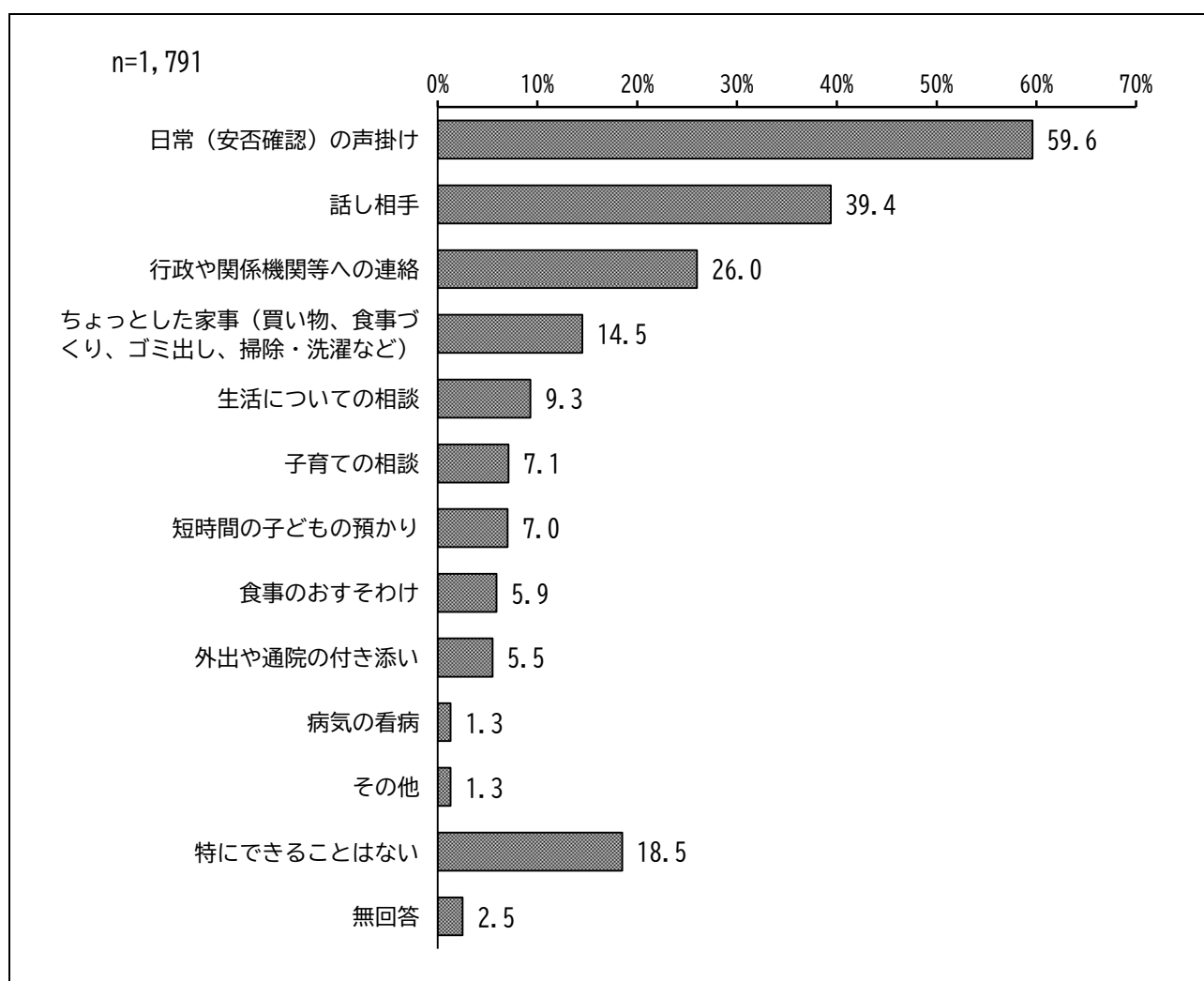
## 32 近所の困っている方に「あなたができること」

### (1) 近所の困っている方に「あなたができること」

問 29 近所に困っている方がいる場合、「あなたができること」は何ですか。(〇はいくつでも)

近所の困っている方に「あなたができること」は、「日常(安否確認)の声掛け」が59.6%で約6割と最も高く、「話し相手」が39.4%、「行政や関係機関等への連絡」が26.0%、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が14.5%と続いています。

【近所の困っている方に「あなたができること」(全体)】



## (2) 近所の困っている方に「あなたができること」(性・年齢別)

性・年齢別にみると、「日常(安否確認)の声掛け」は女性40～49歳(71.6%)、女性65～74歳(71.5%)で7割を超えて高くなっています。

「話し相手」は女性75歳以上(58.7%)で6割近くと最も高くなっています。

「行政や関係機関等への連絡」は男性40～49歳(35.0%)で3割半ばに達し最も高く、女性50～59歳(33.9%)、男性50～59歳(32.9%)、女性60～64歳(32.8%)で3割を超えて高くなっています。

「子育ての相談」は女性30～39歳(19.9%)で約2割と最も高くなっています。

一方、「特にできることはない」は男性60～64歳(32.8%)で3割を超えて最も高くなっています。

### 【近所の困っている方に「あなたができること」(男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
日常(安否確認)の声掛け	59.6	▲ 54.0	● 48.9	▲ 54.0	58.2	57.4	57.3	▲ 53.2
話し相手	39.4	41.4	▲ 33.6	▲ 32.1	● 27.8	● 26.2	● 29.1	▲ 33.1
行政や関係機関等への連絡	26.0	▲ 16.1	23.7	△ 35.0	△ 32.9	▲ 19.7	26.5	25.0
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)	14.5	▲ 6.9	10.7	13.1	9.5	9.8	▲ 9.4	10.5
生活についての相談	9.3	13.8	12.2	10.2	8.9	9.8	6.0	8.9
子育ての相談	7.1	6.9	8.4	7.3	4.4	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 1.6
短時間の子どもの預かり	7.0	4.6	9.9	8.0	3.2	3.3	2.6	▲ 1.6
食事のおすそわけ	5.9	3.4	6.9	5.1	4.4	3.3	1.7	5.6
外出や通院の付き添い	5.5	6.9	3.1	5.1	4.4	4.9	2.6	7.3
病気の看病	1.3	1.1	1.5	0.7	0.6	0.0	0.9	0.0
その他	1.3	0.0	2.3	2.2	3.8	1.6	1.7	0.8
特にできることはない	18.5	20.7	△ 26.7	20.4	21.5	○ 32.8	23.1	△ 26.6
無回答	2.5	0.0	0.0	0.7	0.0	1.6	0.0	3.2

【近所の困っている方に「あなたができること」(女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18~29歳 (n=114)	30~39歳 (n=136)	40~49歳 (n=148)	50~59歳 (n=183)	60~64歳 (n=61)	65~74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
日常(安否確認)の声掛け	59.6	57.9	63.2	○ 71.6	△ 68.9	△ 68.9	○ 71.5	59.4
話し相手	39.4	△ 46.5	41.9	△ 48.0	44.3	36.1	○ 51.2	☆ 58.7
行政や関係機関等への連絡	26.0	27.2	27.9	22.3	△ 33.9	△ 32.8	26.0	● 15.4
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	14.5	11.4	▲ 8.1	△ 19.6	△ 23.5	△ 19.7	△ 24.4	△ 20.3
生活についての相談	9.3	7.0	12.5	11.5	7.7	4.9	9.8	9.1
子育ての相談	7.1	6.1	○ 19.9	△ 14.9	12.0	3.3	6.5	▲ 0.7
短時間の子どもの預かり	7.0	7.9	△ 13.2	△ 14.2	7.7	9.8	8.1	2.8
食事のおすそわけ	5.9	5.3	5.1	8.8	5.5	9.8	8.9	9.8
外出や通院の付き添い	5.5	3.5	2.9	4.7	9.8	6.6	△ 11.4	2.8
病気の看病	1.3	1.8	0.7	2.0	0.5	1.6	1.6	0.7
その他	1.3	0.0	0.0	2.0	1.1	0.0	0.0	0.7
特にできることはない	18.5	18.4	19.9	▲ 9.5	13.7	14.8	▲ 11.4	14.7
無回答	2.5	1.8	0.0	0.7	1.6	1.6	0.8	4.2

### (3) 近所の困っている方に「あなたができること」(居住地域別)

居住地域別にみると、「日常(安否確認)の声掛け」は神根地域(68.2%)、鳩ヶ谷地域(65.9%)で6割半ばを超えて高くなっています。

「話し相手」は戸塚地域(44.9%)、安行地域(44.8%)で4割半ば近くと高くなっています。

「行政や関係機関等への連絡」は中央地域(33.1%)で3割を超えて最も高くなっています。

「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」は芝地域(21.7%)で2割を超えて最も高くなっています。

「生活についての相談」は安行地域(15.6%)で1割半ばと最も高くなっています。

一方、「特にできることはない」は南平地域(24.0%)で2割半ば近くと最も高くなっています。

#### 【近所の困っている方に「あなたができること」(居住地域別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
日常(安否確認)の声掛け	59.6	61.6	56.4	59.7	54.6	64.1	△ 68.2	60.2	59.4	60.7	△ 65.9
話し相手	39.4	39.5	34.8	40.3	▲ 30.6	41.7	43.9	40.3	△ 44.8	△ 44.9	41.3
行政や関係機関等への連絡	26.0	△ 33.1	25.5	29.4	24.0	25.2	28.0	▲ 20.8	25.0	29.9	22.8
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	14.5	15.7	10.8	13.9	12.0	15.5	13.6	△ 21.7	17.7	12.6	12.6
生活についての相談	9.3	11.0	4.9	11.3	10.4	7.8	7.6	10.4	△ 15.6	10.7	6.0
子育ての相談	7.1	10.5	4.4	7.6	3.8	6.8	7.6	8.6	9.4	7.9	6.6
短時間の子どもの預かり	7.0	9.9	4.9	5.9	4.9	8.7	7.6	7.2	10.4	6.5	7.8
食事のおすそわけ	5.9	7.6	6.4	5.0	2.2	5.8	6.8	7.7	4.2	5.1	8.4
外出や通院の付き添い	5.5	8.1	4.4	3.8	2.7	6.8	6.1	7.2	9.4	5.1	6.0
病気の看病	1.3	2.3	1.5	1.7	0.0	1.0	0.8	1.4	3.1	0.9	1.2
その他	1.3	1.7	2.0	0.4	1.1	2.9	3.0	0.5	0.0	1.4	0.0
特にできることはない	18.5	15.7	22.1	19.7	△ 24.0	18.4	▲ 12.9	20.4	13.5	18.7	16.2
無回答	2.5	0.0	1.5	1.3	2.7	3.9	0.8	2.3	2.1	0.0	1.2

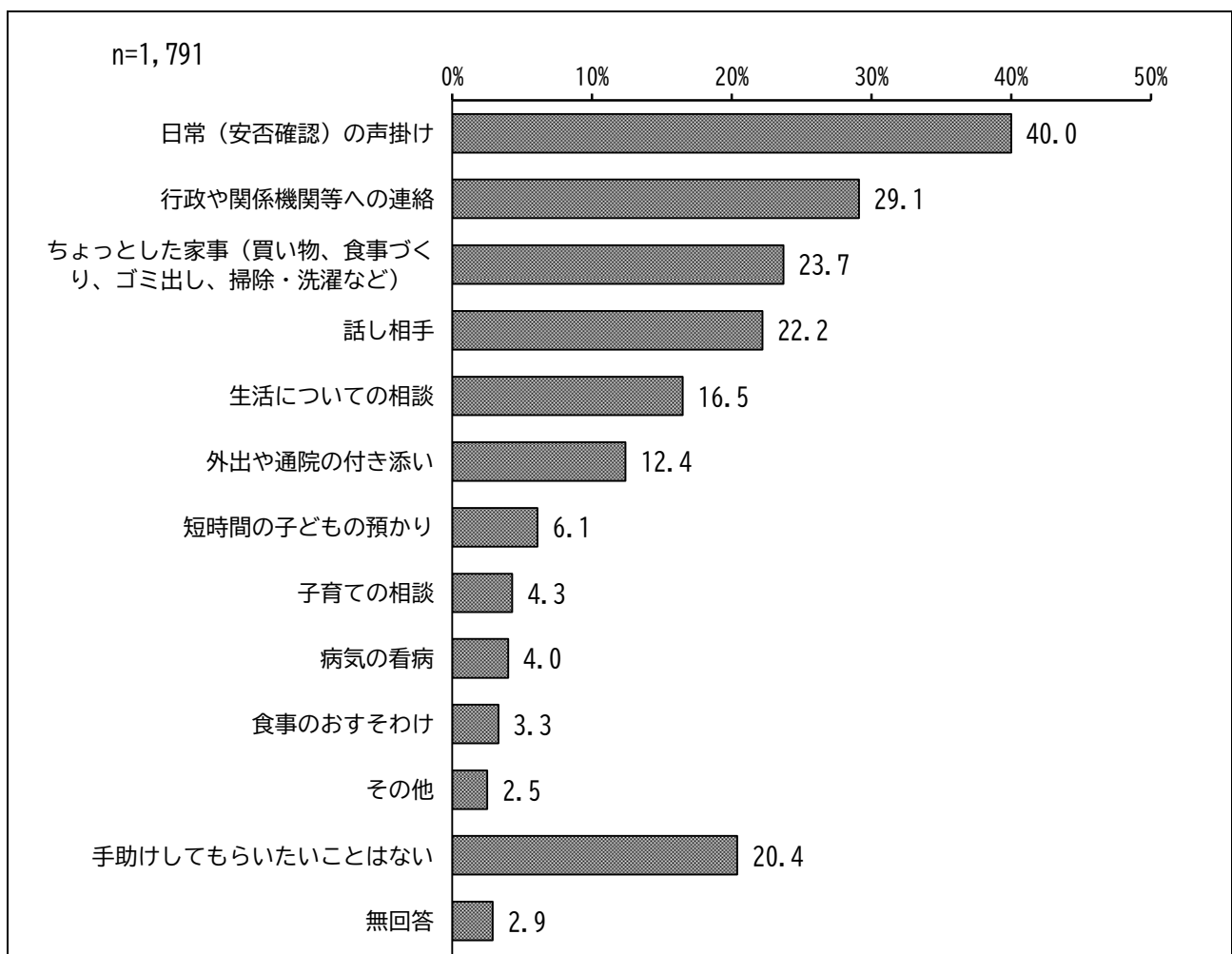
### 33 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」

#### (1) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」

問 30 あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は何ですか。(〇はいくつでも)

日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は、「日常(安否確認)の声掛け」が40.0%で4割に達して最も高く、「行政や関係機関等への連絡」が29.1%、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が23.7%、「話し相手」が22.2%、「生活についての相談」が16.5%と続いています。

【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(全体)】



## (2) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(性・年齢別)

性・年齢別にみると、「日常(安否確認)の声掛け」は女性75歳以上(52.4%)で5割を超えて最も高くなっています。

「行政や関係機関等への連絡」は女性60～64歳(41.0%)で4割を超えて最も高くなっています。

「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」は女性50～59歳(36.6%)で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「話し相手」は男性18～29歳(34.5%)で3割半ば近くと最も高くなっています。

「生活についての相談」は男性18～29歳(29.9%)で約3割と最も高くなっています。

「短時間の子どもの預かり」は女性30～39歳(28.7%)で3割近くと最も高くなっています。

「子育ての相談」は女性30～39歳(15.4%)で1割半ばと最も高くなっています。

一方、「手助けしてもらいたいことはない」は男性60～64歳(41.0%)で4割を超えて最も高くなっています。

### 【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(男性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
日常(安否確認)の声掛け	40.0	▲ 34.5	▲ 31.3	● 27.7	41.8	36.1	38.5	41.1
行政や関係機関等への連絡	29.1	▲ 23.0	27.5	29.9	△ 38.6	26.2	△ 35.0	31.5
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	23.7	20.7	▲ 14.5	23.4	20.3	● 13.1	18.8	21.0
話し相手	22.2	○ 34.5	▲ 16.0	19.7	19.0	▲ 16.4	19.7	26.6
生活についての相談	16.5	○ 29.9	16.8	17.5	18.4	16.4	▲ 11.1	12.9
外出や通院の付き添い	12.4	8.0	7.6	10.2	13.9	▲ 3.3	9.4	8.9
短時間の子どもの預かり	6.1	8.0	△ 11.5	9.5	2.5	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0
子育ての相談	4.3	9.2	△ 11.5	4.4	0.6	0.0	0.0	0.0
病気の看病	4.0	3.4	3.8	4.4	6.3	4.9	1.7	4.0
食事のおすそわけ	3.3	5.7	4.6	2.2	2.5	1.6	1.7	0.8
その他	2.5	4.6	0.8	1.5	1.3	0.0	6.8	1.6
手助けしてもらいたいことはない	20.4	23.0	△ 29.8	24.1	21.5	☆ 41.0	23.9	17.7
無回答	2.9	0.0	2.3	0.7	0.6	3.3	0.9	4.0

【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(女性・年齢別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18~29歳 (n=114)	30~39歳 (n=136)	40~49歳 (n=148)	50~59歳 (n=183)	60~64歳 (n=61)	65~74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
日常(安否確認)の声掛け	40.0	36.8	▲ 34.6	△ 45.9	△ 45.9	△ 45.9	43.9	○ 52.4
行政や関係機関等への連絡	29.1	28.9	▲ 22.1	29.7	△ 35.0	○ 41.0	33.3	● 16.1
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	23.7	22.8	21.3	28.4	○ 36.6	27.9	△ 30.1	△ 30.1
話し相手	22.2	25.4	23.5	24.3	▲ 16.4	▲ 16.4	20.3	△ 30.8
生活についての相談	16.5	16.7	16.9	△ 21.6	19.7	11.5	14.6	12.6
外出や通院の付き添い	12.4	13.2	8.1	14.2	△ 20.8	13.1	△ 22.0	16.1
短時間の子どもの預かり	6.1	9.6	☆ 28.7	7.4	1.1	▲ 0.0	1.6	1.4
子育ての相談	4.3	△ 11.4	○ 15.4	6.1	0.5	0.0	0.8	0.7
病気の看病	4.0	7.0	2.9	4.7	2.2	3.3	3.3	2.1
食事のおすそわけ	3.3	6.1	4.4	4.1	1.6	1.6	1.6	3.5
その他	2.5	0.9	0.7	3.4	2.7	0.0	2.4	6.3
手助けしてもらいたいことはない	20.4	25.4	20.6	18.2	▲ 14.8	19.7	▲ 14.6	▲ 13.3
無回答	2.9	0.9	0.0	0.0	2.2	1.6	3.3	4.2

### (3) 「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(居住地域別)

居住地域別にみると、「日常(安否確認)の声掛け」は神根地域(50.0%)で5割と最も高く、芝地域(45.7%)で4割半ばを超えて高くなっています。

「ちょっとした家事(買い物、食事作り、ゴミ出し、掃除・選択など)」は安行地域(33.3%)で3割を超えて最も高く、芝地域(29.0%)で約3割と高くなっています。

#### 【「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」(居住地域別)】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
日常(安否確認)の声掛け	40.0	41.9	38.7	38.2	37.7	35.0	△ 50.0	△ 45.7	▲ 33.3	43.5	38.3
行政や関係機関等への連絡	29.1	29.7	▲ 21.6	29.4	33.9	27.2	31.1	33.5	28.1	30.8	29.3
ちょっとした家事(買い物、食事づくり、 ゴミ出し、掃除・洗濯など)	23.7	26.7	19.1	24.4	21.3	20.4	23.5	△ 29.0	△ 33.3	19.6	26.9
話し相手	22.2	22.1	22.1	22.7	21.3	24.3	24.2	22.2	24.0	22.0	22.2
生活についての相談	16.5	18.6	14.7	20.2	16.4	▲ 9.7	18.2	17.6	19.8	16.4	13.2
外出や通院の付き添い	12.4	16.3	11.8	16.4	9.8	7.8	16.7	11.8	11.5	12.1	11.4
短時間の子どもの預かり	6.1	7.0	5.4	5.5	6.6	1.9	7.6	7.2	7.3	5.1	8.4
子育ての相談	4.3	1.7	5.4	2.9	4.4	3.9	6.1	5.0	4.2	5.6	5.4
病気の看病	4.0	4.7	4.4	7.6	2.2	2.9	3.8	4.1	4.2	2.8	2.4
食事のおすそわけ	3.3	4.7	4.9	3.4	2.2	3.9	6.8	2.3	2.1	1.4	2.4
その他	2.5	1.7	2.0	3.8	2.2	4.9	3.8	3.2	1.0	0.9	1.2
手助けしてもらいたいことはない	20.4	18.6	22.1	21.8	20.2	△ 27.2	16.7	▲ 14.5	22.9	22.4	22.2
無回答	2.9	0.0	2.5	1.3	2.7	5.8	1.5	3.2	0.0	0.5	1.8

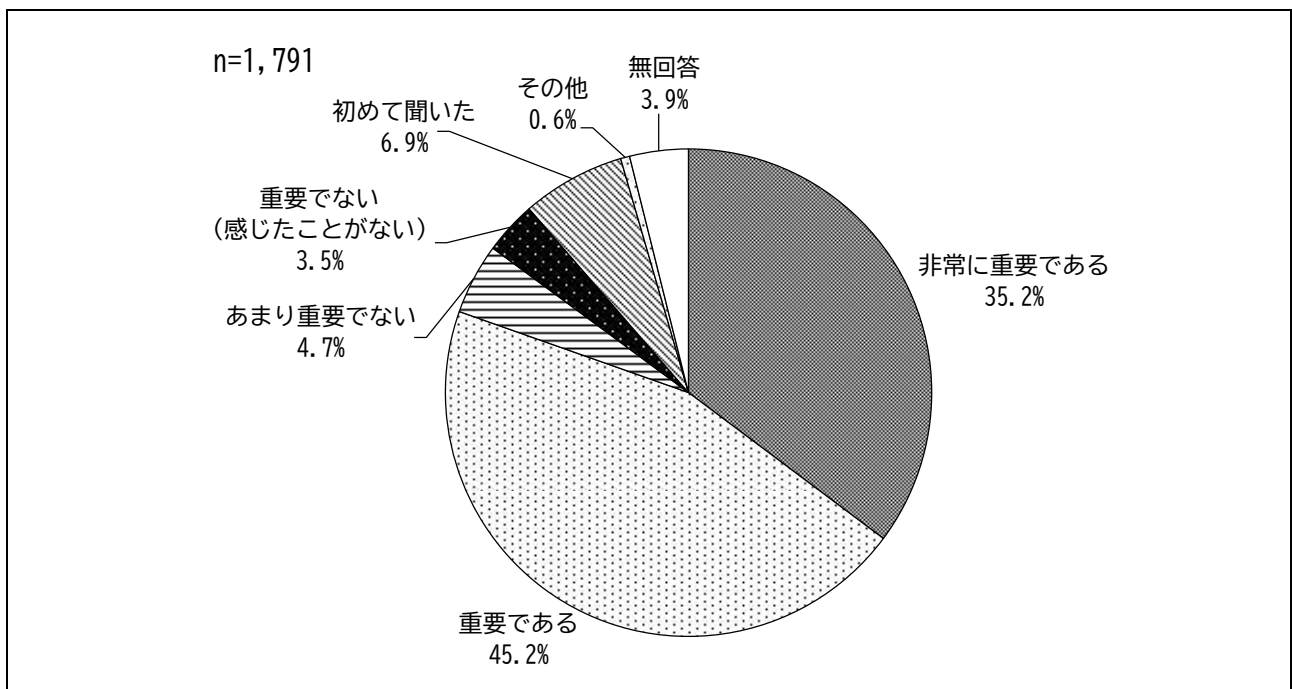
## 34 生物多様性の重要性の認識度

### (1) 生物多様性の重要性の認識度

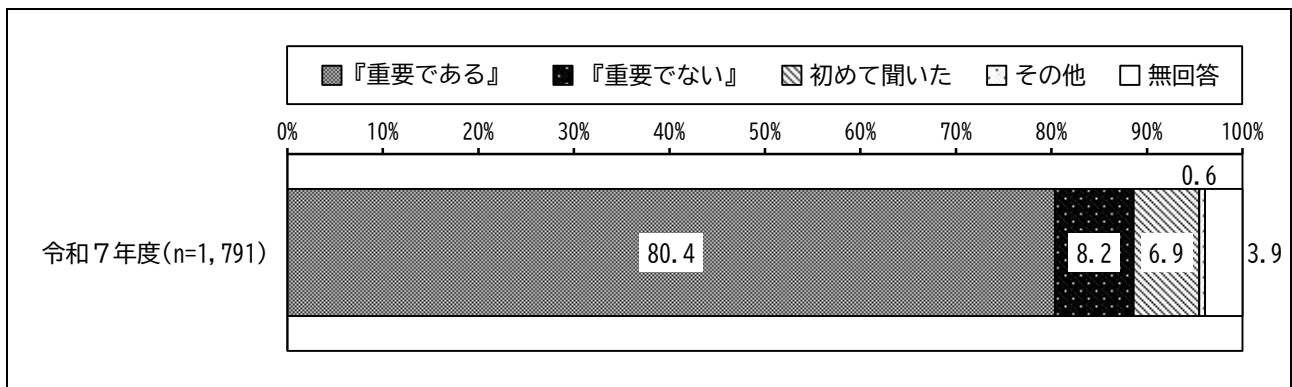
問 31 私たち人間もふくめたあらゆる生きものが、生きていくうえで欠かせない生物多様性の重要性についてどう思いますか。(○は1つ)

あらゆる生きものが、生きていくうえで欠かせない生物多様性の重要性について、「非常に重要である」(35.2%)と「重要である」(45.2%)を合わせた『重要である』は80.4%で約8割を占めています。一方、「あまり重要でない」(4.7%)と「重要でない(感じたことがない)」(3.5%)を合わせた『重要でない』は8.2%となっています。また、「初めて聞いた」は6.9%となっています。

【生物多様性の重要性の認識度 (全体)】



【生物多様性の重要性の認識度 (全体・2区分)】



## (2) 生物多様性の重要性の認識度（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「非常に重要である」は女性50～59歳(42.6%)、女性40～49歳(40.5%)、で4割を超えて高くなっています。

「重要である」は男性60～64歳(52.5%)、男性65～74歳(51.3%)、女性60～64歳(50.8%)で5割を超えて高くなっています。

「重要でない(感じたことがない)」は男性18～29歳(9.2%)、男性40～49歳(8.8%)で1割近くと高くなっています。

「初めて聞いた」は女性60～64歳(13.1%)、女性30～39歳(12.5%)で1割を超えて高くなっています。

### 【生物多様性の重要性の認識度（性別、性・年齢別）】

(人)

(%)

	合計	非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない(感じたことがない)	初めて聞いた	その他	無回答	
全体	1,791	35.2	45.2	4.7	3.5	6.9	0.6	3.9	
男性	817	33.7	47.0	6.6	5.6	4.8	0.4	2.0	
女性	917	37.5	45.3	3.1	1.7	8.9	0.8	2.7	
自由記載	11	★ 9.1	★ 27.3	☆ 27.3	0.0	○ 18.2	△ 9.1	△ 9.1	
男性	18～29歳	87	▲ 28.7	46.0	8.0	△ 9.2	8.0	0.0	0.0
	30～39歳	131	35.9	43.5	7.6	6.9	6.1	0.0	0.0
	40～49歳	137	32.8	46.0	8.0	△ 8.8	2.9	1.5	0.0
	50～59歳	158	36.1	46.2	7.6	5.1	3.8	0.6	0.6
	60～64歳	61	▲ 29.5	△ 52.5	6.6	6.6	3.3	0.0	1.6
	65～74歳	117	34.2	△ 51.3	5.1	3.4	5.1	0.0	0.9
	75歳以上	124	34.7	47.6	3.2	0.8	4.8	0.0	8.9
女性	18～29歳	114	34.2	48.2	3.5	1.8	9.6	0.9	1.8
	30～39歳	136	35.3	43.4	4.4	4.4	△ 12.5	0.0	0.0
	40～49歳	148	△ 40.5	48.0	2.0	1.4	6.1	0.7	1.4
	50～59歳	183	△ 42.6	44.8	2.2	1.1	7.1	0.0	2.2
	60～64歳	61	34.4	△ 50.8	0.0	0.0	△ 13.1	0.0	1.6
	65～74歳	123	36.6	44.7	5.7	2.4	7.3	2.4	0.8
	75歳以上	143	37.1	42.7	2.8	0.7	10.5	1.4	4.9

### (3) 生物多様性の重要性の認識度（居住地域別）

居住地域別にみると、「非常に重要である」は中央地域(42.4%)で4割を超えて最も高くなっています。「重要である」は安行地域(51.0%)、鳩ヶ谷地域(50.9%)で5割を超えて高くなっています。

【生物多様性の重要性の認識度（居住地域別）】

	(人)	(%)						
	合計	非常に重要である	重要である	あまり重要でない	重要でない (感じたことがない)	初めて聞いた	その他	無回答
全体	1,791	35.2	45.2	4.7	3.5	6.9	0.6	3.9
中央地域	172	△ 42.4	41.9	2.9	3.5	4.7	0.0	4.7
横曽根地域	204	37.7	43.1	5.9	2.5	7.8	0.0	2.9
青木地域	238	34.0	46.2	4.6	3.8	8.4	0.8	2.1
南平地域	183	34.4	49.2	6.0	1.1	7.1	0.5	1.6
新郷地域	103	▲ 26.2	45.6	6.8	1.9	8.7	1.0	△ 9.7
神根地域	132	35.6	44.7	3.8	5.3	8.3	0.8	1.5
芝地域	221	35.7	43.4	5.0	4.5	6.8	0.5	4.1
安行地域	96	35.4	△ 51.0	7.3	1.0	4.2	0.0	1.0
戸塚地域	214	39.3	44.9	3.7	6.5	4.7	0.5	0.5
鳩ヶ谷地域	167	▲ 29.3	△ 50.9	4.8	3.6	9.0	1.8	0.6

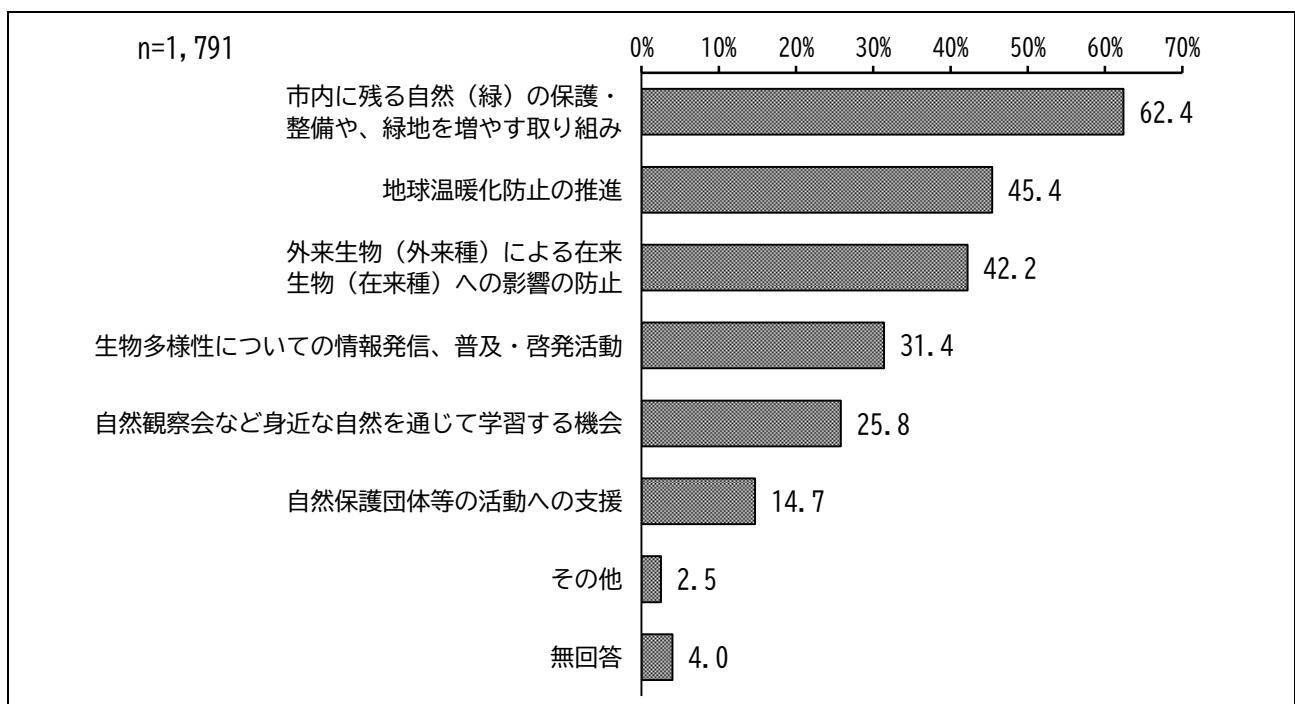
## 35 生物多様性の保全のために必要な施策

### (1) 生物多様性の保全のために必要な施策

問 32 川口市では生物多様性の保全を進めるうえでどのような施策が必要と思われますか。  
(○はいくつでも)

生物多様性の保全のために必要な施策について、「市内に残る自然(緑)の保護・整備や、緑地を増やす取り組み」が62.4%で6割を超えて最も高く、「地球温暖化防止の推進」が45.4%、「外来生物(外来種)による在来生物(在来種)への影響の防止」が42.2%、「生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動」が31.4%と続いています。

【生物多様性の保全のために必要な施策 (全体)】



## (2) 生物多様性の保全のために必要な施策（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「地球温暖化防止の推進」は女性65～74歳(61.8%)で6割を超えて最も高くなっています。

「自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会」は女性40～49歳(39.2%)で約4割と最も高くなっています。

### 【生物多様性の保全のために必要な施策（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
市内に残る自然（緑）の保護・整備や、緑地を増やす取り組み	62.4	▲ 55.2	▲ 54.2	67.2	63.9	60.7	△ 67.5	61.3
地球温暖化防止の推進	45.4	▲ 40.2	● 32.8	43.8	● 33.5	45.9	43.6	43.5
外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止	42.2	40.2	42.7	40.9	45.6	44.3	43.6	45.2
生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動	31.4	● 19.5	27.5	△ 38.7	36.1	32.8	33.3	33.1
自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会	25.8	▲ 20.7	26.0	28.5	25.3	23.0	▲ 18.8	▲ 20.2
自然保護団体等の活動への支援	14.7	10.3	9.9	15.3	15.2	9.8	14.5	16.9
その他	2.5	1.1	△ 7.6	4.4	5.7	3.3	1.7	0.8
無回答	4.0	1.1	3.1	0.0	0.0	3.3	2.6	△ 10.5

### 【生物多様性の保全のために必要な施策（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
市内に残る自然（緑）の保護・整備や、緑地を増やす取り組み	62.4	64.9	64.7	△ 68.2	△ 71.0	63.9	△ 67.5	59.4
地球温暖化防止の推進	45.4	49.1	41.9	48.6	○ 56.3	△ 54.1	☆ 61.8	△ 51.7
外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止	42.2	39.5	39.7	37.2	△ 49.7	42.6	47.2	44.8
生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動	31.4	28.1	▲ 25.0	△ 39.2	35.0	34.4	33.3	▲ 25.9
自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会	25.8	28.9	△ 31.6	○ 39.2	25.1	▲ 18.0	24.4	23.1
自然保護団体等の活動への支援	14.7	12.3	16.9	△ 20.9	11.5	14.8	17.9	△ 21.0
その他	2.5	0.9	0.7	2.0	1.6	0.0	1.6	2.1
無回答	4.0	1.8	1.5	0.0	2.2	0.0	3.3	△ 9.1

### (3) 生物多様性の保全のために必要な施策（居住地域別）

居住地域別にみると、「市内に残る自然（緑）の保護・整備や、緑地を増やす取り組み」は安行地域（68.8%）、南平地域（67.8%）で6割半ばを超えて高くなっています。

「外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止」は芝地域（49.3%）、安行地域（47.9%）で4割半ばを超えて高くなっています。

「生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動」は中央地域（37.8%）で3割半ばを超えて最も高くなっています。

「自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会」は安行地域（38.5%）で4割近くと最も高くなっています。

「自然保護団体等の活動への支援」は安行地域（19.8%）で約2割と最も高くなっています。

#### 【生物多様性の保全のために必要な施策（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
市内に残る自然（緑）の保護・整備や、緑地を増やす取り組み	62.4	63.4	64.2	62.6	△ 67.8	▲ 57.3	65.2	59.7	△ 68.8	64.5	64.1
地球温暖化防止の推進	45.4	43.6	49.5	44.1	45.9	47.6	50.0	45.7	44.8	46.7	44.3
外来生物（外来種）による在来生物（在来種）への影響の防止	42.2	44.2	▲ 32.8	42.9	42.6	▲ 36.9	38.6	△ 49.3	△ 47.9	47.2	42.5
生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動	31.4	△ 37.8	33.8	30.3	35.0	29.1	28.0	28.5	32.3	29.9	30.5
自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会	25.8	30.2	21.1	26.1	21.9	28.2	24.2	△ 32.1	○ 38.5	22.9	22.8
自然保護団体等の活動への支援	14.7	11.0	13.7	15.5	12.6	16.5	15.9	16.3	△ 19.8	15.4	15.6
その他	2.5	1.7	3.9	2.5	1.1	1.9	5.3	1.8	3.1	2.3	3.0
無回答	4.0	1.7	1.5	3.8	2.7	6.8	3.0	4.1	2.1	0.9	2.4

## 36 火災時の備えとして住宅に設置しているもの

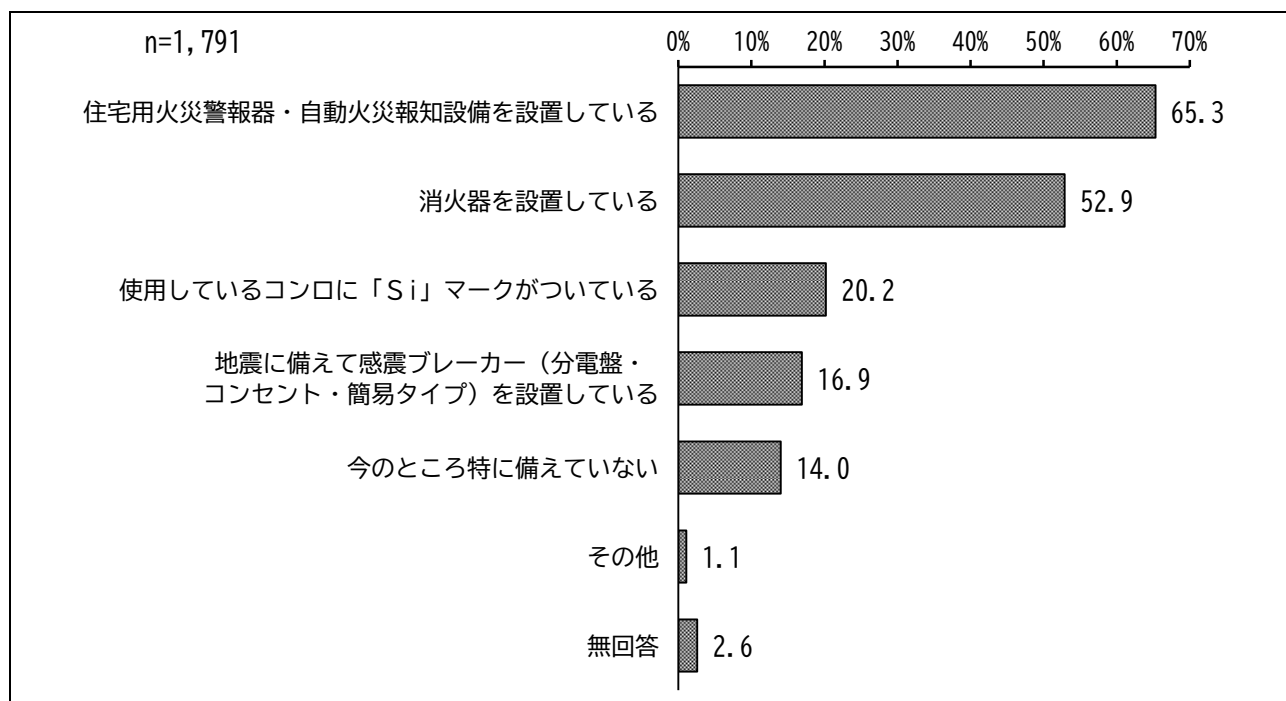
### (1) 火災時の備えとして住宅に設置しているもの

問 33 火災時の備えとして、自宅やマンション等の共有部分に設置しているものはありますか。  
(○はいくつでも)

火災時の備えとして住宅に設置しているものについて、「住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している」が65.3%で6割半ばと最も高く、「消火器を設置している」が52.9%、「使用しているコンロに「Si」マークがついている」が20.2%、「地震に備えて感震ブレーカー(分電盤・コンセント・簡易タイプ)を設置している」が16.9%と続いています。

一方、「今のところ特に備えていない」は14.0%となっています。

【火災時の備えとして住宅に設置しているもの (全体)】



## (2) 火災時の備えとして住宅に設置しているもの（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している」は男性40～49歳（76.6%）で7割半ばを超えて最も高くなっています。

「消火器を設置している」は女性60～64歳（70.5%）で約7割と最も高くなっています。

「地震に備えて感電ブレーカー（分電盤・コンセント・簡易タイプ）を設置している」は男性75歳以上（29.8%）で約3割と最も高くなっています。

### 【火災時の備えとして住宅に設置しているもの（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している	65.3	60.9	70.2	○ 76.6	69.6	60.7	63.2	▲ 59.7
消火器を設置している	52.9	50.6	48.9	▲ 44.5	50.0	△ 60.7	○ 64.1	△ 58.1
使用しているコンロに「Si」マークがついている	20.2	▲ 14.9	24.4	19.7	23.4	▲ 14.8	△ 26.5	21.8
地震に備えて感震ブレーカー（分電盤・コンセント・簡易タイプ）を設置している	16.9	18.4	16.8	13.9	19.6	19.7	△ 24.8	○ 29.8
今のところ特に備えていない	14.0	18.4	13.7	11.7	15.8	18.0	11.1	12.1
その他	1.1	0.0	2.3	0.0	0.6	1.6	0.9	0.8
無回答	2.6	0.0	0.0	0.0	1.3	1.6	0.0	5.6

### 【火災時の備えとして住宅に設置しているもの（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している	65.3	▲ 59.6	△ 71.3	68.2	69.4	67.2	△ 71.5	● 51.7
消火器を設置している	52.9	50.0	▲ 45.6	▲ 45.9	57.9	☆ 70.5	△ 62.6	55.2
使用しているコンロに「Si」マークがついている	20.2	● 9.6	16.9	18.2	24.0	△ 26.2	25.2	18.2
地震に備えて感震ブレーカー（分電盤・コンセント・簡易タイプ）を設置している	16.9	▲ 8.8	● 5.9	16.2	12.0	16.4	20.3	21.7
今のところ特に備えていない	14.0	18.4	15.4	17.6	10.9	13.1	12.2	16.1
その他	1.1	0.9	0.0	1.4	1.6	1.6	0.0	2.8
無回答	2.6	0.9	0.0	0.7	2.2	1.6	2.4	2.1

### (3) 火災時の備えとして住宅に設置しているもの（居住地域別）

居住地域別にみると、「住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している」は中央地域(77.3%)で7割半ばを超えて最も高くなっています。

「消火器を設置している」は中央地域(75.6%)で7割半ばと最も高く、横曽根地域(68.1%)で7割近くと高く、南平地域(59.0%)で6割近くと高くなっています。

#### 【火災時の備えとして住宅に設置しているもの（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している	65.3	○ 77.3	70.1	65.1	69.4	● 53.4	63.6	64.7	● 52.1	△ 70.6	63.5
消火器を設置している	52.9	☆ 75.6	☆ 68.1	52.9	△ 59.0	★ 31.1	▲ 47.7	49.3	★ 30.2	▲ 47.7	51.5
使用しているコンロに「Si」マークがついている	20.2	17.4	16.2	17.2	22.4	△ 26.2	24.2	22.6	22.9	20.1	19.8
地震に備えて感震ブレーカー（分電盤・コンセント・簡易タイプ）を設置している	16.9	20.3	19.6	13.0	19.1	12.6	△ 24.2	15.4	16.7	17.3	12.6
今のところ特に備えていない	14.0	▲ 7.0	12.3	14.3	12.0	△ 21.4	9.1	14.5	△ 21.9	15.4	18.0
その他	1.1	1.7	0.5	1.3	0.0	0.0	2.3	1.8	2.1	0.9	0.6
無回答	2.6	0.6	1.0	1.3	2.2	4.9	1.5	2.3	0.0	0.0	0.6

## 37 「ごみ有料化」の賛否

### (1) 「ごみ有料化」の賛否

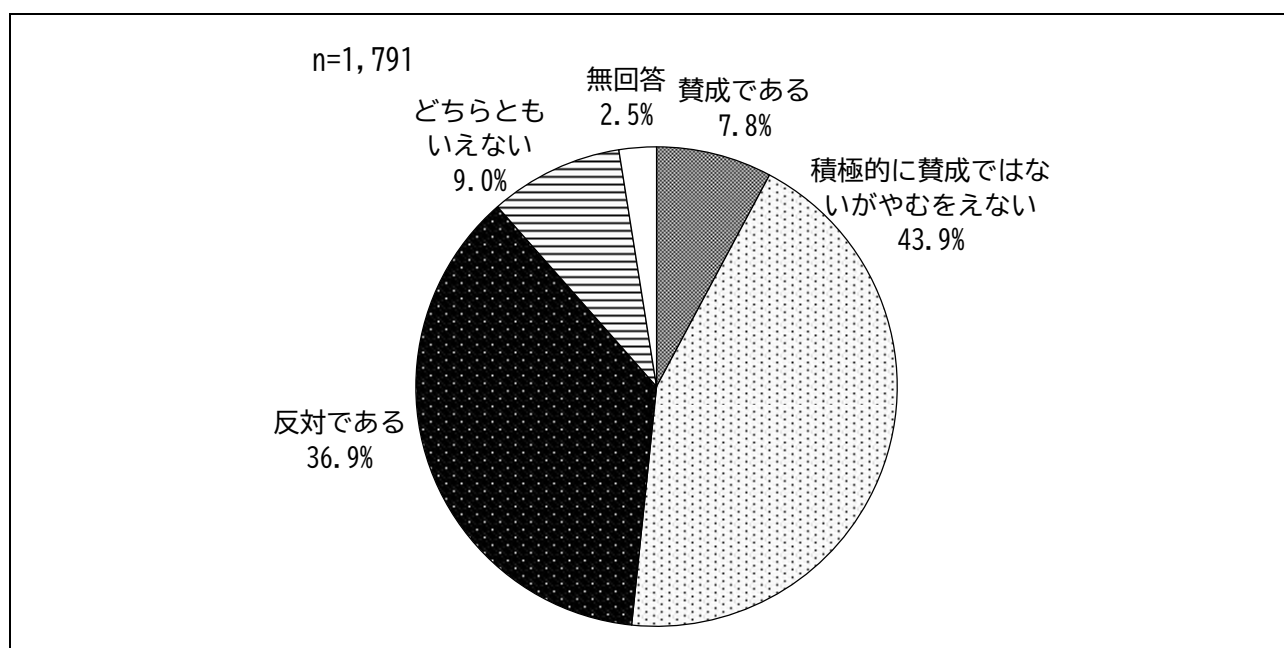
問 34 ごみの量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみの有料化」についてあなたはどのように思いますか。(○は1つ)

「ごみ有料化」の賛否について、「賛成である」は全体の7.8%を占めています。また、「積極的に賛成ではないがやむをえない」が43.9%で4割を超えて最も高くなっています。

一方、「反対である」は36.9%で3割半ばを超えています。

「どちらともいえない」は9.0%で約1割を占めています。

【「ごみ有料化」の賛否（全体）】



## (2) 「ごみ有料化」の賛否（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「反対である」は男性30～39歳(53.4%)、女性30～39歳(52.9%)、女性18～29歳(52.6%)で5割を超えて高くなっています。

一方、「積極的に賛成ではないがやむをえない」は女性65～74歳(61.8%)で6割を超えて最も高く、女性75歳以上(55.9%)、女性60～64歳(55.7%)で5割半ばと高くなっています。

「賛成である」は男性65～74歳(13.7%)で1割を超えて最も高くなっています。

### 【「ごみ有料化」の賛否（性別、性・年齢別）】

(人)

(%)

		合計	賛成である	積極的に賛成ではないがやむをえない	反対である	どちらともいえない	無回答
全体		1,791	7.8	43.9	36.9	9.0	2.5
男性		817	9.5	41.0	40.0	8.2	1.2
女性		917	6.1	47.1	35.0	9.8	2.0
自由記載		11	○ 18.2	★ 9.1	☆ 63.6	9.1	0.0
男性	18～29歳	87	6.9	▲ 36.8	△ 46.0	9.2	1.1
	30～39歳	131	8.4	★ 28.2	☆ 53.4	9.9	0.0
	40～49歳	137	8.8	39.4	△ 45.3	5.8	0.7
	50～59歳	158	8.9	39.2	△ 44.3	7.6	0.0
	60～64歳	61	8.2	△ 49.2	34.4	6.6	1.6
	65～74歳	117	△ 13.7	46.2	▲ 29.9	9.4	0.9
	75歳以上	124	11.3	△ 51.6	● 23.4	8.9	4.8
女性	18～29歳	114	3.5	▲ 35.1	☆ 52.6	7.9	0.9
	30～39歳	136	▲ 1.5	▲ 35.3	☆ 52.9	9.6	0.7
	40～49歳	148	8.8	39.9	△ 45.3	6.1	0.0
	50～59歳	183	4.4	△ 50.8	▲ 30.1	13.1	1.6
	60～64歳	61	8.2	○ 55.7	▲ 29.5	6.6	0.0
	65～74歳	123	6.5	☆ 61.8	★ 20.3	9.8	1.6
	75歳以上	143	10.5	○ 55.9	★ 16.8	13.3	3.5

### (3) 「ごみ有料化」の賛否（居住地域別）

居住地域別にみると、「反対である」は戸塚地域(42.5%)で4割を超えて最も高くなっています。一方、「積極的に賛成ではないがやむをえない」は南平地域(49.2%)で約5割と最も高くなっています。

【「ごみ有料化」の賛否（居住地域別）】

(人)

(%)

	合計	賛成である	積極的に賛成ではないがやむをえない	反対である	どちらともいえない	無回答
全体	1,791	7.8	43.9	36.9	9.0	2.5
中央地域	172	8.1	44.8	36.6	9.3	1.2
横曽根地域	204	8.3	42.2	39.2	9.8	0.5
青木地域	238	5.9	45.0	39.9	8.4	0.8
南平地域	183	8.7	△ 49.2	36.1	▲ 3.8	2.2
新郷地域	103	8.7	44.7	▲ 30.1	11.7	4.9
神根地域	132	11.4	42.4	35.6	9.8	0.8
芝地域	221	9.0	46.6	32.6	10.4	1.4
安行地域	96	4.2	43.8	38.5	12.5	1.0
戸塚地域	214	6.5	43.5	△ 42.5	7.5	0.0
鳩ヶ谷地域	167	7.8	42.5	37.1	10.2	2.4

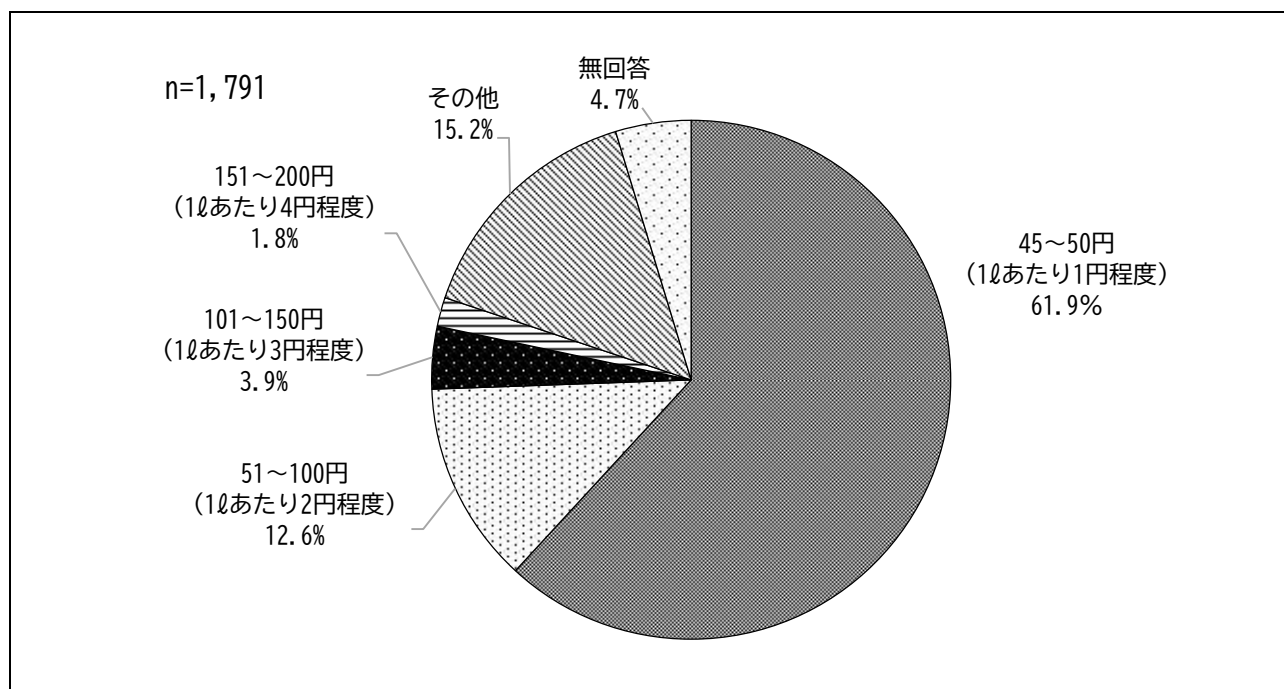
## 38 「ごみ有料化」の際の負担の許容額

### (1) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額

問 35 あなたは「ごみの有料化」を指定袋により実施した場合、1枚あたりどの程度の金額であれば負担してもよいと思いますか。(○は1つ)

「ごみ有料化」を指定袋により実施した場合の負担の許容額について、「45～50円(1ℓあたり1円程度)」が61.9%と6割を超えており、「51～100円(1ℓあたり2円程度)」が12.6%と1割を超えて、二つを合わせた『100円以下』が74.5%と7割半ば近くとなっています。

【「ごみ有料化」の際の負担の許容額 (全体)】



## (2) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額（性別、性・年齢別）

性・年齢別にみると、「45～50円(1ℓあたり1円程度)」は女性18～29歳(73.7%)、女性30～39歳(72.8%)、女性40～49歳(72.3%)で7割を超えて高くなっています。

「51～100円(1ℓあたり2円程度)」は男性65～74歳(21.4%)で2割を超えて最も高く、男性60～64歳(19.7%)、男性75歳以上(19.4%)、女性60～64歳(18.0%)で2割近くと高くなっています。

「101～150円(1ℓあたり3円程度)」は男性75歳以上(9.7%)で約1割と最も高くなっています。

### 【「ごみ有料化」の際の負担の許容額（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)
		合計	45～50円 (1ℓあたり 1円程度)	51～100円 (1ℓあたり 2円程度)	101～150円 (1ℓあたり 3円程度)	151～200円 (1ℓあたり 4円程度)	その他	無回答
全体		1,791	61.9	12.6	3.9	1.8	15.2	4.7
男性		817	58.1	14.7	4.2	2.3	17.3	3.4
女性		917	△ 67.3	11.1	3.5	1.1	13.0	4.0
自由記載		11	▲ 54.5	● 0.0	0.0	△ 9.1	○ 27.3	9.1
男性	18～29歳	87	58.6	16.1	4.6	3.4	16.1	1.1
	30～39歳	131	61.1	9.2	3.8	2.3	△ 22.9	0.8
	40～49歳	137	△ 67.2	11.7	1.5	1.5	18.2	0.0
	50～59歳	158	63.9	10.1	3.2	2.5	19.0	1.3
	60～64歳	61	▲ 55.7	△ 19.7	1.6	0.0	19.7	3.3
	65～74歳	117	▲ 55.6	△ 21.4	4.3	2.6	12.8	3.4
	75歳以上	124	★ 41.1	△ 19.4	△ 9.7	3.2	12.1	△ 14.5
女性	18～29歳	114	○ 73.7	8.8	2.6	0.9	13.2	0.9
	30～39歳	136	○ 72.8	▲ 5.9	2.9	1.5	16.9	0.0
	40～49歳	148	○ 72.3	▲ 6.8	1.4	2.0	17.6	0.0
	50～59歳	183	△ 68.9	10.9	3.3	0.5	13.1	3.3
	60～64歳	61	63.9	△ 18.0	6.6	0.0	▲ 8.2	3.3
	65～74歳	123	64.2	13.0	5.7	0.8	12.2	4.1
	75歳以上	143	58.0	17.5	4.2	0.7	▲ 7.7	△ 11.9

### (3) 「ごみ有料化」の際の負担の許容額（居住地域別）

居住地域別にみると、大きな差はありませんでした。

#### 【「ごみ有料化」の際の負担の許容額（居住地域別）】

(人)

(%)

	合計	45～50円 (1ℓあたり 1円程度)	51～100円 (1ℓあたり 2円程度)	101～150円 (1ℓあたり 3円程度)	151～200円 (1ℓあたり 4円程度)	その他	無回答
全体	1,791	61.9	12.6	3.9	1.8	15.2	4.7
中央地域	172	61.0	15.7	4.1	1.2	16.3	1.7
横曽根地域	204	58.3	12.7	3.9	1.5	19.6	3.9
青木地域	238	66.0	12.6	5.5	1.3	12.2	2.5
南平地域	183	61.7	13.1	4.4	1.6	14.8	4.4
新郷地域	103	64.1	7.8	1.9	1.9	15.5	8.7
神根地域	132	63.6	12.9	3.0	3.0	15.9	1.5
芝地域	221	63.8	10.9	2.7	2.3	14.9	5.4
安行地域	96	64.6	13.5	5.2	1.0	12.5	3.1
戸塚地域	214	62.6	12.6	2.3	1.4	18.7	2.3
鳩ヶ谷地域	167	63.5	15.6	4.8	1.8	12.0	2.4

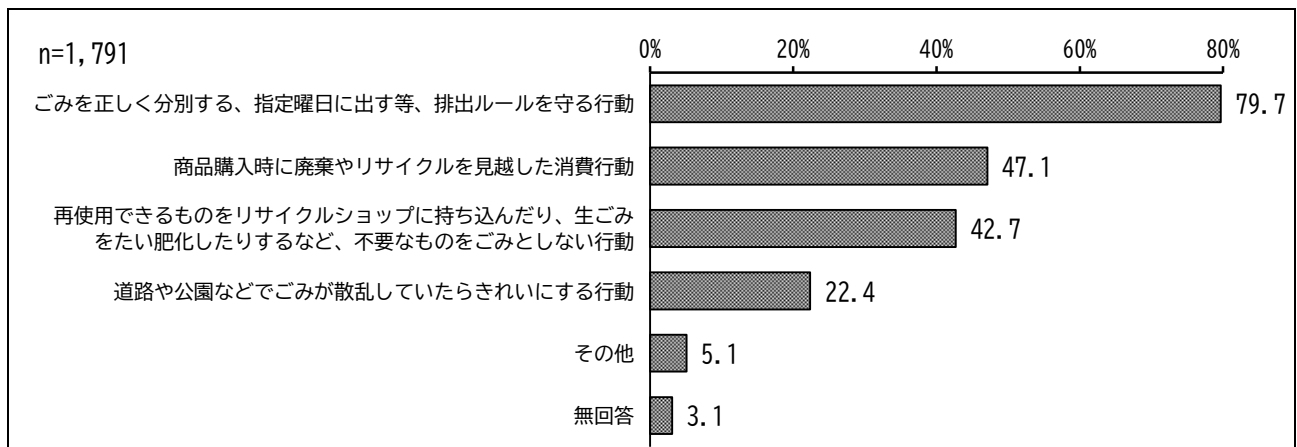
## 39 ごみ処理費用を抑えるために必要な行動

### (1) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動

問 36 ごみ処理費用をできるだけ抑えるために、市民一人ひとりがどんな行動をする必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

ごみ処理費用を抑えるために必要な市民一人ひとりの行動について、「ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動」が79.7%で約8割と最も高く、「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」が47.1%、「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動」が42.7%、「道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動」が22.4%と続いています。

#### 【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（全体）】



## (2) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（性・年齢別）

性・年齢別にみると、「ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動」は男性65～74歳(90.6%)、女性75歳以上(90.2%)で約9割と最も高くなっています。

「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」は女性65～74歳(59.3%)、女性60～64歳(59.0%)で6割近く、女性40～49歳(57.4%)で5割半ばを超えて高くなっています。

「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動」は女性40～49歳(58.1%)で6割近くと最も高くなっています。

### 【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（男性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	男性						
		18～29歳 (n=87)	30～39歳 (n=131)	40～49歳 (n=137)	50～59歳 (n=158)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=117)	75歳以上 (n=124)
ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動	79.7	★ 64.4	78.6	78.1	78.5	△ 86.9	○ 90.6	84.7
商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動	47.1	47.1	▲ 42.0	46.0	48.1	● 32.8	▲ 37.6	★ 30.6
再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動	42.7	37.9	42.0	39.4	▲ 37.3	▲ 36.1	▲ 37.6	● 31.5
道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動	22.4	24.1	19.8	19.0	19.0	23.0	27.4	25.0
その他	5.1	4.6	4.6	9.5	10.1	▲ 0.0	1.7	6.5
無回答	3.1	1.1	1.5	0.0	0.6	1.6	0.9	5.6

### 【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（女性・年齢別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	女性						
		18～29歳 (n=114)	30～39歳 (n=136)	40～49歳 (n=148)	50～59歳 (n=183)	60～64歳 (n=61)	65～74歳 (n=123)	75歳以上 (n=143)
ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動	79.7	● 67.5	76.5	78.4	84.7	△ 88.5	△ 89.4	○ 90.2
商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動	47.1	51.8	49.3	○ 57.4	△ 55.2	○ 59.0	○ 59.3	44.1
再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動	42.7	43.9	△ 50.7	☆ 58.1	△ 49.7	44.3	△ 48.0	37.8
道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動	22.4	21.9	20.6	21.6	25.1	▲ 16.4	22.0	△ 28.7
その他	5.1	6.1	5.9	6.1	2.2	1.6	4.1	2.8
無回答	3.1	2.6	0.0	0.0	2.7	0.0	1.6	0.7

### (3) ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（居住地域別）

居住地域別にみると、「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」は中央地域(54.7%)、安行地域(54.2%)で5割半ば近くと高くなっています。

「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動」は安行地域(52.1%)で5割を超えて最も高く、神根地域(49.2%)で5割程度と高くなっています。

「道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動」は神根地域(28.0%)で3割近くと最も高くなっています。

#### 【ごみ処理費用を抑えるために必要な行動（居住地域別）】

(%)

	全体 (n=1,791)	中央 地域 (n=172)	横曽根 地域 (n=204)	青木 地域 (n=238)	南平 地域 (n=183)	新郷 地域 (n=103)	神根 地域 (n=132)	芝 地域 (n=221)	安行 地域 (n=96)	戸塚 地域 (n=214)	鳩ヶ谷 地域 (n=167)
ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動	79.7	▲ 74.4	77.0	80.3	80.9	79.6	△ 84.8	84.2	77.1	83.6	82.0
商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動	47.1	△ 54.7	49.5	▲ 41.2	47.0	49.5	46.2	45.7	△ 54.2	47.2	46.7
再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動	42.7	43.6	39.7	41.6	39.9	41.7	△ 49.2	41.6	△ 52.1	46.3	40.7
道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動	22.4	18.6	25.0	19.7	22.4	▲ 16.5	△ 28.0	25.3	27.1	24.3	19.2
その他	5.1	5.2	7.8	6.3	4.9	3.9	4.5	3.6	4.2	6.1	3.0
無回答	3.1	1.7	2.5	1.3	2.7	6.8	0.8	1.4	1.0	1.4	1.2

---

## 第3章 調査結果の分析

---



# 1 川口市の特徴

川口市への居住意向について、今後も「住み続けたい」と回答した人は7割半ばを超えるも、令和6年度から減少しています。

転入したきっかけとしては、「住宅の購入」、「結婚」、「生まれてからずっと川口市」がそれぞれ2割超、「就職・転勤」が1割半ばを超えています。

転入してきた人が川口市を選んだ理由としては、「都心に近いから」が3割半ばとなっており、「交通の便がよいから」と「住宅の価格・家賃が適していたから」が3割を超えて高くなっています。

川口市の良いところ・好きなところは、「都心に出やすい」が5割半ばを超え、「買い物など日常生活が便利である」が5割以上、「公共交通機関が充実している」が2割半ば超など利便性のよさがあげられています。また、約2割の人は「災害が少ない」をあげています。一方、川口市の良くないところ・嫌いなところでは、「治安が悪い」が5割半ば近くで最も高くなっています。

川口市に住むことを勧めたいか聞いたところ、「勧めたい」は2割近くで、「どちらでもない」が5割半ばを超え最も高い値となりました。

川口市に愛着や誇りを持っているか聞いたところ、「持っている」と「どちらかといえば持っている」を合わせた『持っている』は6割超という結果でした。

川口市の好きな場所、もの、行事は、「グリーンセンター」が4割半ば近くと最も高く、「たたら祭り」が3割超、「中央図書館」が2割半ば近くなどとなっています。

川口市の状況や取り組みについての実感で、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた『感じる』の回答がもっとも高かったものは「買い物がしやすいまち」で7割近くとなっています。また、「水道や下水道を安心して利用できるまち」も6割を超えており、「健康に暮らせるまち」が5割近くで続いています。

川口市の都市整備施策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「下水道事業の推進」が7割近くとなっており最も高く、次いで「良好な住環境の推進」が6割近くとなっています。

犯罪被害遭遇の有無について聞いたところ、「ない」が8割半ば近くとなっている一方、「ある」が1割半ば近くとなっています。また、「ある」と回答した人に犯罪被害の内容について聞いたところ、「自転車やバイクの盗難」が3割半ばで最も高く、「子どもへの声かけ事案や不審者の目撃」が2割半ばを超えています。

治安向上、犯罪防止に対して力を入れてほしいことを聞いたところ、「ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発」が6割以上と最も高くなっています。

犯罪情報・防犯情報を確認する方法について聞いたところ、「テレビ・ラジオ」が6割半ばを超えており最も高く、次いで「インターネットによるニュース（「X」・「YouTube」・「メールサービス」を除く。）」が6割近くとなっています。

市内の施設（グリーンセンター・サンアール朝日・科学館）や庁舎等の窓口でのキャッシュレス決済利用経験の有無について聞いたところ、「ある」が2割程度にとどまっており、「ない」が7割半ばとなっています。また、「ある」と回答した人に、キャッシュレス決済の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は9割半ば近くとなっています。

利用する機会が多い公共施設は、「庁舎・支所(本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター等)」が6割半ばを超えて最も高くなっています。

今後の公共施設のあり方については、「あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る」が4割を超えて最も高く、次いで、「同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく」が3割半ばを超えています。

市の行政情報を確認する方法は、「広報かわぐち」が6割半ばを超えて最も高く、次いで「川口市ホームページ」が4割近くとなっています。また、市に関する欲しい情報は、「医療・福祉の情報」が6割半ばで最も高く、「災害・防災の情報」が6割超、「イベントの情報」が約4割などとなっています。

過去1年間のスポーツ等の頻度は、「週に3回以上」と「週に1～2回程度」が2割超、「月に1～3回程度」と「年に数回程度」が1割半ば近くと、年に数回程度以上スポーツをする機会があった人は7割を超えています。一方、「全くしていない」が2割半ばを占めています。

川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを知っていたか聞いたところ、「知っていた」が約2割にとどまっており、「知らなかった」が7割半ばを超えています。

この1年以内に「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加したか聞いたところ、「参加していない」が約9割を占めています。

がん検診の受診について聞いたところ、「受診したことがないが、今後受診しようと思う」が約3割と最も高く、次いで「川口市のがん検診を受診した」が2割超、「勤務先のがん検診を受診した」が1割半ばを超えています。

がん検診を「受診した」、「受診する予定がある」と回答した方に受診した(する予定の)がん検診の種類を聞いたところ、「大腸がん検診(便潜血検査)」が6割を超えて最も高く、次いで「胃がん検診(胃内視鏡検査、または胃レントゲン検査)」が5割を超えています。また、受診した(する予定の)理由について聞いたところ、「毎年受けている・受けていたから」が4割半ばを超えて最も高く、「定期健診の検査(オプション含む)に入っていたから」が1割半ばを超えています。

がん検診を「受診したことがない」と回答した方に受診しない理由について聞いたところ、「心配なときにいつでも医療機関を受診できるから」が約2割で最も高く、次いで「受ける時間がないから」も2割近くとなっています。

こどもの権利条約の認知度については、「知らない」が6割を超えて最も高く、「4つの一般原則は知らないが、条約は知っている」は2割を超えて高くなっています。

他人とのつながりの薄さについては、「ときどきある」と「常にある」を合わせた『ある』は、「自分には人との付き合いがないと感じる」が3割半ばを超えて高く、「自分は取り残されていると感じる」と「自分は他の人たちから孤立していると感じる」は約2割となっています。

近所の困っている方に「あなたができること」を聞いたところ、「日常(安否確認)の声掛け」が約6割で最も高く、「話し相手」が約4割、「行政や関係機関等への連絡」が2割半ば超などとなっています。

日常生活を送るうえで不自由な状態になった際に「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」を聞いたところ、「日常(安否確認)の声掛け」が4割で最も高く、「行政や関係機関等への連絡」が約3割、「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が2割超などとなっています。

生物多様性の重要性の認識度は、「非常に重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』が8割を超えており、一方、「あまり重要でない」と「重要でない(感じたことがない)」を合わせた『重要でない』が1割未満となっています。

生物多様性の保全のために必要な施策は、「市内に残る自然(緑)の保護・整備や、緑地を増やす取り組み」が6割を超えて最も高く、「地球温暖化防止の推進」が4割半ば、「外来生物(外来種)による在来生物(在来種)への影響の防止」が4割超などとなっています。

火災時の備えとして住宅に設置しているものを聞いたところ、「住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している」が6割半ばと最も高く、「消火器を設置している」が5割超、「使用しているコンロに「Si」マークがついている」が2割超などとなっています。

ごみの量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみ有料化」の賛否については、「積極的に賛成ではないがやむをえない」が4割を超えて最も高く、「反対である」は3割半ばを超えています。

「ごみ有料化」を指定袋により実施した場合の負担の許容額を聞いたところ「45～50円(1ℓあたり1円程度)」が6割超、「51～100円(1ℓあたり2円程度)」が1割超で、二つを合わせた『100円以下』が7割半ば近くとなっています。

ごみ処理費用を抑えるために必要な市民一人ひとりの行動を聞いたところ、「ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動」が8割近くと最も高く、次いで「商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動」が4割半ば超、「再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動」が4割超などとなっています。

## 2 川口市の課題

### ① 災害や犯罪に対する安全・安心

今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものとして、「災害や犯罪に対し安全・安心なまち(さまざまな災害や犯罪などに対して、安全で安心して暮らせるまち)」が6割を超え、川口市の状況や取り組みの23項目中で最も高くなっています。なお、川口市の良くないところ・嫌いなところでは「治安が悪い」が5割半ばと最も高く、令和6年度から4.7ポイント増加しており、『誰もがお互いを認め合い、安心して暮らせるまち』を実現するため、地域やコミュニティなど共助とともに、市民・行政の協働によるまちづくりを推進していく必要があります。

### ② 保健・医療体制の充実、地域共生社会の実現、高齢者世帯への支援

今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものとして、「健康に暮らせるまち(保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち)」が4割を超え、川口市の状況や取り組みの23項目中で2番目に高くなっています。また、「誰もが安心して暮らせるまち(年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、安心して暮らせるまち)」(23項目中3位)が約3割、「高齢者が健やかに暮らし活躍できるまち」(23項目中4位)が2割半ば超となっています。『健康で、自分らしく生き生きと暮らせるまち』を実現するため、市民、地域、行政が一体となって、包み支え合う取り組みが必要となっています。

### ③ 交通環境の整備

今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものとして、「交通環境が整っているまち(安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち)」が2割半ばを超えて、川口市の状況や取り組みの23項目中で5番目に高くなっています。なお、川口市の良くないところ・嫌いなところでは「公共交通機関が充実していない」が3番目、「道路事情が悪い」が4番目に高く、これらは地域による偏りがみられることから、地域間の格差を解消するための交通・道路整備が必要となっています。

### まとめ

今年度の調査結果から、川口市に「住み続けたい」との回答は7割半ばを超え、住み続けたいと思うまちづくりを維持し続けています。この要因として「都心に出やすい」、「買い物など日常生活が便利である」、「公共交通機関が充実している」など、日常生活をする上での快適さや利便性のほか、「災害が少ない」こともあげられています。

一方、川口市の良くないところ・嫌いなところで「治安が悪い」の増加傾向が続き、今後さらに力を入れて(充実させて)ほしいものに「災害や犯罪に対し安全・安心なまち(さまざまな災害や犯罪などに対して、安全で安心して暮らせるまち)」が最も高かったことから、市民の不安を解消するために、積極的に治安維持に取り組むとともに、地域やコミュニティを介した相互理解を深めて行くことが求められています。

---

## 参考資料（調査票・単純集計結果）

---



総合計画(まちづくり)のための

# 川口市民意識調査

～市民のみなさまの声をお聞かせください～

川口市では市民の皆様、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対するご意見をお伺いするために、「市民意識調査」を毎年実施しております。

この調査は、本市にお住まいの満18歳以上の方から、無作為に5,000人を抽出し、調査票を送らせていただいております。

この調査票に記入していただきました内容は、本市において厳重に管理し、統計的な処理を行うこと以外に使用することは一切ありません。

川口市を一層、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするために、ぜひともこの調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年8月 川口市長 奥ノ木 信夫

## 【回答方法】

「インターネット(スマートフォン、パソコン等)」または「紙」の いずれかを選択してください。	
インターネットで回答	紙で回答

↓

① 下記の URL を入力するか、QR コードを  
読み取ってアクセスしてください。  
<https://logoform.jp/form/zRQD/1131678>

② 以下の認証 ID を入力してください。

認証 ID

↓

①本調査票に直接記入してください  
②本調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて封をし、郵便ポストへ投函をお  
願いします。(回答は無記名で、切手は必要ありません)

## 【回答にあたってのお願い】

- 調査対象者ご本人(封筒のあて名の方)が、ご回答ください。もしご都合でご記入ができない場合は、どなたでも結構ですので代わってご記入ください。その場合は、調査対象者ご本人の立場でお答えください。
- 回答は、問の番号順に進んでお答えください。回答内容によって、一部の方にお答えいただく設問がありますが、記載のとおり該当する設問に進んでください。

## 【回答期限】

令和7年9月1日(月)

## 【お問い合わせ先】

川口市役所 企画財政部 企画経営課 企画係  
電話 048-259-7627  
FAX 048-258-1203



問4 あなたが思う川口市のことについておたずねいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。( ○は3つまで )

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 26.6 公共交通機関が充実している   | 6.6 自然環境が豊かである    |
| 6.9 道路事情が良い          | 0.4 街並みが美しい       |
| 50.9 買い物など日常生活が便利である | 1.3 治安が良い         |
| 16.8 勤務先から近い         | 1.6 娯楽施設が充実している   |
| 56.7 都心に出やすい         | 8.7 住まいの環境が良好である  |
| 4.5 医療サービスが充実している    | 2.7 近隣の人々とのきずなが強い |
| 0.8 福祉サービスの水準が高い     | 19.5 災害が少ない       |
| 2.0 子育ての環境が充実している    | 2.5 公害が少ない        |
| 0.8 子どもの教育環境が充実している  | 5.1 物価が安い         |
| 5.0 公園などの憩いの場が豊富である  | 3.0 特になし          |
| 0.5 文化活動をする場が豊富である   | 1.7 その他           |
| 2.5 スポーツをする場が豊富である   | 5.7 無回答           |

自由記入

(2) 川口市の良くないところ、嫌いなところは何ですか。( ○は3つまで )

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 12.4 公共交通機関が充実していない | 5.5 自然環境が悪い       |
| 9.3 道路事情が悪い         | 14.0 街並みがきたない     |
| 3.7 買い物など日常生活が不便である | 54.1 治安が悪い        |
| 2.2 勤務先から遠い         | 5.9 娯楽施設が充実していない  |
| 1.4 都心に出にくい         | 4.5 住まいの環境が悪い     |
| 9.2 医療サービスが不十分である   | 7.3 近隣の人々とのきずなが弱い |
| 8.5 福祉サービスの水準が低い    | 1.1 災害が多い         |
| 6.6 子育ての環境が整っていない   | 1.1 公害が多い         |
| 4.7 子どもの教育環境が整っていない | 7.0 物価が高い         |
| 8.7 公園などの憩いの場が乏しい   | 9.5 特になし          |
| 4.3 文化活動をする場が乏しい    | 12.6 その他          |
| 5.8 スポーツをする場が乏しい    | 5.0 無回答           |

自由記入

(3) 友人や知人に川口市に住むことを勧めたいですか。( ○は1つ )

- |           |             |              |
|-----------|-------------|--------------|
| 19.8 勧めたい | 21.5 勧めたくない | 57.8 どちらでもない |
|           |             | 0.8 無回答      |

(4) 川口市やお住まいの地域に愛着や誇りを持っていますか。( ○は1つ )

- 16.5 持っている
- 43.9 どちらかといえば持っている
- 14.7 どちらかといえば持っていない
- 15.9 持っていない
- 8.4 わからない
- 0.7 無回答

問5 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。  
( ○はいくつでも )

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 10.1 川口市マスコット「きゅぼらん」    | 10.6 川口神社          |
| 6.5 川口マラソン              | 2.2 錫杖寺            |
| 6.9 SKIPシティ国際Dシネマ映画祭    | 5.0 峯ヶ岡八幡神社        |
| 30.4 たたら祭り              | 3.0 地藏院            |
| 4.3 市産品フェア              | 3.5 赤山城跡(赤山陣屋跡)    |
| 3.2 彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム | 1.1 木曾呂の富士塚        |
| 8.7 科学館                 | 8.4 芝川サイクリングロード    |
| 24.7 中央図書館              | 7.3 青木町平和公園        |
| 20.5 川口総合文化センター・リリア     | 11.7 川口西公園(リリアパーク) |
| 0.9 かわぐち市民パートナーステーション   | 5.7 荒川運動公園         |
| 3.2 アートギャラリー・アトリア       | 5.9 川口自然公園         |
| 44.2 グリーンセンター           | 4.6 ゴリラ公園          |
| 10.0 川口緑化センター樹里安        | 5.8 戸塚中台公園         |
| 7.8 川口オートレース場           | 10.7 その他           |
| 3.7 旧田中家住宅              | 6.3 無回答            |
| 0.8 文化財センター「郷土資料館」      | 自由記入               |
| 12.4 赤山歴史自然公園(イイナパーク川口) |                    |

◆ 川口市が取り組む施策等に対する評価についておたずねいたします。

問6 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。

以下のそれぞれの質問に対してあてはまる番号に○をつけてください。

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 やや そう感 じる	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
1	川口市は、保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまちだと感じますか。	11.7	37.0	32.6	12.6	4.6	1.6
2	川口市は、高齢者が健やかに暮らし、活躍できるまちだと感じますか。	6.5	26.2	42.5	17.1	6.3	1.4
3	川口市は、年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、安心して暮らせるまちだと感じますか。	6.0	24.4	36.0	21.0	11.1	1.6
4	川口市は、さまざまな災害や犯罪などに対して、安全で安心して暮らせるまちだと感じますか。	4.4	17.4	27.9	26.5	22.6	1.4
5	川口市は、お互いを尊重・理解し合い、支え合いながら生き生きと活躍できるまちだと感じますか。	3.4	17.8	43.9	21.9	11.6	1.4
6	川口市は、妊娠期から青年期まで、子育てしやすい環境づくりを行っているまちだと感じますか。	4.9	25.3	40.8	17.3	9.3	2.5
7	川口市は、子どもたちが充実した教育環境で学ぶことができるまちだと感じますか。	5.1	25.3	41.0	17.5	9.0	2.0
8	川口市は、保護者が安心して子育てでき、子どもが安心して自分らしく育つことができるまちだと感じますか。	4.2	22.3	40.1	19.9	11.2	2.3
9	川口市は、生涯学習や、スポーツをするための環境が整っているまちだと感じますか。	5.5	27.4	41.7	16.7	7.1	1.6
10	川口市は、歴史、文化、芸術を学び、楽しみ、心豊かな生活ができるまちだと感じますか。	4.1	24.6	42.9	18.6	8.0	1.7
11	川口市は、市内産業が元気なまちだと感じますか。	4.6	22.7	40.1	23.4	7.6	1.6
12	川口市は、ものづくり産業が活発なまちだと感じますか。	4.9	27.0	37.2	21.8	7.4	1.7
13	川口市は、大型店から商店街まで買い物がしやすいまちだと感じますか。	26.0	42.9	17.5	8.5	3.6	1.5

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 やや そう感 じる	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
14	川口市は、植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまちだと感じますか。	8.2	32.9	31.4	17.9	7.9	1.6
15	川口市は、本市の特徴ある多種多様な魅力を、市内外に発信し、地域資源を活用した観光振興ができていますか。	2.1	12.5	37.9	30.3	16.1	1.1
16	川口市は、豊かな水と緑に親しめる憩いややすらぎの空間があるまちだと感じますか。	7.6	33.2	28.9	20.0	9.4	0.9
17	川口市は、人と生物が暮らす良好な環境の保全に向けた取り組みを行っているまちだと感じますか。	3.7	21.6	41.5	21.7	10.1	1.3
18	川口市は、廃棄物の減量化・再資源化・適正処理を促進しているまちだと感じますか。	6.4	28.5	38.4	17.6	7.9	1.2
19	川口市は、住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されていると感じますか。	4.3	24.7	45.4	17.3	6.5	1.7
20	川口市は、安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまちだと感じますか。	8.7	37.6	27.2	16.8	8.7	0.9
21	川口市は、安心して水道や下水道を利用できるまちだと感じますか。	18.5	43.1	24.6	8.5	4.4	0.9
22	川口市は、市民が市政に参加しやすく、民間と連携してまちづくりを行っていると感じますか。	3.3	15.5	46.1	22.9	11.1	1.2
23	川口市は、効果的かつ効率的な行財政運営がなされていると感じますか。	2.9	14.1	48.2	19.4	13.9	1.5

問7 問6の23の質問項目のうち、あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、問6の表の質問番号（1～23）から上位5つを選び、その番号を下の枠の中に記入してください。

【力を入れて（充実させて）ほしいもの】

- 60.4 さまざまな災害や犯罪などに対して、安全で安心して暮らせるまち
- 43.7 保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち
- 29.8 年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、安心して暮らせるまち
- 28.0 高齢者が健やかに暮らし、活躍できるまち
- 27.9 安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち

問8 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。  
以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。

番号	施策	回答欄（満足度）				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
1	「良好な住環境の推進」はされていると感じますか。 (良好な住宅や住宅環境の整備)	8.3	51.1	29.7	9.0	1.9
2	「魅力と活力を育む土地利用の推進」はされていると感じますか。 (計画的な土地利用、市街地や駅周辺の整備等)	4.8	43.7	39.0	10.6	2.0
3	「総合的な交通基盤の充実」はされていると感じますか。 (道路・交通環境整備、バスなどの公共交通機能充実等)	12.3	44.8	29.9	11.3	1.7
4	「下水道事業の推進」はされていると感じますか。 (下水道の普及や機能の向上等)	16.9	52.7	21.7	6.5	2.3
5	「美しくうるおいのある景観形成の推進」はされていると感じますか。 (美しくうるおいのある景観形成の推進等)	3.9	41.3	40.4	12.6	1.7
6	「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」はされていると感じますか。 (緑地や河川環境の整備、治水対策等)	6.6	46.5	34.3	11.1	1.6

◆ これからは個々の施策についておたずねいたします。

◆ 治安・防犯対策についておたずねいたします。

問9 過去1年間で、ご自身や身近な人が、市内で（警察に届け出るような）犯罪被害に遭ったことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

14.3 ある →問10へ

84.0 ない →問11へ

1.6 無回答

問9で1「ある」に○をつけた方におたずねいたします。

問10 どのような被害に遭われましたか。（お答えできる範囲で）（○はいくつでも）  
(n=257)

35.0 自転車やバイクの盗難

15.2 特殊詐欺の被害

26.5 子どもへの声かけ事案や不審者の目撃

15.6 空き巣

10.5 傷害

36.2 その他（ ）

0.8 無回答

問11 治安向上、犯罪防止に対して川口市に（さらに）力を入れてほしいことは何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 27.9 地域の自主防犯活動への支援・補助
- 58.1 町会・自治会に対する防犯灯や防犯カメラの設置等への補助
- 34.7 市内での犯罪の発生情報・検挙情報等の情報の発信
- 53.4 地域のパトロールや車両による防犯パトロールの実施拡大
- 60.6 ゴミ捨てや交通ルールなどのマナー向上のための啓発
- 43.0 警察との連携強化
- 50.3 公園や道路の整備、照明の設置数の増加
- 8.5 その他（ ）
- 1.5 無回答

問12 日常の防犯対策のため、主に犯罪情報・防犯情報を確認する方法は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 67.7 テレビ・ラジオ
- 25.5 新聞
- 58.9 インターネットによるニュース（下記の「X」・「YouTube」・「メールサービス」を除く。）
- 25.5 X（エックス 旧 Twitter）
- 16.0 YouTube（ユーチューブ）
- 19.4 川口市メール配信サービス「きらり川口情報メール」など
- 5.2 埼玉県警メールマガジン「犯罪情報官NEWS」
- 4.4 その他（ ）  
※上記の選択肢以外のソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の場合、サービス名までお答えください。（Facebook、LINE 等）
- 1.2 無回答

問13 問12で回答をした方法を使う理由は何ですか。最もあてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- 16.5 情報の信頼性が高いと思うから
- 45.5 情報が手軽に入手できるから
- 6.0 情報発信の頻度が多いから
- 4.0 情報内容や詳細がわかりやすいから
- 12.1 いち早く情報を手に入れられるから
- 4.2 関心のある情報を効率的に手に入れられるから
- 0.6 その他（ ）
- 11.1 無回答

◆ 窓口でのキャッシュレス決済についておたずねいたします。

問14 市内の施設（グリーンセンター・サンアール朝日・科学館）や庁舎等の窓口（市民課・支所・駅前行政センター・駅連絡室・固定資産税課・道路管理課）での支払いに、キャッシュレス決済を利用したことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

（ ○は1つ ）

23.3 ある →問15へ

74.9 ない →問16へ

1.8 無回答

問14で1「ある」に○をつけた方におたずねいたします。

問15 キャッシュレス決済を利用した際の満足度はいかがですか。あてはまる番号に○をつけてください。（ ○は1つ ）（n=418）

65.6 満足 28.5 やや満足 4.3 やや不満 1.4 不満 0.2 無回答

◆ 川口市の公共施設についておたずねいたします。

問16 川口市ではこれまで様々なニーズに応じて、数多くの公共施設を整備してきました。あなたが過去1年間に訪れたり利用したりした公共施設の中で、利用する機会が多かったものを選んでください。（ ○は3つまで ）

65.4 庁舎・支所（本庁舎、支所、川口・東川口駅前行政センター 等）

15.5 学校（小学校、中学校、高等学校）

27.5 図書館

12.9 公民館

17.1 スポーツセンター・運動場

4.9 博物館・アート施設・科学館（文化財センター、アトリア、科学館 等）

3.9 児童福祉施設（保育所、児童センター 等）

1.5 高齢福祉施設（サンテピア、れんげそう、たたら荘 等）

15.1 保健・医療施設（医療センター、地域保健センター、保健所 等）

15.1 産業振興施設（グリーンセンター、緑化センター 等）

4.0 ホール・集会所等（芝市民ホール、コミュニティセンター 等）

6.4 無回答

問17 多くの公共施設が老朽化しており、管理や維持が難しくなっています。そこで、今後の公共施設のあり方について、あなたの考えに近い項目を選んでください。( ○は3つまで )

- 42.9 あまり利用されていない公共施設や土地を売却または賃貸して収入を得る
- 36.4 同種の公共施設があり、あまり利用されていない公共施設を廃止していく
- 28.8 公共施設の複合化により機能を集約し、公共施設の数減らす
- 12.3 公共施設を減らし、民間施設(スポーツ施設等)の利用者に対して助成する
- 21.8 国や県、近隣自治体と共同で公共施設を整備・管理運営する
- 20.5 公共施設を整備・管理運営に民間のノウハウや資金を活用する
- 4.3 地域に密着する公共施設の管理運営を地域住民に任せる
- 20.9 公共施設を改修・補強し、できるだけ長く使えるようにする
- 3.5 公共施設におけるサービスの水準を引き下げる
- 9.1 公共施設の使用料を値上げし、公共施設を維持する
- 9.6 費用がかかっても公共施設を維持し、建物が老朽化し使えなくなったらその都度建替えていく
- 3.1 その他(自由記入 )
- 4.2 無回答

◆ 広報についておたずねいたします。

問18 市の行政情報を確認する方法は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。( ○はいくつでも )

- 68.4 広報かわぐち
- 39.4 川口市ホームページ
- 2.1 川口市官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」
- 12.1 川口市公式LINE
- 3.7 川口市公式X(旧Twitter)
- 7.3 市内「広報掲示板」
- 7.8 メール配信サービス「きらり川口情報メール」など
- 3.2 その他( )
- 3.9 無回答

問19 市に関するどんな情報が欲しいですか。あてはまる番号に○をつけてください。( ○はいくつでも )

- 21.4 子育ての情報
- 65.2 医療・福祉の情報
- 60.9 災害・防災の情報
- 22.6 学びの情報
- 18.8 遊び場の情報
- 21.9 買い物の情報
- 21.0 グルメの情報
- 39.1 イベントの情報
- 10.8 転職・求人情報
- 3.9 その他( )
- 4.3 無回答

◆ スポーツについておたずねいたします。

問20 過去1年間に運動やスポーツ・レクリエーション活動をする機会がどの程度ありましたか。当てはまる番号に○をつけてください。( ○は1つ )

※運動やスポーツ・レクリエーション活動には以下のような活動も含まれます。

ウォーキング・散歩、ジョギング・ランニング、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、水泳、体操(ストレッチ・ラジオ体操など)、ヨガ・ピラティス、登山(トレッキングなど)、ボウリング、ゴルフ、筋力・ウェイトトレーニング、釣り、サイクリング、ゲートボールなど

20.3 週に3回以上

22.8 週に1～2回程度

14.7 月に1～3回程度

14.1 年に数回程度

25.5 全くしていない

2.6 無回答

◆ 協働についておたずねいたします。

「協働」とは、市民が市民として幸せに暮らす地域社会を築くために、市や市民等が「知恵」と「力」をともに出し合うことを言います。川口市では、社会貢献団体などの育成や支援を行い、市民・行政の協働によるまちづくりをすすめています。

※「市民・行政の協働によるまちづくり」とは、社会貢献団体であるNPO法人、町会・自治会、ボランティア、学校応援団などの活動、自主的な公益活動(登下校の見守りや地域の清掃など)のことです。

問21 あなたは、川口市が「市民・行政の協働によるまちづくり」をすすめていたことを知っていましたか。( ○は1つ )

20.7 知っていた

76.7 知らなかった

2.6 無回答

問22 あなたは、過去1年間に、「市民・行政の協働によるまちづくり」に参加しましたか。( ○は1つ )

7.8 参加した

89.6 参加していない

2.6 無回答

◆ がん検診についておたずねいたします。

がん検診は、身体にがんがあるかどうか調べる検査です。胃や大腸、肺、乳房、子宮など、がんができる部位が異なればがんの特徴も変わってきます。がん検診はそれぞれのがんを調べるのに適した検査が用意されています。がん検診を受けることは、がんを無症状のうちに早期発見し、治療に結び付け、がんで亡くなることを防ぐことにつながります。

問23 過去1年間でがん検診を受診されましたか。( ○はいくつでも )

- 21.4 川口市のがん検診を受診した →問24・問25へ
- 16.6 勤務先のがん検診を受診した →問24・問25へ
- 12.7 人間ドックにて受診した →問24・問25へ
- 8.2 過去1年間では受診していないが、今後受診する予定がある →問24・問25へ
- 30.2 受診したことがないが、今後受診しようと思う →問26へ
- 13.0 受診したことがなく、今後も受診しない →問26へ
- 3.6 無回答

問23で1～4「受診した・受診予定あり」に○をつけた方におたずねいたします。

問24 受診した検診の種類をおしえてください。(「予定あり」と選択したかたは受診予定の検診の種類を選択してください) ( ○はいくつでも ) (n=953)

- 60.5 大腸がん検診(便潜血検査)
- 48.4 肺がん検診(胸部レントゲン検査)
- 51.6 胃がん検診(胃内視鏡検査、または胃レントゲン検査)
- 32.5 乳がん検診(マンモグラフィ検査)
- 34.1 子宮頸がん検診(細胞診)
- 5.6 無回答

問23で1～4「受診した・受診予定あり」に○をつけた方におたずねいたします。

問25 受診した理由について、最もあてはまるものを選択してください。( ○は1つ ) (n=953)

- 47.6 毎年受けている・受けていたから
- 15.4 定期健診の検査(オプション含む)に入っていたから
- 10.6 川口市がん検診の無料クーポン券が送られてきたから
- 7.3 年齢的にそろそろ必要と思ったから
- 4.2 健康面で不安があったから
- 1.8 受診をすすめられたから(家族・友人等)
- 1.2 身近な人や知人ががんにかかったから
- 0.0 パンフレットやポスターなどをみたから
- 1.9 その他( )
- 10.0 無回答

問23で5「受診したことがないが、今後受診しようと思う」、6「受診したことがなく、今後も受診しない」に○をつけた方におたずねいたします。

問26 受診しない理由について、最もあてはまるものを選択してください。( ○は1つ )

(n=774)

- 19.1 受ける時間がないから
- 19.4 心配なときにいつでも医療機関を受診できるから
- 11.5 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
- 12.3 費用がかかり経済的に負担になるから
- 7.0 受診することを忘れてしまうから
- 0.5 昨年受診したから
- 4.0 土日・夜間に受診できないから
- 4.4 検査にともなう苦痛や不安があるから
- 3.5 がんが発覚することに恐怖を感じるから
- 3.1 がん検診があることを知らないから
- 10.5 その他 ( )
- 4.8 無回答

◆ こどもの権利についておたずねいたします。

「児童の権利に関する条約」(こどもの権利条約)とは、こどもの基本的人権を国際的に保障するために定められており、現在では、日本を含めた世界196の国・地域が締約している世界的な条約です。

問27 あなたは、「児童の権利に関する条約」(こどもの権利条約)についてどの程度知っていますか。( ○は1つ )

- 4.6 条約の4つの一般原則をすべて知っている
- 8.2 条約の4つの一般原則をすべてではないが1つ以上知っている
- 22.8 4つの一般原則は知らないが、条約は知っている
- 60.2 知らない
- 4.2 無回答

◆ あなたの他人とのつながりやかかわり方についておたずねいたします。

問28 あなたは、次の①～③の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。( それぞれひとつに○ )

項 目	1	2	3	4	無回答
	決してない	ほとんどない	ときどきある	常にある	
①自分には人との付き合いがないと感じる	28.7	29.7	25.7	13.2	2.7
②自分は取り残されていると感じる	34.2	41.8	16.5	3.5	4.0
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	35.1	41.5	15.4	3.6	4.4

※一般的に「孤立」は客観的概念、社会とのつながりのない／少ない状態を指します。

問29 近所に困っている方がいる場合、「あなたができること」は何ですか。( ○はいくつでも )

- 59.6 日常（安否確認）の声掛け
- 39.4 話し相手
- 14.5 ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）
- 5.9 食事のおすそわけ
- 5.5 外出や通院の付き添い
- 9.3 生活についての相談
- 1.3 病気の看病
- 26.0 行政や関係機関等への連絡
- 7.0 短時間の子どもの預かり
- 1.3 その他（ )
- 7.1 子育ての相談
- 18.5 特にできることはない
- 2.5 無回答

問30 あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。( ○はいくつでも )

- 40.0 日常（安否確認）の声掛け
- 22.2 話し相手
- 23.7 ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）
- 3.3 食事のおすそわけ
- 12.4 外出や通院の付き添い
- 16.5 生活についての相談
- 4.0 病気の看病
- 29.1 行政や関係機関等への連絡
- 6.1 短時間の子どもの預かり
- 2.5 その他（ )
- 4.3 子育ての相談
- 20.4 手助けしてもらいたいことはない
- 2.9 無回答

◆ 生物多様性についておたずねいたします。

生物多様性とは、人間だけでなく、哺乳類や昆虫などの動物や植物など、地球上のすべての生きものが豊かな個性のつながりにより直接的・間接的に支え合いながら生きていることです。

生物多様性は人類の生存を支え、様々な恵みをもたらしていますが、一方では豊かであったはずの生物多様性は人間の活動によって急速に失われ危機にさらされており、地球温暖化による気候変動とあわせて大きな問題となっています。

問31 私たち人間もふくめたあらゆる生きものが、生きていくうえで欠かせない生物多様性の重要性についてどう思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。( ○は1つ )

- 35.2 非常に重要である
- 45.2 重要である
- 4.7 あまり重要でない
- 3.5 重要でない(感じたことがない)
- 6.9 初めて聞いた
- 0.6 その他 ( )
- 3.9 無回答

問32 川口市では生物多様性の保全を進めるうえでどのような施策が必要と思われますか。あてはまる番号に○をつけてください。( ○はいくつでも )

- 31.4 生物多様性についての情報発信、普及・啓発活動
- 25.8 自然観察会など身近な自然を通じて学習する機会
- 62.4 市内に残る自然(緑)の保護・整備や、緑地を増やす取り組み
- 45.4 地球温暖化防止の推進
- 42.2 外来生物(外来種)による在来生物(在来種)への影響の防止
- 14.7 自然保護団体等の活動への支援
- 2.5 その他 ( )
- 4.0 無回答

◆ 火災時の備えについておたずねいたします。

問33 火災時の備えとして、自宅やマンション等の共有部分に設置しているものはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。( ○はいくつでも )

- 52.9 消火器を設置している
- 65.3 住宅用火災警報器・自動火災報知設備を設置している
- 16.9 地震に備えて感震ブレーカー(分電盤・コンセント・簡易タイプ)を設置している
- 20.2 使用しているコンロに「Si」マークがついている
- 14.0 今のところ特に備えていない
- 1.1 その他 ( )
- 2.6 無回答

◆ ごみの有料化についておたずねいたします。

「ごみの有料化」とは、税金とは別に料金を負担していただく「ごみ処理手法」で、ごみの排出抑制や再使用・再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革が期待できます。

一部の自治体では、ごみの排出抑制、リサイクル推進、処理費用の削減等のため、ごみ袋を指定することで、有料化を実施している事例があります。

(川口市では、ごみの処理のため、一人あたり年間約20,000円の費用がかかっています。)

問34 川口市でも今年1月に朝日環境センターの火災が発生し復旧にも多大な負担が生ずるなど、昨今、全国的にごみ出しの在り方について注目されていますが、ごみの量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみの有料化」についてあなたはごどう思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- 7.8 賛成である
- 43.9 積極的に賛成ではないがやむをえない
- 36.9 反対である
- 9.0 どちらともいえない
- 2.5 無回答

問35 あなたは「ごみの有料化」を指定袋により実施した場合、例えば45ℓ袋1枚あたりどの程度の金額であれば負担してもよいと思いますか。最もあてはまるものを選択してください。(○は1つ)

※参考：指定袋…容量45ℓで一般ごみが4～5kg入ります。川口市の1人1日あたりのごみ排出量は約700gなので、1袋で1人1週間分の排出量に相当します。

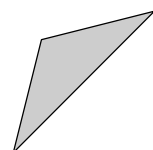
- 61.9 45～50円(1ℓあたり1円程度)
- 12.6 51～100円(1ℓあたり2円程度)
- 3.9 101～150円(1ℓあたり3円程度)
- 1.8 151～200円(1ℓあたり4円程度)
- 15.2 その他( )
- 4.7 無回答

問36 ごみ処理費用をできるだけ抑えるために、市民一人ひとりがどんな行動をする必要があると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 47.1 商品購入時に廃棄やリサイクルを見越した消費行動
- 42.7 再使用できるものをリサイクルショップに持ち込んだり、生ごみをたい肥化したりするなど、不要なものをゴミとしない行動
- 79.7 ごみを正しく分別する、指定曜日に出す等、排出ルールを守る行動
- 22.4 道路や公園などでごみが散乱していたらきれいにする行動
- 5.1 その他( )
- 3.1 無回答

## 自由記入欄

川口市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望等を自由にお書きください。



◆ 以下の質問は、調査結果を統計的に分析するために必要です。ご協力をお願いいたします。

あなたご自身のことについておたずねいたします。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

F1 あなたの性別は。

※あなたが認識しているご自分の性別を選んでください。

45.6	男性	51.2	女性	0.6	自由記載 ( )
				2.6	無回答

F2 あなたの年齢は。( 年齢は回答日現在 )

2.0	20歳未満	7.6	40～44歳	6.5	65～69歳
4.1	20～24歳	8.5	45～49歳	7.0	70～74歳
5.6	25～29歳	10.6	50～54歳	15.0	75歳以上
7.1	30～34歳	8.7	55～59歳	2.4	無回答
8.0	35～39歳	6.9	60～64歳		

F3 あなたのお生まれは。

27.2	川口市内 (※旧鳩ヶ谷市も含みます)	54.3	埼玉県外
12.6	川口市以外の埼玉県内	4.6	国外
		1.3	無回答

F4 あなたの職業は、次の分類ではどれにあてはまりますか。

2.6	専門職 (医師、弁護士、大学教授、僧侶など)
7.7	管理職 (官公庁や事業所の重役、部課長など)
25.7	事務・技術職 (一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など)
9.8	販売・生産・労務職 (店員、工員、職人、運転手、作業員など)
0.2	農林水産業従事者
8.1	自営業・サービス業従事者
12.4	パート・アルバイト従事者
3.4	学生
8.6	家事に専念している →F6へ
17.1	無職 →F6へ
2.2	その他 ( )
2.1	無回答

F5 F4で1～8または11を選んだ方にお伺いします。あなたの現在の勤務先、通学先は、次のうちどれにあてはまりますか。(n=1,292)

32.0 川口市内	42.7 東京都内
17.1 埼玉県内(川口市以外)	5.1 埼玉県、東京都以外の道府県
	3.0 無回答

F6 あなたの家族構成は、どれにあてはまりますか。

14.4 ひとり暮らし(単身世帯)	5.1 親と子と孫など(3世代以上)
27.0 夫婦のみ	3.6 その他( )
47.6 親と子(2世代)	2.3 無回答

F7 あなたのお住まいは、どれにあたりますか。

49.8 持家(一戸建)
23.6 持家(分譲マンションなど集合住宅)
20.0 民間の借家(賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など)
1.7 UR都市機構(旧公団)・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート
1.2 社宅・公務員住宅など給与住宅
0.5 住み込み、寮、寄宿舍など
3.2 無回答

F8 あなたは、川口市(※旧鳩ヶ谷市も含みます)にお住まいになってどのくらいになりますか。

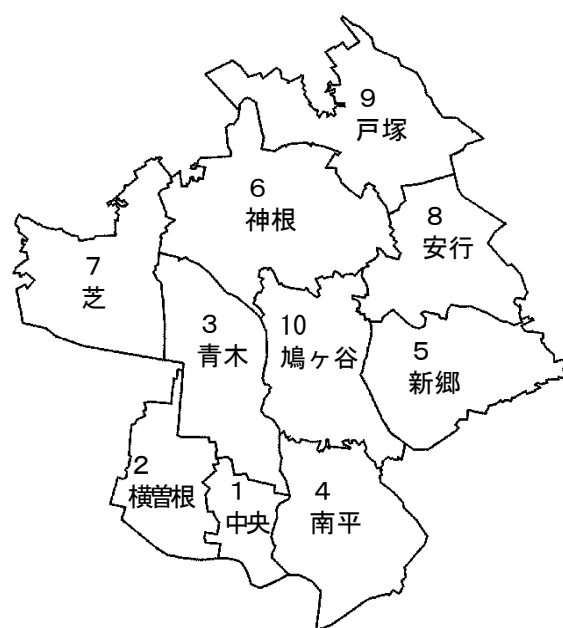
17.1 生まれてからずっと住んでいる	15.2 在住して10年以上～20年未満
14.0 在住して5年未満	13.2 在住して20年以上～30年未満
10.1 在住して5年以上～10年未満	27.9 在住して30年以上
	2.6 無回答

F9 あなたが住んでいる地域は川口市内のどちらですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- |            |          |           |
|------------|----------|-----------|
| 9.6 中央地域   | 5.8 新郷地域 | 11.9 戸塚地域 |
| 11.4 横曽根地域 | 7.4 神根地域 | 9.3 鳩ヶ谷地域 |
| 13.3 青木地域  | 12.3 芝地域 | 3.4 無回答   |
| 10.2 南平地域  | 5.4 安行地域 |           |

※回答のための住所一覧と地図です。回答は上の番号に○をしてください。

1 中央地域	本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1～3丁目
2 横曽根地域	川口4～6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木
3 青木地域	青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川
4 南平地域	朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町
5 新郷地域	赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、榛松、新堀、江戸、江戸袋、本蓮
6 神根地域	安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町
7 芝地域	芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎
8 安行地域	安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽
9 戸塚地域	戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚鉢町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵
10 鳩ヶ谷地域	坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和



※この地域分けは、今回のアンケートだけの区分です。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

「紙」で回答する場合は、本調査票を返信用封筒に入れて 9月1日(月)まで に郵便ポストへ投函をお願いいたします。

切手は不要です。調査票及び封筒に記名の必要はありません。

「インターネット(スマートフォン、パソコン等)」で回答する場合は、調査票1枚目の URL を入力するか QR コードを読み取ってアクセスし、9月1日(月)まで にご回答ください

令和7年度  
総合計画のための市民意識調査結果報告書

令和7年12月

発行：川口市役所

編集：川口市企画財政部企画経営課

〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110(代表)